熊本県院内がん登録データに係る統計

― 2024 年診断症例 ―

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会

目　　次

はじめに ---------- 1
収集データについて ---------- 2
院内がん登録　標準登録様式 ---------- 3
統計使用項目一覧 ---------- 5
統計独自項目 ---------- 6
統計独自区分一覧 ---------- 6

Ⅰ．施設全体統計

がん登録部会参加施設 －2024 年診断症例 ---------- 9
1．令和6年の熊本県の状況と2024 年診断症例の件数に関する概要 ---------- 10
2．診断年別　登録件数 ---------- 12
3．診断年別　患者住所医療圏別登録件数 ---------- 12
4．患者住所医療圏別　部位別登録件数 ---------- 13
5．診断年別　年代別登録件数 ---------- 14
6．診断年別　平均年齢 ---------- 14
7．性別年代別　主要部位別登録内訳 ---------- 15
8．主要部位別　登録件数と割合 ---------- 16
9．診断年別　主要部位別登録件数 ---------- 16
10．主要部位別病期分類（総合 Stage） ---------- 17
11．主要部位別治療の内訳 ---------- 17
12．5大部位（総合 Stage 別）の主な治療内訳 ---------- 18
13．診断年別　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況） ---------- 19
14．施設別　主要部位別登録件数 ---------- 19
15．施設別　治療（初回治療開始+初回治療継続）件数 ---------- 20
16．5大部位別　施設別治療の内訳 ---------- 20
17．施設別　患者住所構成割合 ---------- 22
18．診断年別　部会統計参加施設による全国がん登録届出状況（概算） ---------- 24
19．集計年別　5年生存率の推移 ---------- 25
（がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計報告書より）

目　次

Ⅱ．施設別統計

国立大学法人　熊本大学病院 ---- 29
独立行政法人労働者健康安全機構　熊本労災病院 ---- 37
独立行政法人地域医療機能推進機構　人吉医療センター ---- 45
荒尾市立　有明医療センター ---- 53
独立行政法人国立病院機構　熊本医療センター ---- 61
熊本赤十字病院 ---- 69
社会福祉法人恩賜財団　済生会熊本病院 ---- 77
一般社団法人天草郡市医師会立　天草地域医療センター ---- 85
独立行政法人地域医療機能推進機構　天草中央総合病院 ---- 93
独立行政法人国立病院機構　熊本再春医療センター ---- 101
独立行政法人地域医療機能推進機構　熊本総合病院 ---- 109
国家公務員共済組合連合会　熊本中央病院 ---- 117
国保　水俣市立総合医療センター ---- 125
医療法人創起会　くまもと森都総合病院 ---- 133
一般社団法人熊本市医師会　熊本地域医療センター ---- 141
社会医療法人社団高野会　大腸肛門病センター　高野病院 ---- 149
山鹿市民医療センター ---- 157
独立行政法人国立病院機構　熊本南病院 ---- 165
阿蘇医療センター ---- 173
熊本市立　熊本市民病院 ---- 181
地方独立行政法人　くまもと県北病院 ---- 189
社会医療法人黎明会　宇城総合病院 ---- 197
球磨郡公立　多良木病院 ---- 205

＜各施設別に以下作成＞

表紙（概要、コメント）
① 患者住所医療圏別登録の状況（2024 年診断症例）
② 平均年齢と年次比較
③ 発見経緯 5大部位の内訳
④ 性別主要部位別件数と平均年齢
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布
⑥ 診断年別主要部位別登録件数
⑦ 主要部位別病期分類（総合 Stage）
⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）
⑨ 主要部位別治療の内訳
⑩ 5大部位（総合 Stage 別）の主な治療

はじめに

本統計資料をご覧いただきましてまことにありがとうございます。

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会は、熊本県におけるがん対策を推進する目的で設置された「熊本県がん診療連携協議会」の一組織として、県内における院内がん登録の普及啓発、登録精度向上、登録データの利活用等の活動を行っています。平成 18 年以降、国指定のがん診療連携拠点病院 7 施設と、熊本県が独自に指定している熊本県がん診療連携拠点病院 14 施設、その他に院内がん登録を実施している医療機関等に参画いただきながら、部会活動の拡充を図っているところです。

さて本資料は、部会活動の一環として平成 21 年度から発行しているもので、今回で 18 回目となります。部会参加 24 施設中、23 施設の院内がん登録データ（2024 年診断症例）を収集し、統計参加施設全体の集計と、施設別の集計を行いました。

熊本県全体のがん診療の状況とともに、各施設でどのようながんを対象に診療を行っているか、またどこの地域のがん患者様に診療を行っているかなどの状況を表す内容となっています。また、参加施設が自施設の集計データに関するコメントを掲載していますので、集計データとあわせてご覧いただくことで、各施設のがん診療の特徴をより具体的に捉えていただけるものと考えています。

ここ数年、本統計参加施設数は 23 施設と増減はありません。登録件数は前年より 72 件少ない 19,191 件で、こちらもほぼ一定の水準を保っていると考えられます。施設別に見ますと、前年の登録数より 50 件以上増加した施設は 4 施設、50 件以上減少した施設は 3 施設ありました。

さて、熊本県菊陽町に半導体受託生産の大手企業が進出し 2024 年より工場の稼働が開始されました。地域に大きな経済効果をもたらすと同時に、菊池医療圏を中心に人口流動が起こることが見込まれ、がんの診断や治療を目的とした医療機関受療にも影響すると予想されます。今後の推移に留意する必要があると思われます。

本資料が熊本県内のがん診療の状況をご理解いただくための一資料として、医療関係者をはじめ多くの方にご活用いただき、熊本県における院内がん登録推進の基盤となることを祈念しております。

令和８年３月

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会長
熊本大学病院医療情報経営企画部長
がんセンターがん登録センター長

中村　太志

収集データについて

収集対象

2024 年診断症例(2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日)を対象とし、国(厚生労働省)指定のがん診療連携拠点病院 7 施設及び熊本県指定のがん診療連携拠点病院 14 施設、拠点病院以外のがん登録部会参加医療機関 2 施設、合わせて 23 施設から収集を行った。

登録対象は自施設における新規の診断症例または初診症例(他施設において初回治療が行われた後、自施設に初診した症例等)である。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種が生じた場合には、複数登録となる。また同一患者が同じがんで複数の部会参加医療機関を受診した場合、同じがんが重複して登録されるが、各医療機関において集計作業を行っているため重複の整理は行っていない。

また「がん登録等の推進に関する法律」の施行により 2016 年診断症例分から全国がん登録が開始され、従来の悪性新生物と頭蓋内良性腫瘍に加え、髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍等が登録対象となった。

集計方法

国立研究開発法人国立がん研究センター提示による「がん診療連携拠点病院等　院内がん登録　標準登録様式 2016 年版」において定義された標準項目に基づいて収集されたデータに、同センターがん対策研究所が提供する品質管理ツールによる精度チェックまたはそれと同等の品質管理を実施したものを各医療機関において精査集計した。各施設の集計結果は部会事務局でもある都道府県がん診療連携拠点病院(熊本大学病院)において集約した。

なお、収集したデータの取扱いについては、いかなる場合においても患者個人情報が判明することがないよう配慮している。そのため集計値が 3 件以下のものは「*」または非表示とした。

統計を利用する上での留意事項

登録データ収集の範囲は各施設によって異なっている可能性があるため、一概に比較することはできない。本統計は「各施設における院内がん登録データを使用し、その状況をまとめたものにすぎない。」という点に十分留意していただきたい。

また、本統計について、分析して仮説を立て検証する段階をも含む個々の活動は、「疫学研究に関する倫理指針」の適用となる場合が考えられるので、研究活動等に利用するにあたっては、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会までお問い合わせいただきたい。

院内がん登録　標準登録様式（主な項目一覧）

項目	項目名	分類方法	説明
900	病院等の名称		
100	診療録番号	施設で患者に固有にあたえられている番号・記号	施設において患者を識別するための1患者1件の不変コード。
110	重複番号	1 第1がん　2 第2がん…	自施設における多重がんの有無を把握するための番号 。
120	カナ氏名	全角カタカナで入力し、姓と名の間に全角空白を入れる	
130	氏名	姓と名の間に全角空白を入れる	住民登録上の氏名を登録する。
140	性別	1 男　2 女	生物学的性別ではなく、患者の住民登録上の性別を登録する。
150	生年月日	YYYYMMDD（西暦年月日）の形式に則って登録する	
200	診断時都道府県コード	01 北海道 ～ 47 沖縄　80 その他（外国）　99 不詳	
210	診断時住所	当該腫瘍の診断時に居住していた住所	
220	診断時郵便番号	ハイフンなしの数字7桁（不明の場合は9999999）	
300	原発部位《局在コード》	ICD-O-3　局在コード4桁　C169 のように「.」を含まず入力する	
309	原発部位《テキスト》	原発部位・局在コードをテキストで補足する	
310	側性	1 右側　2 左側　3 両側　7 側性なし　9 不明	側性のある臓器に用いる。側性ありとし、両側に腫瘍が発生した場合、原則、多重癌として登録する。「3両側」は、①同じ組織形態の卵巣腫瘍、②ウィルムス腫瘍（腎芽腫）、③網膜の網膜芽細胞腫にのみ選択できる。
320	病理診断《形態コード》	ICD-O-3　形態（M）コード6桁　8000/39 → 800039 の形で入力	腫瘍の形状を示す4桁と腫瘍の性状を示す1桁、それに分化度/ﾘﾝﾊﾟ性造血器腫瘍表面抗原を示す1桁からなる。
329	病理診断《テキスト》	病理診断・形態コードをテキストで補足する	
330	診断根拠	1 原発巣の組織診　2 転移巣の組織診　3 細胞診　4 部位特異的腫瘍マーカー（AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの高値） 5 臨床検査　6 臨床診断　9 不明　※ 4にPSAは含まない	患者の全診療経過を通じて施行された検査の中で、最も確からしい検査。初回治療後の検査も含まれる。
350	当該腫瘍初診日	当該腫瘍の診療のために初めて自施設を受診した日 （YYYYMMDD（西暦年月日）の形式に則って登録する。）	当該腫瘍初診日については、[370]自施設診断日が「77777777」となる場合（前医で診断など）に、生存率計算などの起算日として用いる。
360	他施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 （他施設が主体になって、その診断過程が実施された場合）	正確な診断日が不詳の場合は、他施設での治療開始日、入院日なども可とする。
370	自施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 （自施設が主体になって、その診断過程を実施した場合）	
380	診断日	診断施設が「自施設診断」の場合は「自施設診断日」、「他施設診断」の場合は「当該腫瘍初診日」	（起算日）
400	診断施設	1 自施設診断　2 他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、もっとも確からしい検査を施行した施設を特定するための項目。
410	治療施設	1 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明　2 自施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続　4 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診　8 その他	
420	症例区分	10 診断のみ 20 自施設診断・自施設初回治療開始　21 自施設診断・自施設初回治療継続 30 他施設診断・自施設初回治療開始　31 他施設診断・自施設初回治療継続 40 初回治療終了後　80 その他	
450	来院経路	10 自主的受診　20 他施設からの紹介（他院・老健施設・がん検診・健診ドック等）　30 自施設で他疾患経過観察中　80 その他　99 不明	当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。がん患者がどのような経路により自施設を受診したのかを把握できる。発見経緯とは異なるものである点に留意。
460	発見経緯	1 がん検診・健康診断・人間ドック　3 他疾患経過観察中の偶然発見　4 剖検発見（Ai含む）　8 その他　9 不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目。自施設・他施設を問わず、当該腫瘍に関して初めて医療機関を受診した際の状況を、判断する。 ※剖検…死亡時のAutopsy Imagingないしは解剖所見により発見された場合を指す。
470	病名告知の有無	1 病名の告知あり　2 病名の告知なし　9 不明	
500	ステージ（治療前・UICC）	4000 0期　4100 Ⅰ期　4200 Ⅱ期　4300 Ⅲ期　4400 Ⅳ期　4999 不明　7777 該当せず ※「該当せず」は対象部位以外または癌腫以外などの時に用いる。	亜分類が付与されている部位もある。
510	TNM分類（UICC）cT分類	1000 T0　1050 Ta　1010 Tis　1100 T1　1200 T2　1300 T3　1400 T4　1500 TX　1999 不明　7777 該当せず	
520	TNM分類（UICC）cN分類	2000 N0　2100 N1　2200 N2　2300 N3　2400 N4　2500 NX　2999 不明　7777 該当せず	
530	TNM分類（UICC）cM分類	3000 M0　3100 M1　3500 MX　3999 不明　7777 該当せず	
540	TNM分類（UICC）c付加因子	5110 G1　5120 G2　5130 G3　5140 G4　5150 GX　5160 G5 5200 S0　5210 S1　5220 S2　5230 S3　5250 SX　5300 症状なしA　5310 症状ありB　5410 核分裂像5以下　5420 5超 5511 乳頭/濾胞・45歳未満　5512 乳頭/濾胞・45歳以上　5513 乳頭/濾胞・55歳未満　5514 乳頭/濾胞・55歳以上 5520 髄様癌　5530 未分化癌　5540 その他の癌腫　7001 胆嚢管　7002 肝門部胆管　7003 遠位胆管 7100 未検査または不明　7101 いずれも陰性　7102 EBV陽性　7103 HPV/p16陽性 5999 不明　7777 該当せず	原則として、骨、軟部組織、虫垂－癌、前立腺、精巣、悪性リンパ腫、GIST、甲状腺、胆道系、頭頸部-原発不明、中咽頭に適用。それ以外は「該当せず」でよい。
600	ステージ（術後病理学的・UICC）	4000 0期　4100 Ⅰ期　4200 Ⅱ期　4300 Ⅲ期　4400 Ⅳ期 6610 手術なし　6620 術前治療後　4999 不明　7777 該当せず	術後病理学的分類は、治療前分類を補足、修正するもの。 亜分類が付与されている部位もある。 （初回治療継続症例で、自施設初回治療開始前に他施設で観血的治療が実施されたとき、他施設から確実な病期分類情報を得られる場合、8000～8999コードを用いる。ただし現行において本統計冊子では使用しない。）
610	pTNM分類（UICC）pT分類	1000 pT0　1050 pTa　1010 pTis　1100 pT1　1200 pT2　1300 pT3　1400 pT4　1500 pTX 6610 手術なし　6620 術前治療後　1999 不明　7777 該当せず	
620	pTNM分類（UICC）pN分類	2000 pN0　2100 pN1　2200 pN2　2300 pN3　2400 pN4　2500 pNX　6610 手術なし　6620 術前治療後　2999 不明　7777 該当せず	
630	pTNM分類（UICC）pM分類	3000 pM0　3100 pM1　3500 pMX　6610 手術なし　6620 術前治療後　3999 不明　7777 該当せず	

項目	項目名	分類方法	説明
640	TNM分類(UICC)p付加因子	5110 G1　5120 G2　5130 G3　5140 G4　5150 GX　5160 G5 5200 S0　5210 S1　5220 S2　5230 S3　5250 SX　5300 症状なしA　5310 症状ありB　5410 核分裂像5以下　5420 5超 5511 乳頭/濾胞・45歳未満　5512 乳頭/濾胞・45歳以上　5513 乳頭/濾胞・55歳未満　5514 乳頭/濾胞・55歳以上 5520 髄様癌　5530 未分化癌　5540 その他の癌腫　7001 胆嚢管　7002 肝門部胆管　7003 遠位胆管 7100 未検査または不明　7101 いずれも陰性　7102 EBV陽性　7103 HPV/p16陽性 6610 手術なし　6620 術前治療後　5999 不明　7777 該当せず	原則として、骨、軟部組織、虫垂－癌、前立腺、精巣、悪性リンパ腫、GIST、甲状腺、胆道系、頭頸部-原発不明、中咽頭に適用。それ以外は「該当せず」でよい。
550	肝癌の病期(治療前・取扱い規約)	4000 0期　4100 Ⅰ期　4200 Ⅱ期　4300 Ⅲ期　4410 ⅣA期　4420 ⅣB期　4999 不明　7777 該当せず	肝癌以外の場合は、「該当せず」でよい。
580	進展度(治療前)	400 上皮内　410 限局　420領域ﾘﾝﾊﾟ節転移　430 隣接臓器浸潤　440 遠隔転移　777 該当せず　499 不明	経時的な集計・変化の観察目的であり、施設間での比較に使いやすい。
680	進展度(術後病理学的)	400 上皮内　410 限局　420 領域ﾘﾝﾊﾟ節転移　430 隣接臓器浸潤　440 遠隔転移　660 手術なし又は術前治療後　777 該当せず　499 不明	手術摘出検体をもとに行われた病理組織的診断により、判断される。
700	外科的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	
701	外科的治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)外科的治療が自施設で施行された日	
705	外科的治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
706	外科的治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
710	鏡視下治療の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	
711	鏡視下治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)鏡視下治療が自施設で施行された日	
715	鏡視下治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
716	鏡視下治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
720	内視鏡的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	
721	内視鏡的治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内視鏡的治療が自施設で施行された日	
725	内視鏡的治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
726	内視鏡的治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
730	外科的 ・鏡視下 ・内視鏡的治療の範囲	1 腫瘍遺残なし　4 腫瘍遺残あり　6 観血的治療なし　9 不明 ※ 原発巣切除を伴わない転移巣切除の場合は、4に含める	当該腫瘍に対する外科的・鏡視下・内視鏡的治療の根治度をコードする。 初回治療として施行した観血的治療の総合的な結果を記載する。
740	放射線療法の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	
741	放射線療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)放射線療法が自施設で施行された日	
745	放射線療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
746	放射線療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
750	化学療法の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	化学療法には、分子標的薬などの薬物療法を含む。なお、分子標的薬以外の薬物を用いた免疫療法は「その他の治療」に含む。
751	化学療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)化学療法が自施設で施行された日	
755	化学療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
756	化学療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
760	内分泌療法の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	内分泌療法には、 前立腺癌の除睾術を含む。
761	内分泌療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内分泌療法が自施設で施行された日	
765	内分泌療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
766	内分泌療法(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
770	その他の治療の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	その他の治療は、免疫療法・BRM、TAE等の血管塞栓術、PEIT、レーザーやラジオ波等による焼灼治療等、腫瘍に対する縮小効果を期待して行われた治療をさす。
775	その他の治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
776	その他の治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり　2 施行なし　9 施行の有無不明	
780	経過観察の選択の有無(自施設)	1 自施設で経過観察開始　2 自施設で経過観察を開始せず　9 経過観察の有無不明	自施設「初回治療開始」であれば、初回治療情報の項目のいずれかは「あり」、本項目は「自施設で経過観察を開始せず」を選択する。
790	症状緩和的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行　2 自施設で施行なし　9 施行の有無不明	初回治療のタイミングで症状の緩和を目的とした治療の実施有無。
800	生存最終確認日	生存状況確認調査を行って、最終来院日などにより生存が確認された日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する)	既定値は77777777
810	死亡日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する	既定値は77777777
820	生存状況	1 生存　2 死亡	既定値は「1:生存」
830	生存確認調査方法	10 来院情報　20 死亡退院情報　30 全国がん登録情報　40 役場照会　50 他施設照会　60 本人・家族照会　80 その他　99 不明	既定値は「10:来院情報」

院内がん登録の登録対象及び登録内容等について

- 登録対象疾患：上皮内がんを含む全悪性新生物(頭蓋内・髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍等)。
- 登録対象内容：原則、入院及び外来両部門。
- 多重がん：同一患者に複数の独立した腫瘍(多重がん)が診断された場合は、それぞれの腫瘍について登録した(SEERのルール)。
- 部位、組織診断名コーディング：「国際疾病分類-腫瘍学第3版 ICD-O-3」。
- 病期分類：「UICC　TNM　第8版」。

統計使用項目一覧

	ペ ー ジ タ イ ト ル	使 用 項 目
施設全体統計	がん登録部会参加施設 – 2024年診断症例	症例区分
	1. 令和5年の熊本県の状況と2024年診断症例の件数に関する概要	患者住所区分、性別、年齢区分
	2. 診断年別　登録件数	施設名
	3. 診断年別　患者住所医療圏別登録件数	患者住所区分
	4. 患者住所医療圏別　部位別登録件数	患者住所区分、部位区分
	5. 診断年別　年代別登録件数	性別、年齢区分
	6. 診断年別　平均年齢	(各施設の)平均年齢、登録件数
	7. 性別年代別　主要部位別登録内訳	性別、年齢区分、部位区分
	8. 主要部位別　登録件数と割合	部位区分
	9. 診断年別　主要部位別登録件数	部位区分
	10. 主要部位別病期分類(総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	11. 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	12. 5大部位(総合Stage別)の主な治療内訳	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療
	13. 診断年別　治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	治療施設
	14. 施設別　主要部位別登録件数	施設名、部位区分
	15. 施設別　治療(初回治療開始+初回治療継続)件数	治療施設、施設名、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	16. 5大部位別　施設別治療の内訳	治療施設、施設名、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	17. 施設別　患者住所構成割合	患者住所区分、施設名
	18. 診断年別　部会統計参加施設による全国がん登録届出状況(概算)	
	19. 集計年別　5年生存率の推移(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)	
施設別統計	表紙(概要、コメント)	性別、重複番号
	① 患者住所医療圏別登録の状況(2024年診断症例)	患者住所区分、部位区分
	② 平均年齢と年次比較	診断時年齢
	③ 発見経緯 5大部位の内訳	発見経緯、部位区分
	④ 性別主要部位別件数と平均年齢	性別、診断時年齢、部位区分
	⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布	性別、年齢区分、部位区分
	⑥ 診断年別主要部位別登録件数	診断日(年)、部位区分
	⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	治療施設
	⑨ 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無、治療の範囲
	⑩ 5大部位(総合Stage別)の主な治療	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療

統計独自項目

＜統計独自項目＞

項目名	説　明
施設名	各医療機関を略称化 【熊大、労災、人吉、荒尾、熊医療、日赤、済生会、天地域、天中央、再春、熊総合、熊中央、水俣、森都、熊地域、高野、山鹿、熊本南、阿蘇、熊市民、県北、宇城、多良木、福田】
診断日	診断施設が自施設の場合は「診断日2(自施設診断日)」を使用し、他施設の場合は「当該腫瘍初診日(腫瘍に対する当院初診日)」を使用
診断時年齢	生年月日と診断日で年齢を計算
患者住所区分	診断時住所情報で下記＜患者住所区分1＞＜患者住所区分2＞に基づき分類
年齢区分	診断時年齢を下記＜年齢区分＞に基づき分類
部位区分	診断名コード及び組織診断名コードで下記＜部位区分＞に基づき分類
総合Stage区分	UICCステージ(治療前)(術後病理学的)で下記＜総合Stage区分＞に基づき分類

統計独自区分一覧

＜患者住所区分1＞

区分	名称	市町村	区分	名称	市町村
01	熊・上(熊本)	熊本市	07	阿蘇	高森町
02	熊・上(上益城)	御船町	07	阿蘇	西原村
02	熊・上(上益城)	嘉島町	07	阿蘇	南阿蘇村
02	熊・上(上益城)	益城町	08	八代	八代市
02	熊・上(上益城)	甲佐町	08	八代	氷川町
02	熊・上(上益城)	山都町	09	芦北	水俣市
03	宇城	宇土市	09	芦北	芦北町
03	宇城	宇城市	09	芦北	津奈木町
03	宇城	美里町	10	球磨	人吉市
04	有明	荒尾市	10	球磨	錦町
04	有明	玉名市	10	球磨	多良木町
04	有明	玉東町	10	球磨	湯前町
04	有明	南関町	10	球磨	水上村
04	有明	長洲町	10	球磨	相良村
04	有明	和水町	10	球磨	五木村
05	鹿本	山鹿市	10	球磨	山江村
06	菊池	菊池市	10	球磨	球磨村
06	菊池	合志市	10	球磨	あさぎり町
06	菊池	大津町	11	天草	上天草市
06	菊池	菊陽町	11	天草	天草市
07	阿蘇	阿蘇市	11	天草	苓北町
07	阿蘇	南小国町	12	県外	他県
07	阿蘇	小国町	13	その他不明	国外、住所不明
07	阿蘇	産山村			

＜年齢区分＞

区分	年齢
a	0～14 （小児がん）
b	15～39 （AYA世代）
c	40～49
d	50～59
e	60～69
f	70～79
g	80～89
h	90～

＜部位区分＞

区分	部位	ICD-O-3コード
01	口腔咽頭	C00-C14
02	食道	C15
03	胃	C16
04	大腸	C18-C20
05	肝	C22
06	膵	C25
07	肺	C33-C34
08	皮膚	C44
09	乳房	C50
10	子宮頸部	C53
11	子宮体部	C54
12	前立腺	C61
13	膀胱	C67
14	脳脊髄	C70-C72,C751-753
15	甲状腺	C73
16	悪性血液腫患	形態コード959-999,C421
17	その他	上記以外

＜総合Stage区分＞

区分	Stage
0	0
1	Ⅰ
2	Ⅱ
3	Ⅲ
4	Ⅳ
5	その他

※住所区分(二次医療圏)について
熊本県の二次医療圏である熊本医療圏と上益城医療圏が1つに再編されたため、新医療圏への完全移行に対する本統計上のメリットデメリットの検討を重ねた結果、本統計においては、「熊本・上益城」医療圏をベースとしながらもこれまでの11医療圏に近い形で名称と区分番号を変更することとなった。
（＜患者住所区分＞ 熊・上(熊本)=熊本市、熊・上(上益城)=上益城郡） これにより、過去掲載分との比較も継続でき、「熊本・上益城」医療圏としても数値を算出しやすい区分となった。R4年度(2021年診断症例)より開始。

＜患者住所区分2＞

※　二次医療圏＜患者住所区分1＞をより詳細に分類したもの。現在の市町村では詳細に分類できない場合は旧市町村区分も使用した。各医療機関の所在地においてこの分類を使用。

区分	詳細	旧町村	医療圏	主な該当医療機関
101	中央区		熊・上(熊本)	熊大、熊医療、熊市民、日赤、済生会、森都、熊地域、熊中央、高野、福田
102	東区			
103	西区			
104	南区			
105	北区			
106	御船町		熊・上(上益城)	
107	嘉島町			
108	益城町			
109	甲佐町			
110	山都町			
111	宇土市		宇城	熊本南、宇城
112	宇城市			
113	美里町			
114	荒尾市		有明	荒尾、県北
115	玉名市			
116	玉東町			
117	南関町			

区分	詳細	旧町村	医療圏	主な該当医療機関
118	長洲町		有明	荒尾、県北
119	和水町			
120	旧山鹿市		鹿本	山鹿
121	旧鹿本郡	鹿北町、菊鹿町、鹿本町、鹿央町のみ		
122	菊池市		菊池	再春
123	合志市			
124	大津町			
125	菊陽町			
126	阿蘇市		阿蘇	阿蘇
127	南小国町			
128	小国町			
129	産山村			
130	高森町			
131	西原村			
132	南阿蘇村			

区分	詳細	旧町村	医療圏	主な該当医療機関
133	旧八代市		八代	労災、熊総合
134	旧八代郡	鏡町、千丁町、坂本村、東陽村、泉村のみ		
135	氷川町	竜北町、宮原町はこちら		
136	水俣市		芦北	水俣
137	芦北町			
138	津奈木町			
139	人吉市		球磨	人吉、多良木
140	錦町			
141	多良木町			
142	湯前町			
143	水上村			
144	相良村			
145	五木村			
146	山江村			
147	球磨村			
148	あさぎり町			

区分	詳細	旧町村	医療圏	主な該当医療機関
149	旧本渡市		天草	天地域、天中央
150	旧牛深市			
151	旧天草郡	有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、天草町、河浦町のみ		
152	上天草市	大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町はこちら		
153	苓北町			

Ⅰ　施設全体統計

がん登録部会参加施設 − 2024年診断症例

医療機関名（略称）	担当医療圏 指定日（赤：国指定 青：県指定 緑：その他）	登録件数	症例区分80の件数	初回治療の割合 （症例区分20～31）	収集対象	R7年度国立がん研究センターへの情報提供 2024年全国集計	2016年5年予後付き	2023年QI研究
国立大学法人 熊本大学病院 （熊大）	全　圏 2006.08.24	3,614	178	84.0%	入院・外来症例	参加	令和7年度 収集なし	参加
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 （労災）	八　代 2007.01.31	805	10	80.9%	入院・外来症例	参加		参加
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター （人吉）	球　磨 2007.01.31	744	7	83.9%	入院・外来症例	参加		参加
荒尾市立 有明医療センター （荒尾）	有　明 2008.02.08	622	8	72.3%	入院・外来症例	参加		参加
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター （熊医療）	熊本・上益城、鹿本 2008.02.08	1,835	32	80.1%	入院・外来症例	参加		参加
熊本赤十字病院 （日赤）	熊本・上益城、菊池、阿蘇 2008.02.08	2,098	81	76.8%	入院・外来症例	参加		参加
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 （済生会）	熊本・上益城、宇城 2008.02.08	1,920	59	82.2%	入院・外来症例	参加		不参加
一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター （天地域）	天　草 2010.08.17	427	15	69.3%	入院・外来症例	不参加		参加
独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院 （天中央）	天　草 2010.08.17	420	0	61.4%	入院・外来症例	参加		参加
独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター （再春）	菊　池 2010.08.17	197	2	78.7%	入院・外来症例	参加		不参加
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 （熊総合）	八　代 2010.08.17	899	7	85.2%	入院・外来症例	参加		不参加
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 （熊中央）	熊本・上益城 2010.08.17	1,069	2	85.6%	入院・外来症例	参加		参加
国保 水俣市立総合医療センター （水俣）	芦　北 2010.08.17	322	0	70.5%	入院・外来症例	参加		参加
医療法人創起会 くまもと森都総合病院 （森都）	熊本・上益城 2011.11.07	696	11	83.3%	入院・外来症例	参加		参加
一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター （熊地域）	熊本・上益城 2011.11.07	502	3	73.9%	入院・外来症例	参加		参加
社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院 （高野）	熊本・上益城 2011.11.07	375	1	51.5%	入院・外来症例	参加		不参加
山鹿市民医療センター （山鹿）	鹿　本 2012.11.16	277	8	53.1%	入院・外来症例	参加		不参加
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 （熊本南）	宇　城 2014.02.28	279	3	34.8%	入院・外来症例	参加		不参加
阿蘇医療センター （阿蘇）	阿　蘇 2020.04.01	98	0	45.9%	入院・外来症例	不参加		不参加
熊本市立 熊本市民病院 （熊市民）	熊本・上益城 2020.04.01	1,007	13	77.2%	入院・外来症例	参加		参加
地方独立行政法人 くまもと県北病院 （県北）	有　明 2021.12.03	772	11	71.2%	入院・外来症例	参加		参加
社会医療法人黎明会 宇城総合病院 （宇城）	宇　城 2014年度	17	0	52.9%	入院・外来症例	不参加		不参加
球磨郡公立多良木病院 （多良木）	球　磨 2014年度	196	1	52.0%	入院・外来症例	不参加		不参加
社会医療法人愛育会 福田病院 （福田）		—						

※医療機関名は2024.12.31現在の名称です。

※参加施設の掲載順を変更しました。
指定の種類→指定日→施設名昇順
本統計に参加していない施設は下順

◇ 注意

> この統計資料は、がん登録部会参加施設24施設のうち23施設、計19,191件の2024年診断/初診症例データをもとに作成しております。取扱い等におきましては十分にご注意いただきますよう、お願いいたします。

> 表中の略称は本統計全般で使用します。

> このページ以外の個人が特定できる可能性がある数値（3件以下）は「*」または非表示で掲載しています。

> 特に注意書きがない頁は、収集した全症例（症例区分10、40、80も含む）で集計しています。

1．令和6年の熊本県の状況と2024年診断症例の件数に関する概要

熊本・上益城
　診断時住所2次医療圏別登録数　8,000件
　推計人口（R06.10.1現在）　818,989人

（うち熊本市）
　診断時住所2次医療圏別登録数　7,106件
　推計人口（R06.10.1現在）　737,409人
（うち上益城－御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　894件
　推計人口（R06.10.1現在）　81,580人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　9 施設
　その他部会参加施設（　〃　）　1 施設

有　明
（荒尾市、玉名市、玉東町、南関町、長洲町、和水町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,741件
　推計人口（R06.10.1現在）　146,201人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　2 施設

鹿　本
（山鹿市）
　診断時住所2次医療圏別登録数　587件
　推計人口（R06.10.1現在）　46,186人

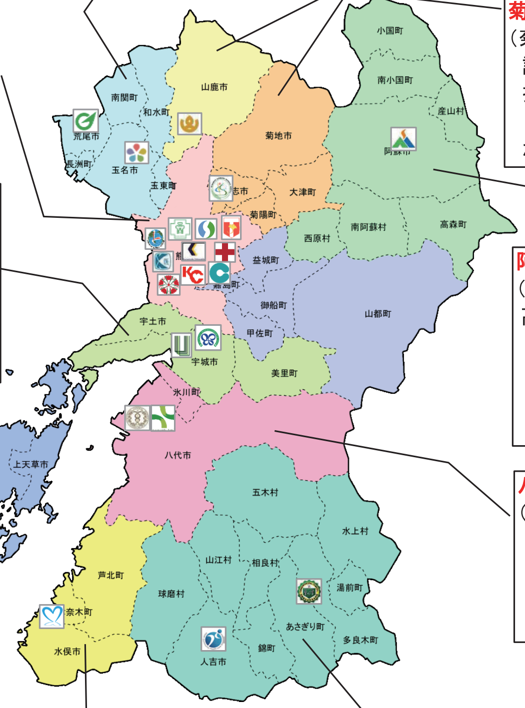
　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設

菊　池
（菊池市、合志市、大津町、菊陽町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,559件
　推計人口（R06.10.1現在）　189,375人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設

宇　城
（宇土市、宇城市、美里町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,240件
　推計人口（R06.10.1現在）　98, 769人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設
　その他部会参加施設（　〃　）　1 施設



阿　蘇
（阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村）
　診断時住所2次医療圏別登録数　692件
　推計人口（R06.10.1現在）　56,118人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設

八　代
（八代市、氷川町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,497件
　推計人口（R06.10.1現在）　128,058人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　2 施設

天　草
（天草市、上天草市、苓北町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,458件
　推計人口（R06.10.1現在）　97,816人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　2 施設

芦　北
（水俣市、芦北町、津奈木町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　562件
　推計人口（R06.10.1現在）　39,308人

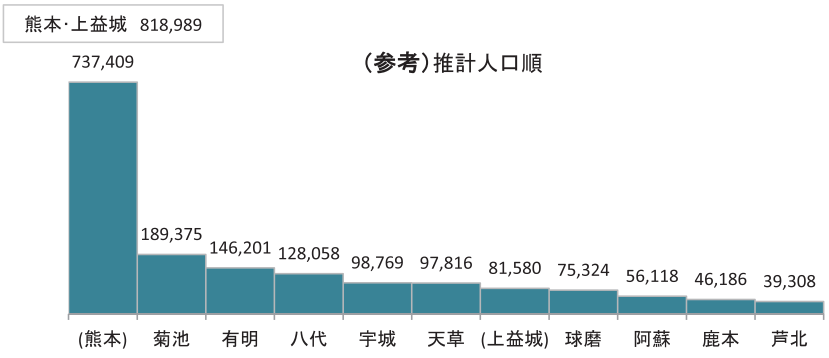
　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設

球　磨
（人吉市、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町）
　診断時住所2次医療圏別登録数　1,124件
　推計人口（R06.10.1現在）　75,324人

　がん診療拠点病院（R07.12現在）　1 施設
　その他部会参加施設（　〃　）　1 施設

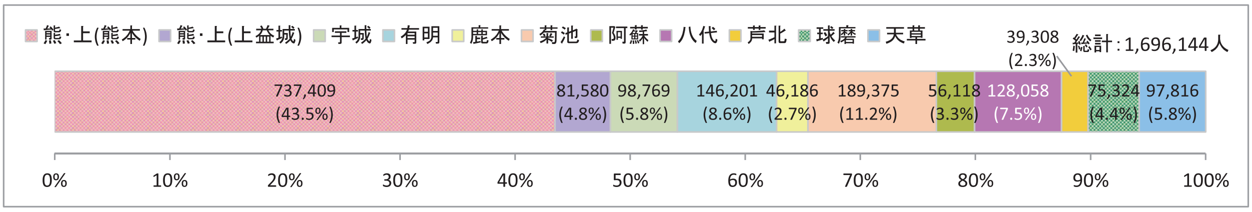
＊診断時住所2次医療圏別がん登録数
　県外、その他、不明　731件

（参考）推計人口順



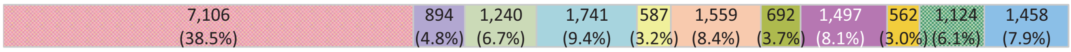
※　R07.12月（統計作成時）現在、がん診療拠点病院21施設（国指定：7、県指定：14）、その他がん登録部会参加施設（3）である。本(R7)年度の統計には熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会参加施設（拠点病院+その他の施設）のうち23施設が参加している。

（参考） 熊本県の推計人口と割合（R06.10.01現在）



県内計：18,460件　/　総計：19,191件

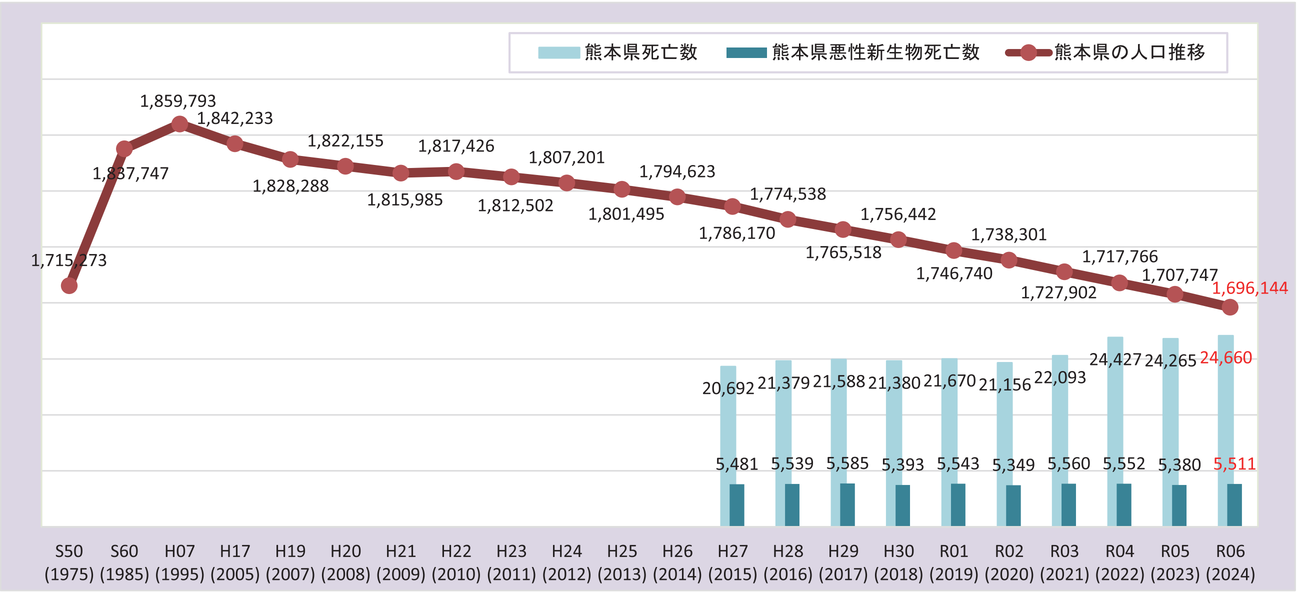
（参考）
2024年症例登録数と割合



＊　診断時住所が県内の分のみでグラフ化（県外など計：731件）

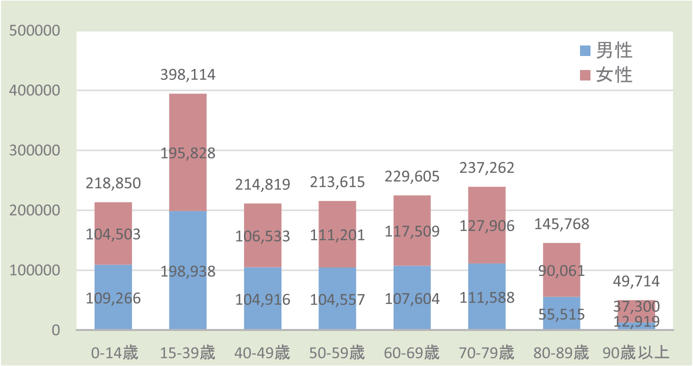
※　推計人口は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数（年報）第1表」より出典した。
※　2024年症例登録数は件数≠人数である。（多重がん登録、患者重複あり）

（参考） 熊本県の人口推移と死亡の状況



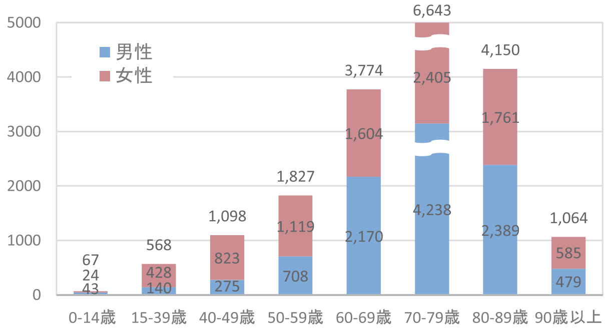
※　熊本県の人口推移については、平成17年までは「国勢調査」、平成19年以降は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数（年報）」より出典した。
※　熊本県死亡数については、厚生労働省人口動態統計（確定数）の概況-該当年の第4表（熊本県死亡総数）より出典した。
※　熊本県悪性新生物死亡数については、国立がん研究センターがん情報サービス/がん統計/集計表ダウンロード/全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率/都道府県別悪性新生物死亡数（熊本県の部分）より出典した。

（参考） 熊本県の年代別人口（R06.10.01現在）

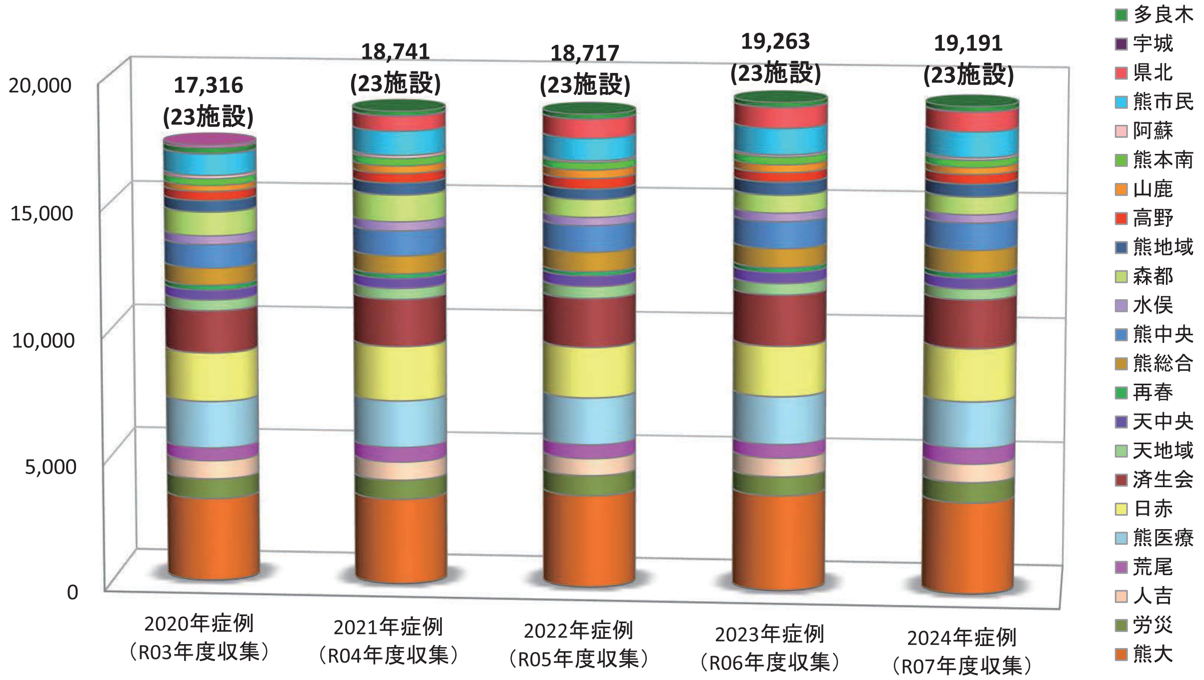


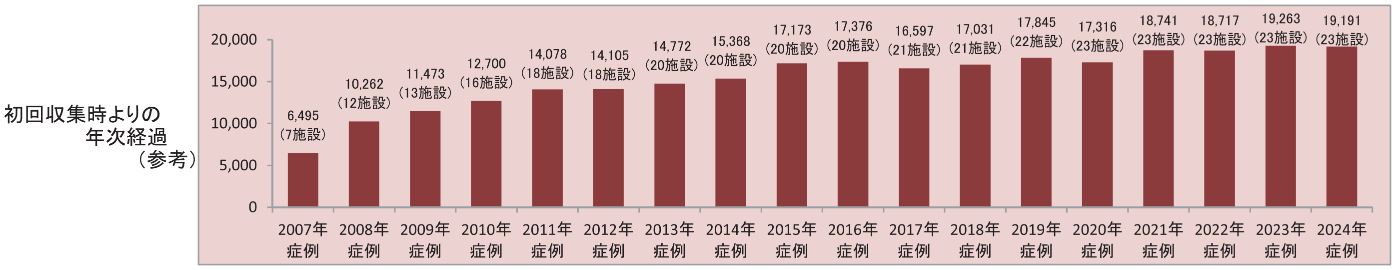
※　年代別人口は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数（年報）第4表」より出典した。
※　年齢は、本統計冊子で定めた区切り方による。
（6頁　統計独自区分一覧<年齢区分>参照）

（参考）　2024年症例年代別登録数

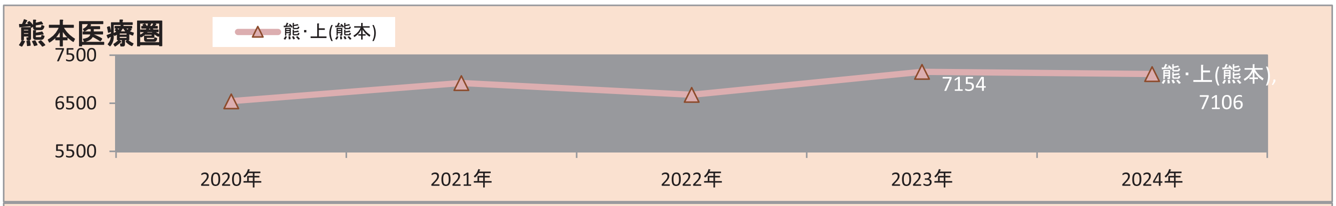


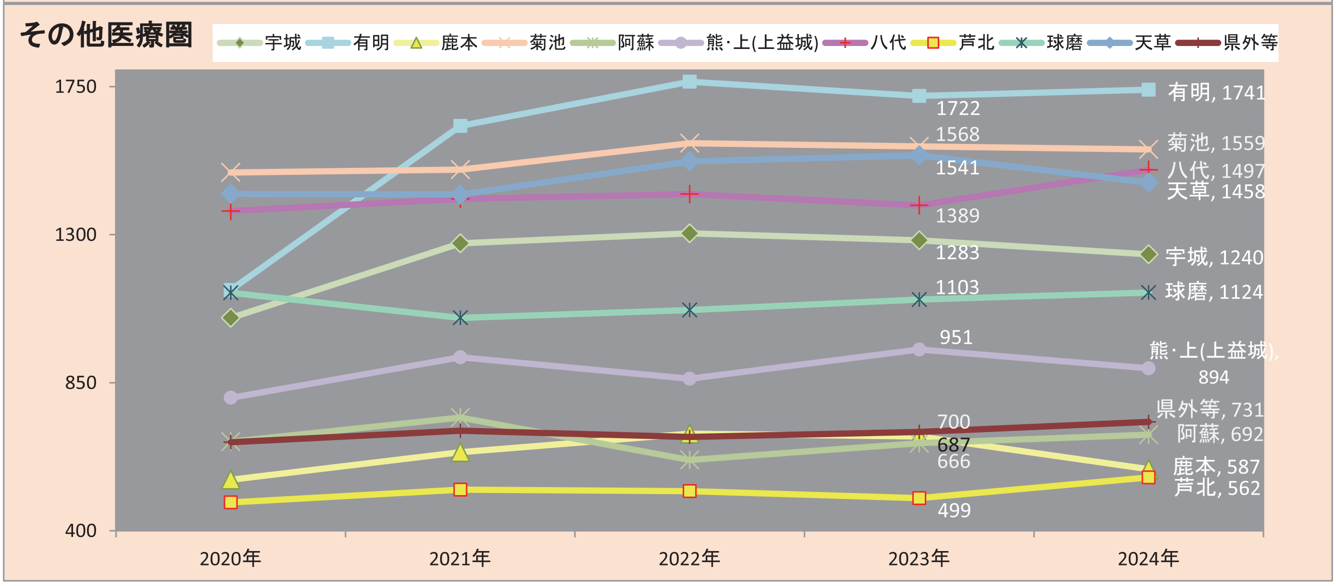
2. 診断年別　登録件数





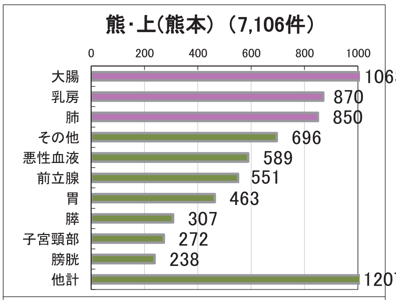
3. 診断年別　患者住所医療圏別登録件数

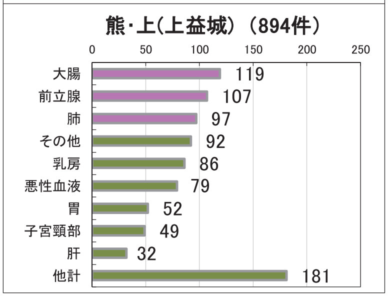


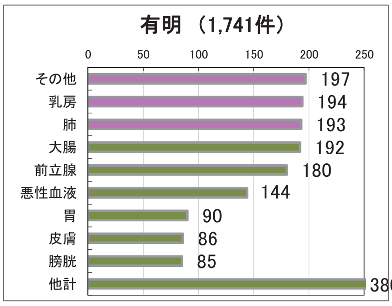


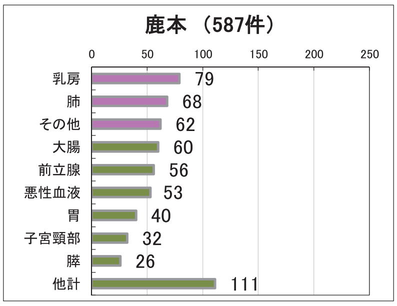
※　収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

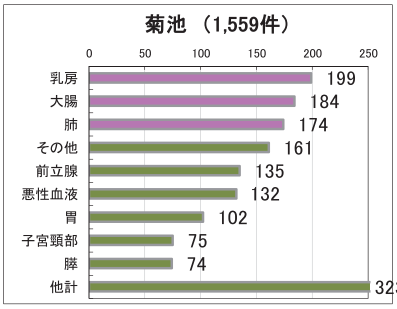
4. 患者住所医療圏別　部位別登録件数

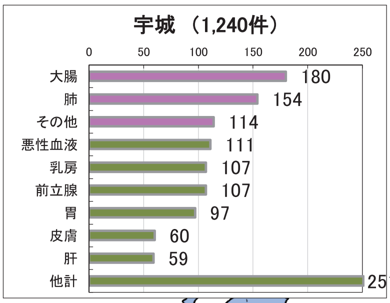


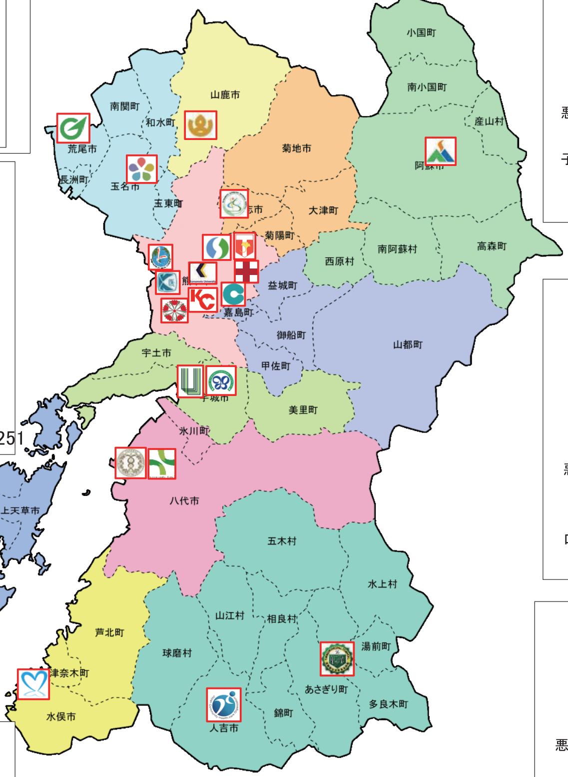


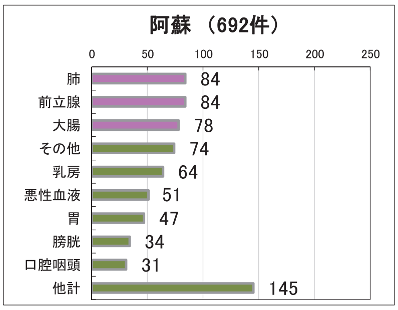


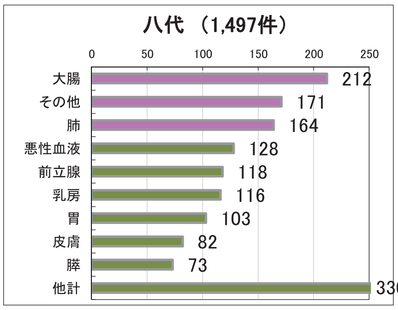


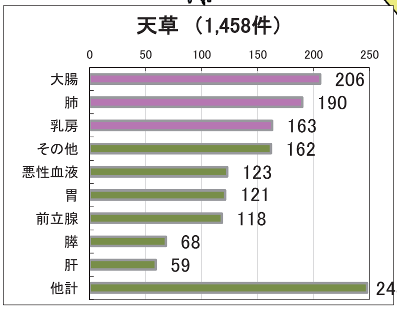


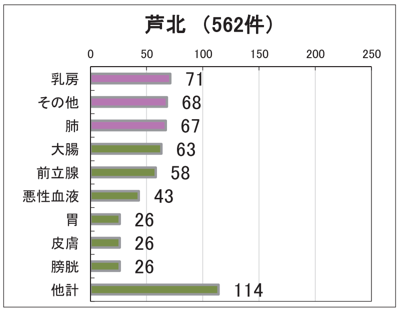


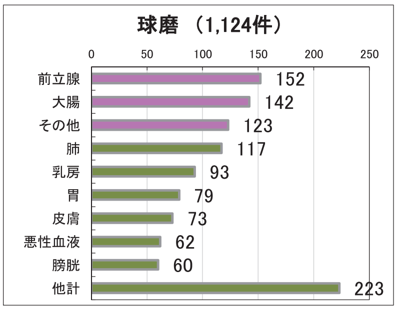


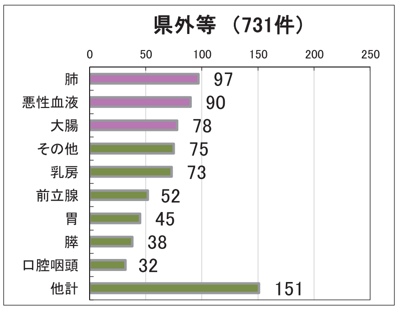




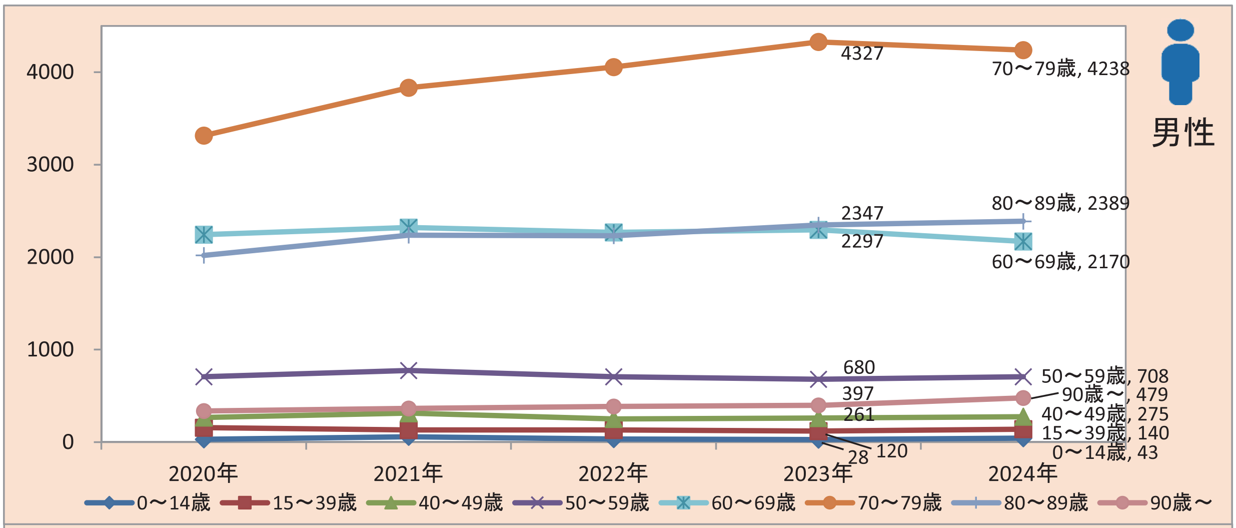


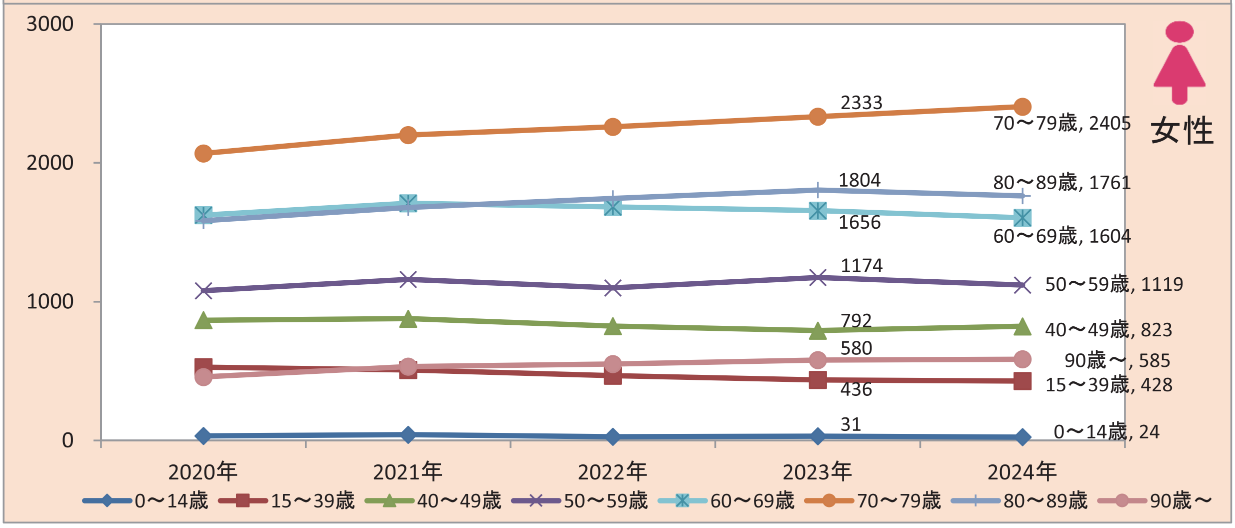






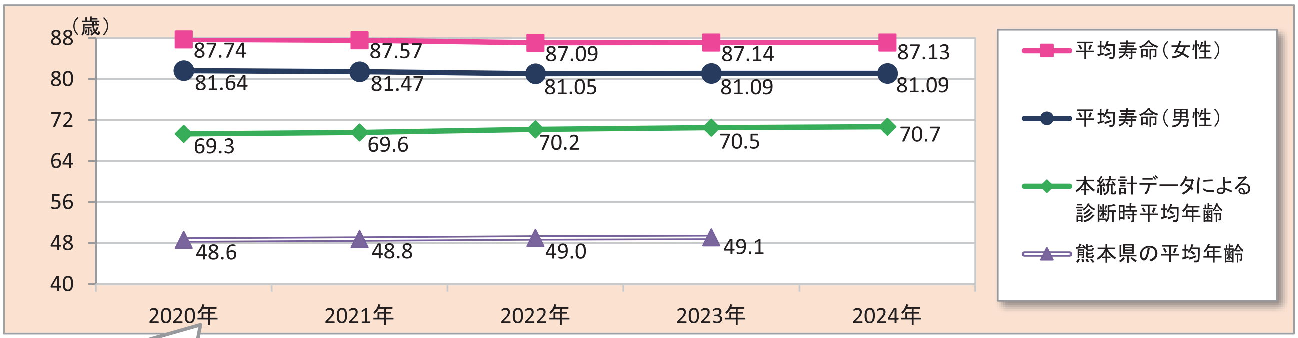
5. 診断年別　年代別登録件数





※　収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

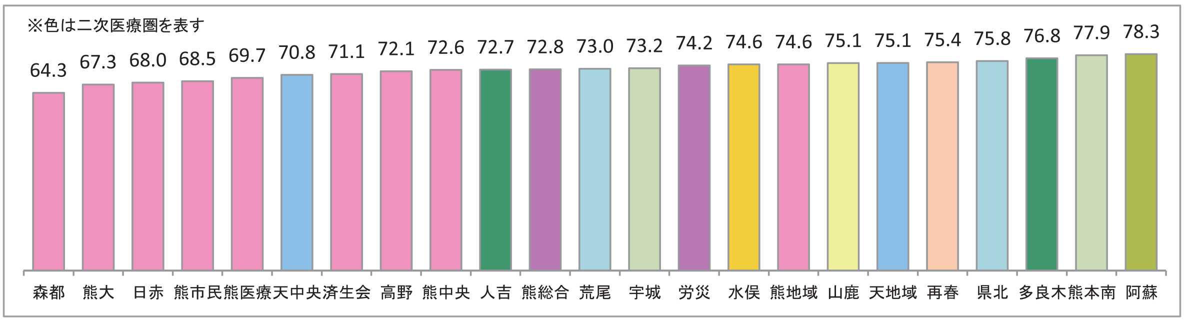
6. 診断年別　平均年齢



令和2(2020)年度
熊本県平均寿命(5年毎公表)
男性　81.91　女性　88.22
(H27年より)　0.69上昇　0.73上昇

※ 平均寿命は、厚生労働省HP 簡易生命表より出典した。
※ 熊本県の平均年齢は、国立社会保障・人口問題研究所HP 人口統計資料集　都道府県別人口の平均年齢(熊本県の部分)より出典した。(統計作成時、公表は2023年まで)

(参考)
施設別
診断時
平均年齢



7. 性別年代別　主要部位別登録内訳

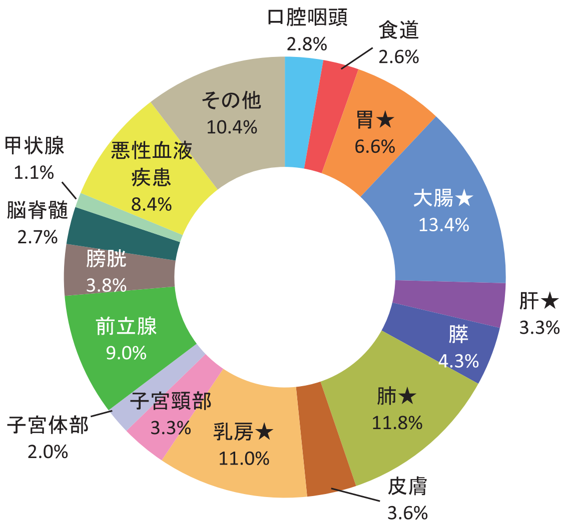
男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	1,718	脳脊髄	20	悪性血液	33	大腸	60	大腸	162	大腸	378	前立腺	846	前立腺	387	前立腺	66
大腸★	1,502	悪性血液	17	大腸	25	その他	51	肺	89	前立腺	359	肺	634	肺	349	肺	58
肺★	1,448	その他	5	脳脊髄	24	悪性血液	44	その他	73	肺	284	大腸	560	その他	272	皮膚	55
その他	1,122	口腔咽頭	*	その他	21	口腔咽頭	27	悪性血液	60	その他	219	その他	432	大腸	267	膀胱	51
胃★	859	食道		肺	7	肺	27	前立腺	59	悪性血液	166	胃	365	胃	235	大腸	50
悪性血液	856	胃		甲状腺	7	脳脊髄	18	胃	52	胃	151	悪性血液	299	悪性血液	197	その他	49
膀胱	563	大腸		胃	6	胃	15	口腔咽頭	51	食道	138	膀胱	227	膀胱	149	悪性血液	40
肝★	462	肝		口腔咽頭	5	膵	9	食道	37	膀胱	107	肝	188	皮膚	140	胃	35
膵	434	膵		膵	4	甲状腺	8	膵	33	肝	95	膵	184	肝	127	肝	26
食道	431	肺		皮膚	4	皮膚	6	脳脊髄	26	口腔咽頭	94	食道	170	膵	98	膵	20
口腔咽頭	385	皮膚		膀胱	*	食道	4	膀胱	25	膵	86	口腔咽頭	137	食道	73	口腔咽頭	13
皮膚	357	乳房		食道	*	肝	*	肝	22	脳脊髄	37	皮膚	102	口腔咽頭	57	食道	8
脳脊髄	227	子宮頸部		肝	*	膀胱	*	皮膚	14	皮膚	36	脳脊髄	65	脳脊髄	30	脳脊髄	7
甲状腺	62	子宮体部		乳房		前立腺	*	甲状腺	5	甲状腺	12	甲状腺	24	甲状腺	5	甲状腺	*
乳房★	16	前立腺		子宮頸部		乳房		乳房		乳房	8	乳房	5	乳房	*	乳房	
子宮頸部		膀胱		子宮体部		子宮頸部		子宮頸部		子宮頸部		子宮頸部		子宮頸部		子宮頸部	
子宮体部		甲状腺		前立腺		子宮体部		子宮体部		子宮体部		子宮体部		子宮体部		子宮体部	
計	10,442	計	43	計	140	計	275	計	708	計	2,170	計	4,238	計	2,389	計	479

女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房★	2,099	悪性血液	13	子宮頸部	186	乳房	344	乳房	426	乳房	513	乳房	485	大腸	277	大腸	101
大腸★	1,075	脳脊髄	9	乳房	66	子宮頸部	181	子宮頸部	113	大腸	207	肺	340	乳房	229	皮膚	88
その他	873	その他	*	悪性血液	43	その他	62	子宮体部	100	その他	153	大腸	334	肺	209	その他	82
肺★	807	口腔咽頭		その他	36	子宮体部	52	大腸	95	肺	138	その他	246	その他	199	悪性血液	51
悪性血液	749	食道		脳脊髄	33	大腸	51	その他	93	悪性血液	119	悪性血液	234	悪性血液	183	膵	48
子宮頸部	638	胃		子宮体部	16	脳脊髄	30	悪性血液	76	子宮体部	81	膵	139	胃	129	胃	44
胃★	406	大腸		甲状腺	14	悪性血液	30	肺	57	子宮頸部	66	胃	136	膵	121	肺	44
膵	397	肝		大腸	10	甲状腺	18	脳脊髄	33	膵	62	脳脊髄	81	皮膚	121	乳房	36
子宮体部	377	膵		皮膚	7	肺	17	胃	29	脳脊髄	60	子宮体部	77	膀胱	59	肝	22
皮膚	337	肺		口腔咽頭	5	口腔咽頭	9	甲状腺	26	胃	55	皮膚	70	肝	46	膀胱	20
脳脊髄	299	皮膚		胃	4	胃	9	膵	22	口腔咽頭	36	肝	64	口腔咽頭	43	口腔咽頭	11
肝★	164	乳房		肝	4	皮膚	7	皮膚	15	甲状腺	34	子宮頸部	59	脳脊髄	42	脳脊髄	11
膀胱	159	子宮頸部		肺	*	膵	5	口腔咽頭	13	皮膚	29	膀胱	48	子宮体部	41	子宮体部	10
口腔咽頭	151	子宮体部		食道	*	食道	*	膀胱	11	肝	19	口腔咽頭	34	子宮頸部	31	甲状腺	10
甲状腺	147	前立腺		膀胱	*	肝	*	肝	6	膀胱	18	甲状腺	31	食道	17	食道	5
食道	71	膀胱		膵		膀胱	*	食道	4	食道	14	食道	27	甲状腺	14	子宮頸部	*
前立腺		甲状腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺	
計	8,749	計	24	計	428	計	823	計	1,119	計	1,604	計	2,405	計	1,761	計	585

※　★は5大部位

総　数	
大腸★	2,577
肺★	2,255
乳房★	2,115
その他	1,995
前立腺	1,718
悪性血液	1,605
胃★	1,265
膵	831
膀胱	722
皮膚	694
子宮頸部	638
肝★	626
口腔咽頭	536
脳脊髄	526
食道	502
子宮体部	377
甲状腺	209
計	19,191

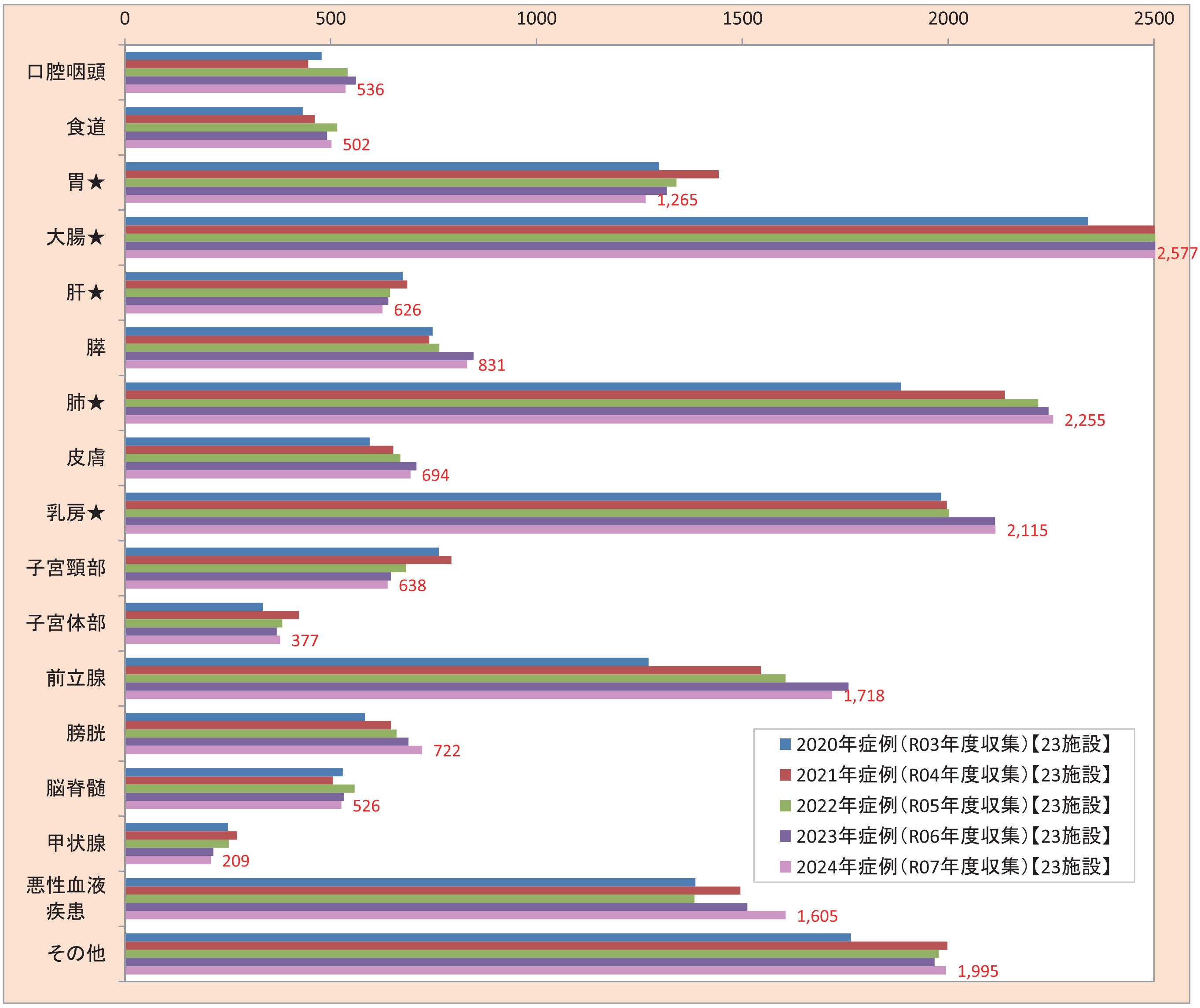
8. 主要部位別　登録件数と割合



部位	ICD-O-3コード	2024年症例
口腔咽頭	C00-C14	536
食道	C15	502
胃★	C16	1,265
大腸★	C18-C20 （結腸、直腸）	2,577
肝★	C22	626
膵	C25	831
肺★	C33-C34	2,255
皮膚	C44	694
乳房★	C50	2,115
子宮頸部	C53	638
子宮体部	C54	377
前立腺	C61	1,718
膀胱	C67	722
脳脊髄	C70-C72,C751-753	526
甲状腺	C73	209
悪性血液疾患	形態コード959-999,C421 （白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍）	1,605
その他	上記以外	1,995
計		19,191

※　先に形態コード(959-999)で集計後、局在コード(C**)で集計する。
※　★は5大部位。

9. 診断年別　主要部位別登録件数



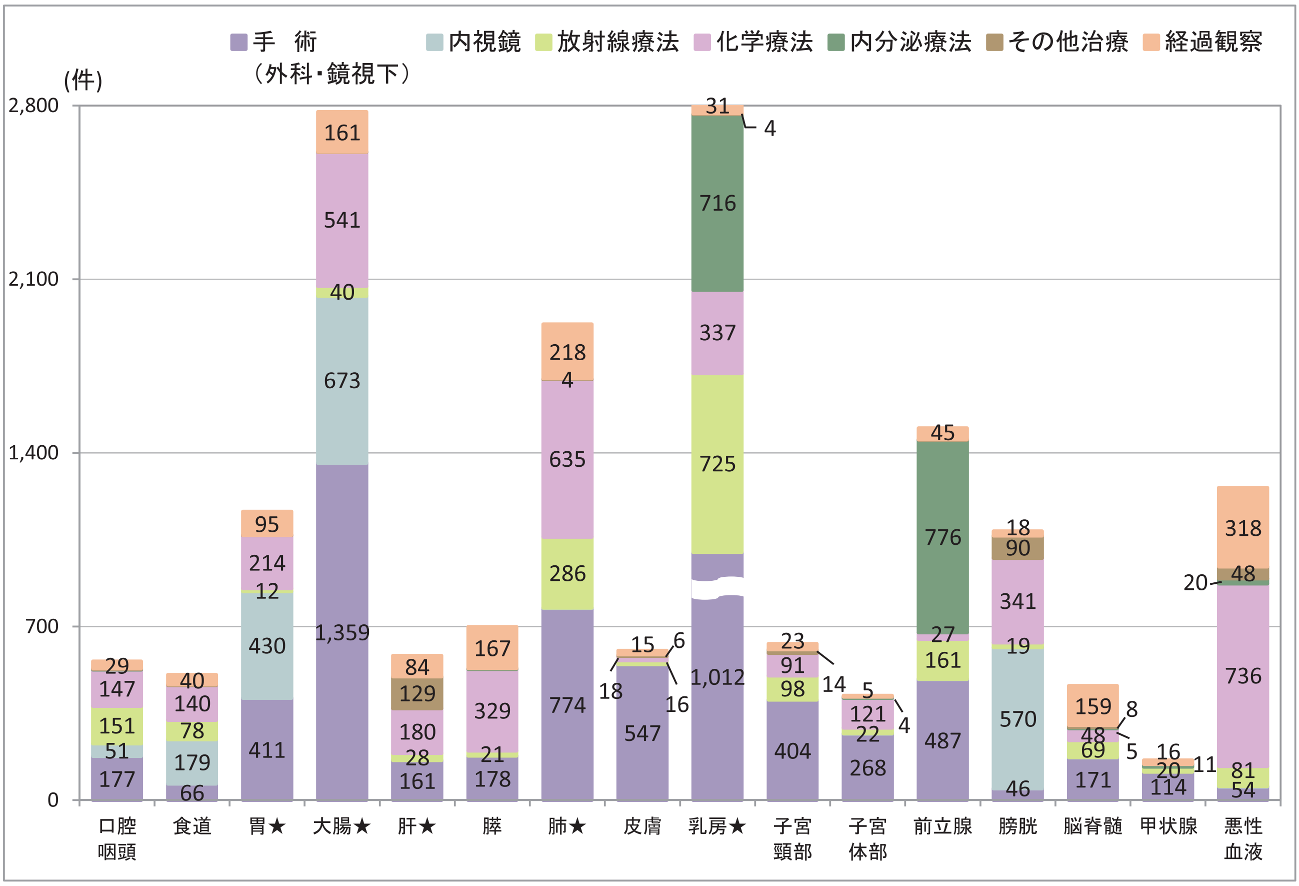
※　収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
※　患者重複、多重がん等含めた件数である。

10. 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	536	46	126	71	71	170	52
食道	502	34	225	43	69	84	47
胃★	1,265		732	92	104	228	109
大腸★	2,577	523	528	475	449	421	181
肝★	626	0	246	113	92	94	81
膵	831	21	180	92	97	364	77
肺★	2,255	71	827	164	307	701	185
皮膚	694	131	389	72	44	10	48
乳房★	2,115	231	678	473	137	120	476
子宮頸部	638	410	70	41	66	35	16
子宮体部	377		261	22	41	32	21
前立腺	1,718		425	542	271	295	185
膀胱	722	290	213	84	46	22	67
脳脊髄	526						526
甲状腺	209		115	40	12	8	34
悪性血液疾患	1,605		200	120	94	255	936

※ 総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものは「その他」として集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

11. 主要部位別治療の内訳

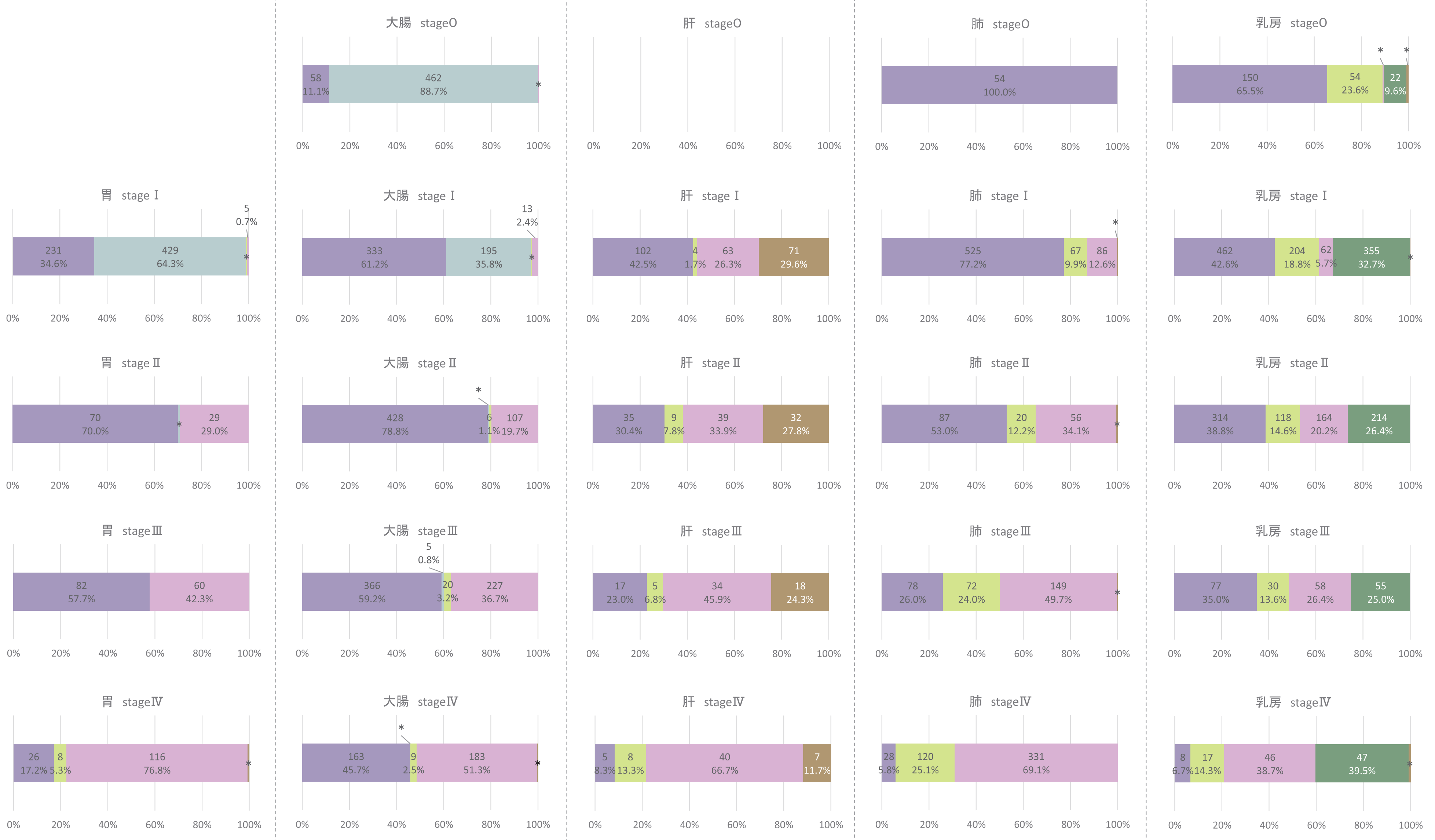


※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

12．5大部位（総合Stage別）の主な治療内訳

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

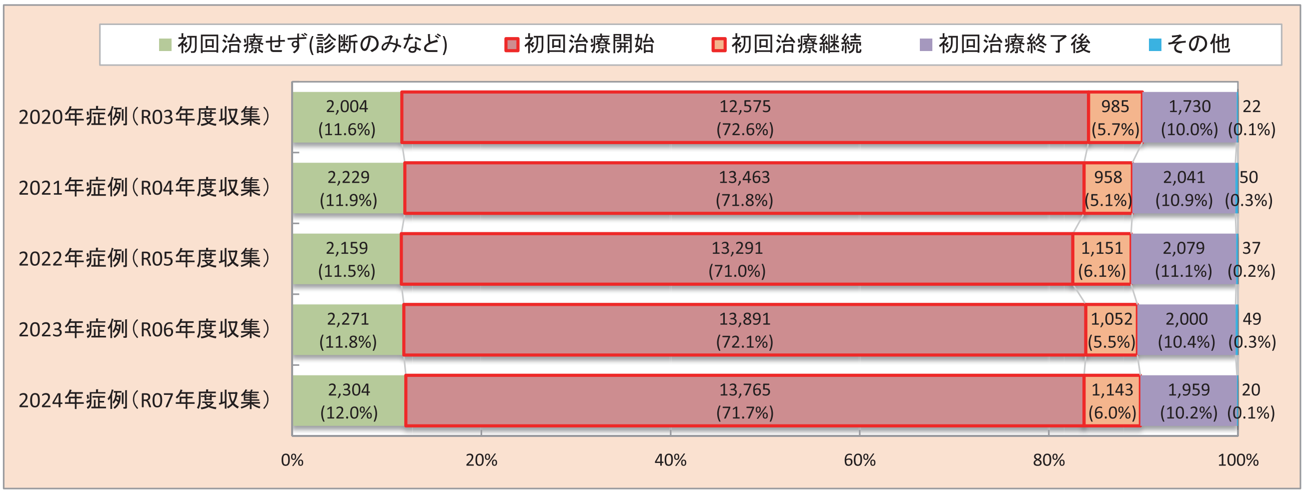


※　stage不明や分類なしなどで 手術療法　11件
化学療法　10件

※　stage不明や分類なしなどで 化学療法　13件

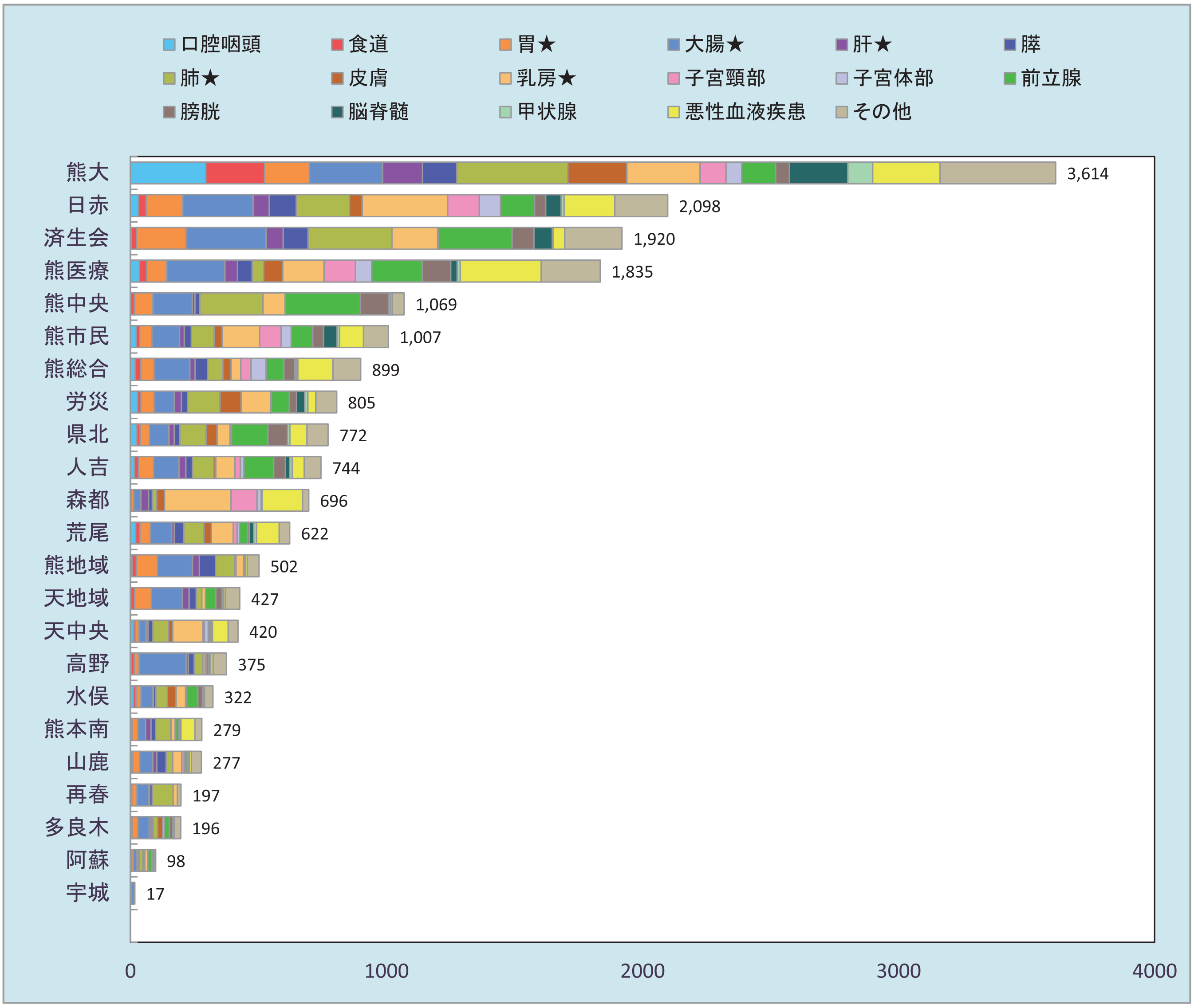
※　stage不明や分類なしなどで 放射線療法　302件
内分泌療法　23件

13. 診断年別　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）



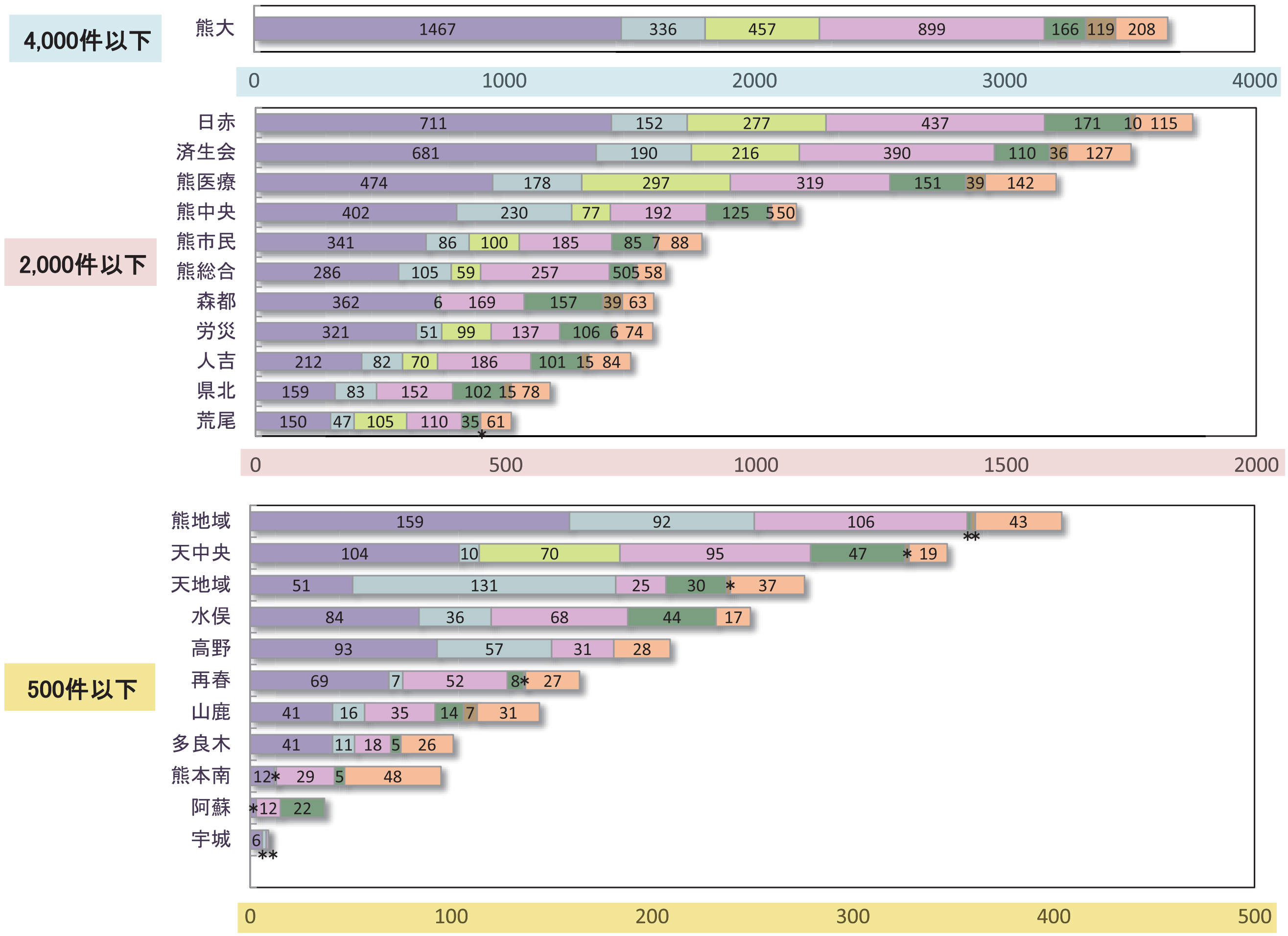
※　収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
※　患者重複、多重がん等含めた件数である。

14. 施設別　主要部位別登録件数

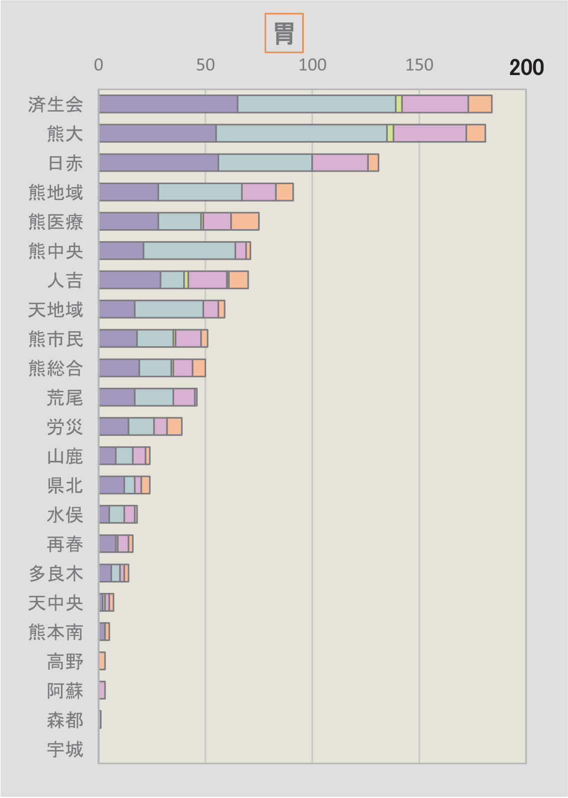


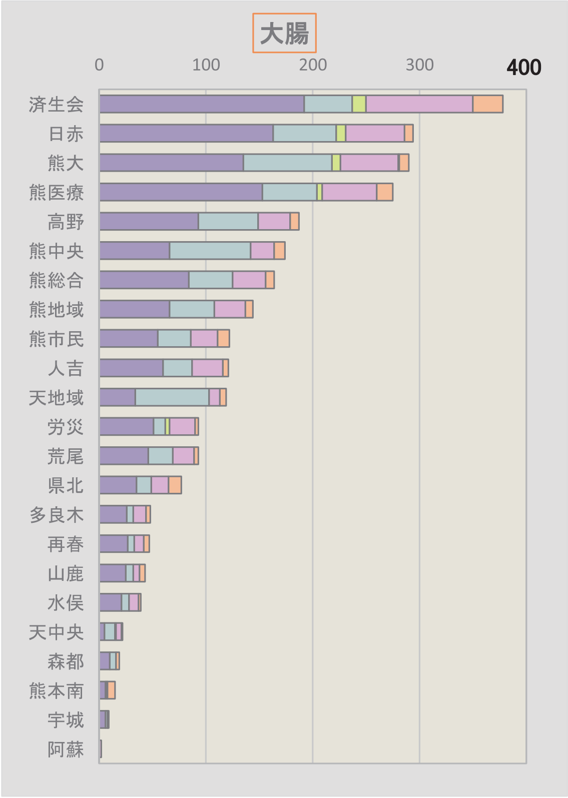
※　患者重複、多重がん等含めた件数である。

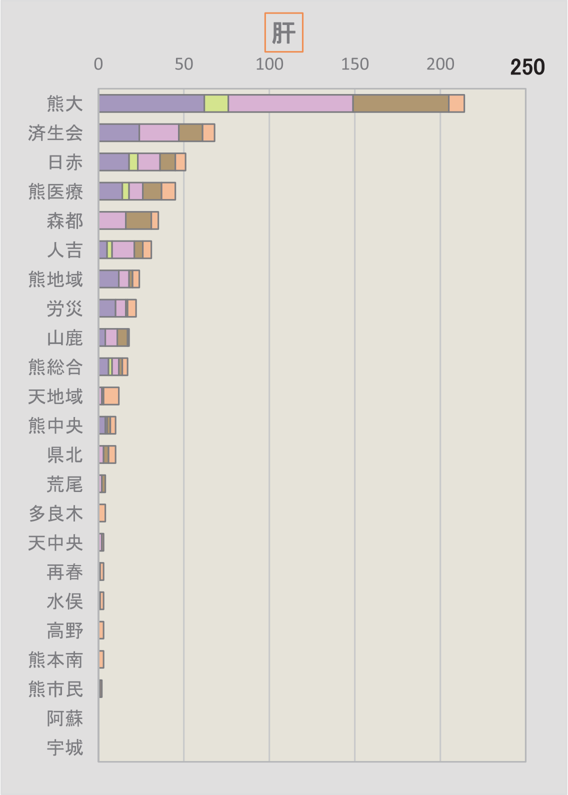
15. 施設別　治療（初回治療開始+初回治療継続）件数

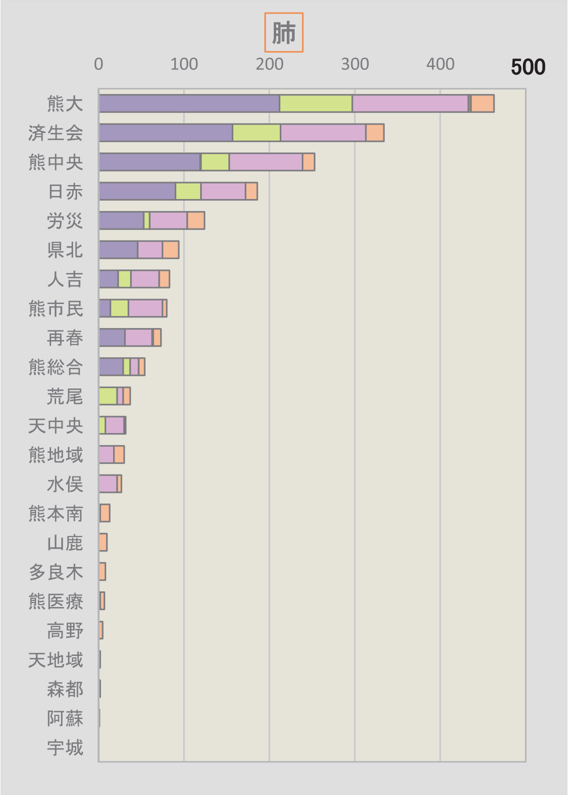


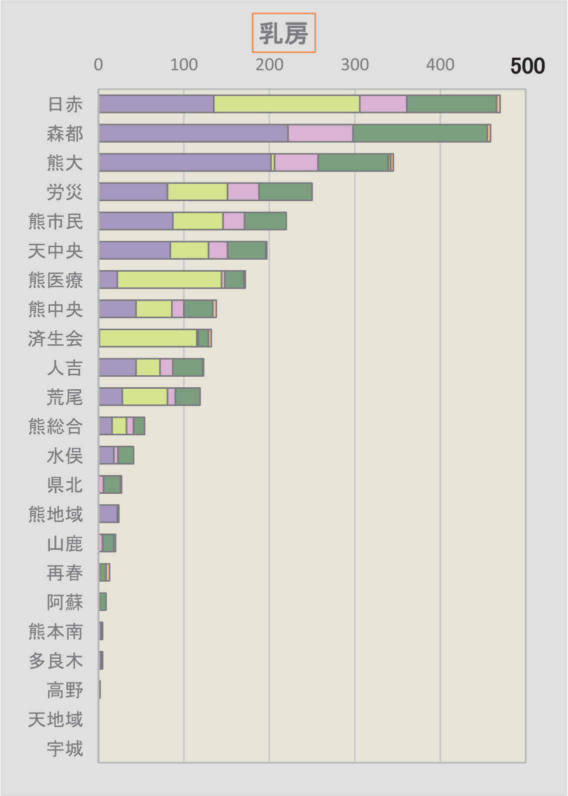
16. 5大部位別　施設別治療の内訳







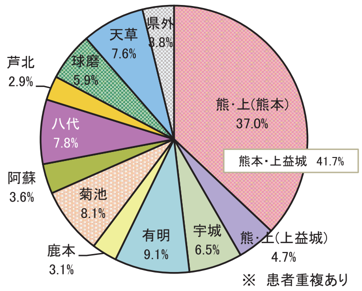




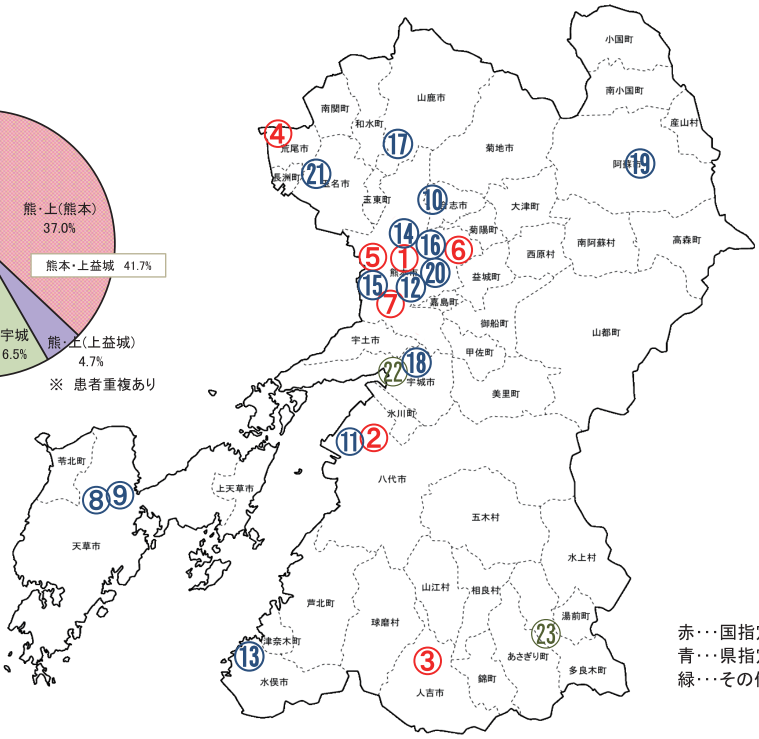
◇　15. 16. 共通

※　治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

17. 施設別　患者住所構成割合

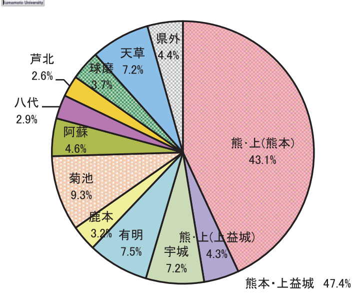


※　患者重複あり

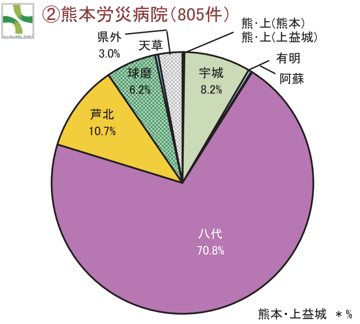


赤・・・国指定のがん診療連携拠点病院
青・・・県指定　　　　〃
緑・・・その他がん登録部会参加施設

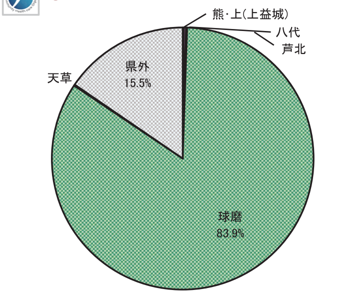
①熊本大学病院（3,614件）



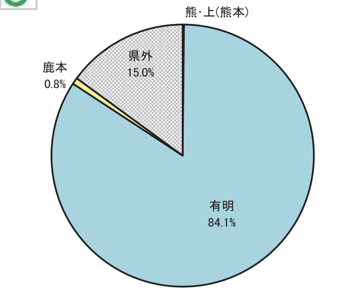
②熊本労災病院（805件）



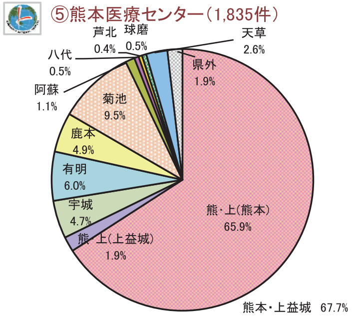
③人吉医療センター（744件）



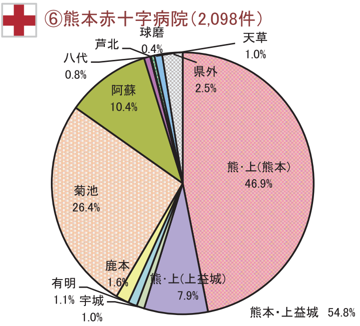
④有明医療センター（622件）



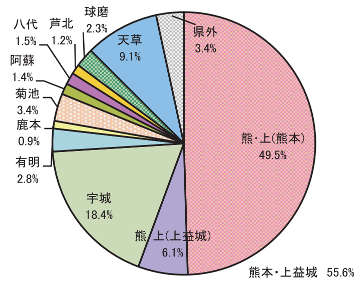
⑤熊本医療センター（1,835件）



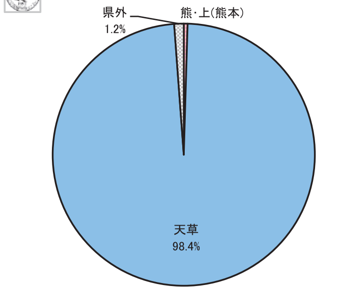
⑥熊本赤十字病院（2,098件）



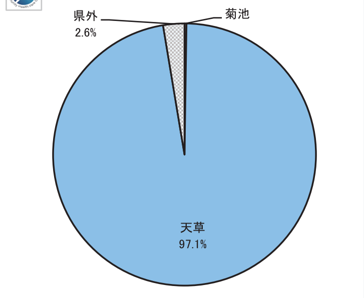
⑦済生会熊本病院（1,920件）



⑧天草地域医療センター（427件）

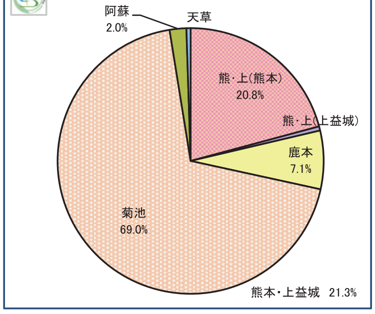


⑨天草中央総合病院（420件）

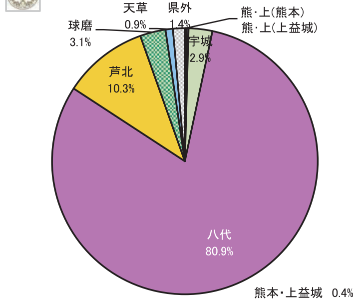


※ 3件以下の地域は%が非表示

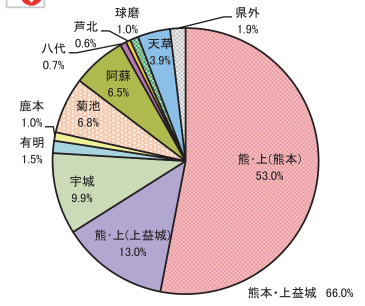
⑩熊本再春医療センター（197件）



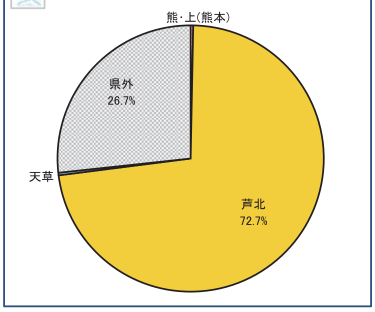
⑪熊本総合病院（899件）



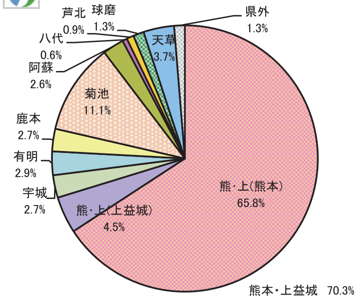
⑫熊本中央病院（1,069件）



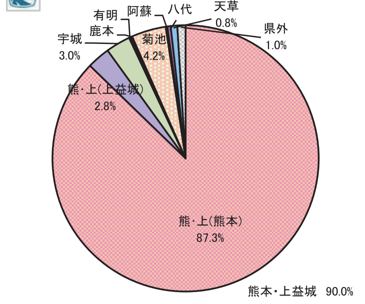
⑬水俣市立総合医療センター（322件）



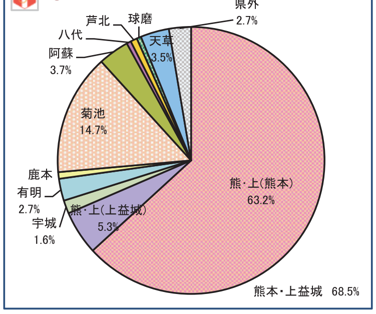
⑭くまもと森都総合病院（696件）



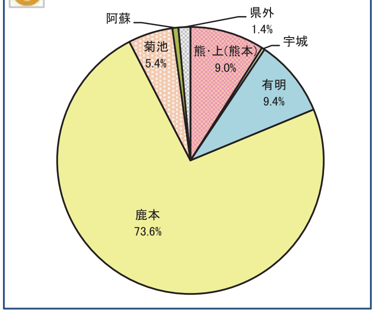
⑮熊本地域医療センター（502件）



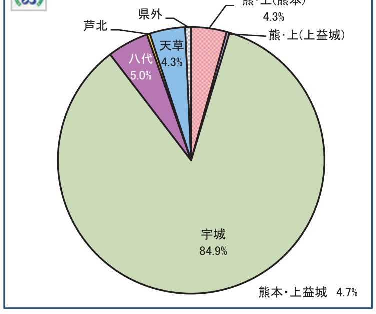
⑯高野病院（375件）



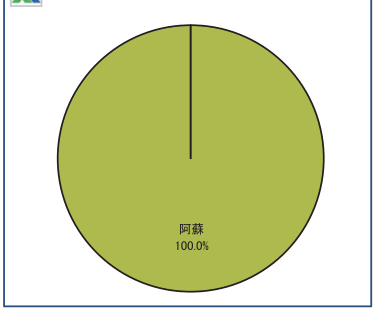
⑰山鹿市民医療センター（277件）



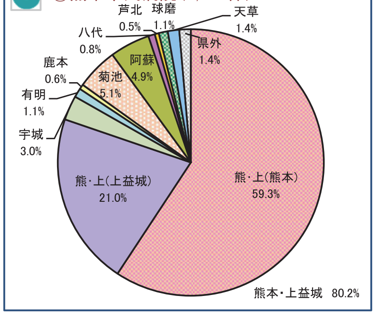
⑱熊本南病院（279件）



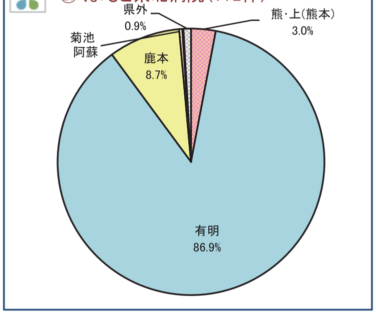
⑲阿蘇医療センター（98件）



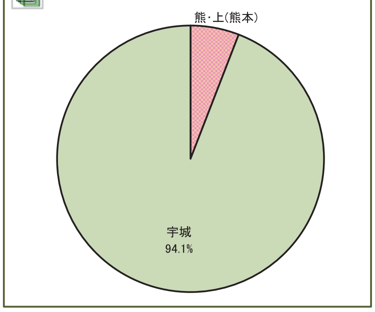
⑳熊本市民病院（1,007件）



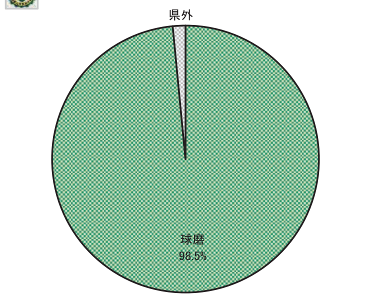
㉑くまもと県北病院（772件）



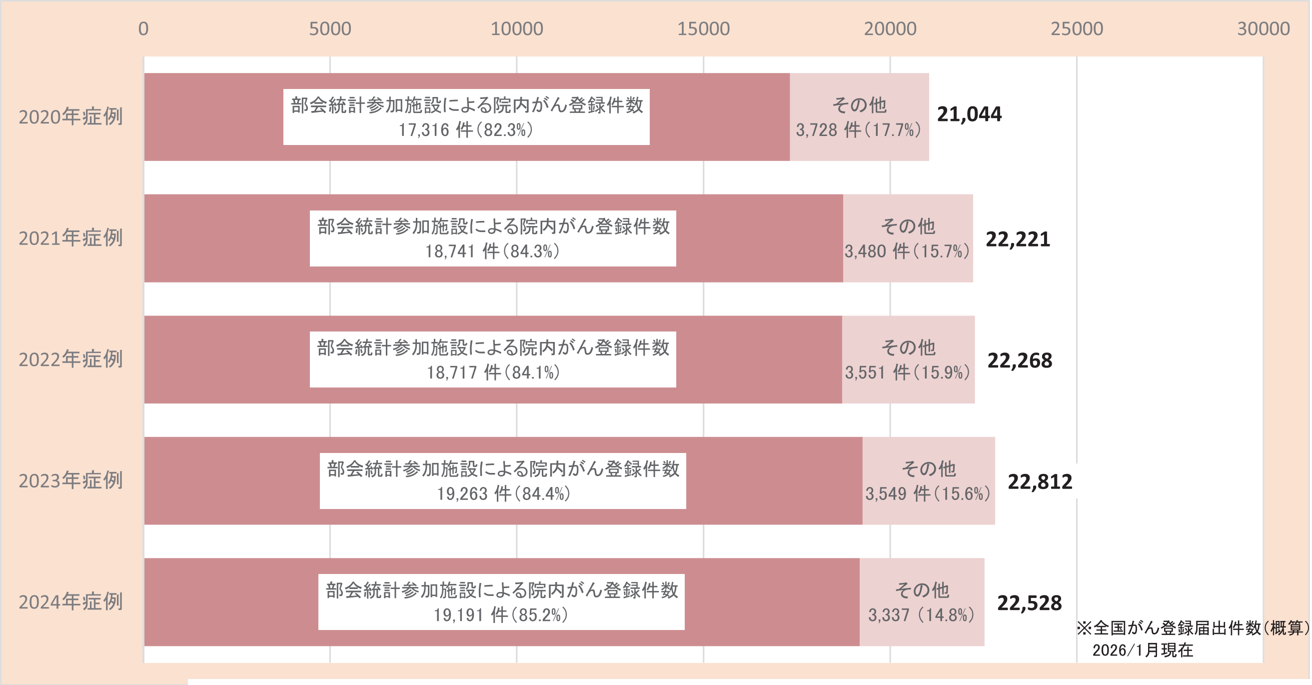
㉒宇城総合病院（17件）



㉓多良木病院（196件）



18. 診断年別　部会統計参加施設による全国がん登録届出状況（概算）



＊このグラフは、院内がん登録でどの程度全国がん登録をカバーしているかを見るためのものである。（院内がん登録では同一患者同一がんを1件に集約する作業はしないため患者重複がある。また全国がん登録届出件数は概算値のため該当年以外の診断症例も含まれている点に留意。院内・全国がん登録は集約方法等が異なるため、あくまで参考値とする。）
＊部会統計参加施設による院内がん登録件数は、2025年12月に当部会へ提出された各施設の院内がん登録件数の集計数。（部会統計については、収集年によって参加施設数、件数ともに変化している。）
＊その他は、部会統計参加施設以外の施設と参加施設の追加提出分などの件数。
＊全国がん登録届出件数（概算）は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。また件数は、集計年の12月～1月現在の届出数で概算のため確定値ではないが、参考値でもあるため原則、再掲はしない。

（参考）熊本県の全国がん登録届出医療機関数と全国がん罹患数

診断年	病院 届出数/病院数	診療所 届出数/指定診療所数	全国がん罹患数
2020年	**118** /211	**19** /60	14,916（13,237）
2021年	**88** /208	**13** /59	15,876（14,104）
2022年	**80** /206	**8** /57	15,706（13,991）
2023年	**75** /206	**10** /58	16,056（14,281）
2024年	**75** /203	**10** /58	2026/1月現在未公表

＊全国がん登録届出数/病院数及び指定診療所数は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。
＊原則、該当年の全国がん登録届出数/病院数及び指定診療所数は、集計年の12月～1月現在の件数であるため未確定値となる。次回作成時に再掲予定。
＊全国がん罹患数は、厚生労働省HP「全国がん登録罹患数・率報告（熊本県の部分）」より出典した。表の（　）内は上皮内がんを除いた件数。

（参考）熊本県の病院数と病床数（R6(2024).4.1現在）

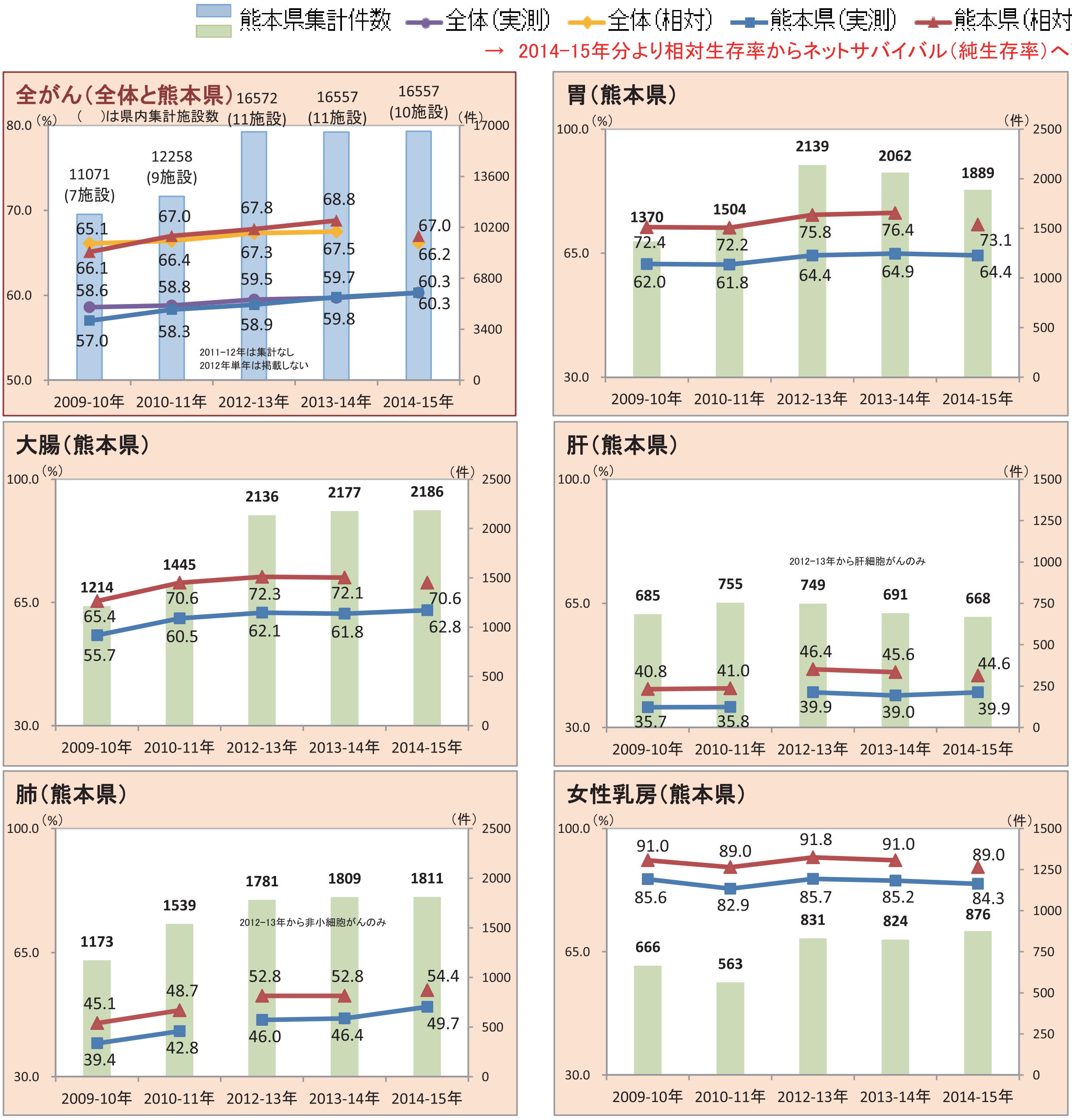
医療圏	病院数			病院病床数			診療所数			診療所病床数		
	2023年	2024年	前年差	総数（2023年）	総数（2024年）	前年差	2023年	2024年	前年差	総数（2023年）	総数（2024年）	前年差
(熊本)	91	90	−1	14,701	14,553	−148	662	661	−1	1,480	1,429	−51
(上益城)	13	12	−1	1,159	1,109	−50	66	65	−1	133	114	−19
宇城	10	10	0	1,599	1,533	−66	73	71	−2	224	205	−19
有明	11	11	0	2,240	2,240	0	125	121	−4	433	407	−26
鹿本	6	6	0	826	826	0	44	43	−1	169	129	−40
菊池	16	16	0	2,977	2,923	−54	141	140	−1	283	262	−21
阿蘇	6	6	0	912	912	0	44	43	−1	66	46	−20
八代	11	11	0	2,321	2,272	−49	127	124	−3	373	316	−57
芦北	10	10	0	1,358	1,328	−30	46	44	−2	205	181	−24
球磨	11	11	0	1,444	1,444	0	83	82	−1	167	167	0
天草	18	18	0	2,632	2,622	−10	100	100	0	373	279	−94
計	203	201	−2	32,169	31,762	−407	1,511	1,494	−17	3,906	3,535	−371

＊該当年の件数は熊本県HP「医療施設一覧（令和6(2024)年4月1日現在）」より出典した。
＊同一覧の休止中医療機関も含む。
＊表の総数とは一般、療養、精神、結核、感染症病床の合計である。

19. 集計年別　5年生存率の推移（がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より）

◆がん診療連携拠点病院/該当年の院内がん登録全国集計にデータ提供を行った都道府県推薦病院のうち

令和7年度　公表なし



※　この頁は、国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターによる「院内がん登録5年生存率集計 報告書 付表2. 都道府県別5年生存率集計」のうち、主に熊本県の部分から出典した。
（ URL　https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html　）

※　この頁は、がん診療連携拠点病院等の一部施設のデータ集計値で5年生存率を算出したものである。ただしこれは県内のごく一部の医療機関の数値をまとめたものに過ぎず、部位・ステージ・合併症・年齢などの考慮は反映されていないため、必ずしも県全体の実態を表すものではないことに留意すること。

尚、同報告書の【施設数が少ない都道府県のデータについては、かなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。】との但し書きにある通り、数値については十分ご留意の上、参照していただきたい。

※　実測（生存率）とは、死因に関係なく全ての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

※　相対（生存率）とは、生存率を計算する対象者と同じ特性（性、年齢、暦年など）を持つ一般集団の期待生存確率より算出した期待生存率で実測生存率を割ることによって、他死因を補正する方法。期待生存率は国立がん研究センターが公表しているコホート生存率表を利用して求めている。

※　ネットサバイバル（純生存率）とは、期待生存率を算出することなく「がんのみが死因となる状況」を推計する、国際的にも広く採用されている方法。

Ⅱ　施設別統計

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医 療 機 関 名	国立大学法人熊本大学病院		

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号		
病　床　数	845床（一般795床；精神50床）		
追加情報	無菌室24床		
診 療 科 数	33科		
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24	がん登録開始基準日	2006.08.01
平均在院日数	12.0（日）		
入院患者数	20,046（人）		
外来患者延数	382,138（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	5
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　13,410（件）		
院内がん登録件数	3,614（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県の中心部に位置する都道府県がん診療連携拠点病院であり、県内唯一の特定機能病院である。特徴として、県内全域及び隣県の幅広い地域の患者様や、様々ながん腫の診療を行っていることがあげられる。

2024年の院内がん登録数は3,614件で、2023年より153件減少した。外来患者延数においては2023年の354,061人から382,138人（+28,077人）へと増加していた。

部位別の上位5部位は、「肺（433）」・「口腔咽頭（294）」・「大腸（286）」・「乳房（286）」・「悪性血液（263）」となり、2023年に上位5部位であった「皮膚」より「悪性血液」の件数が上回った。前年件数との単純比較では、「乳腺」・「皮膚」・「前立腺」など10部位で減少していた。

本院では毎年「その他（452）」区分が最多となるが、その上位内訳は「腎（90）」・「胆嚢・肝外胆管（65）」・「喉頭（45）」であった。【⑥参照】

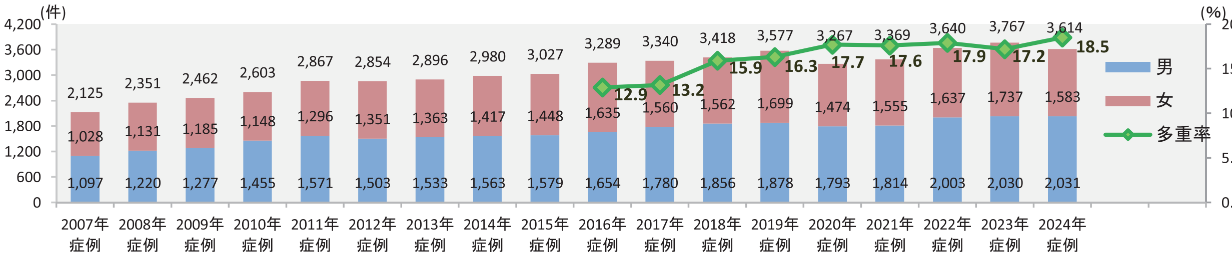
2024年登録における平均年齢は67.3歳（前年67.3歳）であった。男性の平均年齢は69.2歳（前年69.3歳）、女性は65.0歳（前年65.0歳）であり、男女ともに例年ほぼ横ばいである。【②参照】

性別年代別内訳（昨年度と比較）として、男性では0～15歳（13→20人）、15～39歳（45→57人）、40～49歳（84→102人）、50～59歳（184→165人）、60～69歳（493→499人）、70～79歳（871→808人）、80～89歳（308→335人）、90～歳（32→45人）となり、女性では0～15歳（11→9人）、15～39歳（121→124人）、40～49歳（168→146人）、50～59歳（264→244人）、60～69歳（378→323人）、70～79歳（469→434人）、80～89歳（283→257人）、90～歳（43→46人）となった。女性は、各年代とも減少または横ばいではあるが、男性は若年層の罹患率が増加していた。【⑤参照】

初回治療については各々積算ではあるが、切除術(外科、鏡視下、内視鏡)1803件（前年：1917件）、放射線療法457件（前年：426件）、化学療法898件（828件）、内分泌療法167件（前年：215件）、その他治療（RFA、レーザー治療、免疫療法など）119件（前年：123件）、経過観察のみ(症状緩和治療のみ含む)208件（前年：204件）であった。切除術が最も多くなっており、その中には手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術も含まれている。昨年より切除術が114件減少し、化学療法が70件増加していた。【⑨参照】

本院は、2024年8月に第三者評価として公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院3（3rdG：Ver3.0）の更新審査を受審し、2025年2月付けで認定された。今回の認定に満足せず、今後も「高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する」という理念に基づき、更なる医療の質の向上に努めていきたい。

診断年別登録件数（参考）



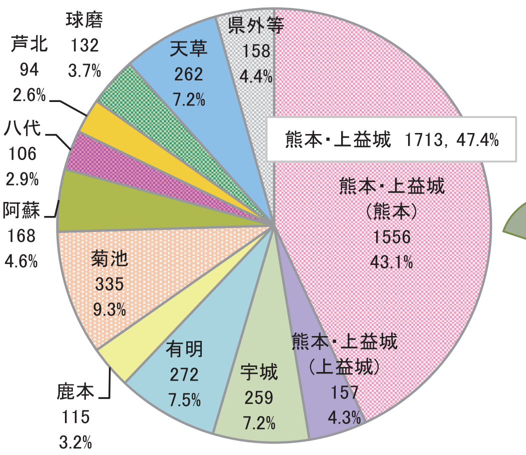
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

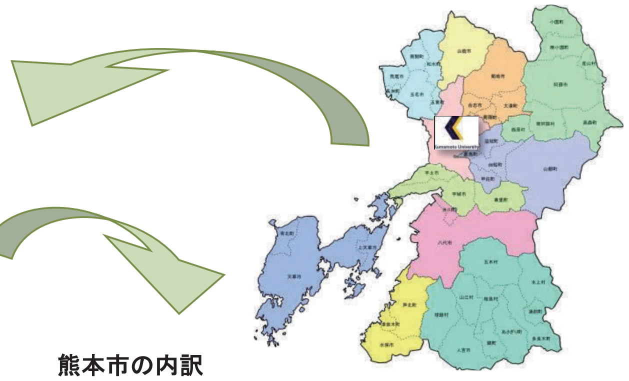
熊本大学病院

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

熊本大学病院　（3,614件）

※　全般において3件以下は*又は非表示





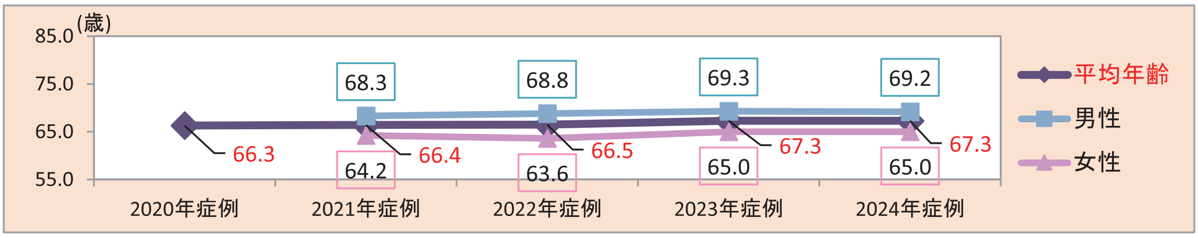
熊本市の内訳

◇　医療圏別上位5部位

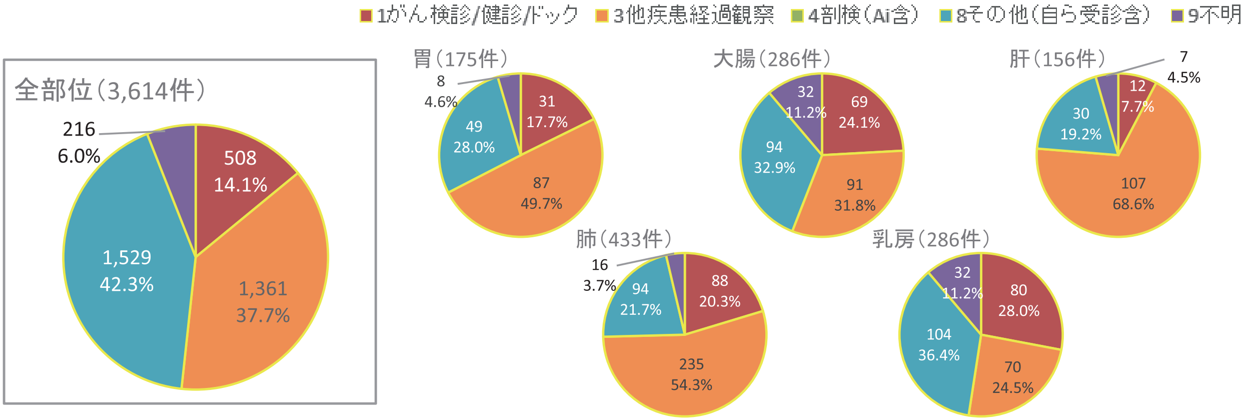
医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊・上（熊本）	肺	226	有明	その他	41	阿蘇	口腔咽頭	22	球磨	その他	22
	その他	181		乳房	40		その他	22		皮膚	20
	大腸	139		肺	24		大腸	19		口腔咽頭	14
	乳房	135		脳脊髄	21		食道	14		肺	11
	口腔咽頭	128		口腔咽頭	20		皮膚	14		子宮頸部	9
熊・上（上益城）	悪性血液	18	鹿本	乳房	22	八代	その他	18	天草	肺	34
	その他	17		肺	11		悪性血液	15		その他	34
	食道	15		皮膚	10		皮膚	13		大腸	21
	口腔咽頭	14		悪性血液	9		口腔咽頭	9		食道	19
	脳脊髄	14		その他	8		脳脊髄	9		皮膚	19
宇城	皮膚	28	菊池	肺	42	芦北	肺	14	県外等	その他	30
	肺	26		その他	42		その他	14		大腸	14
	大腸	24		口腔咽頭	30		乳房	11		肺	14
	その他	23		大腸	26		膵	10		該当部位	各12
	該当部位	各18		食道	24		口腔咽頭	6		〃	各11

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

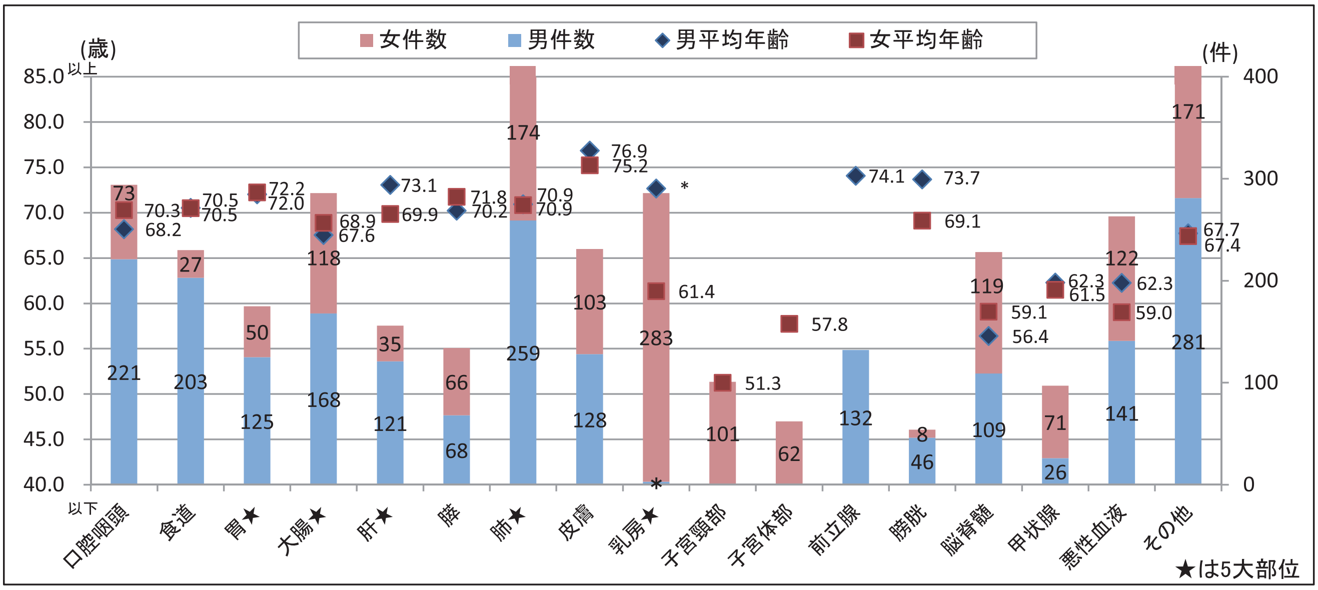
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
その他	281
肺	259
口腔咽頭	221
食道	203
大腸	168
悪性血液	141
前立腺	132
皮膚	128
胃	125
肝	121
脳脊髄	109
膵	68
膀胱	46
甲状腺	26
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	2,031

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
脳脊髄	9	脳脊髄	17	その他	23	口腔咽頭	27
悪性血液	8	その他	10	口腔咽頭	15	その他	21
該当部位	*	大腸	8	悪性血液	14	食道	19
		悪性血液	8	大腸	10	肺	19
		甲状腺	4	脳脊髄	10	大腸	15
		該当部位	各*	など		など	
計	20	計	57	計	102	計	165

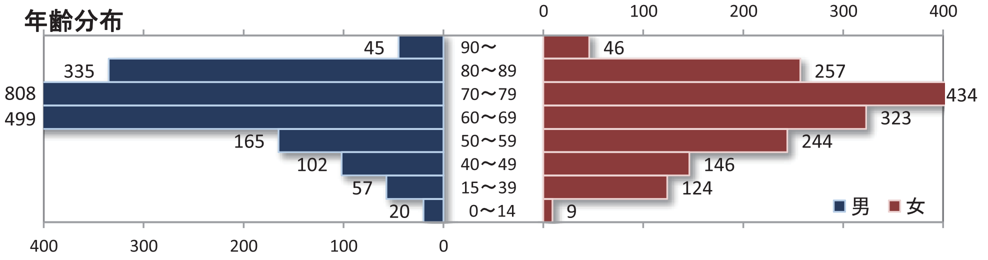
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肺	70	肺	116	皮膚	51	皮膚	16
口腔咽頭	64	その他	110	その他	50	口腔咽頭	5
その他	62	食道	84	肺	41	肝	5
食道	61	口腔咽頭	82	食道	33	前立腺	4
大腸	55	前立腺	73	大腸	26	悪性血液	4
など		など		など		該当部位	各*
計	499	計	808	計	335	計	45

女性

女性全体	
乳房	283
肺	174
その他	171
悪性血液	122
脳脊髄	119
大腸	118
皮膚	103
子宮頸部	101
口腔咽頭	73
甲状腺	71
膵	66
子宮体部	62
胃	50
肝	35
食道	27
膀胱	8
前立腺	
計	1,583

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
脳脊髄	4	子宮頸部	32	乳房	48	乳房	62
悪性血液	4	乳房	19	子宮頸部	17	悪性血液	25
該当部位	*	悪性血液	17	脳脊髄	14	その他	25
		脳脊髄	15	その他	12	肺	20
		子宮体部	9	甲状腺	10	子宮頸部	19
		など		など		など	
計	9	計	124	計	146	計	244

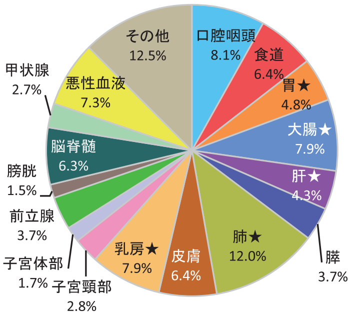
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	64	肺	76	皮膚	36	皮膚	17
その他	41	乳房	58	肺	32	その他	6
肺	33	その他	52	乳房	29	口腔咽頭	4
大腸	29	大腸	42	その他	27	肺	4
脳脊髄	27	悪性血液	39	口腔咽頭	23	甲状腺	4
など		など		など		該当部位	各*
計	323	計	434	計	257	計	46



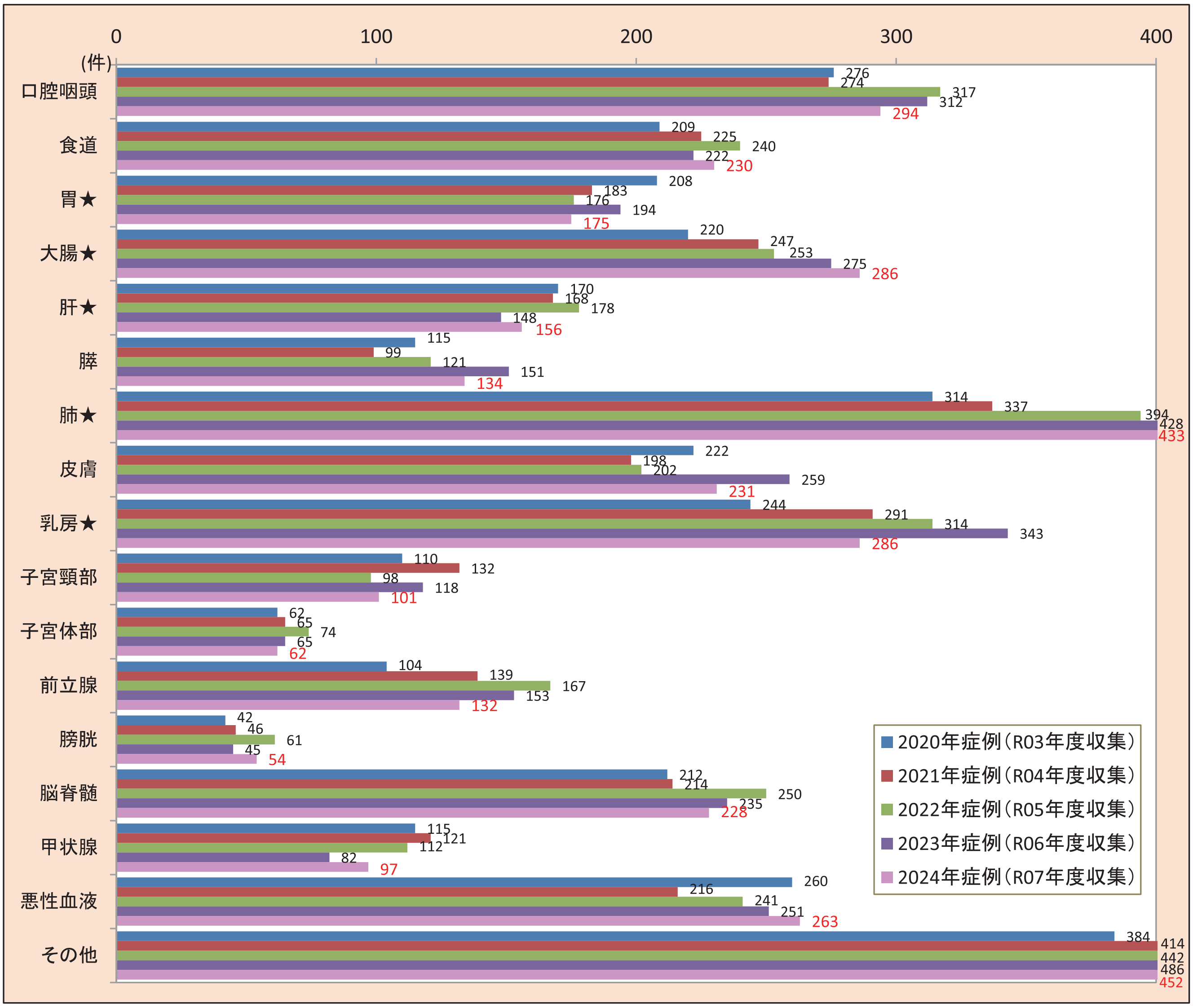
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	276	274	317	312	294
食道	209	225	240	222	230
胃★	208	183	176	194	175
大腸★	220	247	253	275	286
肝★	170	168	178	148	156
膵	115	99	121	151	134
肺★	314	337	394	428	433
皮膚	222	198	202	259	231
乳房★	244	291	314	343	286
子宮頸部	110	132	98	118	101
子宮体部	62	65	74	65	62
前立腺	104	139	167	153	132
膀胱	42	46	61	45	54
脳脊髄	212	214	250	235	228
甲状腺	115	121	112	82	97
悪性血液疾患	260	216	241	251	263
その他	384	414	442	486	452
計	3,267	3,369	3,640	3,767	3,614

2024年診断症例　主要部位別割合

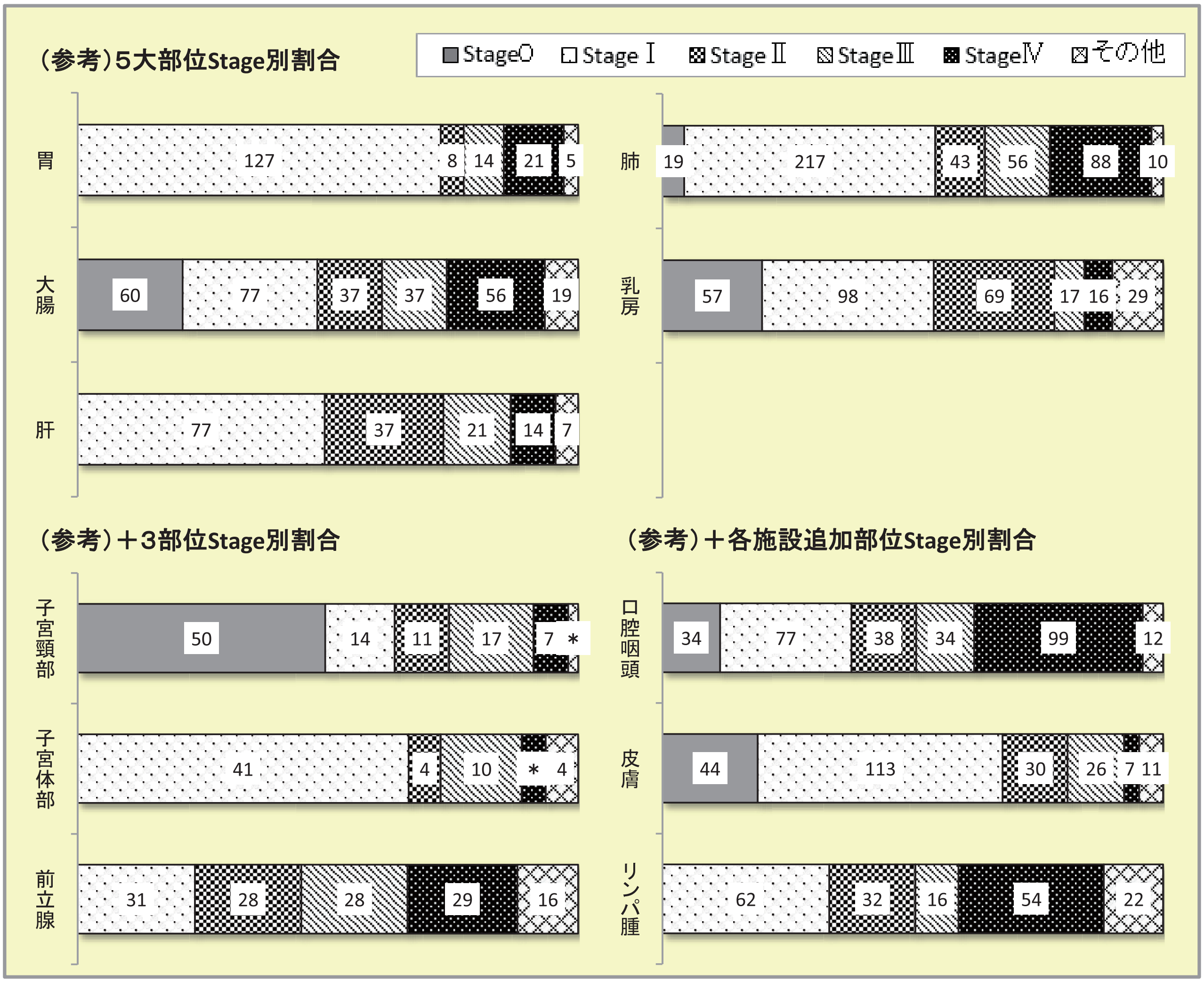


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

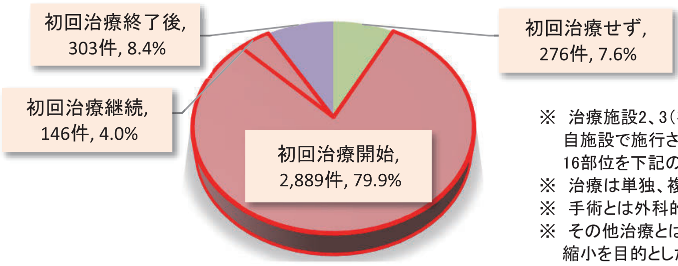
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	294	34	77	38	34	99	12
食道	230	＊	113	21	44	47	＊
胃★	175		127	8	14	21	5
大腸★	286	60	77	37	37	56	19
肝★	156		77	37	21	14	7
膵	134	10	39	17	15	39	14
肺★	433	19	217	43	56	88	10
皮膚	231	44	113	30	26	7	11
乳房★	286	57	98	69	17	16	29
子宮頸部	101	50	14	11	17	7	＊
子宮体部	62		41	4	10	＊	4
前立腺	132		31	28	28	29	16
膀胱	54	12	25	9	4	＊	＊
脳脊髄	228						228
甲状腺	97		57	18	7	＊	13
悪性血液疾患	263		62	32	16	54	99
その他	452	26	158	47	66	83	72
計	3,614	314	1326	449	412	567	546



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

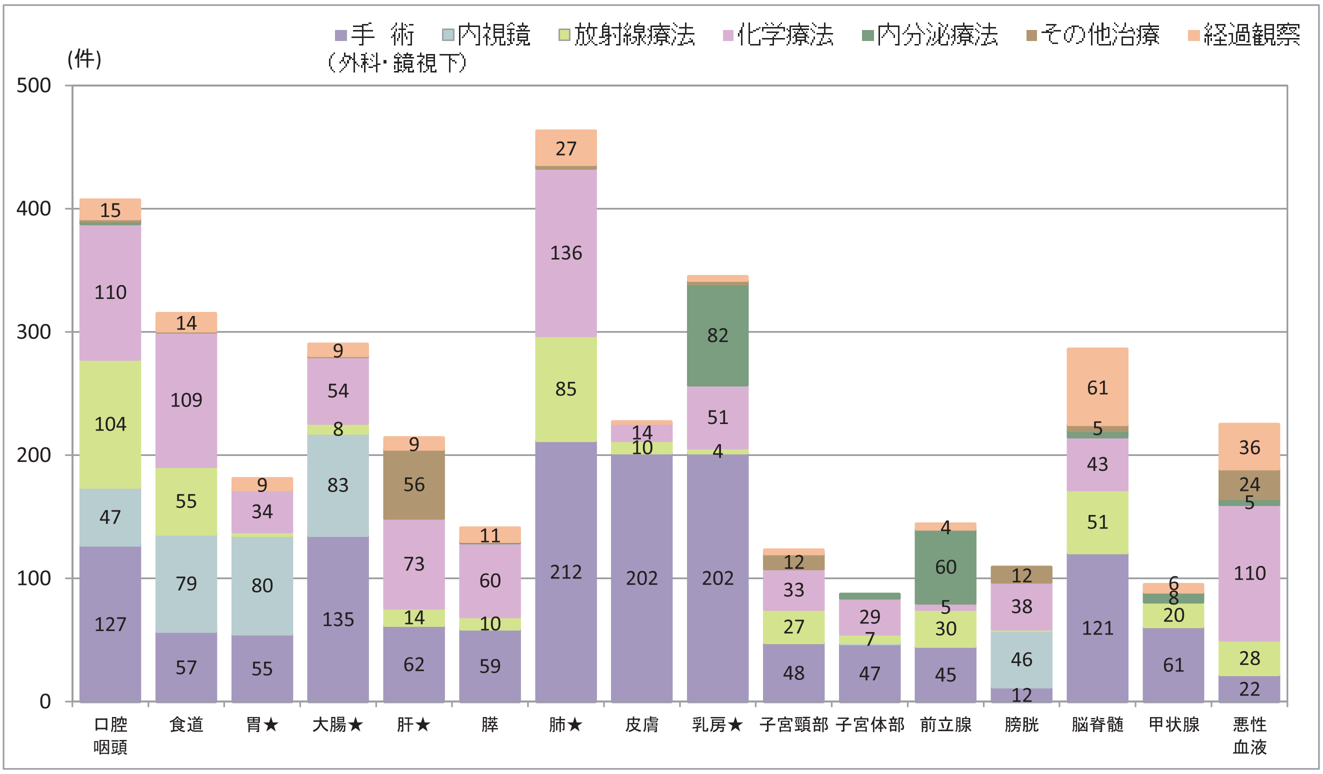
治療施設	件数
1初回治療せず	276
2初回治療開始	2,889
3初回治療継続	146
4初回治療終了後	303
8その他	
計	3,614



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

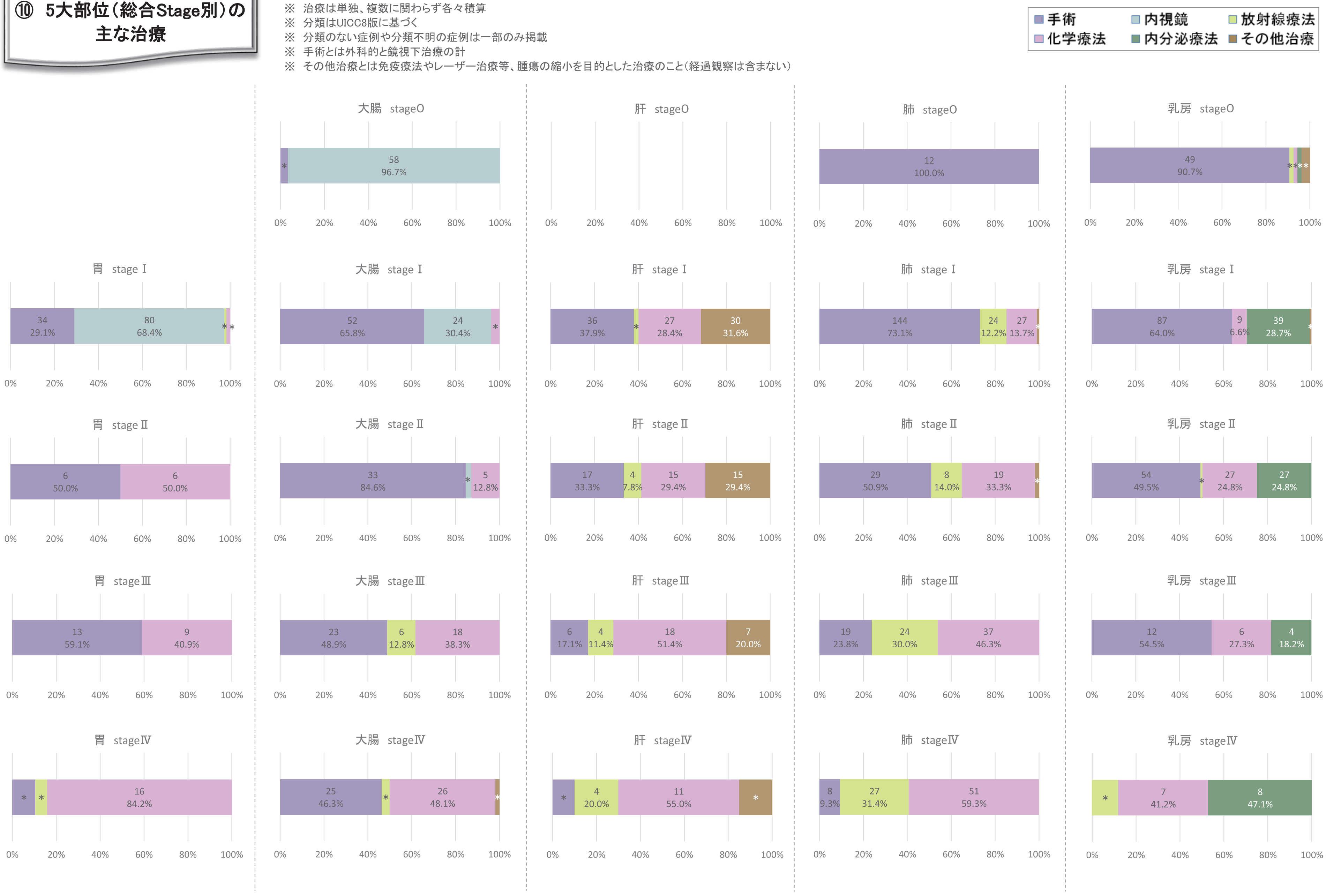
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ 切除など）	不明
口腔咽頭	127	47	104	110	*	*	15	407	72.3%	2.9%	24.9%
食道	57	79	55	109		*	14	315	93.9%	1.5%	4.5%
胃★	55	80	*	34			9	181	93.2%	2.3%	4.5%
大腸★	135	83	8	54		*	9	290	88.8%	3.4%	7.8%
肝★	62		14	73		56	9	214	93.5%	0.0%	6.5%
膵	59		10	60	*		11	141	74.6%	13.6%	11.9%
肺★	212		85	136		*	27	463	90.1%	1.9%	8.0%
皮膚	202		10	14			*	227	97.5%	0.5%	2.0%
乳房★	202		4	51	82	*	*	345	95.5%	3.5%	1.0%
子宮頸部	48		27	33		12	*	123	91.7%	2.1%	6.3%
子宮体部	47	*	7	29	*			87	95.8%	2.1%	2.1%
前立腺	45		30	5	60		4	144	86.7%	11.1%	2.2%
膀胱	12	46	*	38		12		109	93.6%	0.0%	6.4%
脳脊髄	121		51	43	5	5	61	286	23.3%	53.3%	23.3%
甲状腺	61		20		8		6	95	70.5%	1.6%	27.9%
悪性血液疾患	22		28	110	5	24	36	225	4.5%	68.2%	27.3%
計	1,467	336	457	899	166	119	208	3,652			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構　熊本労災病院

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

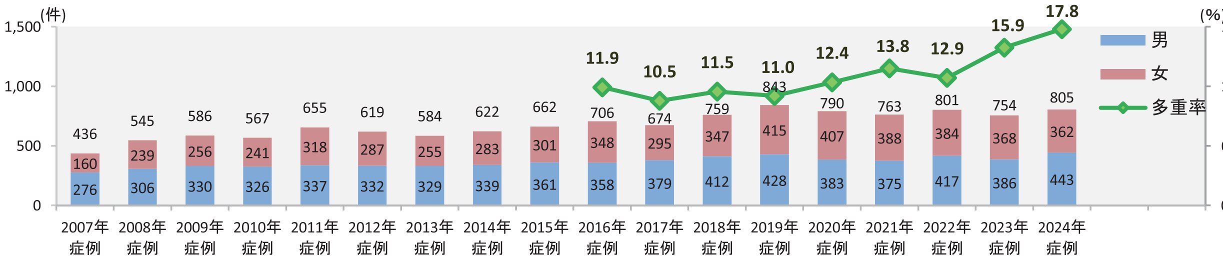
所　在　地	八代市竹原町1670		
病　床　数 追加情報	410床（一般410床）		
診療科数	27科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	12.8（日）		
入院患者数	9,156（人）		
外来患者延数	143,435（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　9,500（件/概算）		
院内がん登録件数	805（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県第二の都市である八代市に位置し、熊本県南地域における中核病院の1つとして救急医療をはじめとする地域の高度専門医療を担っている。がん診療においても担当医療圏である八代が71％を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると思われる。
◇2024年登録件数　805件（前年より51件増加）
◇部位別登録件数（上位5部位）　①肺127件　②乳房116件　③皮膚82件　④大腸80件　⑤前立腺70件
◇男女別登録件数　男性443件（55％）　女性362件（45％）
◇平均年齢　74．2歳（男性75．4歳　女性72．7歳）
◇患者住所の割合　①八代70．8％　②芦北10．7％　③宇城8．2％　④球磨6．2％

登録件数は前年より51件増加した。最も多かった部位は前年同様、肺127件（前年125件）であった。
自施設初回治療もしくはその継続治療を行った症例651件は手術（外科、鏡視下、内視鏡）372件、放射線療法99件、化学療法137件、内分泌療法106件であり手術が最も多くなっている。中でも手術件数が多いのは乳房81件、皮膚68件、大腸62件であった。
登録患者の平均年齢は74．2歳で、例年同様高い傾向にある。これは地域特性として、若年層の都市部への流出により地域全体に高齢者が多いこと、また、若い検診受診者はインターネットなどで情報を集め移動も容易であるため熊本市内の病院を受診する傾向にあること、交通手段の少ない高齢者は検診を受けず、症状が出現して地域の基幹病院を受診する傾向にあることなどが影響しているものと思われる。
治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。しかし、治療が可能な症例については熊本県が推進している「医科歯科連携」などを積極的に行い、がん患者が安心して治療を受けることができるような体制づくりを行っている。
八代医療圏からの紹介が多く、がん相談支援センターを中心とした「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援、「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施、「私の日記」の導入など、地域医療の質の充実を推進している。12月に初めて八代地区でのピアサポーター養成研修が当院で開催された。がんに関する情報提供と啓発活動として、ピンクリボン運動推進イベントの開催、禁煙週間に合わせて禁煙に関する資料の展示、ACP（人生会議）に関する資料の展示、がん検診のPR活動を八代市立図書館で八代市保健センター・がん連携サポートセンターと連携し行った。

診断年別登録件数（参考）

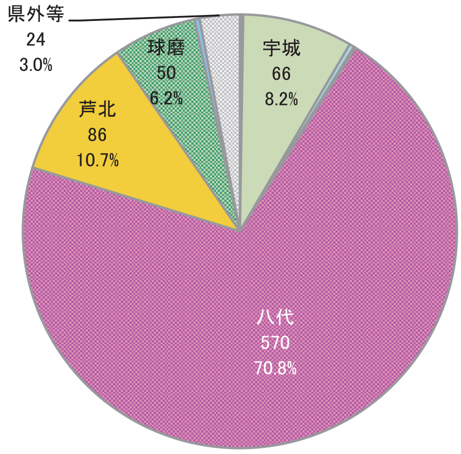


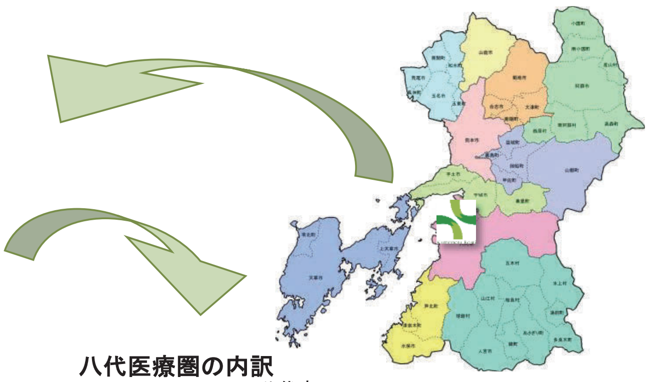
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

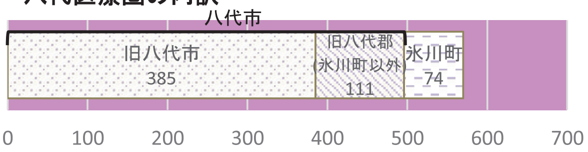
熊本労災病院　（805件）





※（熊本）、（上益城）、有明、阿蘇、天草は1～3

八代医療圏の内訳

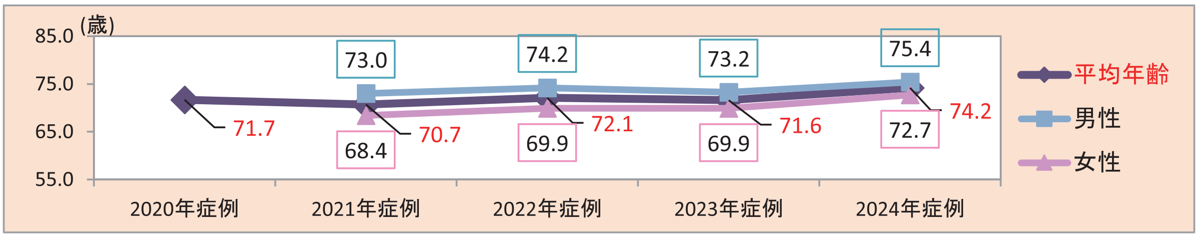


◇　医療圏別上位5部位

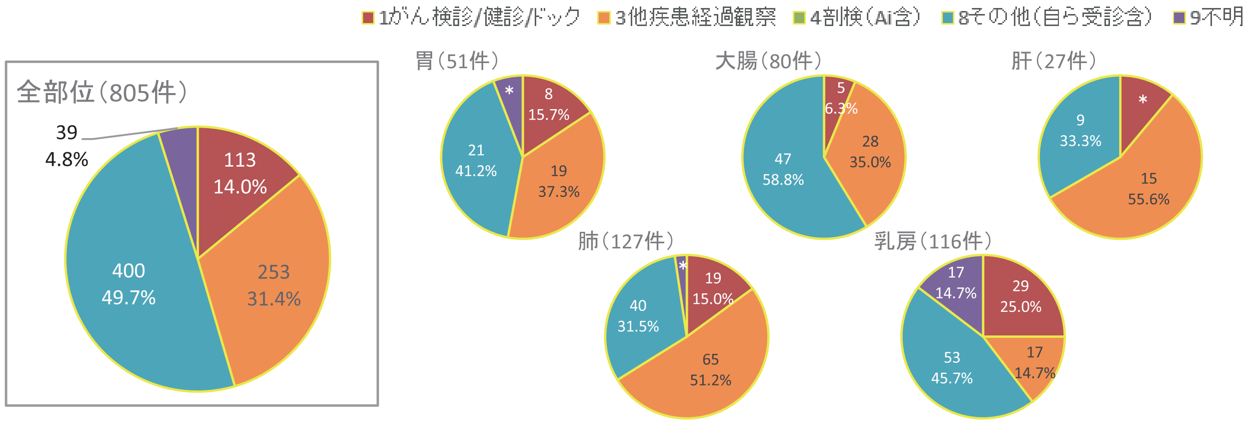
熊・上（熊本）	該当部位	*	有明	該当部位	各*	阿蘇	該当部位	*	球磨	皮膚	24
										乳房	12
										肺	4
										その他	4
										該当部位	各*
熊・上（上益城）	該当部位	*	鹿本			八代	肺	90	天草	該当部位	各*
							乳房	70			
							大腸	64			
							前立腺	57			
							その他	56			
宇城	皮膚	15	菊池			芦北	肺	21	県外等	肺	7
	その他	10					乳房	17		乳房	7
	乳房	9					大腸	8		該当部位	各*
	前立腺	7					その他	6			
	該当部位	各6					該当部位	各5			

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

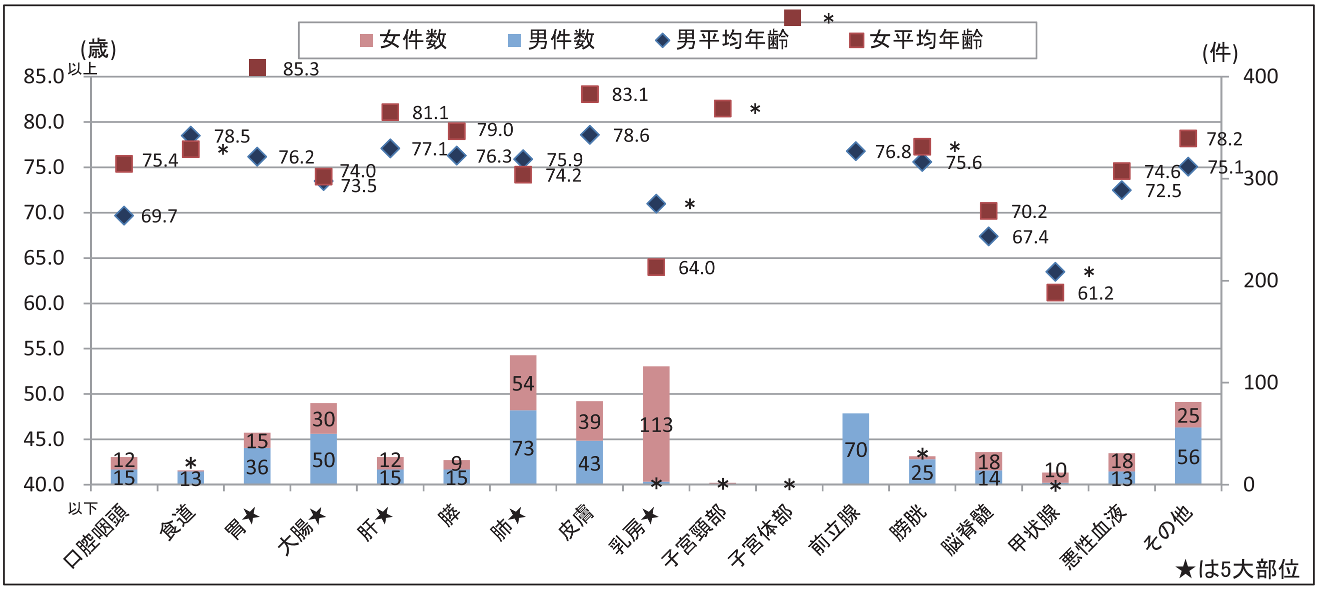
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	73
前立腺	70
その他	56
大腸	50
皮膚	43
胃	36
膀胱	25
口腔咽頭	15
肝	15
膵	15
脳脊髄	14
食道	13
悪性血液	13
乳房	*
甲状腺	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	443

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
計	*	計	*	計	8	計	13

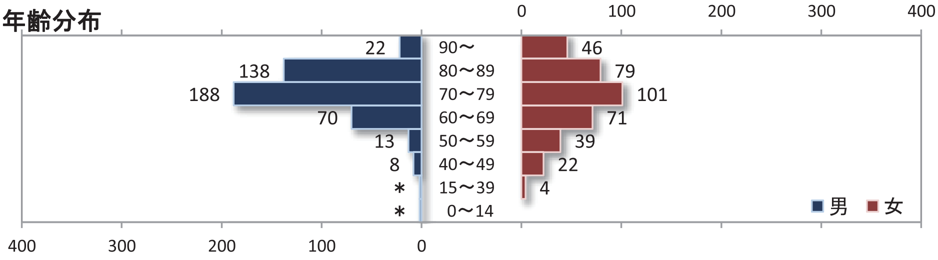
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
その他	11	前立腺	39	肺	23	皮膚	4
前立腺	8	肺	36	皮膚	21	該当部位	各*
胃	7	その他	27	前立腺	21		
大腸	7	大腸	26	その他	17		
肺	7	胃	11	胃	15		
など		など		など			
計	70	計	188	計	138	計	22

女性全体	
乳房	113
肺	54
皮膚	39
大腸	30
その他	25
脳脊髄	18
悪性血液	18
胃	15
口腔咽頭	12
肝	12
甲状腺	10
膵	9
膀胱	*
子宮頸部	*
食道	*
子宮体部	*
前立腺	
計	362

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	乳房	16	乳房	26
				該当部位	各*	該当部位	各*
		計	4	計	22	計	39

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	30	乳房	24	肺	14	皮膚	16
肺	13	肺	18	乳房	14	その他	6
大腸	6	大腸	11	皮膚	12	胃	4
口腔咽頭	5	その他	10	胃	8	大腸	4
皮膚	5	該当部位	各6	該当部位	各5	肺	4
該当部位	各*	など		など		該当部位	各*
計	71	計	101	計	79	計	46

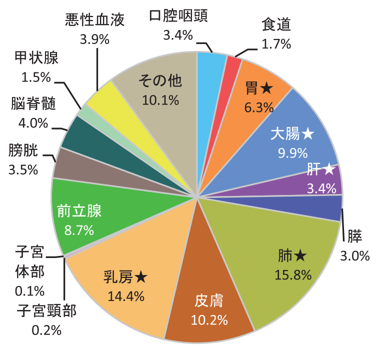
年齢分布



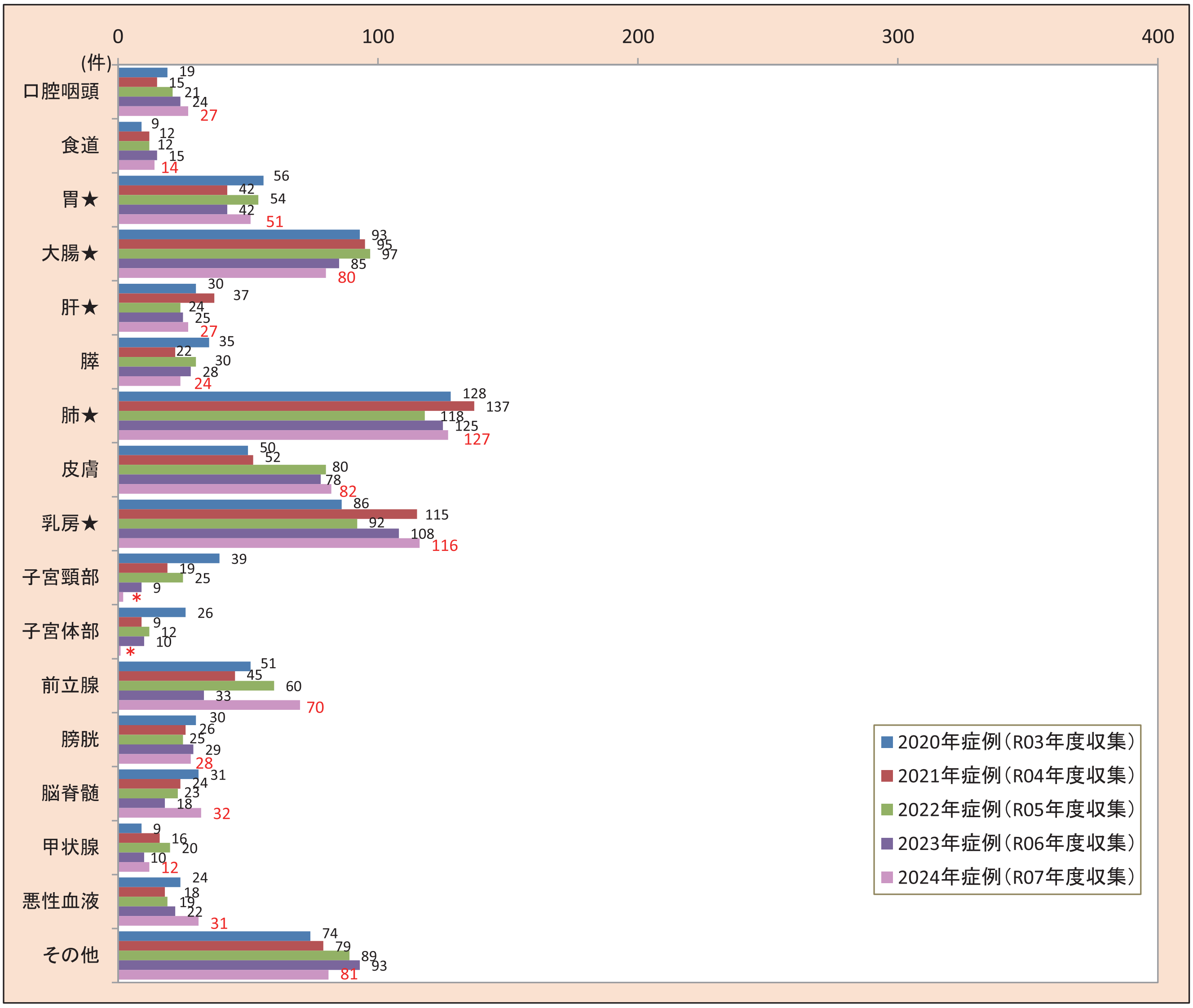
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	19	15	21	24	27
食道	9	12	12	15	14
胃★	56	42	54	42	51
大腸★	93	95	97	85	80
肝★	30	37	24	25	27
膵	35	22	30	28	24
肺★	128	137	118	125	127
皮膚	50	52	80	78	82
乳房★	86	115	92	108	116
子宮頸部	39	19	25	9	*
子宮体部	26	9	12	10	*
前立腺	51	45	60	33	70
膀胱	30	26	25	29	28
脳脊髄	31	24	23	18	32
甲状腺	9	16	20	10	12
悪性血液疾患	24	18	19	22	31
その他	74	79	89	93	81
計	790	763	801	754	805

2024年診断症例　主要部位別割合

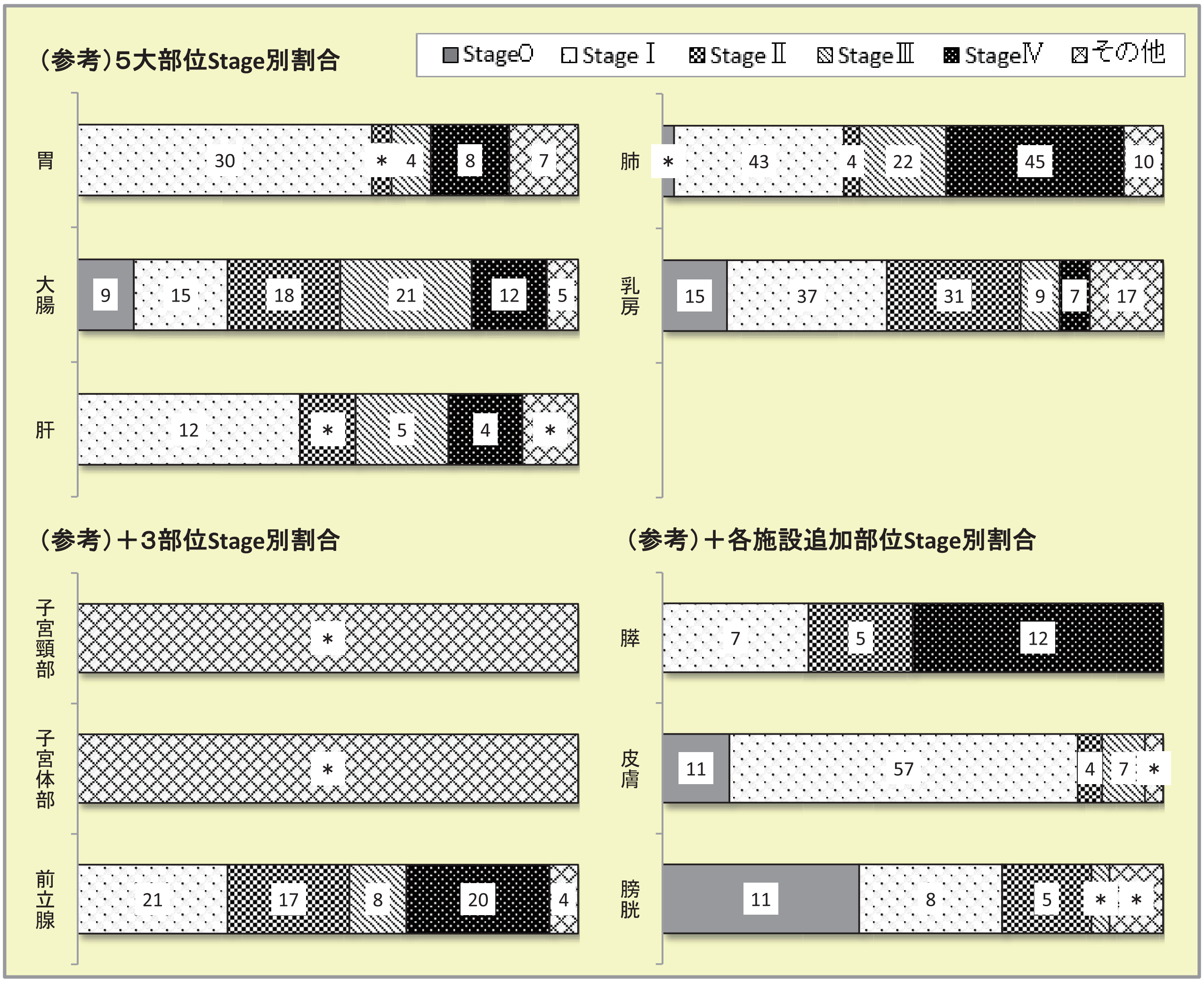


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

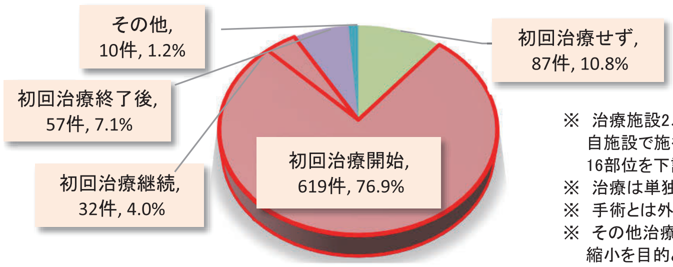
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	27	＊	＊	8	＊	7	6
食道	14	＊	8	＊	＊	＊	＊
胃★	51		30	＊	4	8	7
大腸★	80	9	15	18	21	12	5
肝★	27		12	＊	5	4	＊
膵	24		7	5		12	
肺★	127	＊	43	4	22	45	10
皮膚	82	11	57	4	7		＊
乳房★	116	15	37	31	9	7	17
子宮頸部	＊						＊
子宮体部	＊						＊
前立腺	70		21	17	8	20	4
膀胱	28	11	8	5	＊		＊
脳脊髄	32						32
甲状腺	12		7	＊	＊		＊
悪性血液疾患	31		8	＊	＊		19
その他	81	＊	21	8	11	14	24
計	805	54	276	111	95	130	139



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

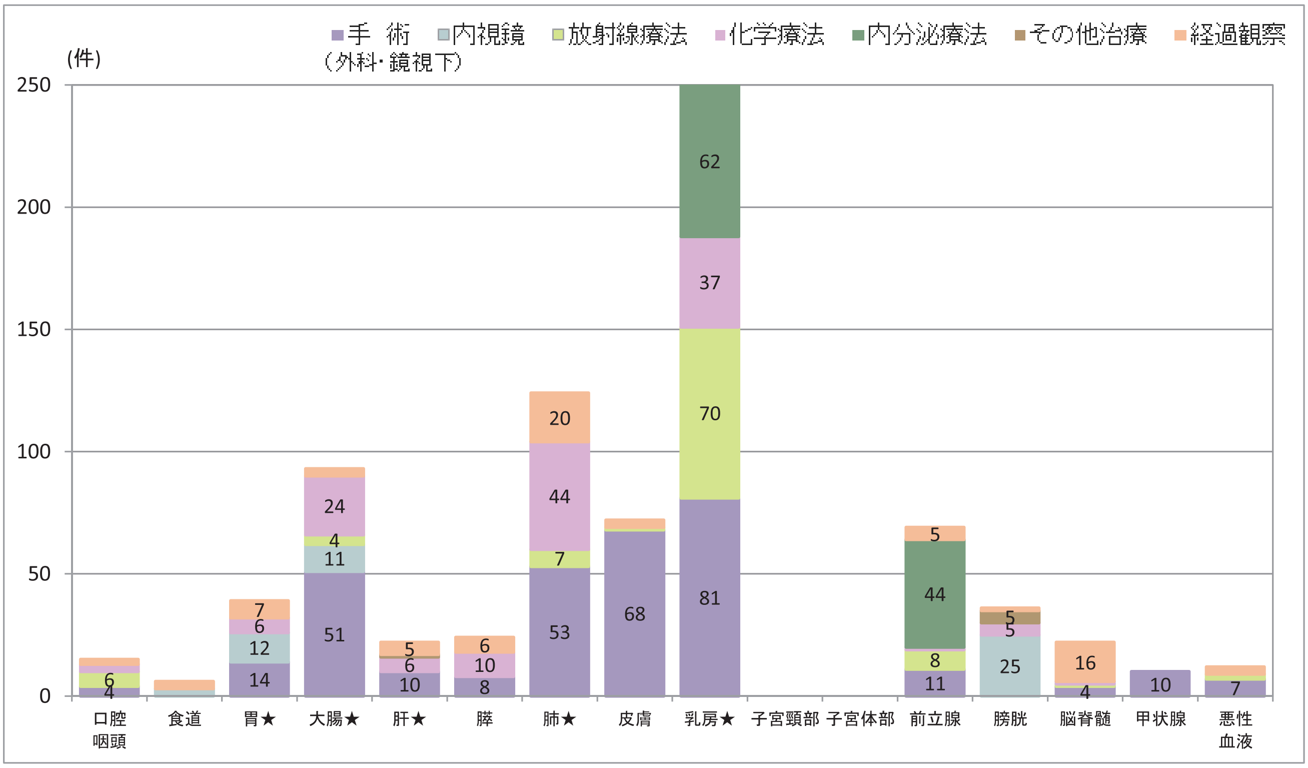
治療施設	件数
1初回治療せず	87
2初回治療開始	619
3初回治療継続	32
4初回治療終了後	57
8その他	10
計	805



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4		6	*			*	15	75.0%	25.0%	0.0%
食道		*					*	6	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	14	12		6			7	39	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	51	11	4	24			*	93	86.9%	9.8%	3.3%
肝★	10			6		*	5	22	80.0%	20.0%	0.0%
膵	8			10			6	24	87.5%	12.5%	0.0%
肺★	53		7	44			20	124	92.5%	7.5%	0.0%
皮膚	68		*				*	72	92.6%	7.4%	0.0%
乳房★	81		70	37	62			250	82.7%	17.3%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	11		8	*	44		5	69	63.6%	36.4%	0.0%
膀胱		25		5		5	*	36	44.0%	56.0%	0.0%
脳脊髄	4		*	*			16	22	75.0%	0.0%	25.0%
甲状腺	10							10	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	7		*				*	12	28.6%	42.9%	28.6%
計	321	51	99	137	106	6	74	794			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

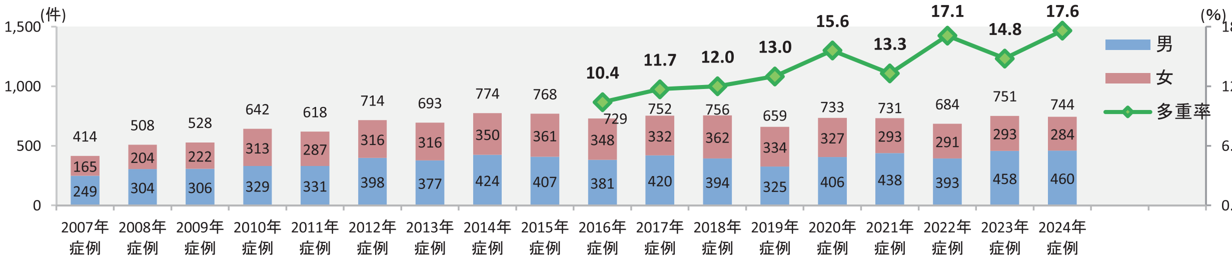
所　在　地	人吉市老神町35番地		
病　床　数 追加情報	252床（一般248床；感染症4床）		
診療科数	29科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31	がん登録開始基準日	2006.10.01
平均在院日数	12.2（日）		
入院患者数	6,416（人）		
外来患者延数	75,573（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	30
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　1,517（件）		
院内がん登録件数	744（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は熊本県南部に位置し、担当医療圏のみならず県境の宮崎県・鹿児島県からの受診も多い。がん診療は、手術、化学療法、放射線治療、温熱療法等の集学的治療から緩和ケアまで行える地域完結型医療の体制を整えている。血液内科については、2022年4月より診療体制縮小となっている。また「私のカルテ」による連携、「がんサロン」の開催、臨床心理士による精神面のサポート等、地域のがん診療拠点病院としてチーム医療、地域連携の充実に努めている。

【登録件数】 2024年登録件数は744件（男性460件、女性284件）で前年（751件）と比べ大きな変動はなかった。男女比は男性が61.8%（前年61%）、女性が38.2%（前年39%）。
【患者住所医療圏】 担当医療圏の割合は83.9%であった。圏外の割合は16.1%で、その多くが近県からの受診となっている。
担当医療圏は10市町村あるが、圏外の受診が多いため隣接する宮崎県えびの市は全体で4番目と上位に位置し、、鹿児島県伊佐市は7番目に位置している。
【年齢】 平均年齢は、全体72.7歳（前年71.8歳）、男性74.4歳（前年73歳）、女性70.0歳（前年69.9歳）で、男女共に前年と比較しやや高くなった。
年代別件数では70代が最も多く、次いで80代と、全体に占める70歳以上の割合は67.1%であった。
【部位】 登録数の上位5位は①前立腺②大腸③肺④乳房⑤胃の順であった。
前立腺は生検目的での受診も多く、初回治療ありの症例だけでみると①は大腸、②は前立腺で、他の部位の変動はなかった。
【主要部位別Stageと治療内容】
［胃］StageⅠが41.1%と早期がんの割合が高かった。手術については前年18件から29件と増加しており、うち25件が鏡視下での施行であった。
［大腸］Stage0-Ⅰの割合が46.7%で前年（38.1%）より増加していた。各Stageに大きな差はみられなかった。手術では95%が鏡視下により行われていた。
［肺］他の部位と比べStageⅣの割合が39.4%と高かった。治療は手術のみ、化学療法のみの症例が多かった。
［肝］前年と比べ化学療法が多く行われており、経過観察のみの割合は約2割であった。
［乳房］Stage0-Ⅰの割合が65.3%で全体の6割を占めていた。全体の89.8%に対して手術を行っており、術後の多くは補助療法として放射線療法、内分泌療法、化学療法等を施行している。手術単独のものは6.8%であった。

診断年別登録件数（参考）

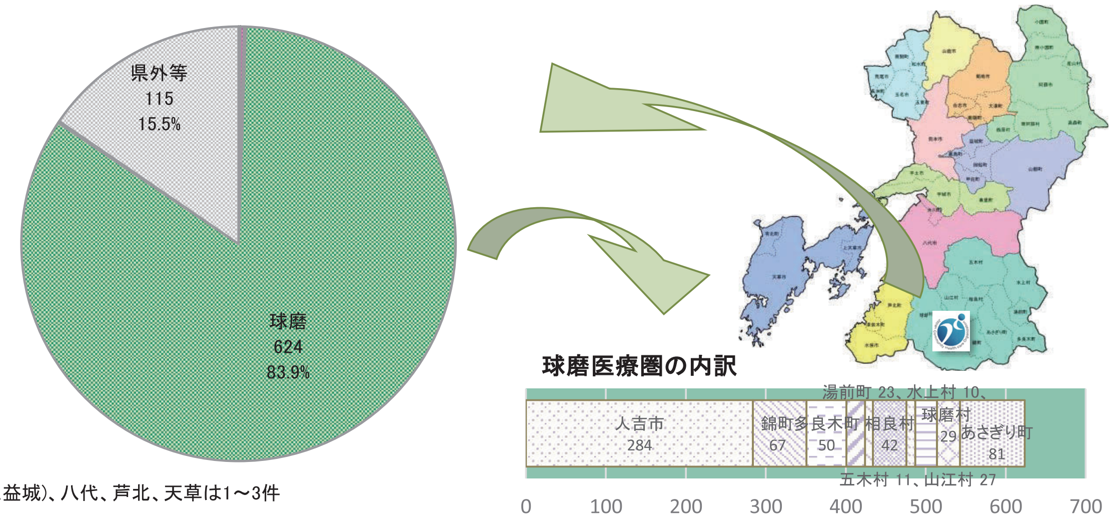


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

人吉医療センター　（744件）

※　全般において3件以下は*又は非表示



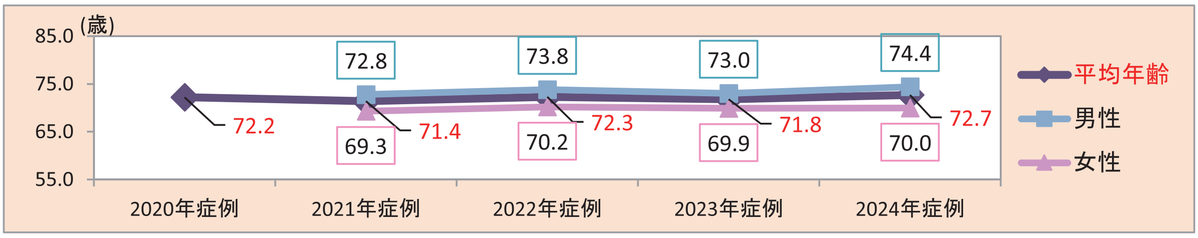
※（上益城）、八代、芦北、天草は1～3件

◇　医療圏別上位5部位

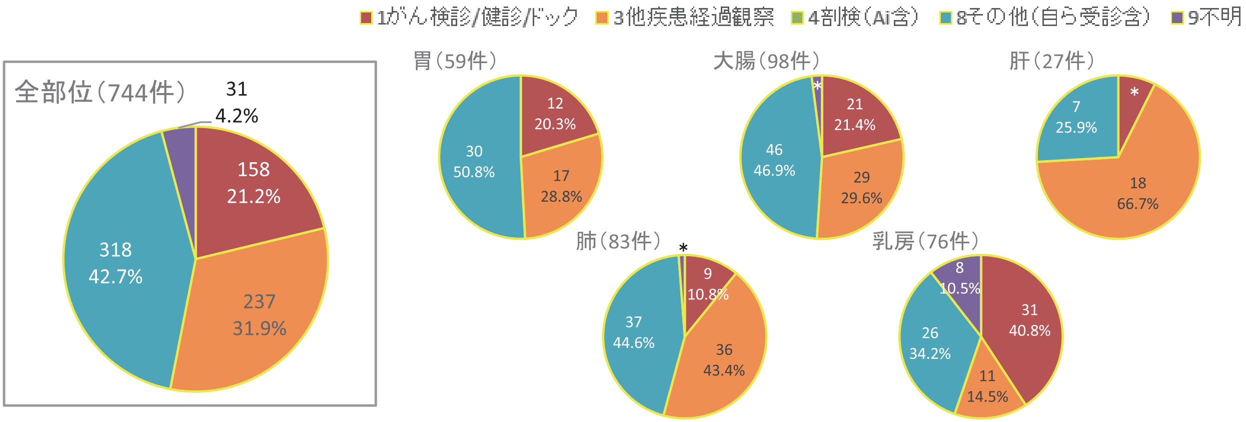
熊・上（熊本）			有明			阿蘇			球磨	前立腺	107
										大腸	81
										肺	67
										乳房	60
										その他	54
熊・上（上益城）	該当部位	*	鹿本			八代	該当部位	各*	天草	該当部位	*
宇城			菊池			芦北	該当部位	*	県外等	大腸	17
										乳房	16
										肺	15
										胃	14
										その他	10

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

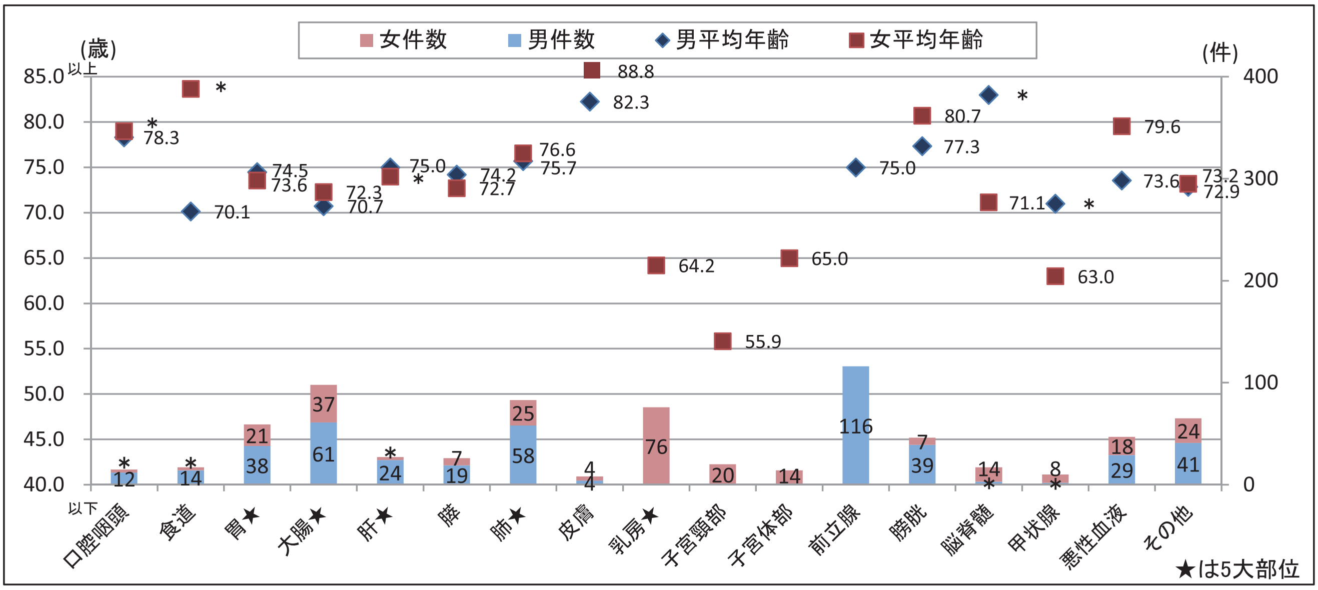
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	116
大腸	61
肺	58
その他	41
膀胱	39
胃	38
悪性血液	29
肝	24
膵	19
食道	14
口腔咽頭	12
皮膚	4
脳脊髄	*
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	460

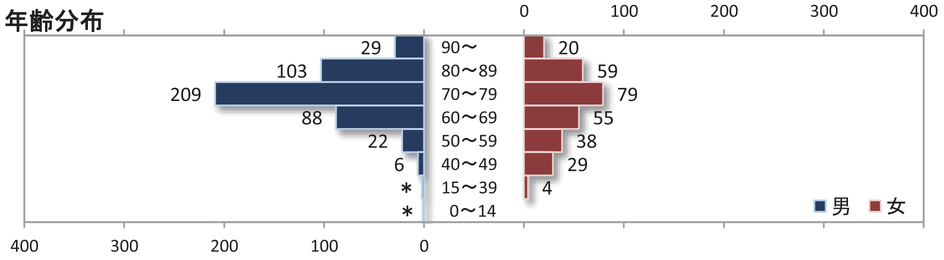
0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	7
						その他	7
						該当部位	各*
計	*	計	*	計	6	計	22

60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
前立腺	22	前立腺	65	前立腺	25	膀胱	6
大腸	18	大腸	31	肺	14	肝	4
膀胱	10	肺	31	悪性血液	11	肺	4
胃	7	胃	15	その他	11	該当部位	各*
その他	7	その他	14	該当部位	各10		
など		など		など			
計	88	計	209	計	103	計	29

女性全体	
乳房	76
大腸	37
肺	25
その他	24
胃	21
子宮頸部	20
悪性血液	18
子宮体部	14
脳脊髄	14
甲状腺	8
膵	7
膀胱	7
皮膚	4
口腔咽頭	*
食道	*
肝	*
前立腺	
計	284

0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
		該当部位	各*	乳房	16	乳房	14
				子宮頸部	8	大腸	4
				該当部位	各*	子宮頸部	4
						甲状腺	4
						該当部位	各*
		計	4	計	29	計	38

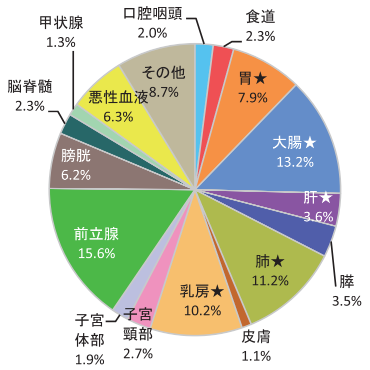
60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
乳房	16	乳房	19	大腸	10	悪性血液	4
大腸	11	肺	11	その他	9	該当部位	各*
子宮体部	5	大腸	9	肺	8		
その他	5	胃	6	胃	7		
胃	4	脳脊髄	6	乳房	7		
該当部位	各*	など		など			
計	55	計	79	計	59	計	20



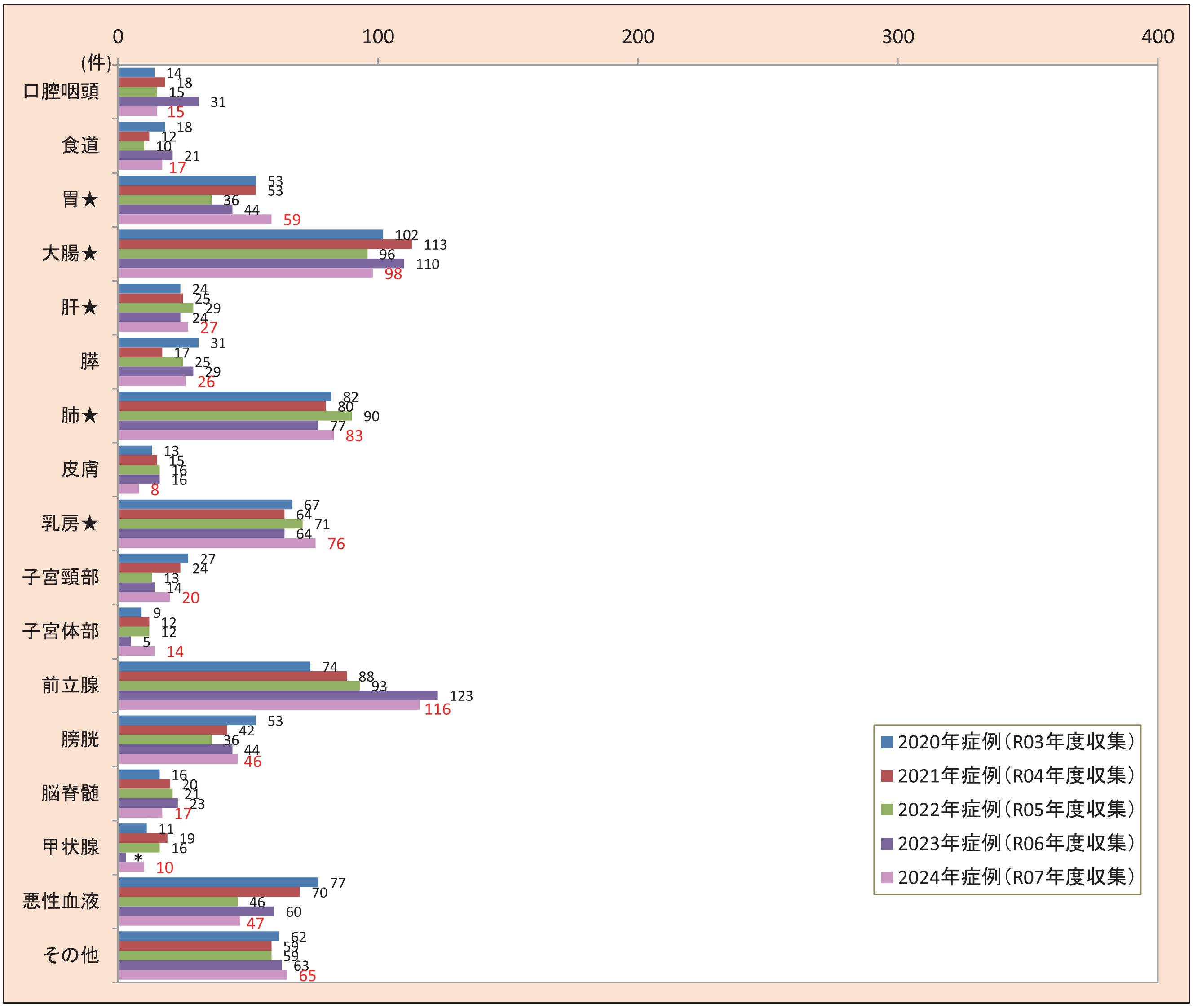
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)	2024年症例 (R07年度収集)
口腔咽頭	14	18	15	31	15
食道	18	12	10	21	17
胃★	53	53	36	44	59
大腸★	102	113	96	110	98
肝★	24	25	29	24	27
膵	31	17	25	29	26
肺★	82	80	90	77	83
皮膚	13	15	16	16	8
乳房★	67	64	71	64	76
子宮頸部	27	24	13	14	20
子宮体部	9	12	12	5	14
前立腺	74	88	93	123	116
膀胱	53	42	36	44	46
脳脊髄	16	20	21	23	17
甲状腺	11	19	16	＊	10
悪性血液疾患	77	70	46	60	47
その他	62	59	59	63	65
計	733	731	684	751	744

2024年診断症例　主要部位別割合



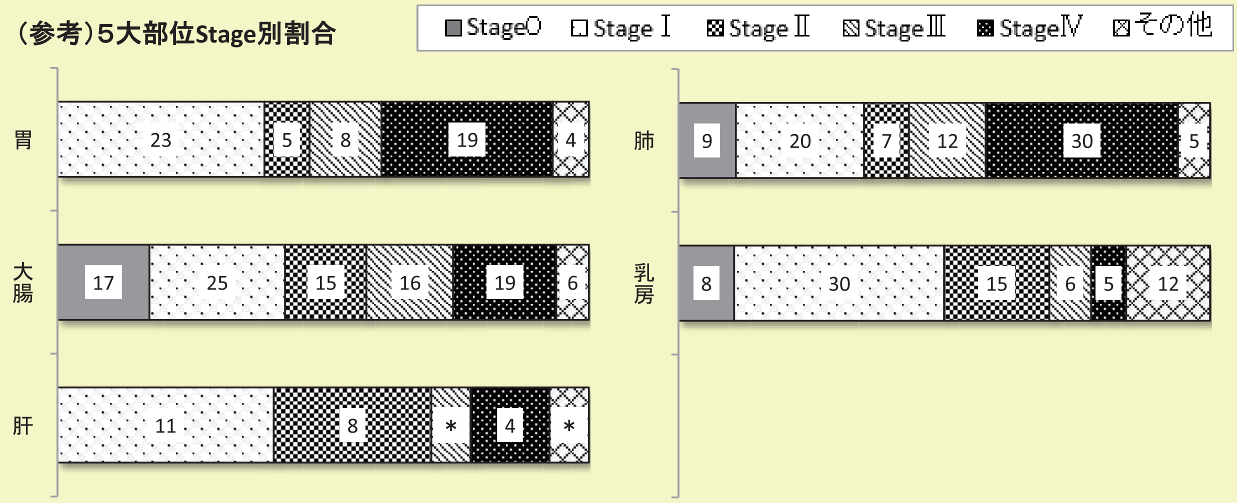
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



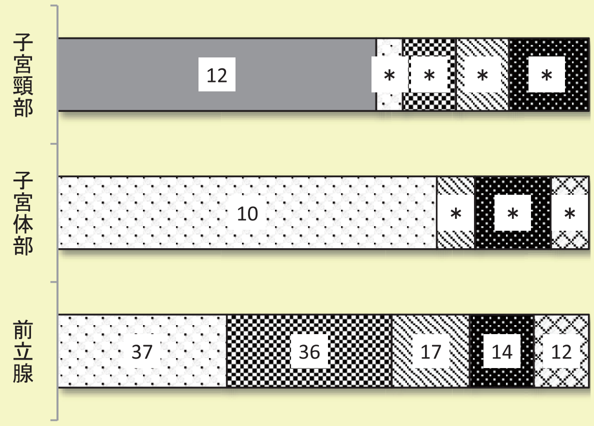
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	15		4	*	*	4	*
食道	17	*	5	*	*	*	*
胃★	59		23	5	8	19	4
大腸★	98	17	25	15	16	19	6
肝★	27		11	8	*	4	*
膵	26	*	6	*	5	10	*
肺★	83	9	20	7	12	30	5
皮膚	8	*	5				*
乳房★	76	8	30	15	6	5	12
子宮頸部	20	12	*	*	*	*	
子宮体部	14		10		*	*	*
前立腺	116		37	36	17	14	12
膀胱	46	26	9	*	7	*	*
脳脊髄	17						17
甲状腺	10		5	*		*	*
悪性血液疾患	47		*		*	10	33
その他	65	5	13	12	7	7	21
計	744	82	206	111	91	133	121

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合

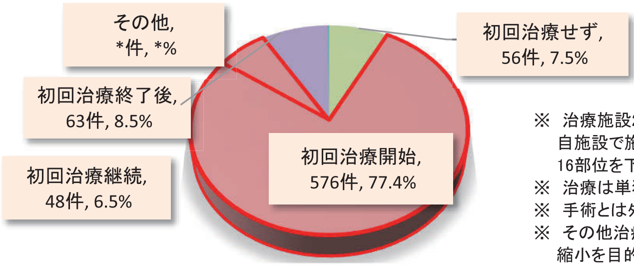


(参考)+各施設追加部位Stage別割合

※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

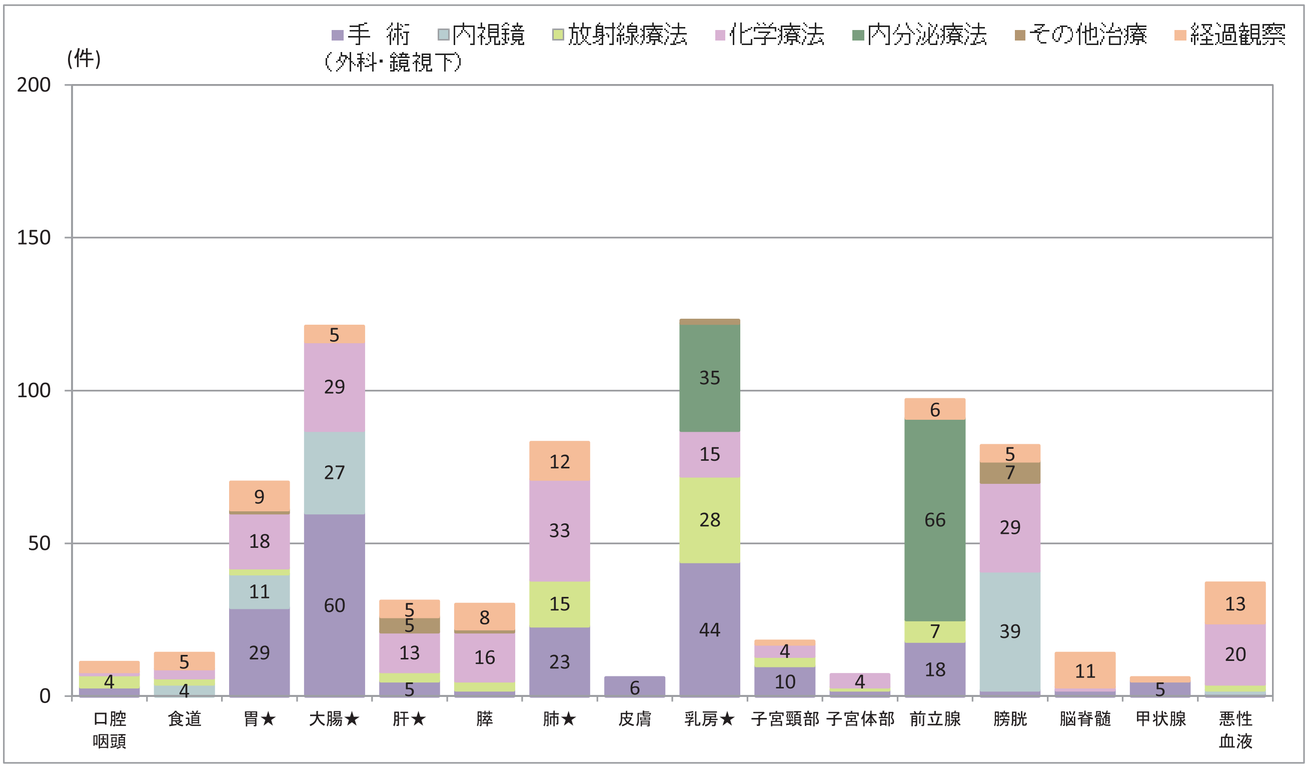
治療施設	件数
1初回治療せず	56
2初回治療開始	576
3初回治療継続	48
4初回治療終了後	63
8その他	＊
計	744



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

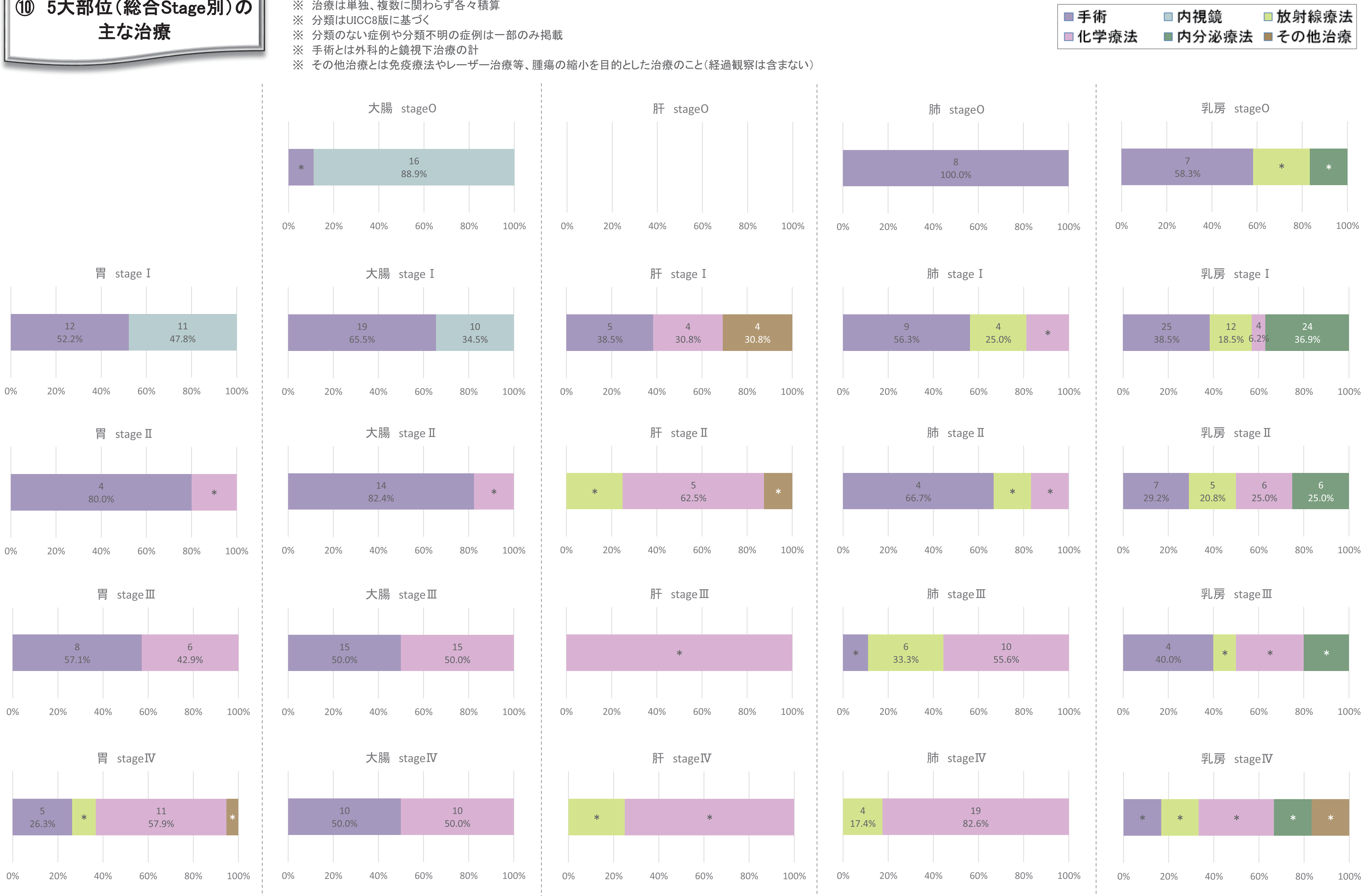
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	＊		4	＊			＊	11	100.0%	0.0%	0.0%
食道		4	＊	＊			5	14	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	29	11	＊	18		＊	9	70	92.3%	7.7%	0.0%
大腸★	60	27		29			5	121	89.0%	7.3%	3.7%
肝★	5		＊	13		5	5	31	100.0%	0.0%	0.0%
膵	＊		＊	16		＊	8	30	50.0%	50.0%	0.0%
肺★	23		15	33			12	83	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	6							6	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	44		28	15	35	＊		123	90.9%	4.5%	4.5%
子宮頸部	10		＊	4			＊	18	90.0%	0.0%	10.0%
子宮体部	＊		＊	4				7	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	18		7		66		6	97	72.2%	27.8%	0.0%
膀胱	＊	39		29		7	5	82	71.8%	12.8%	15.4%
脳脊髄	＊			＊			11	14	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	5						＊	6	80.0%	0.0%	20.0%
悪性血液疾患	＊	＊	＊	20			13	37	0.0%	100.0%	0.0%
計	212	82	70	186	101	15	84	750			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※ stage不明や分類なしなどで 放射線療法 6件

人吉医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	荒尾市立有明医療センター

○基本情報

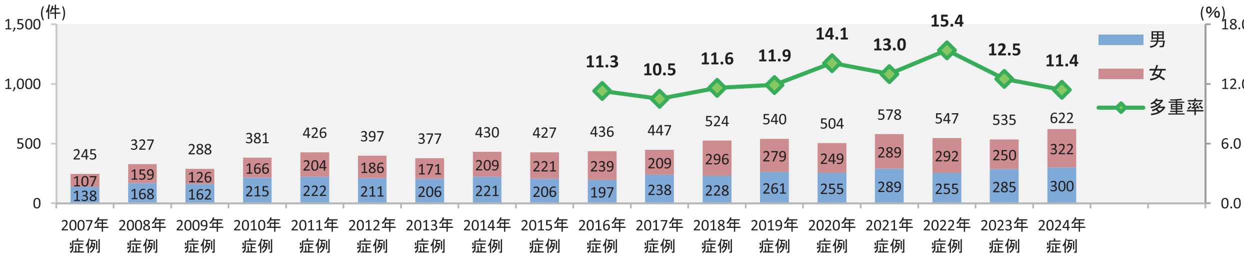
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	荒尾市荒尾2600番地		
病　床　数 追加情報	274床（一般270床；感染症4床）		
診療科数	27科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	14.2（日）		
入院患者数	4,882（人）		
外来患者延数	85,450（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　2,760（件/概算）		
院内がん登録件数	622（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者 0　／他　2（名）		

○医療機関からのコメント

【登録件数】
2024年症例は622件で前年(535件)と比較して、87 件増加した。
【患者住所医療圏別】
登録症例の84.1%を有明医療圏在住の患者が占める。当院は、福岡県との県境に位置しており、県外からの受診 93件中、87件が福岡県大牟田市在住の患者である。
【性別・年齢別】
男性:300件、女性:322件。全体平均年齢は、73.0歳だった。
【主要部位別登録件数】
全体①悪性血液(88件)②乳房(86件)③大腸(83件)④肺(79件)⑤胃(41件)で、前年と比較して、悪性血液(71件→88件)乳房(82件→86件)肺(52件→79件)膵(25件→37件)口腔咽頭(10件→20件)甲状腺(4件→12件)皮膚(20→29)その他(20件→41件)等が増加した。大腸(99件→83件)胃(46件→41件)、脳脊髄(25件→16件)等が減少している。
男性では、①肺(55件)②大腸(43件)悪性血液(43件)④前立腺(32件)⑤)胃(30件)
女性では、①乳房(86件)②悪性血液(45件)③大腸(40件)④肺(24件)⑤その他(21件)の結果であった。
【主要部位別病期分類(総合stage)】
登録症例全体では、Stage0が7.2%、StageⅠが27.3%、StageⅡが15.8%、StageⅢが8.2%、StageⅣが21.7%であった。特に膵臓のStageⅣが54.1%、肺StageⅣが46.8%と高い割合を占めた。
【主要部位別治療の内訳】
自施設の初回治療開始(381件)継続治療(69件)の症例の治療別内訳は、手術と内視鏡による観血的治療は、手術150件、内視鏡手術47件(38.6%)、放射線治療は、105件(20.5%)、化学療法は、110件(21.5%)、内分泌療法は、35件(6.8%)、その他の治療は、3件(0.6%)、経過観察は、61件(11.9%)であった。

診断年別登録件数（参考）

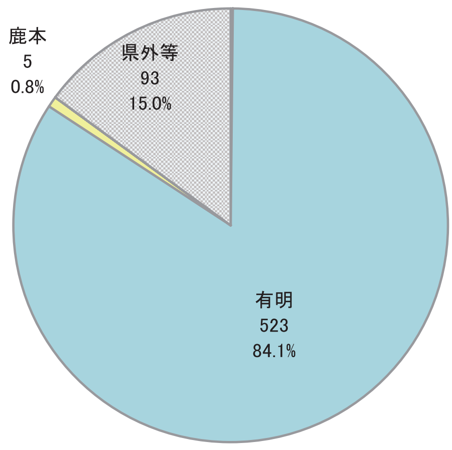


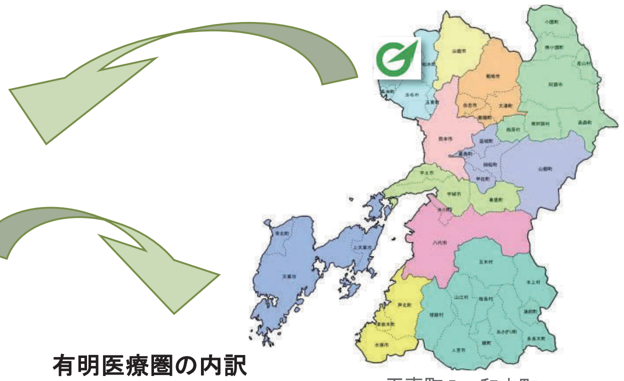
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

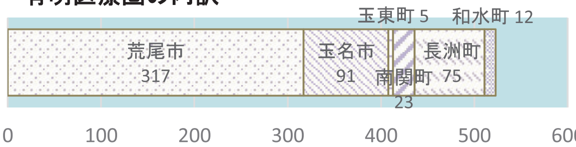
①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

有明医療センター　（622件）

※　全般において3件以下は*又は非表示







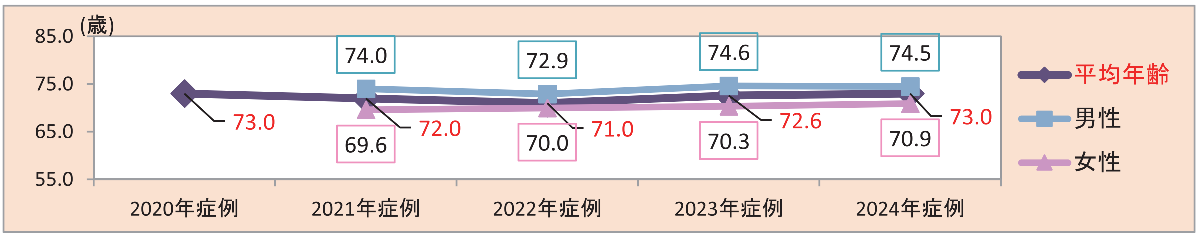
※（熊本）は1～3件

◇　医療圏別上位5部位

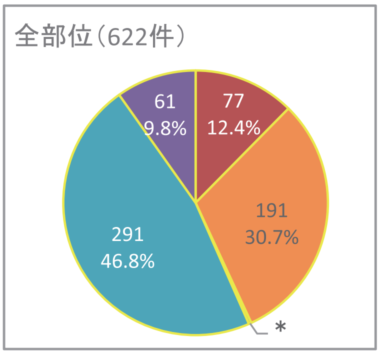
熊・上（熊本）	該当部位	*	有明	乳房	79	阿蘇			球磨		
				大腸	78						
				肺	64						
				悪性血液	52						
				その他	36						
熊・上（上益城）			鹿本	該当部位	各*	八代			天草		
宇城			菊池			芦北			県外等	悪性血液	36
										肺	13
										口腔咽頭	9
										胃	6
										乳房	6

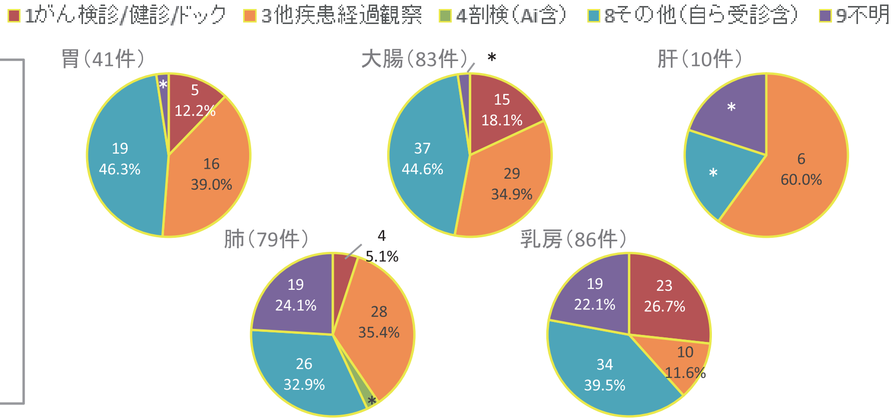
※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

②　平均年齢と年次比較

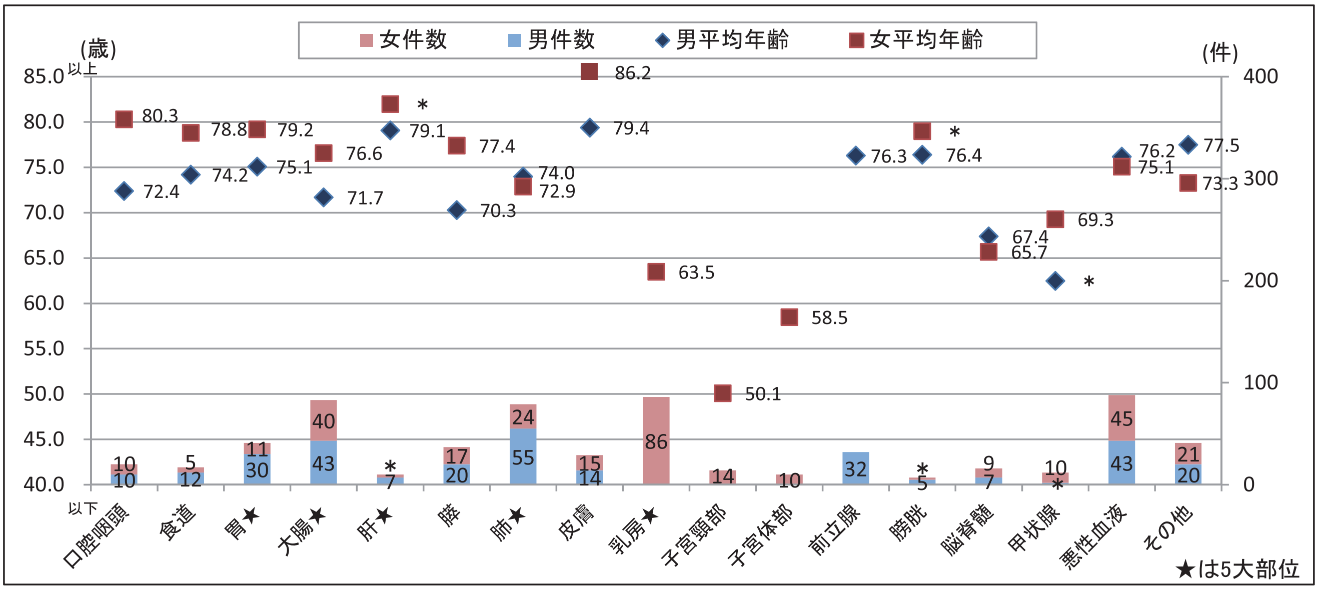


③　発見経緯 5大部位の内訳





④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	55
大腸	43
悪性血液	43
前立腺	32
胃	30
膵	20
その他	20
皮膚	14
食道	12
口腔咽頭	10
肝	7
脳脊髄	7
膀胱	5
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	300

0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	肺	9
						該当部位	各*
		計	*	計	7	計	25

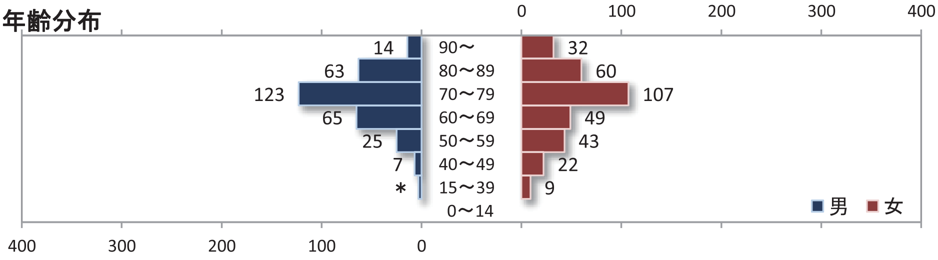
60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
肺	24	大腸	22	悪性血液	13	該当部位	各*
悪性血液	11	前立腺	16	前立腺	10		
胃	7	肺	15	大腸	8		
大腸	5	悪性血液	14	胃	7		
該当部位	各4	胃	13	その他	6		
など		など		など			
計	65	計	123	計	63	計	14

女性全体	
乳房	86
悪性血液	45
大腸	40
肺	24
その他	21
膵	17
皮膚	15
子宮頸部	14
胃	11
口腔咽頭	10
子宮体部	10
甲状腺	10
脳脊髄	9
食道	5
肝	*
膀胱	*
前立腺	
計	322

0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
		子宮頸部	5	乳房	12	乳房	19
		該当部位	各*	該当部位	各*	子宮体部	6
						該当部位	各*
		計	9	計	22	計	43

60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
乳房	20	乳房	22	悪性血液	13	大腸	8
大腸	6	悪性血液	21	大腸	9	皮膚	6
悪性血液	5	大腸	13	乳房	8	口腔咽頭	4
膵	4	その他	12	肺	7	該当部位	各*
該当部位	各*	肺	11	該当部位	各5		
		など		など			
計	49	計	107	計	60	計	32

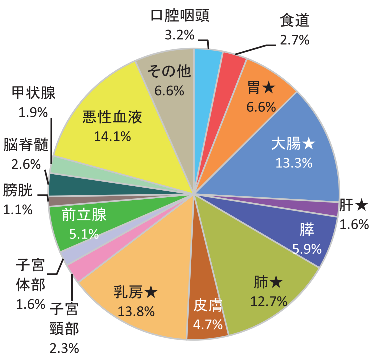
年齢分布



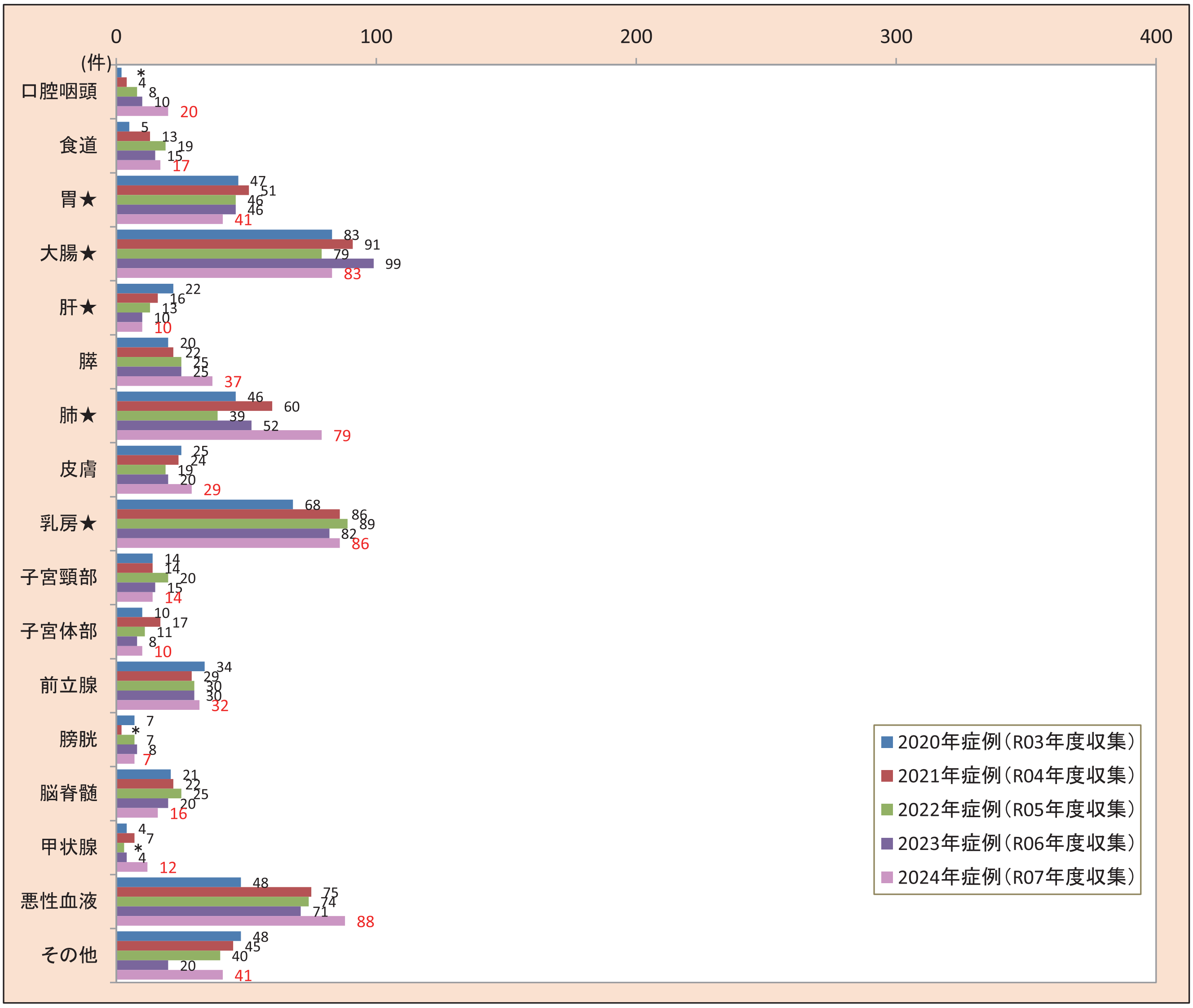
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	＊	4	8	10	20
食道	5	13	19	15	17
胃★	47	51	46	46	41
大腸★	83	91	79	99	83
肝★	22	16	13	10	10
膵	20	22	25	25	37
肺★	46	60	39	52	79
皮膚	25	24	19	20	29
乳房★	68	86	89	82	86
子宮頸部	14	14	20	15	14
子宮体部	10	17	11	8	10
前立腺	34	29	30	30	32
膀胱	7	＊	7	8	7
脳脊髄	21	22	25	20	16
甲状腺	4	7	＊	4	12
悪性血液疾患	48	75	74	71	88
その他	48	45	40	20	41
計	504	578	547	535	622

2024年診断症例　主要部位別割合

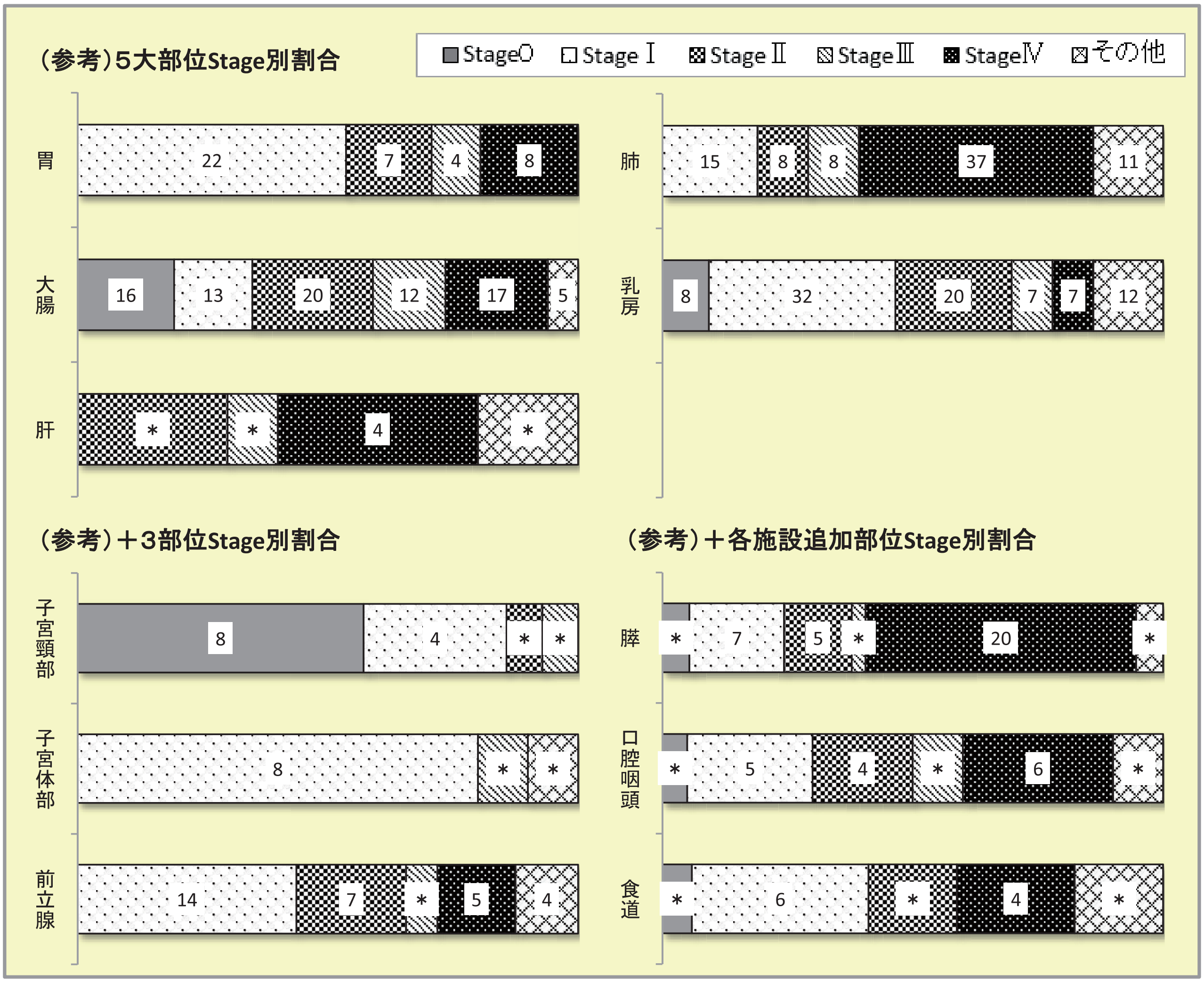


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

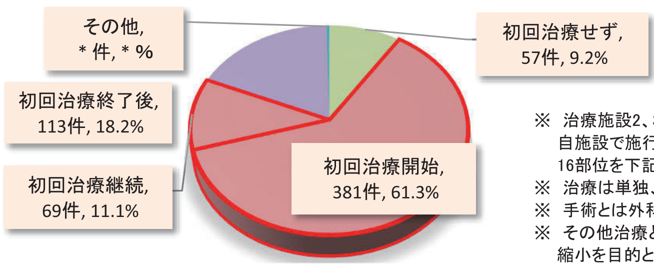
全体	件数	Stage0	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	20	＊	5	4	＊	6	＊
食道	17	＊	6	＊		4	＊
胃★	41		22	7	4	8	
大腸★	83	16	13	20	12	17	5
肝★	10			＊	＊	4	＊
膵	37	＊	7	5	＊	20	＊
肺★	79		15	8	8	37	11
皮膚	29	5	20	＊			＊
乳房★	86	8	32	20	7	7	12
子宮頸部	14	8	4	＊	＊		
子宮体部	10		8		＊		＊
前立腺	32		14	7	＊	5	4
膀胱	7	＊	＊		＊		＊
脳脊髄	16						16
甲状腺	12		5	5		＊	＊
悪性血液疾患	88		11	9	＊	18	47
その他	41	＊	7	4	8	8	12
計	622	45	170	98	51	135	123



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

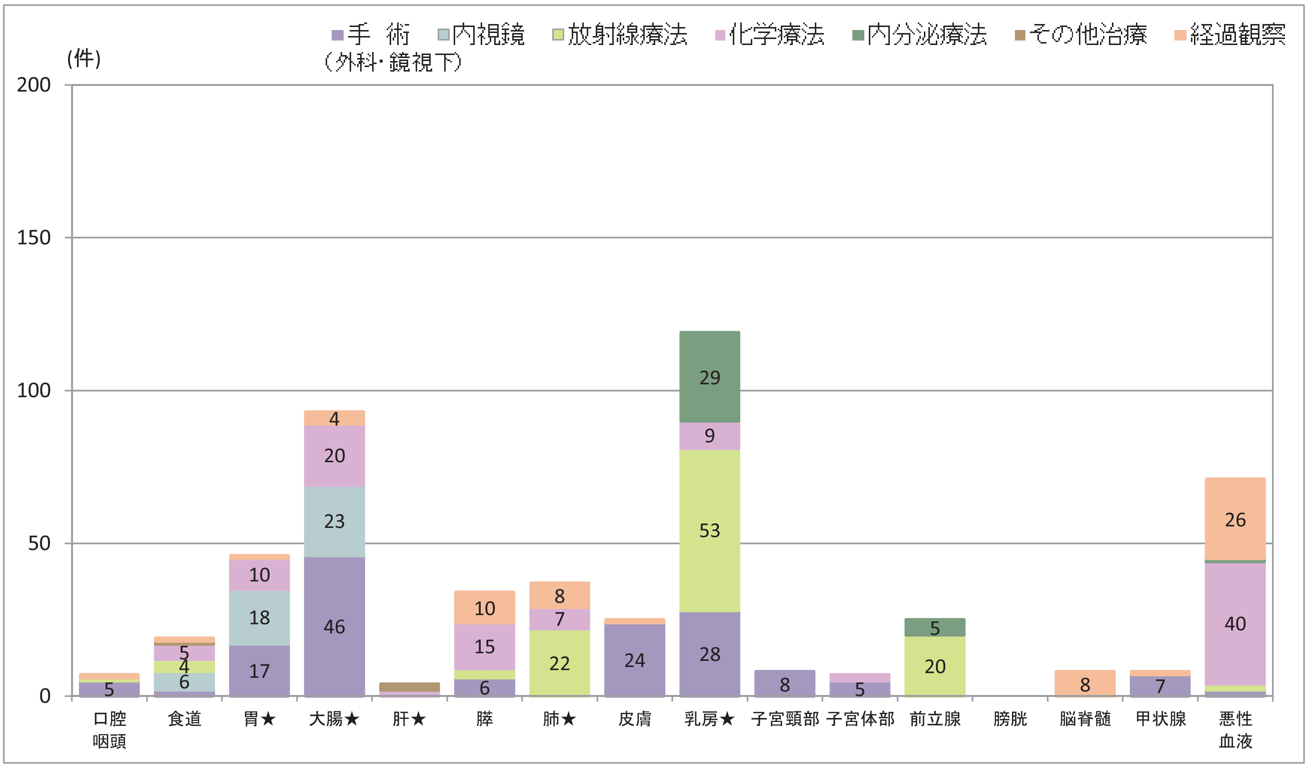
治療施設	件数
1初回治療せず	57
2初回治療開始	381
3初回治療継続	69
4初回治療終了後	113
8その他	*
計	622



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

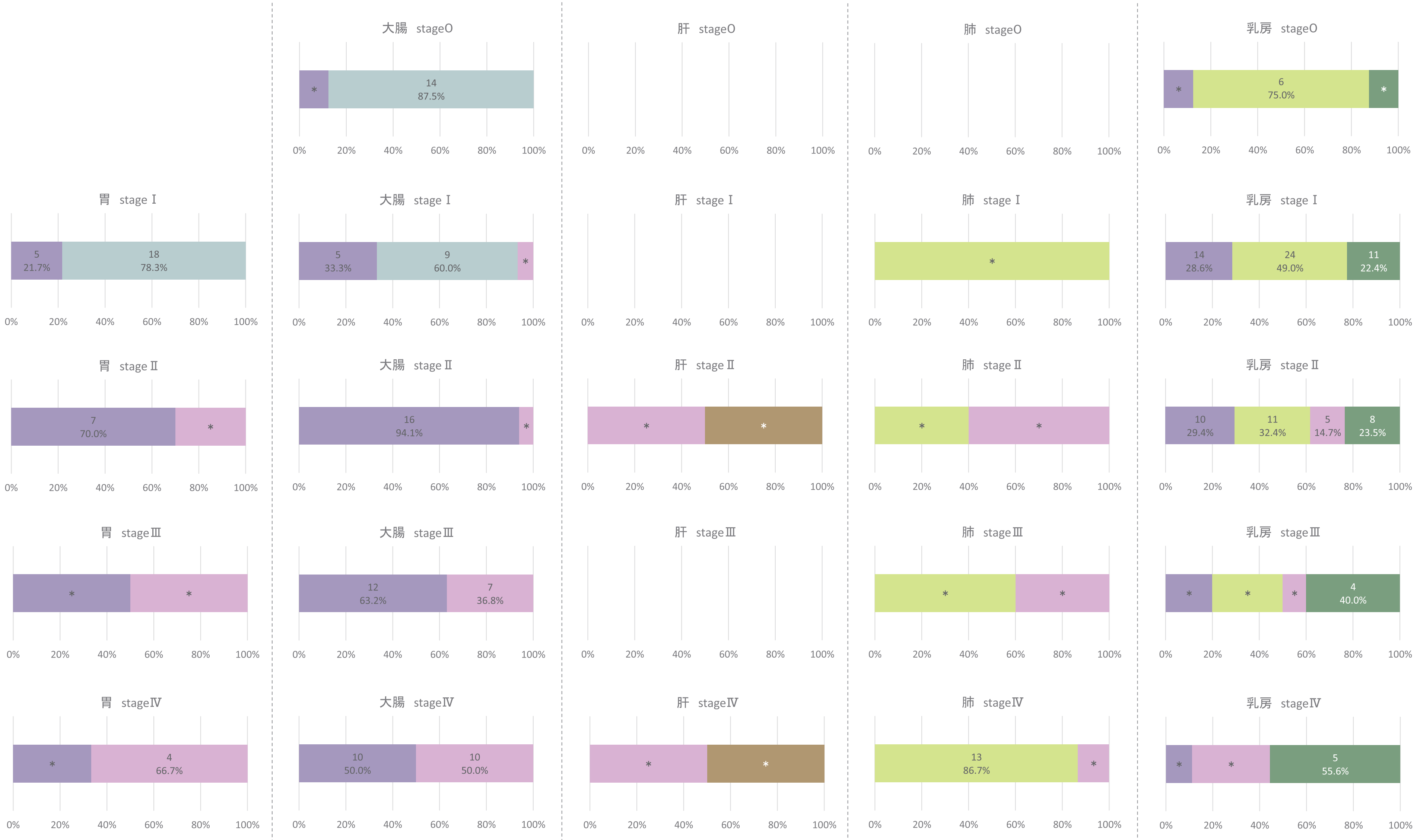
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	5		*				*	7	80.0%	20.0%	0.0%
食道	*	6	4	5		*	*	19	87.5%	12.5%	0.0%
胃★	17	18		10			*	46	91.2%	8.8%	0.0%
大腸★	46	23		20			4	93	85.0%	15.0%	0.0%
肝★				*		*		4			
膵	6		*	15			10	34	66.7%	33.3%	0.0%
肺★			22	7			8	37			
皮膚	24						*	25	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	28		53	9	29			119	89.3%	10.7%	0.0%
子宮頸部	8							8	87.5%	0.0%	12.5%
子宮体部	5			*				7	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			20		5			25			
膀胱								0			
脳脊髄							8	8			
甲状腺	7						*	8	85.7%	14.3%	0.0%
悪性血液疾患	*		*	40	*		26	71	50.0%	50.0%	0.0%
計	150	47	105	110	35	*	61	511			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法
■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療



※ stage不明や分類なしなどで 放射線療法 9件

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構　熊本医療センター

〇基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区二の丸1-5		
病　床　数	550床（一般500床；精神50床）		
追加情報	無菌室 34床		
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.1（日）		
入院患者数	13,582（人）		
外来患者延数	127,789（人）		
がんの外来化学療法	〇	がんの緩和ケア	〇
がんの放射線治療	〇	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　20,000（件/概算）		
院内がん登録件数	1,835（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　0　／他　0（名）		

〇医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】
国立病院機構熊本医療センターの2024年診断症例の院内がん登録件数は1835件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く316件、次いで大腸(結腸・直腸)227件、前立腺198件であった。

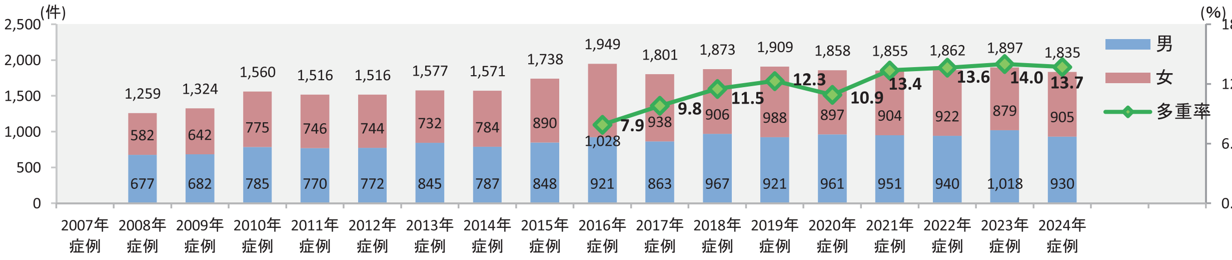
【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性:	①前立腺	198件 76.0歳	②悪性血液疾患	157件 64.8歳	③大腸	135件 73.0歳
女性:	①乳房	161件 61.4歳	②悪性血液疾患	159件 66.9歳	③子宮頸部	123件 51.2歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】
1)『悪性血液疾患』当院血液内科は造血・免疫細胞療法学会認定施設カテゴリー1に認定されており、同種造血幹細胞移植を実施している。また、2021年4月より小児の悪性血液疾患専門医が加わったことで、全世代に対応可能な診療体制が整った。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療（ブラキセラピー）を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、2024年3月より第4世代手術用ロボットであるダヴィンチXiを導入し、ロボット支援腹腔鏡下全摘除術を開始している。

【熊本医療センターの特徴・役割】
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医を有することで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

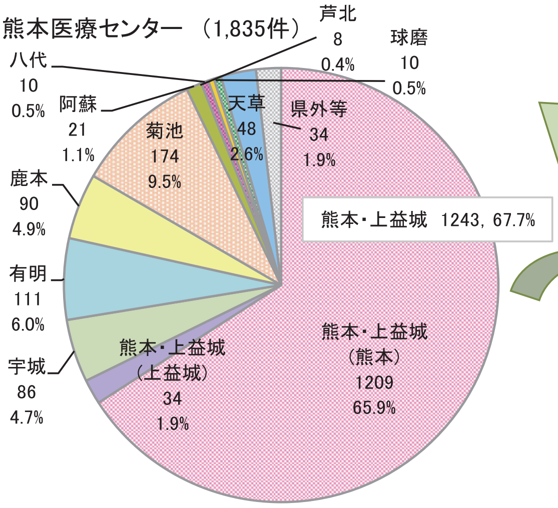
診断年別登録件数（参考）

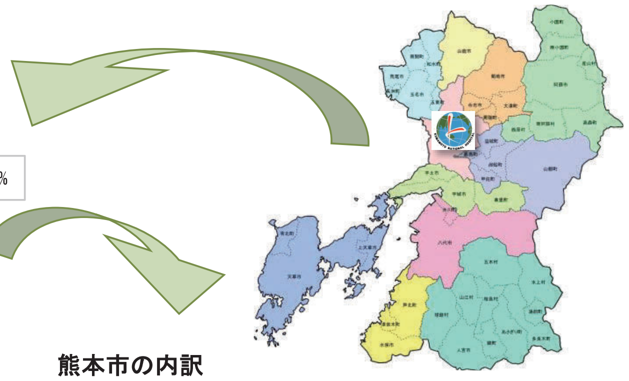


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



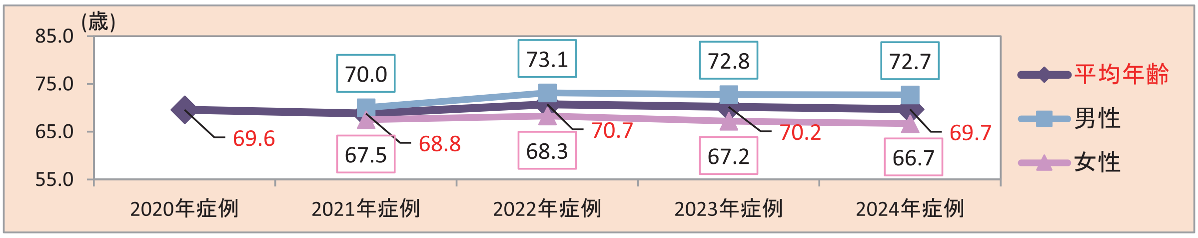


◇　医療圏別上位5部位

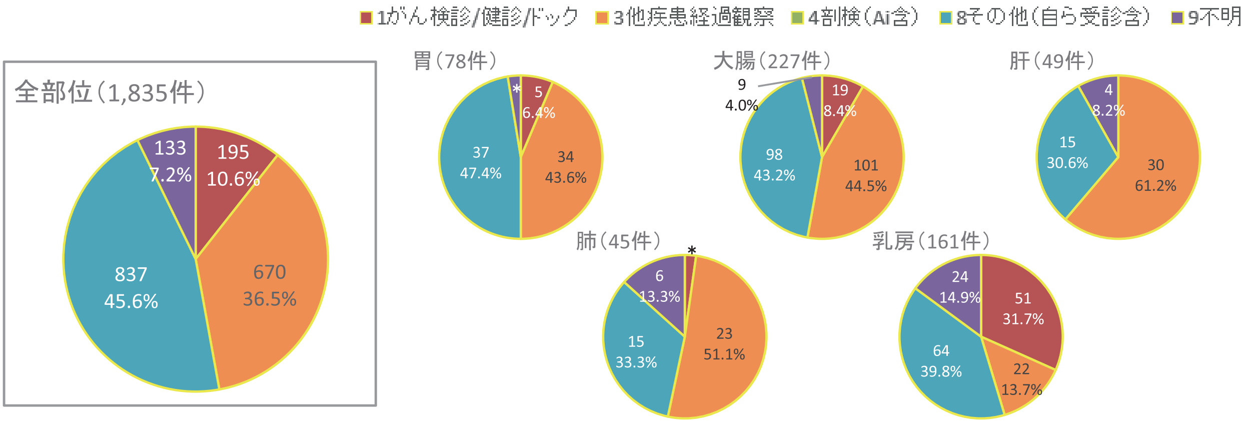
熊・上（熊本）	悪性血液	184	有明	悪性血液	18	阿蘇	悪性血液	6	球磨	悪性血液	4
	大腸	179		子宮頸部	14		該当部位	各*		該当部位	各*
	その他	154		その他	13						
	乳房	129		該当部位	各9						
	前立腺	109		前立腺	8						
熊・上（上益城）	悪性血液	9	鹿本	前立腺	20	八代	該当部位	各*	天草	前立腺	12
	その他	8		悪性血液	15					悪性血液	12
	前立腺	4		その他	10					その他	6
	該当部位	各*		子宮頸部	9					子宮体部	5
				乳房	6					該当部位	各*
宇城	悪性血液	22	菊池	前立腺	34	芦北	該当部位	各*	県外等	悪性血液	11
	皮膚	12		悪性血液	31					大腸	4
	大腸	10		その他	27					該当部位	各*
	子宮頸部	9		膀胱	20						
	その他	6		子宮頸部	16						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

②　平均年齢と年次比較

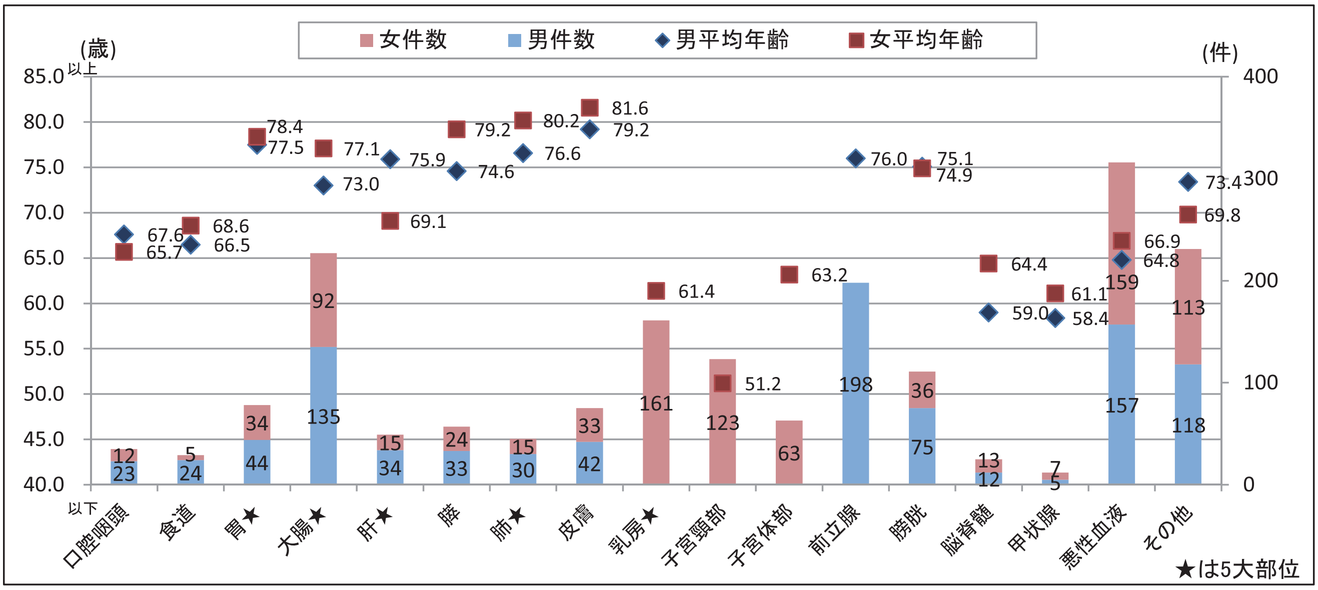


③　発見経緯 5大部位の内訳



熊本医療センター

④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	198
悪性血液	157
大腸	135
その他	118
膀胱	75
胃	44
皮膚	42
肝	34
膵	33
肺	30
食道	24
口腔咽頭	23
脳脊髄	12
甲状腺	5
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	930

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
悪性血液	7	悪性血液	8	悪性血液	8	悪性血液	18
該当部位	*	該当部位	各*	その他	5	大腸	11
				該当部位	各*	その他	8
						口腔咽頭	6
						該当部位	各5
						など	
計	9	計	14	計	20	計	71

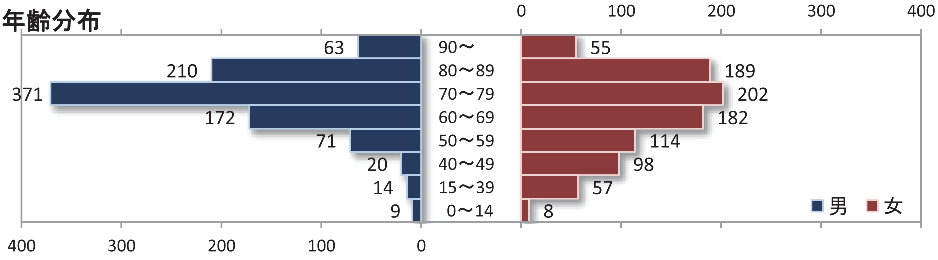
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	35	前立腺	98	前立腺	45	前立腺	15
悪性血液	34	悪性血液	58	大腸	37	その他	13
大腸	33	大腸	48	その他	23	皮膚	10
その他	20	その他	46	悪性血液	20	膀胱	8
該当部位	各12	膀胱	34	該当部位	各15	該当部位	各4
など		など		など		など	
計	172	計	371	計	210	計	63

女性全体	
乳房	161
悪性血液	159
子宮頸部	123
その他	113
大腸	92
子宮体部	63
膀胱	36
胃	34
皮膚	33
膵	24
肝	15
肺	15
脳脊髄	13
口腔咽頭	12
甲状腺	7
食道	5
前立腺	
計	905

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
悪性血液	8	子宮頸部	32	乳房	33	乳房	36
		悪性血液	9	子宮頸部	31	子宮頸部	20
		その他	8	子宮体部	13	子宮体部	13
		該当部位	各*	その他	7	悪性血液	12
				悪性血液	6	その他	9
				該当部位	各*	など	
計	8	計	57	計	98	計	114

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	43	悪性血液	45	大腸	38	悪性血液	11
悪性血液	37	乳房	32	その他	32	大腸	9
子宮頸部	24	その他	29	悪性血液	31	膵	7
その他	21	大腸	21	皮膚	13	皮膚	7
大腸	16	子宮体部	14	膀胱	13	その他	7
など		など		など		など	
計	182	計	202	計	189	計	55

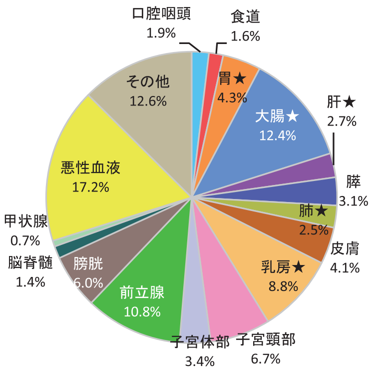
年齢分布



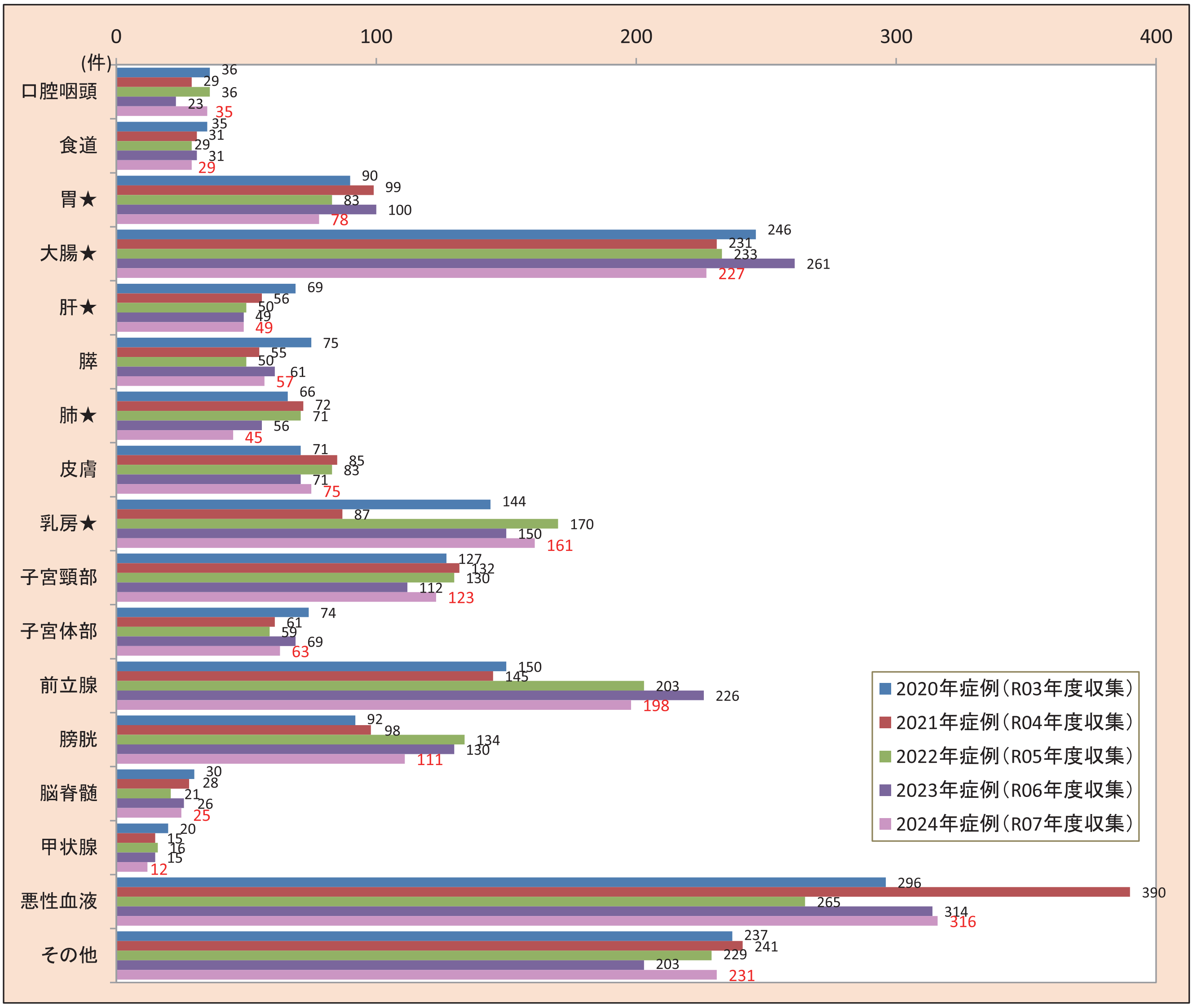
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	36	29	36	23	35
食道	35	31	29	31	29
胃★	90	99	83	100	78
大腸★	246	231	233	261	227
肝★	69	56	50	49	49
膵	75	55	50	61	57
肺★	66	72	71	56	45
皮膚	71	85	83	71	75
乳房★	144	87	170	150	161
子宮頸部	127	132	130	112	123
子宮体部	74	61	59	69	63
前立腺	150	145	203	226	198
膀胱	92	98	134	130	111
脳脊髄	30	28	21	26	25
甲状腺	20	15	16	15	12
悪性血液疾患	296	390	265	314	316
その他	237	241	229	203	231
計	1,858	1,855	1,862	1,897	1,835

2024年診断症例　主要部位別割合

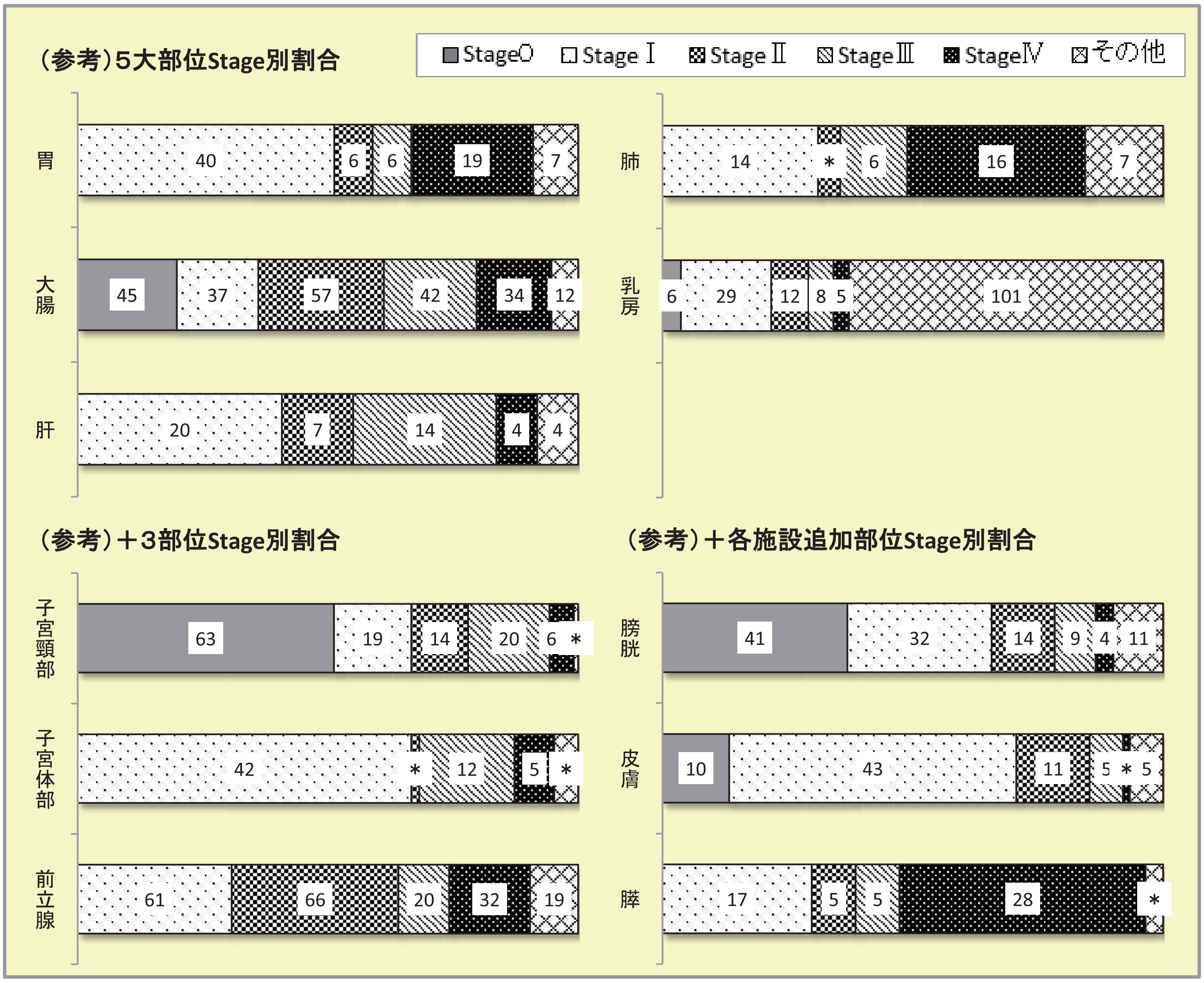


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

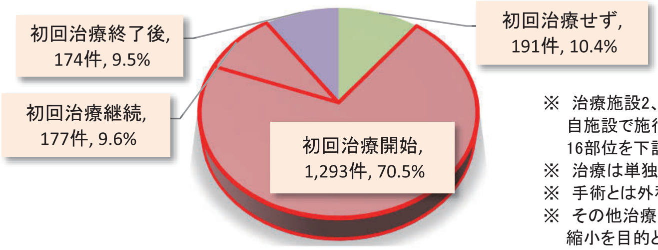
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	35	＊	7	＊	8	11	4
食道	29	12	8	＊	＊	5	＊
胃★	78		40	6	6	19	7
大腸★	227	45	37	57	42	34	12
肝★	49		20	7	14	4	4
膵	57		17	5	5	28	＊
肺★	45		14	＊	6	16	7
皮膚	75	10	43	11	5	＊	5
乳房★	161	6	29	12	8	5	101
子宮頸部	123	63	19	14	20	6	＊
子宮体部	63		42	＊	12	5	＊
前立腺	198		61	66	20	32	19
膀胱	111	41	32	14	9	4	11
脳脊髄	25						25
甲状腺	12		6	＊	＊	＊	＊
悪性血液疾患	316		39	24	18	52	183
その他	231	13	94	19	25	46	34
計	1,835	192	508	244	200	269	422



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

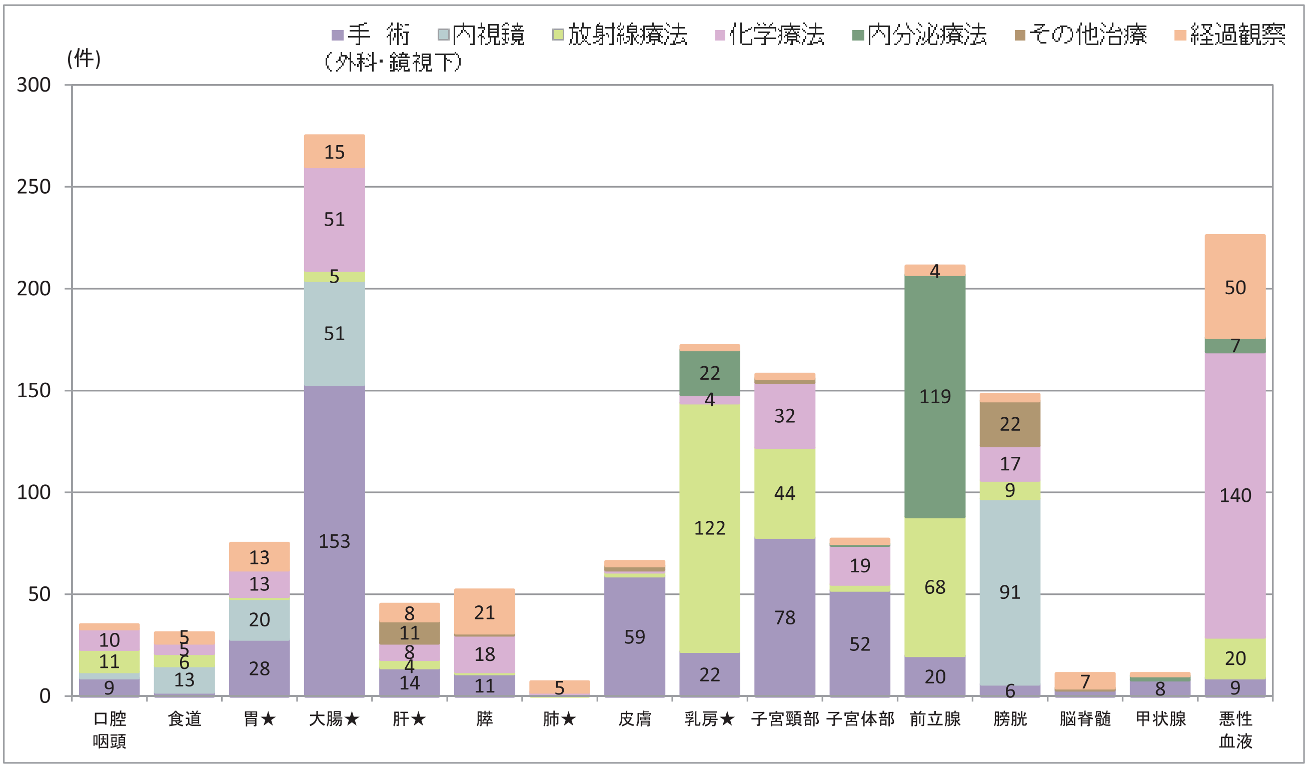
治療施設	件数
1初回治療せず	191
2初回治療開始	1,293
3初回治療継続	177
4初回治療終了後	174
8その他	
計	1,835



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	9	*	11	10			*	35	75.0%	16.7%	8.3%
食道	*	13	6	5			5	31	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	28	20	*	13			13	75	91.5%	8.5%	0.0%
大腸★	153	51	5	51			15	275	92.3%	7.2%	0.5%
肝★	14		4	8		11	8	45	92.9%	7.1%	0.0%
膵	11		*	18		*	21	52	81.8%	18.2%	0.0%
肺★			*	*			5	7			
皮膚	59		*	*		*	*	66	94.9%	1.7%	3.4%
乳房★	22		122	4	22		*	172	95.5%	4.5%	0.0%
子宮頸部	78		44	32		*	*	158	98.7%	1.3%	0.0%
子宮体部	52		*	19	*		*	77	88.5%	9.6%	1.9%
前立腺	20		68		119		4	211	85.0%	15.0%	0.0%
膀胱	6	91	9	17		22	*	148	45.1%	54.9%	0.0%
脳脊髄	*					*	7	11	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	8				*		*	11	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	9		20	140	7		50	226	11.1%	77.8%	11.1%
計	474	178	297	319	151	39	142	1,600			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

※　stage不明や分類なしなどで 放射線療法　90件

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医 療 機 関 名	熊本赤十字病院

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号		
病　床　数	490床（一般490床）		
追加情報	無菌室5床		
診 療 科 数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.9（日）		
入院患者数	15,774（人）		
外来患者延数	241,108（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること	33,130（件）	
院内がん登録件数	2,098（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　1　／他　1（名）		

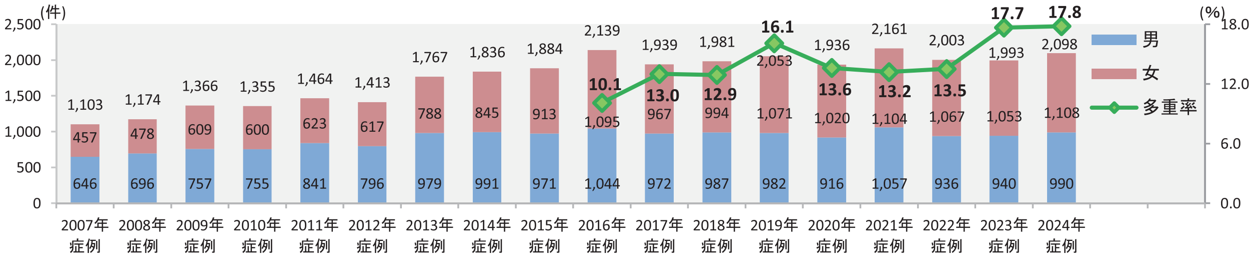
○医療機関からのコメント

【医療圏】
熊本市46.9%（前年48.6%）　菊池26.4%（前年23.8%）
阿蘇10.4%（前年10.8%）
○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が約8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。

【件数の比較】
・全体件数　2,098件（前年：1,993件）
・部位別件数（『その他』を除く上位3部位）
全体 『乳房』334件（前年251件）、『大腸』275件（前年270件）、『肺』208件（前年229件）
男性 『大腸』166件（前年151件）、『肺』139件（前年155件）、『前立腺』132件（前年100件）
女性 『乳房』331件（前年246件）、『子宮頚部』124件（前年112件）、『大腸』109件（前年119件）
○全体の部位別件数では『乳房』が最も多くを占めた。自施設切除療法及び他施設乳房切除後の術後放射線療法の依頼が増加した。
○5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳房）の件数は1023件で全体の約半数を占める。

【治療内容の特徴】
○2022年11月よりがん集学的治療センターを設置した。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいることにより集学的治療が可能となっている。
○胃のステージⅠ、大腸のステージ0では内視鏡治療を積極的に行う。
○2019年から手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、患者の状況に合わせた治療提案を行っている。
（適応：胃がん・大腸がん・肝がん・肺がん・縦隔腫瘍・子宮体がん、膵がん）
○呼吸器領域については、1ヶ所の創で手術を行う単孔式胸腔鏡手術を実施している。

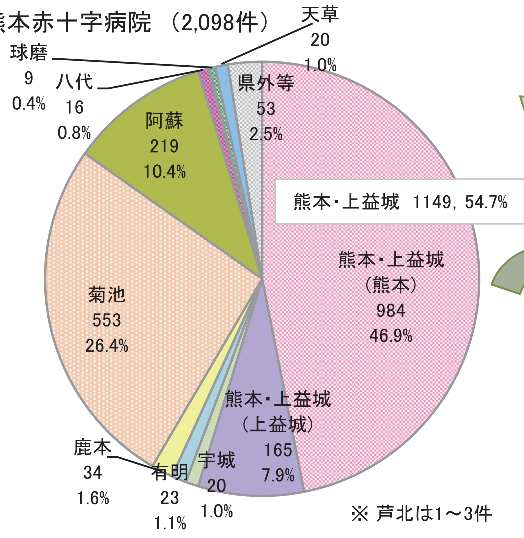
診断年別登録件数（参考）

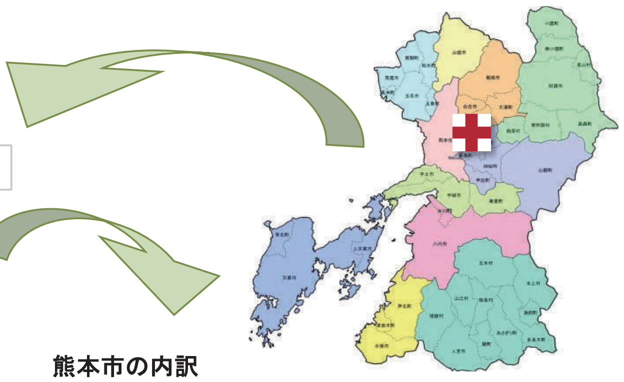


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





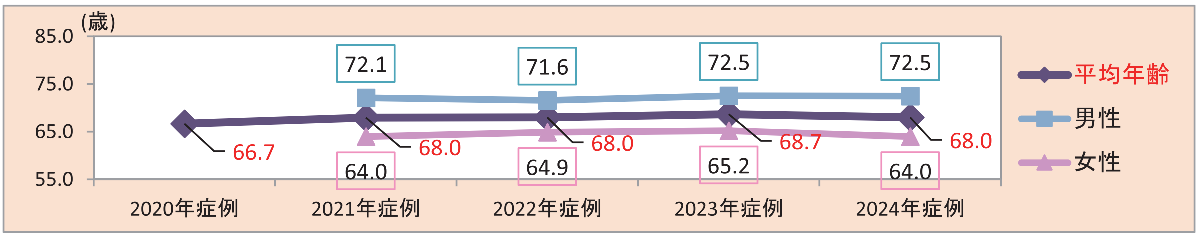
熊本市の内訳

◇　医療圏別上位5部位

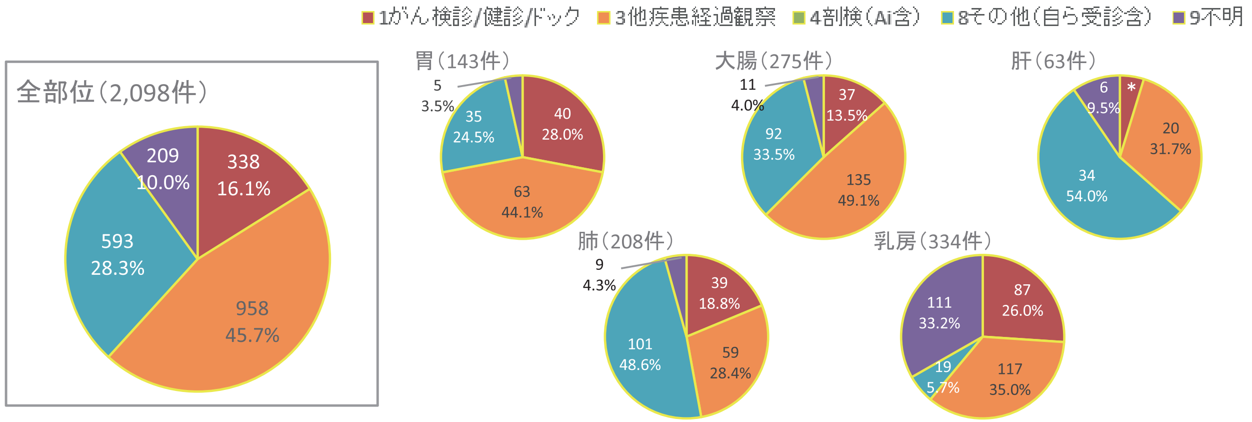
熊・上（熊本）	乳房	166	有明	その他	6	阿蘇	その他	30	球磨	該当部位	各*
	大腸	144		該当部位	各*		肺	25			
	肺	105					大腸	24			
	その他	92					乳房	22			
	悪性血液	80					悪性血液	22			
熊・上（上益城）	大腸	23	鹿本	乳房	6	八代	その他	4	天草	胃	5
	乳房	20		子宮頸部	6		該当部位	各*		該当部位	各*
	その他	17		肺	5						
	悪性血液	16		悪性血液	5						
	前立腺	15		該当部位	各*						
宇城	子宮体部	5	菊池	乳房	105	芦北	該当部位	各*	県外等	悪性血液	8
	その他	5		大腸	67					大腸	7
	該当部位	各*		悪性血液	58					乳房	7
				その他	47					肺	6
				該当部位	各46					膵	5

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

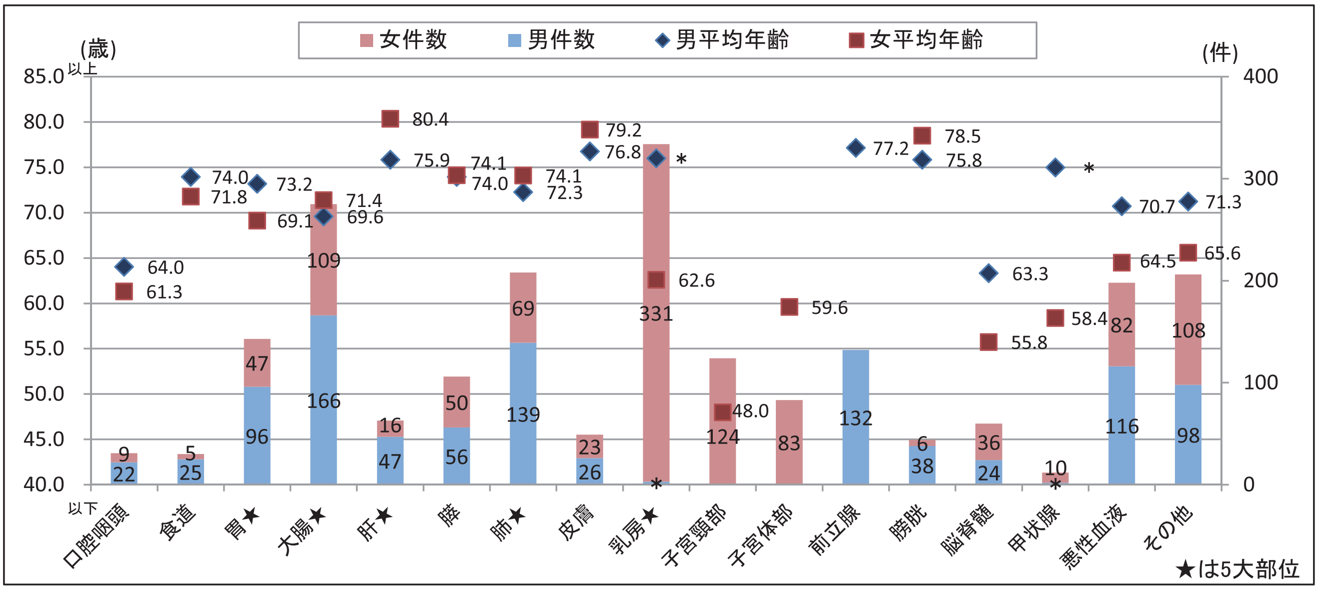
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
大腸	166
肺	139
前立腺	132
悪性血液	116
その他	98
胃	96
膵	56
肝	47
膀胱	38
皮膚	26
食道	25
脳脊髄	24
口腔咽頭	22
乳房	*
甲状腺	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	990

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
該当部位	各*	悪性血液	6	大腸	12	大腸	16
		該当部位	各*	悪性血液	8	肺	14
				口腔咽頭	5	悪性血液	8
				肺	4	その他	8
				その他	4	胃	7
				該当部位	各*	など	
計	4	計	16	計	37	計	70

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	39	大腸	66	前立腺	44	前立腺	7
肺	29	肺	60	悪性血液	30	悪性血液	7
前立腺	19	前立腺	60	大腸	29	膵	6
悪性血液	19	胃	43	肺	26	肺	6
胃	17	その他	41	その他	25	該当部位	各4
など		など		など		など	
計	185	計	402	計	231	計	45

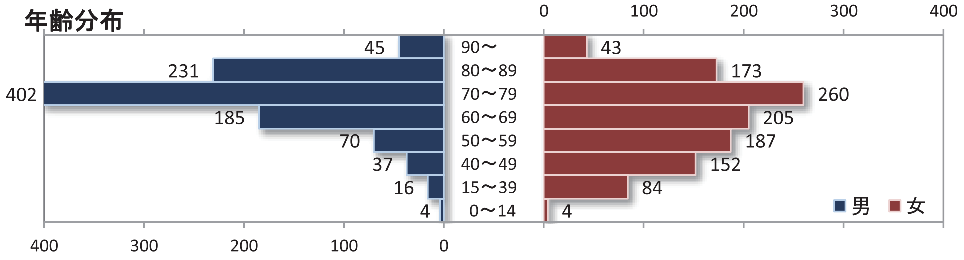
女性

女性全体	
乳房	331
子宮頸部	124
大腸	109
その他	108
子宮体部	83
悪性血液	82
肺	69
膵	50
胃	47
脳脊髄	36
皮膚	23
肝	16
甲状腺	10
口腔咽頭	9
膀胱	6
食道	5
前立腺	
計	1,108

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
該当部位	各*	子宮頸部	41	乳房	57	乳房	73
		乳房	12	子宮頸部	37	子宮体部	31
		脳脊髄	9	子宮体部	15	子宮頸部	24
		悪性血液	9	その他	12	その他	18
		その他	7	大腸	11	悪性血液	12
		該当部位	各*	など		など	
計	4	計	84	計	152	計	187

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	77	乳房	69	乳房	38	大腸	8
大腸	21	大腸	32	大腸	29	皮膚	5
子宮体部	20	その他	32	その他	19	乳房	5
その他	15	肺	31	肺	18	該当部位	各4
悪性血液	14	悪性血液	20	悪性血液	16	など	
など		など		など			
計	205	計	260	計	173	計	43

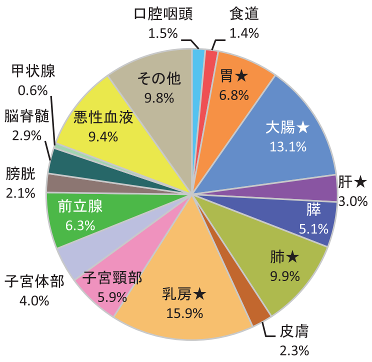
年齢分布



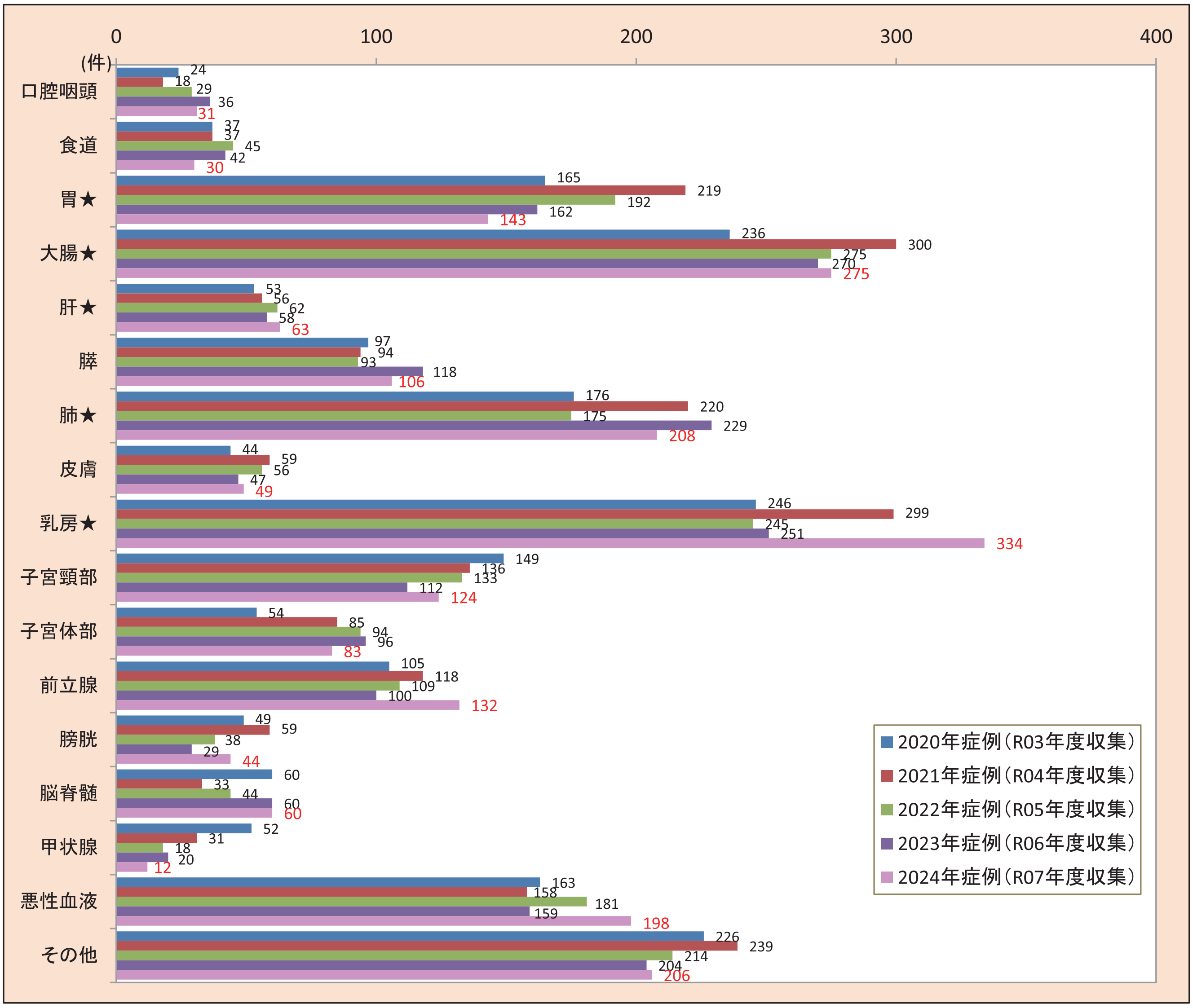
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	24	18	29	36	31
食道	37	37	45	42	30
胃★	165	219	192	162	143
大腸★	236	300	275	270	275
肝★	53	56	62	58	63
膵	97	94	93	118	106
肺★	176	220	175	229	208
皮膚	44	59	56	47	49
乳房★	246	299	245	251	334
子宮頸部	149	136	133	112	124
子宮体部	54	85	94	96	83
前立腺	105	118	109	100	132
膀胱	49	59	38	29	44
脳脊髄	60	33	44	60	60
甲状腺	52	31	18	20	12
悪性血液疾患	163	158	181	159	198
その他	226	239	214	204	206
計	1,936	2,161	2,003	1,993	2,098

2024年診断症例　主要部位別割合

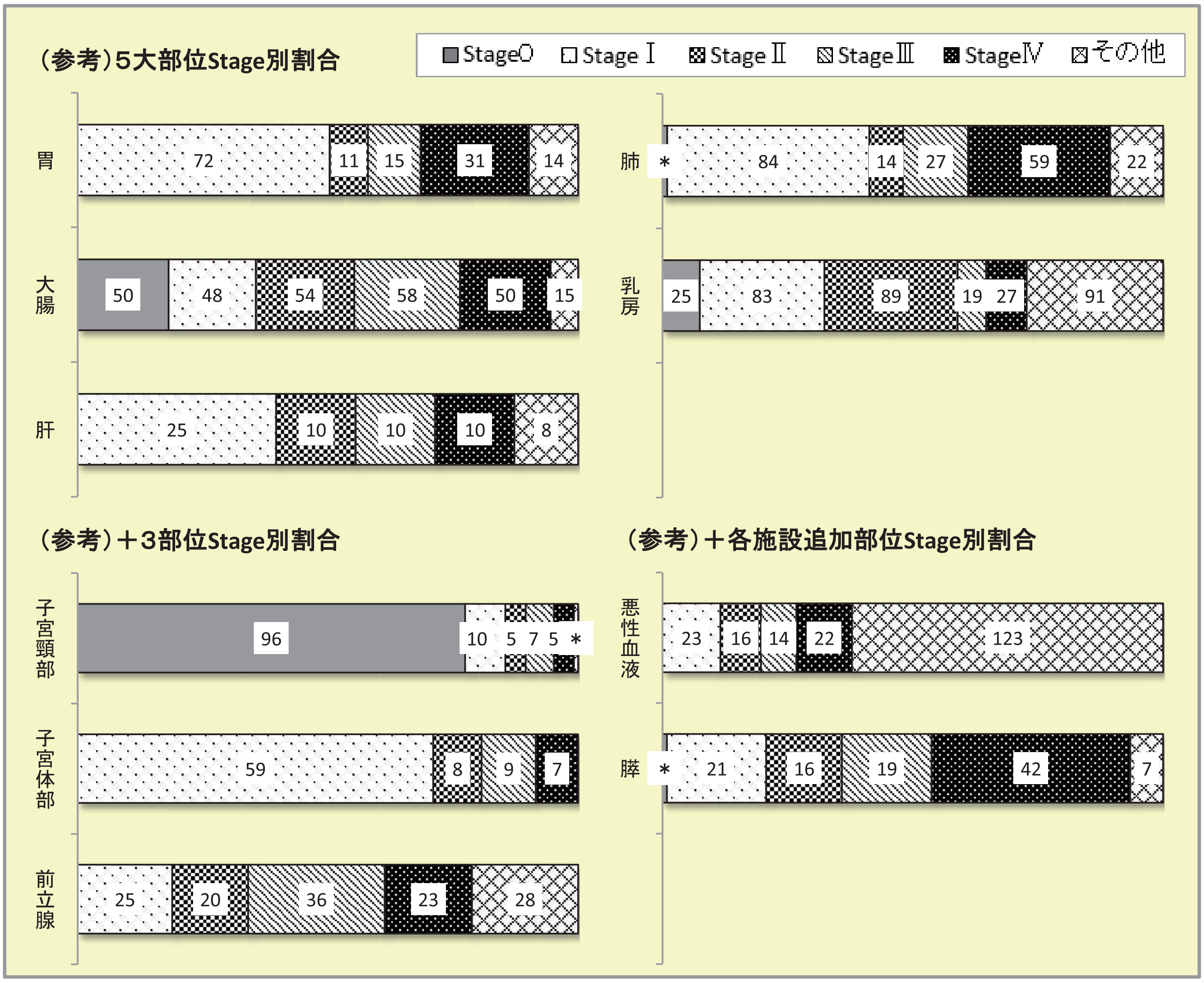


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

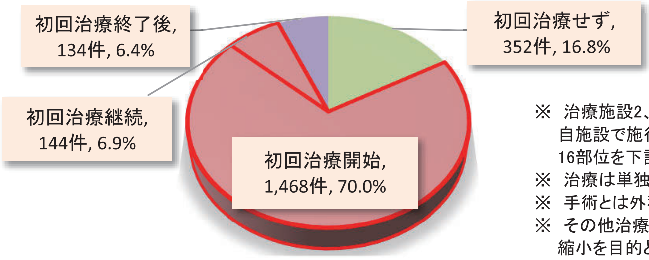
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	31	＊	10	＊	5	9	＊
食道	30		16	＊	6	＊	4
胃★	143		72	11	15	31	14
大腸★	275	50	48	54	58	50	15
肝★	63		25	10	10	10	8
膵	106	＊	21	16	19	42	7
肺★	208	＊	84	14	27	59	22
皮膚	49	5	31	8	＊		4
乳房★	334	25	83	89	19	27	91
子宮頸部	124	96	10	5	7	5	＊
子宮体部	83		59	8	9	7	
前立腺	132		25	20	36	23	28
膀胱	44	21	8	7	4	＊	＊
脳脊髄	60						60
甲状腺	12		7	＊			4
悪性血液疾患	198		23	16	14	22	123
その他	206	5	70	24	38	36	33
計	2,098	206	592	288	268	324	420



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

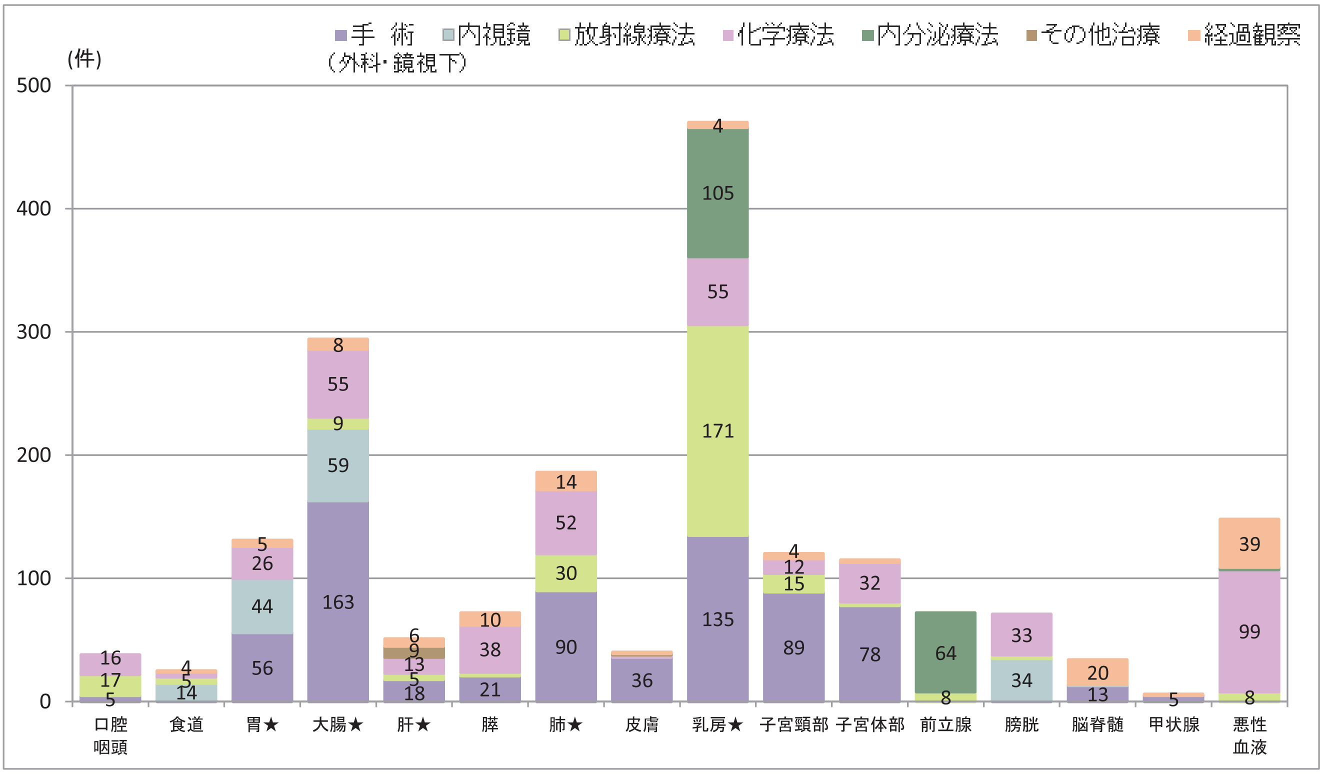
治療施設	件数
1初回治療せず	352
2初回治療開始	1,468
3初回治療継続	144
4初回治療終了後	134
8その他	
計	2,098



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

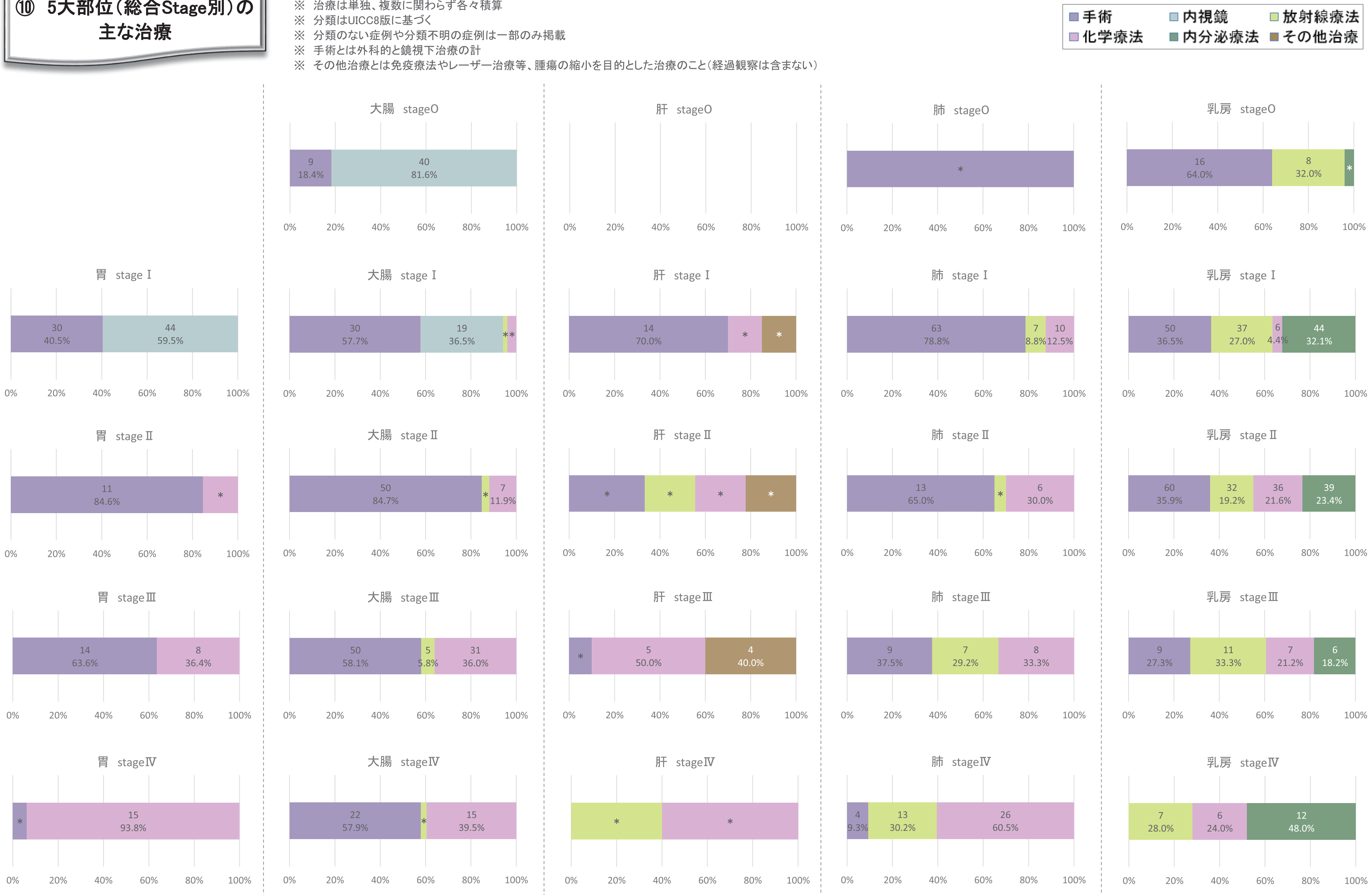
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	5		17	16				38	100.0%	0.0%	0.0%
食道	＊	14	5	4			＊	25	93.3%	6.7%	0.0%
胃★	56	44		26			5	131	98.9%	1.1%	0.0%
大腸★	163	59	9	55			8	294	91.7%	7.9%	0.5%
肝★	18		5	13		9	6	51	94.4%	5.6%	0.0%
膵	21		＊	38			10	72	95.2%	4.8%	0.0%
肺★	90		30	52			14	186	90.0%	10.0%	0.0%
皮膚	36			＊		＊	＊	40	97.2%	2.8%	0.0%
乳房★	135		171	55	105		4	470	97.0%	3.0%	0.0%
子宮頸部	89		15	12			4	120	97.8%	2.2%	0.0%
子宮体部	78		＊	32			＊	115	94.8%	5.2%	0.0%
前立腺			8		64			72			
膀胱	＊	34	＊	33				71	65.7%	34.3%	0.0%
脳脊髄	13	＊					20	34	78.6%	21.4%	0.0%
甲状腺	5						＊	6	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			8	99	＊		39	148			
計	711	152	277	437	171	10	115	1,873			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※ stage不明や分類なしなどで 放射線療法 76件

熊本赤十字病院

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	社会福祉法人恩賜財団　済生会熊本病院		

〇基本情報　　【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市南区近見5丁目3番1号		
病　床　数 追加情報	400床（一般400床）		
診療科数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	10.1（日）		
入院患者数	13,236（人）		
外来患者延数	138,334（人）		
がんの外来化学療法	〇	がんの緩和ケア	〇
がんの放射線治療	〇	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　4,369（件）		
院内がん登録件数	1,920（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　3　／初級者　1　／他　0（名）		

〇医療機関からのコメント

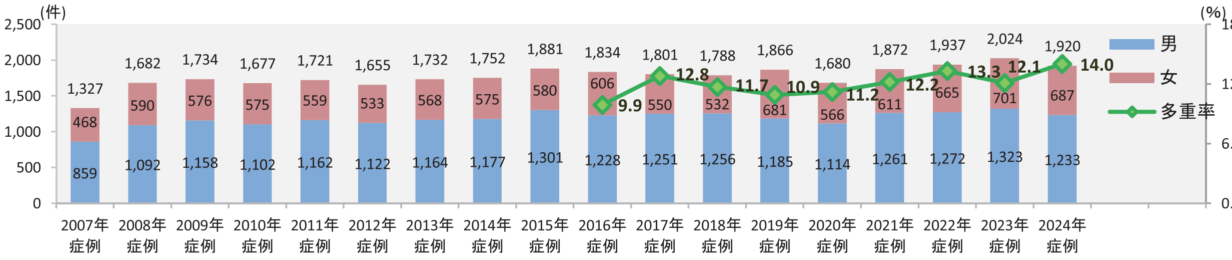
【患者住所医療圏別登録状況】
熊本市(49.5%)、宇城(18.4%)2つの医療圏で68%を占めていた。

【年齢＝()内は2023年診断症例との比較】
全体平均:71.1歳(-0.1歳)　男性平均:71.4歳(-0.6歳)　女性平均:70.5歳(+0.7歳)
年齢分布をみると、2023年と同様、男女ともに70～79歳の罹患数が一番多い結果となった。

【登録件数】
登録件数は1,920件(男性1,233件、女性687件)で、前年より104件減少。
男女比に関してはほぼ変化なく、男性が64.2%(前年65.4%)、女性が35.8%(前年34.6%)であった。

なお、上位5部位の割合についての状況は以下の通りである。
<<2023年>>1.前立腺(18.2%)　2. 大腸(16.1%)　3. 肺(14.2%)　4.胃(11.0%)　5.乳房(8.6%)
<<2024年>>1.肺(17.0%)　2. 大腸(16.3%)　3. 前立腺(15.1%)　4.胃(10.1%)　5.乳房(9.3%)

診断年別登録件数（参考）

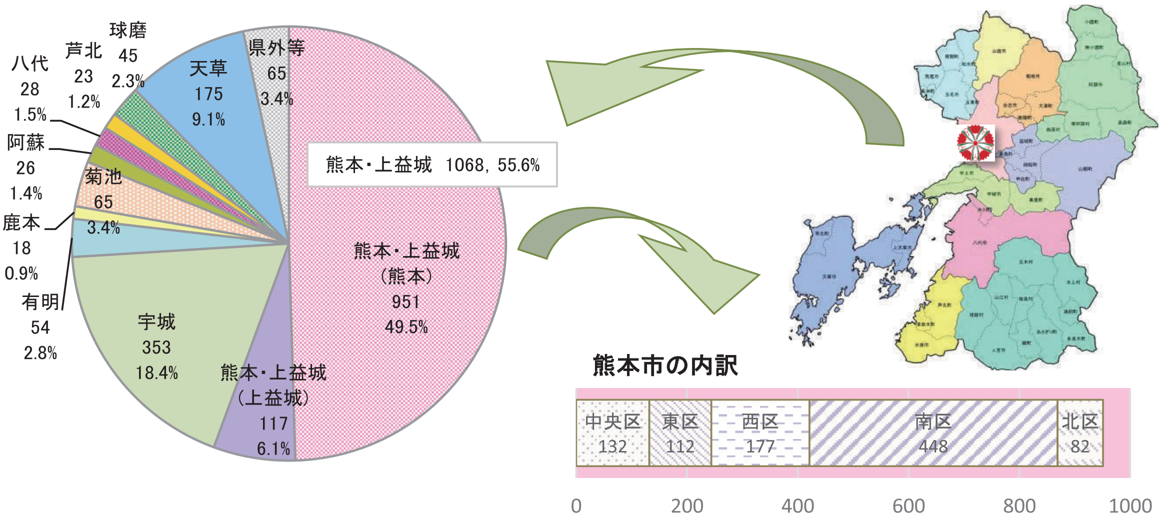


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

済生会熊本病院　（1,920件）

※　全般において3件以下は*又は非表示

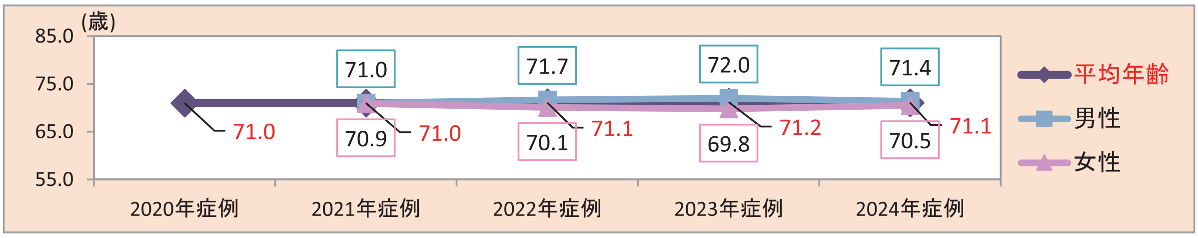


◇　医療圏別上位5部位

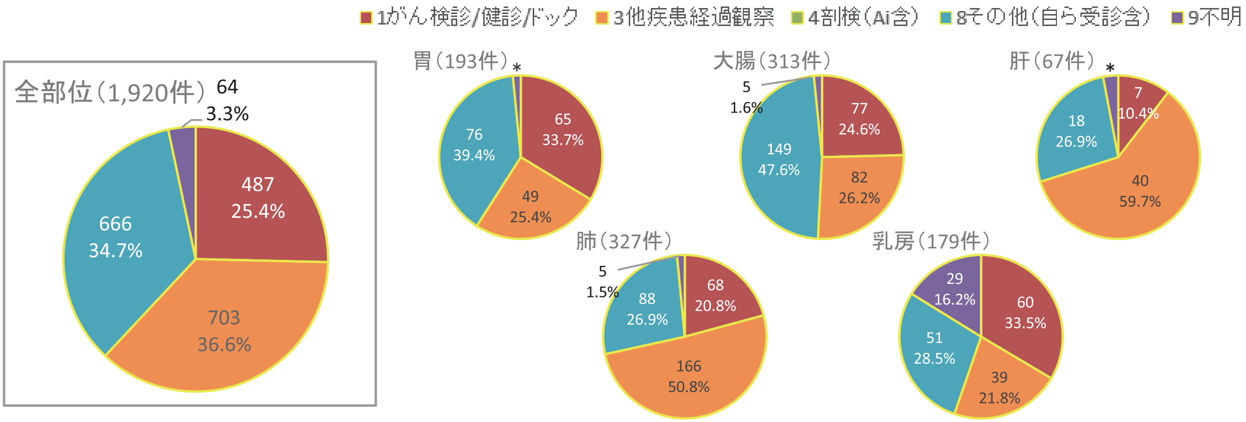
熊・上（熊本）	大腸	168	有明	その他	14	阿蘇	前立腺	7	球磨	肺	11
	肺	157		大腸	8		その他	5		その他	11
	前立腺	139		前立腺	8		胃	4		大腸	6
	乳房	113		胃	6		肺	4		前立腺	5
	その他	90		肺	5		該当部位	各*		胃	4
熊・上（上益城）	前立腺	20	鹿本	肺	4	八代	前立腺	8	天草	肺	49
	大腸	18		該当部位	各*		脳脊髄	6		前立腺	32
	肺	18					その他	4		その他	21
	胃	16					該当部位	各*		大腸	18
	その他	16								胃	16
宇城	大腸	77	菊池	前立腺	15	芦北	前立腺	8	県外等	前立腺	12
	肺	53		肺	14		膀胱	4		その他	10
	胃	40		その他	10		その他	4		大腸	9
	乳房	37		脳脊髄	8		該当部位	各*		肺	9
	その他	37		胃	6					胃	7

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

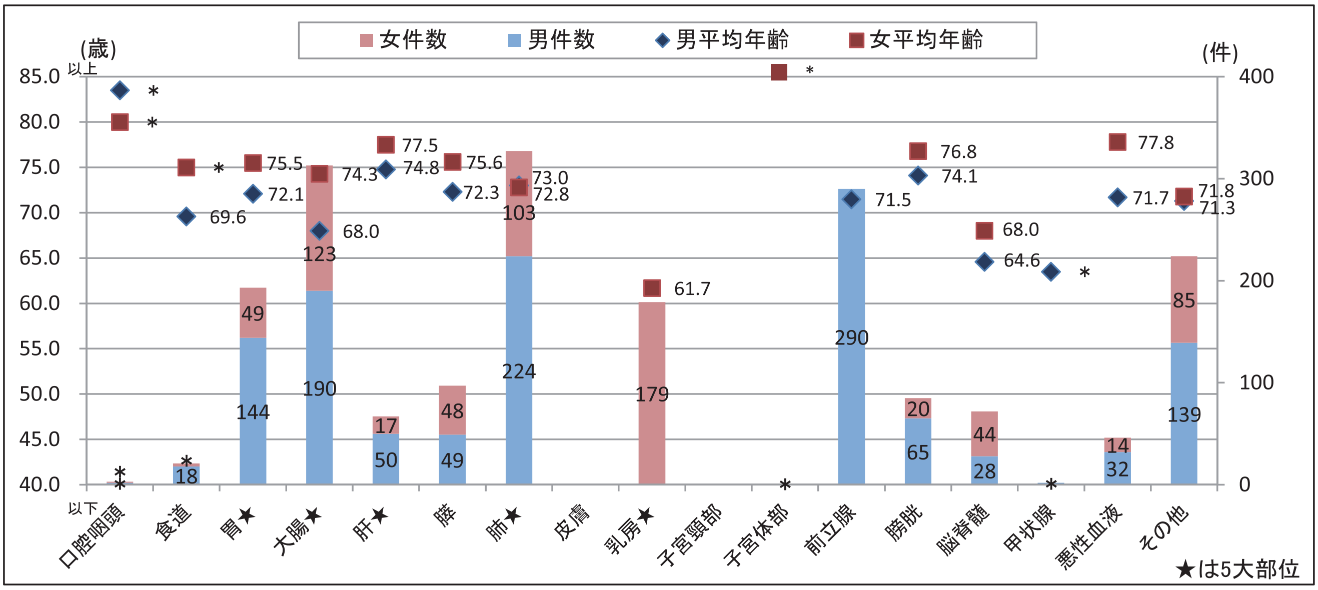
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
前立腺	290
肺	224
大腸	190
胃	144
その他	139
膀胱	65
肝	50
膵	49
悪性血液	32
脳脊髄	28
食道	18
口腔咽頭	*
甲状腺	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	1,233

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		大腸	5	大腸	11	大腸	26
		該当部位	各*	その他	6	前立腺	20
				悪性血液	4	胃	15
				該当部位	各*	肺	15
						その他	10
						など	
		計	11	計	28	計	106

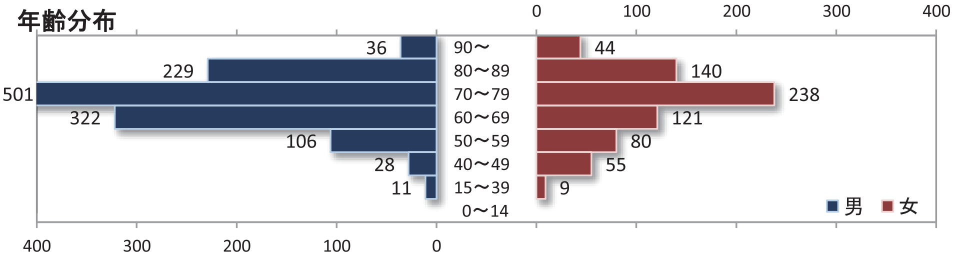
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	92	前立腺	140	肺	49	肺	8
大腸	56	肺	105	前立腺	37	大腸	7
肺	44	胃	57	胃	32	胃	6
その他	35	大腸	57	大腸	28	その他	5
胃	30	その他	56	その他	26	膀胱	4
など		など		など		該当部位	各*
計	322	計	501	計	229	計	36

女性

女性全体	
乳房	179
大腸	123
肺	103
その他	85
胃	49
膵	48
脳脊髄	44
膀胱	20
肝	17
悪性血液	14
食道	*
口腔咽頭	*
子宮体部	*
皮膚	
子宮頸部	
前立腺	
甲状腺	
計	687

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		乳房	6	乳房	33	乳房	42
		該当部位	各*	その他	7	大腸	13
				脳脊髄	5	その他	9
				胃	4	肺	8
				該当部位	各*	該当部位	各*
		計	9	計	55	計	80

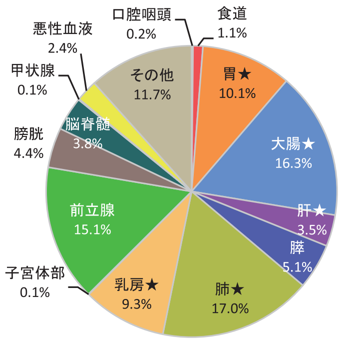
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	38	肺	47	大腸	30	大腸	13
肺	21	大腸	44	肺	21	その他	8
大腸	20	乳房	41	胃	18	胃	5
その他	12	その他	30	その他	18	脳脊髄	5
脳脊髄	9	膵	24	乳房	17	該当部位	各*
など		など		など			
計	121	計	238	計	140	計	44



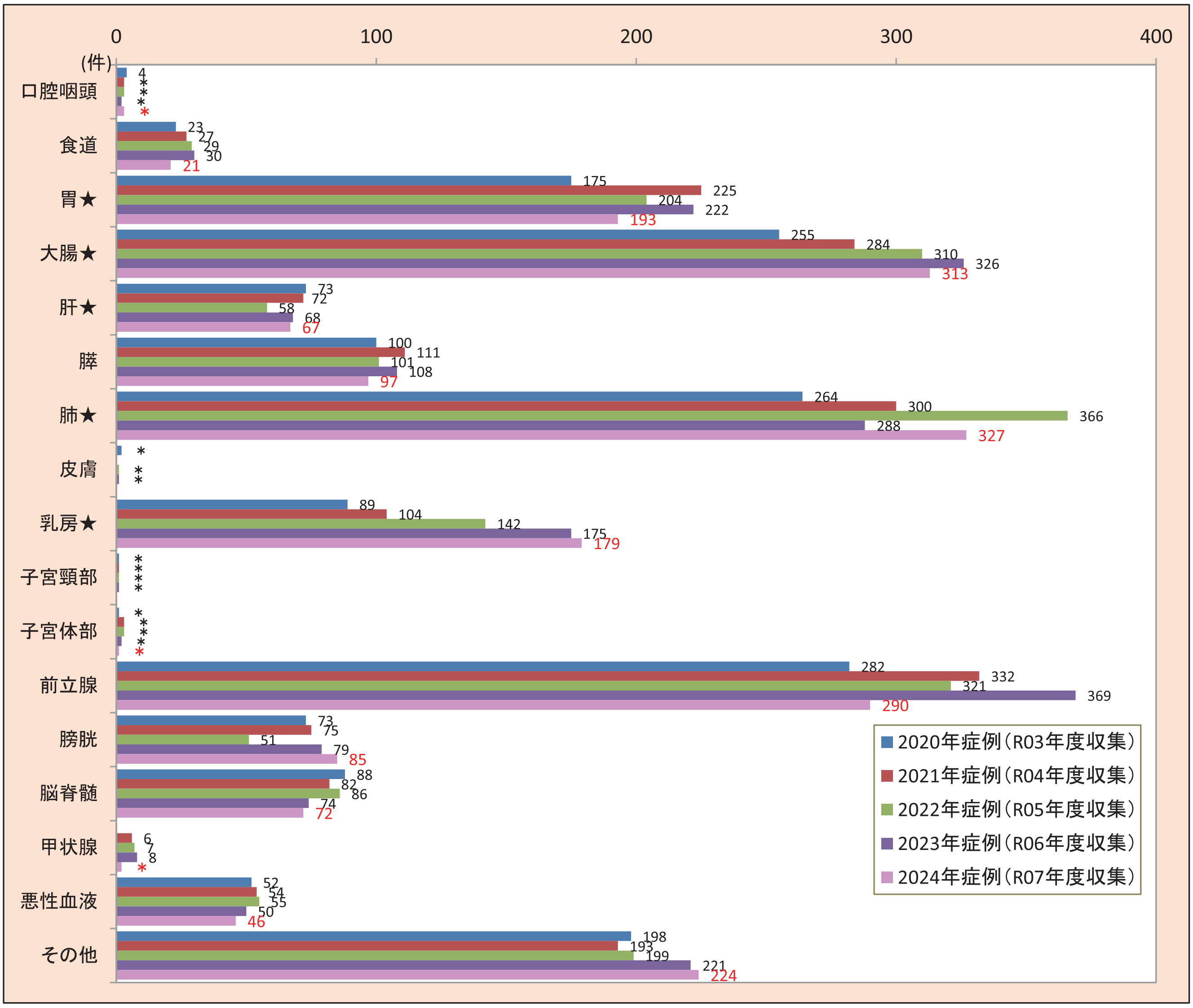
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	4	*	*	*	*
食道	23	27	29	30	21
胃★	175	225	204	222	193
大腸★	255	284	310	326	313
肝★	73	72	58	68	67
膵	100	111	101	108	97
肺★	264	300	366	288	327
皮膚	*		*	*	
乳房★	89	104	142	175	179
子宮頸部	*	*	*	*	
子宮体部	*	*	*	*	*
前立腺	282	332	321	369	290
膀胱	73	75	51	79	85
脳脊髄	88	82	86	74	72
甲状腺		6	7	8	*
悪性血液疾患	52	54	55	50	46
その他	198	193	199	221	224
計	1,680	1,872	1,937	2,024	1,920

2024年診断症例　主要部位別割合

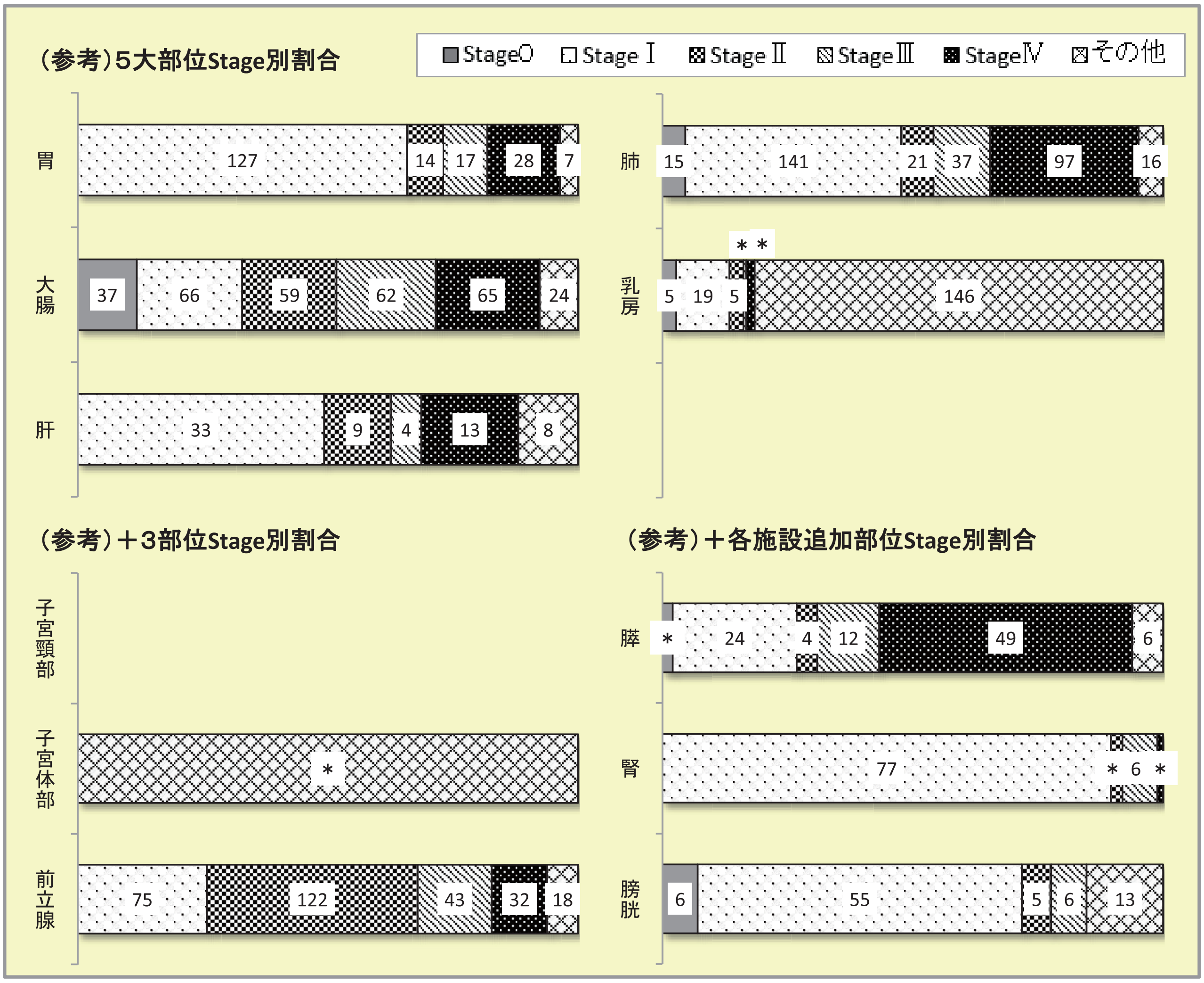


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

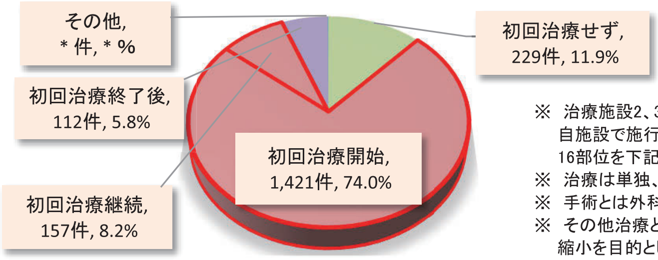
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	＊						＊
食道	21	＊	12	＊		＊	＊
胃★	193		127	14	17	28	7
大腸★	313	37	66	59	62	65	24
肝★	67		33	9	4	13	8
膵	97	＊	24	4	12	49	6
肺★	327	15	141	21	37	97	16
皮膚	0						
乳房★	179	5	19	5	＊	＊	146
子宮頸部	0						
子宮体部	＊						＊
前立腺	290		75	122	43	32	18
膀胱	85	6	55	5	6		13
脳脊髄	72						72
甲状腺	＊						＊
悪性血液疾患	46		14	4	5	6	17
その他	224	10	110	14	17	27	46
計	1,920	77	676	260	204	322	381



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

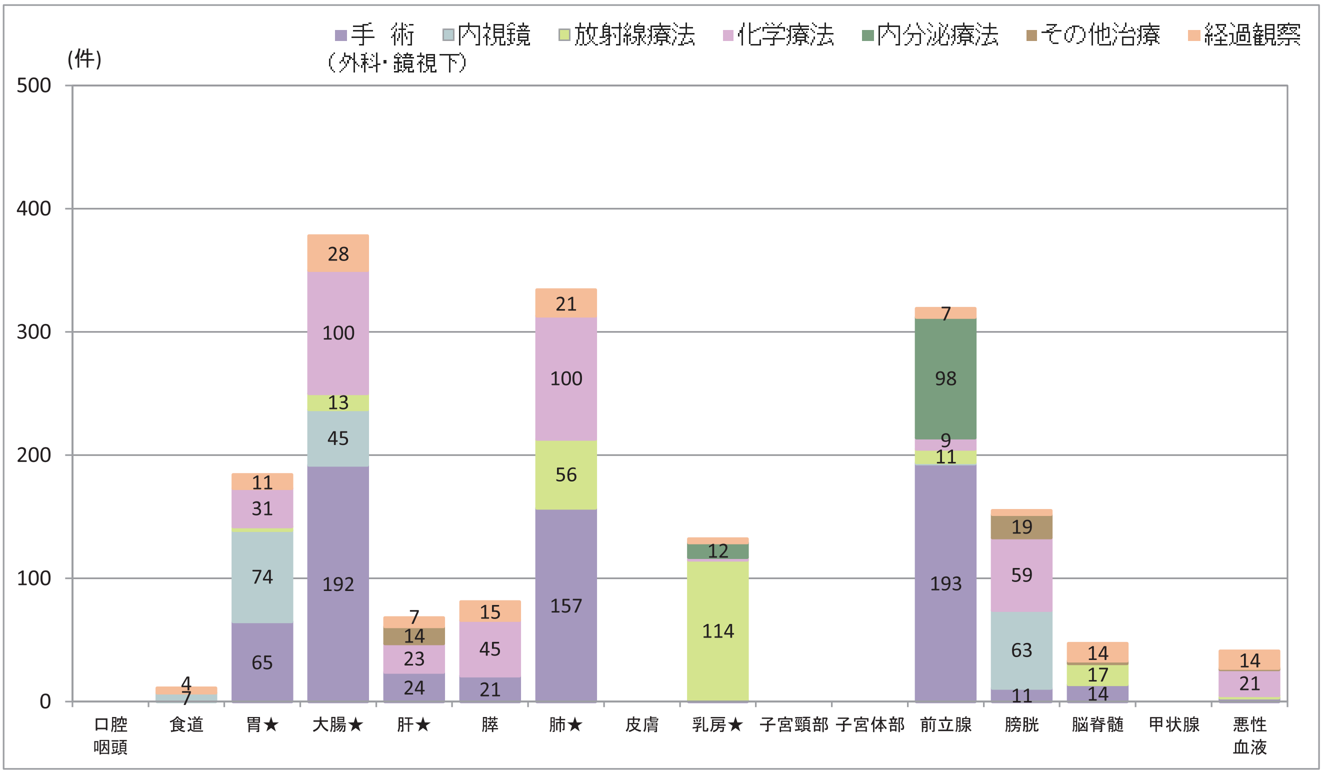
治療施設	件数
1初回治療せず	229
2初回治療開始	1,421
3初回治療継続	157
4初回治療終了後	112
8その他	＊
計	1,920



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

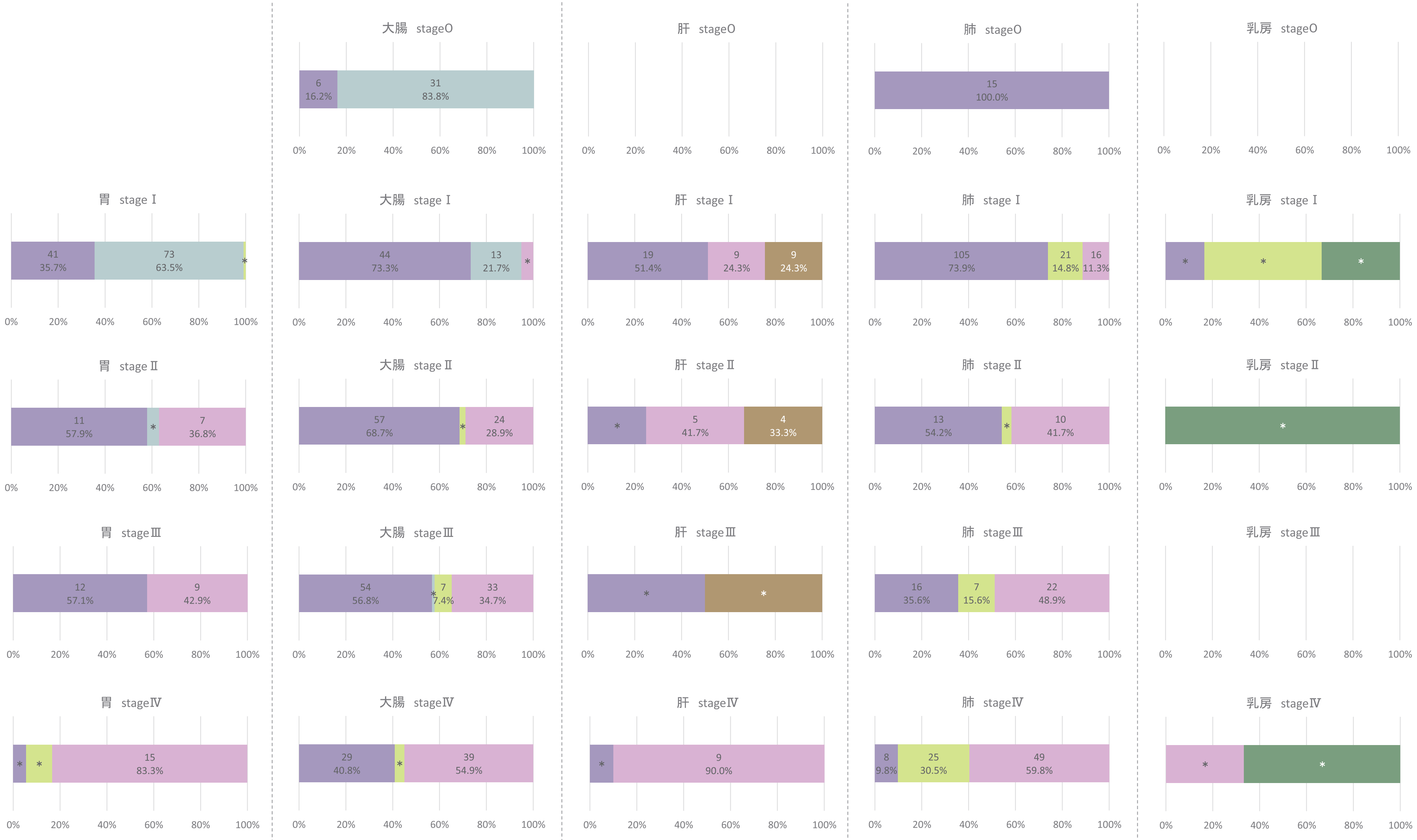
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		7					4	11	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	65	74	＊	31			11	184	91.9%	7.4%	0.7%
大腸★	192	45	13	100			28	378	90.4%	9.6%	0.0%
肝★	24			23		14	7	68	87.5%	8.3%	4.2%
膵	21			45			15	81	85.7%	14.3%	0.0%
肺★	157		56	100			21	334	94.9%	5.1%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	＊		114	＊	12		＊	132	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	193	＊	11	9	98		7	319	78.2%	21.8%	0.0%
膀胱	11	63		59		19	＊	155	21.4%	78.6%	0.0%
脳脊髄	14		17			＊	14	47	78.6%	21.4%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患	＊		＊	21		＊	14	41	66.7%	33.3%	0.0%
計	681	190	216	390	110	36	127	1,750			



済生会熊本病院

⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※　stage不明や分類なしなどで 放射線療法　111件

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター

○基本情報　　【令和6(2024)年12月現在】

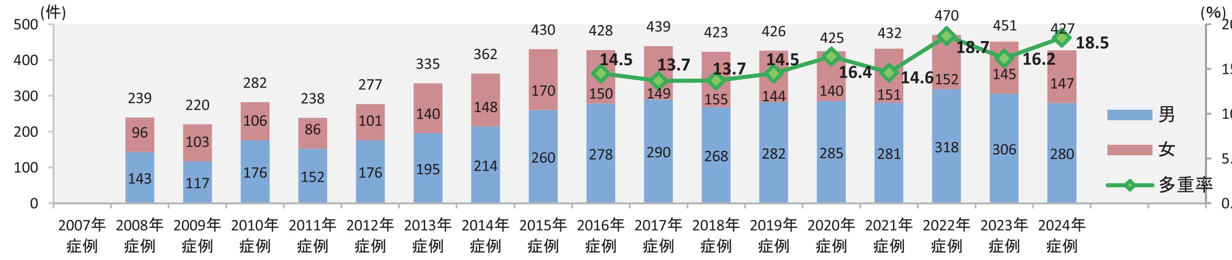
所　在　地	天草市亀場町食場854番1		
病　床　数 追加情報	210床（一般210床）		
診療科数	12科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	15.3（日）		
入院患者数	4,172（人）		
外来患者延数	54,781（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　3,909（件/概算）		
院内がん登録件数	427（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は天草医療圏におけるがん診療の中核病院として、手術・化学療法・緩和ケアを含む総合的ながん治療を提供。地域の医療機関と連携し、紹介・逆紹介体制や相談支援体制を整備している。
消化器がんにおいては、胃がん・大腸がんを中心に年間300件以上の手術実績がある。腹腔鏡下手術を導入し、身体への負担が少なく、回復の早い治療を提供している。
また、外来棟に快適な化学療法室を設置し、通院での抗がん剤治療が可能。生活の質（QOL）を保ちながら治療を継続できる体制を整備している。
高齢化が進む地域特性に応じ、年齢や併存疾患を考慮した治療の選択を実践。緩和ケアや在宅医療との連携も視野に入れた、地域完結型のがん医療を推進している。
当院では、がん患者さんやご家族が安心して語り合える「がんサロン」を定期的に開催。医療者だけでなく、同じ立場の方々との交流を通じた心理的支援を大切にしている。情報提供や相談の場としても機能し、治療と生活の両立を支える地域の居場所となっている。

【登録件数】
2024年登録件数は427件（前年451件）と減少した。
男性が65.6％（前年68％）女性が34.4％（前年32％）で女性が前年より微増した。
男女ともに大腸癌が最多となり、前年に引き続き高い罹患数を示した。特に男性では80件と前年（75件）から増加し、依然として主要な癌腫であることがわかる。男性の2位は胃癌（42件）で、前年の3位（39件）から順位を上げ、前立腺癌（40件）は3位となった。女性では、前年と同様に大腸癌が最多（41件）であったが、乳癌（16件→圏外）に代わり、胃癌（24件）が2位となり、膵癌（16件）は罹患数の増加により3位となり、前年は上位に見られなかった癌腫だった。
【年齢・性別】
全体の平均年齢は75.1才で、年々高くなっており、地域の高齢化構造の影響が考えられる。男性の平均年齢は74.4才、女性では76.4才だった。

診断年別登録件数（参考）

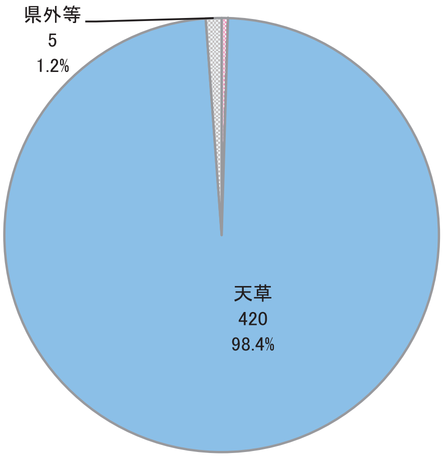


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

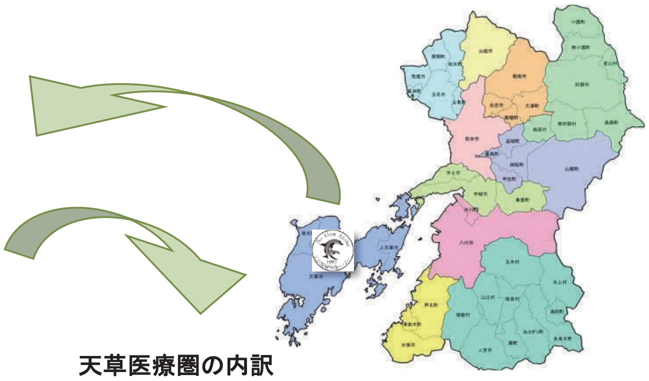
①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

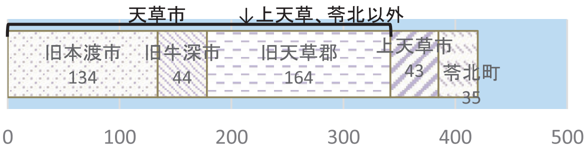
天草地域医療センター　（427件）



※（熊本）は1～3件



天草医療圏の内訳

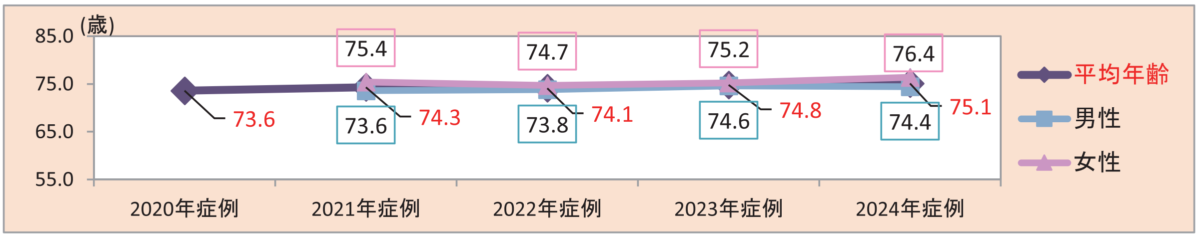


◇　医療圏別上位5部位

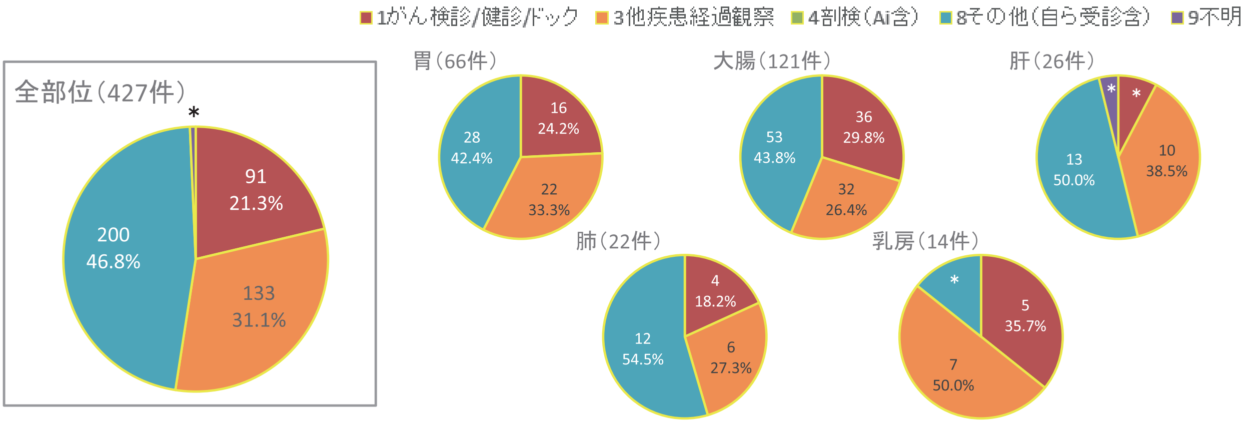
熊・上（熊本）	該当部位	各*	有明			阿蘇			球磨		
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草	大腸	117
										胃	65
										その他	55
										前立腺	40
										膵	28
宇城			菊池			芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

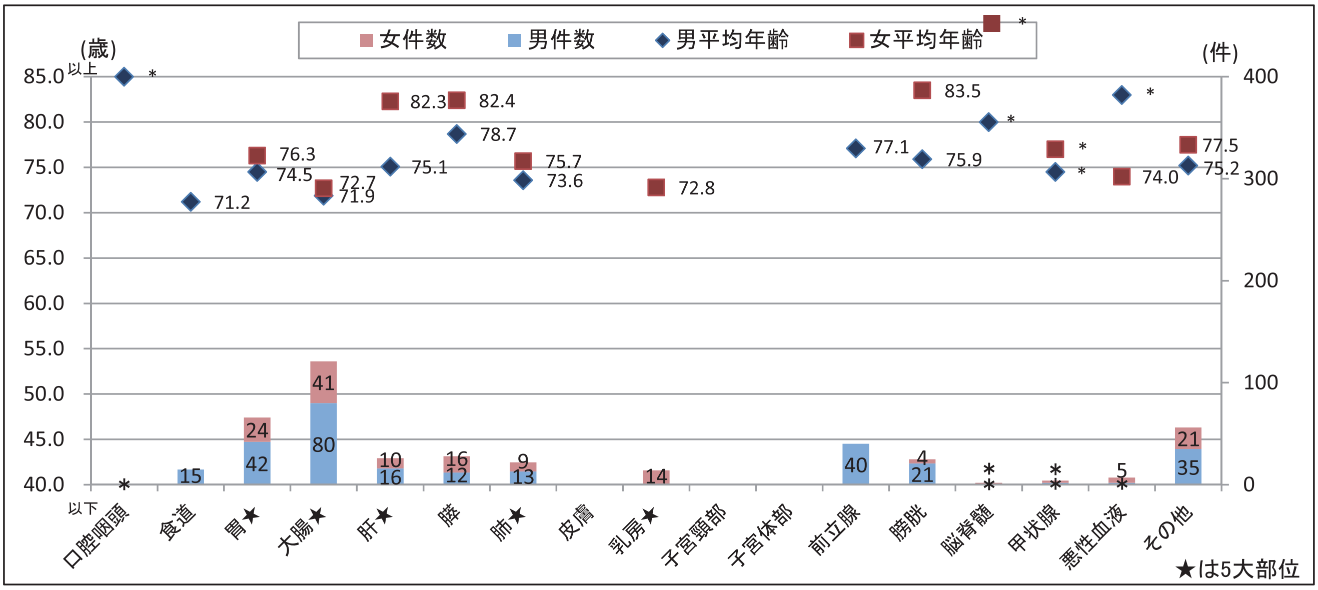
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
大腸	80
胃	42
前立腺	40
その他	35
膀胱	21
肝	16
食道	15
肺	13
膵	12
甲状腺	*
悪性血液	*
口腔咽頭	*
脳脊髄	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	280

0～14歳	

15～39歳	
該当部位	*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

50～59歳	
大腸	7
該当部位	各*
計	11

60～69歳	
大腸	19
その他	8
食道	5
胃	5
前立腺	4
該当部位	各*
計	49

70～79歳	
大腸	37
胃	24
前立腺	18
その他	17
肝	10
など	
計	135

80～89歳	
前立腺	14
大腸	9
胃	8
その他	8
該当部位	各7
など	
計	67

90歳～	
大腸	5
該当部位	各*
計	13

女性

女性全体	
大腸	41
胃	24
その他	21
膵	16
乳房	14
肝	10
肺	9
悪性血液	5
膀胱	4
甲状腺	*
脳脊髄	*
口腔咽頭	
食道	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
計	147

0～14歳	

15～39歳	
該当部位	*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

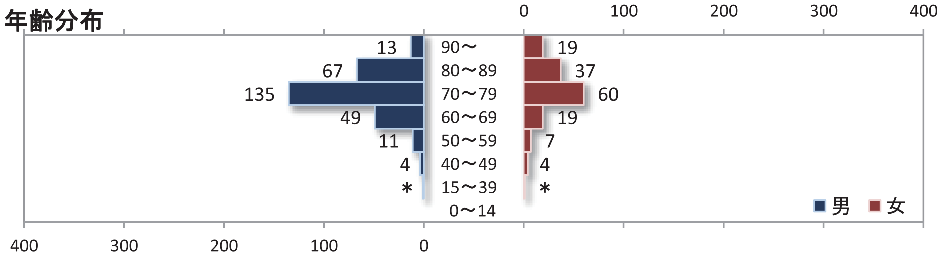
50～59歳	
該当部位	各*
計	7

60～69歳	
大腸	7
胃	5
該当部位	各*
計	19

70～79歳	
大腸	14
胃	10
膵	8
乳房	7
該当部位	各5
など	
計	60

80～89歳	
大腸	13
胃	5
肝	5
膵	5
該当部位	各*
計	37

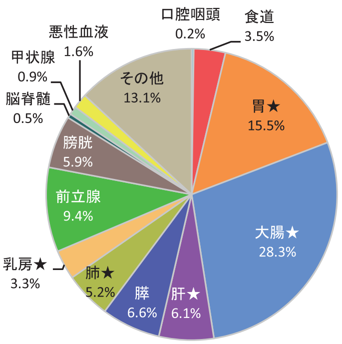
90歳～	
その他	8
該当部位	各*
計	19



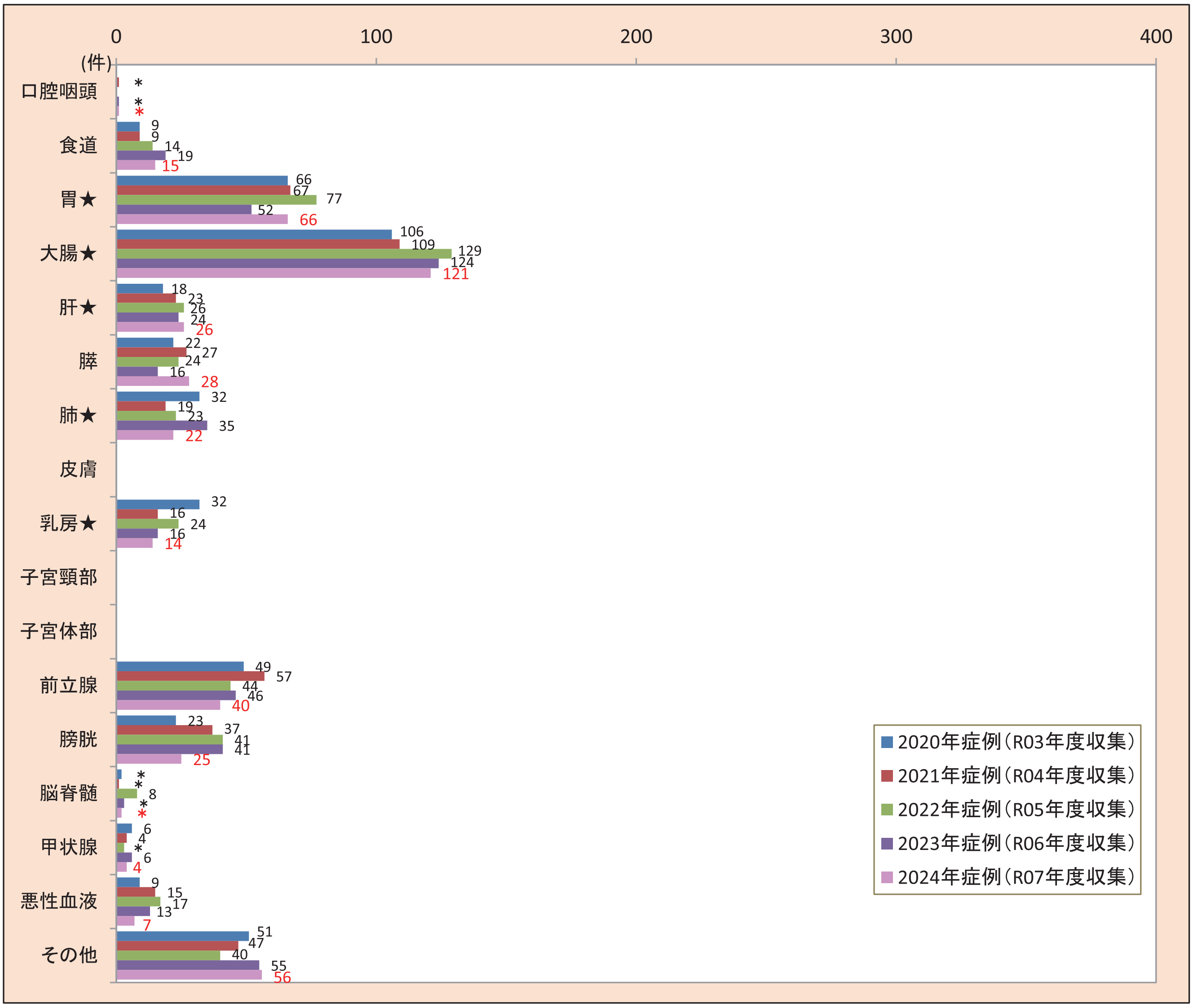
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭		*		*	*
食道	9	9	14	19	15
胃★	66	67	77	52	66
大腸★	106	109	129	124	121
肝★	18	23	26	24	26
膵	22	27	24	16	28
肺★	32	19	23	35	22
皮膚					
乳房★	32	16	24	16	14
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	49	57	44	46	40
膀胱	23	37	41	41	25
脳脊髄	*	*	8	*	*
甲状腺	6	4	*	6	4
悪性血液疾患	9	15	17	13	7
その他	51	47	40	55	56
計	425	432	470	451	427

2024年診断症例　主要部位別割合

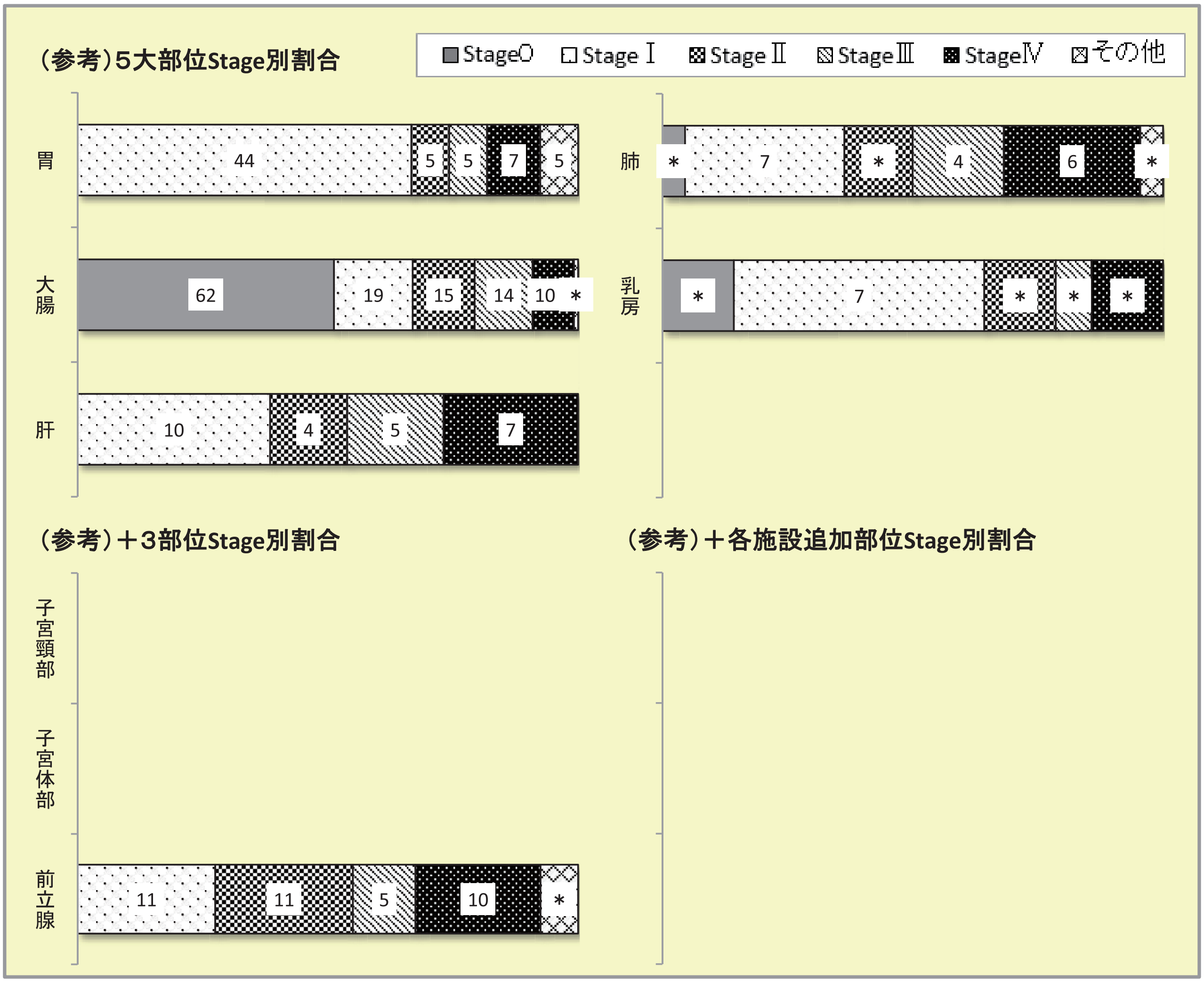


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

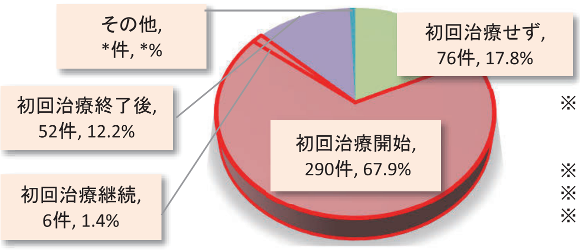
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	*			*			
食道	15	*	10	*	*		*
胃★	66		44	5	5	7	5
大腸★	121	62	19	15	14	10	*
肝★	26		10	4	5	7	
膵	28	*	8	*	5	11	
肺★	22	*	7	*	4	6	*
皮膚	0						
乳房★	14	*	7	*	*	*	
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	40		11	11	5	10	*
膀胱	25	17	5	*			
脳脊髄	*						*
甲状腺	4		*			*	*
悪性血液疾患	7						7
その他	56	12	11	*	4	11	17
計	427	96	134	50	44	65	38



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

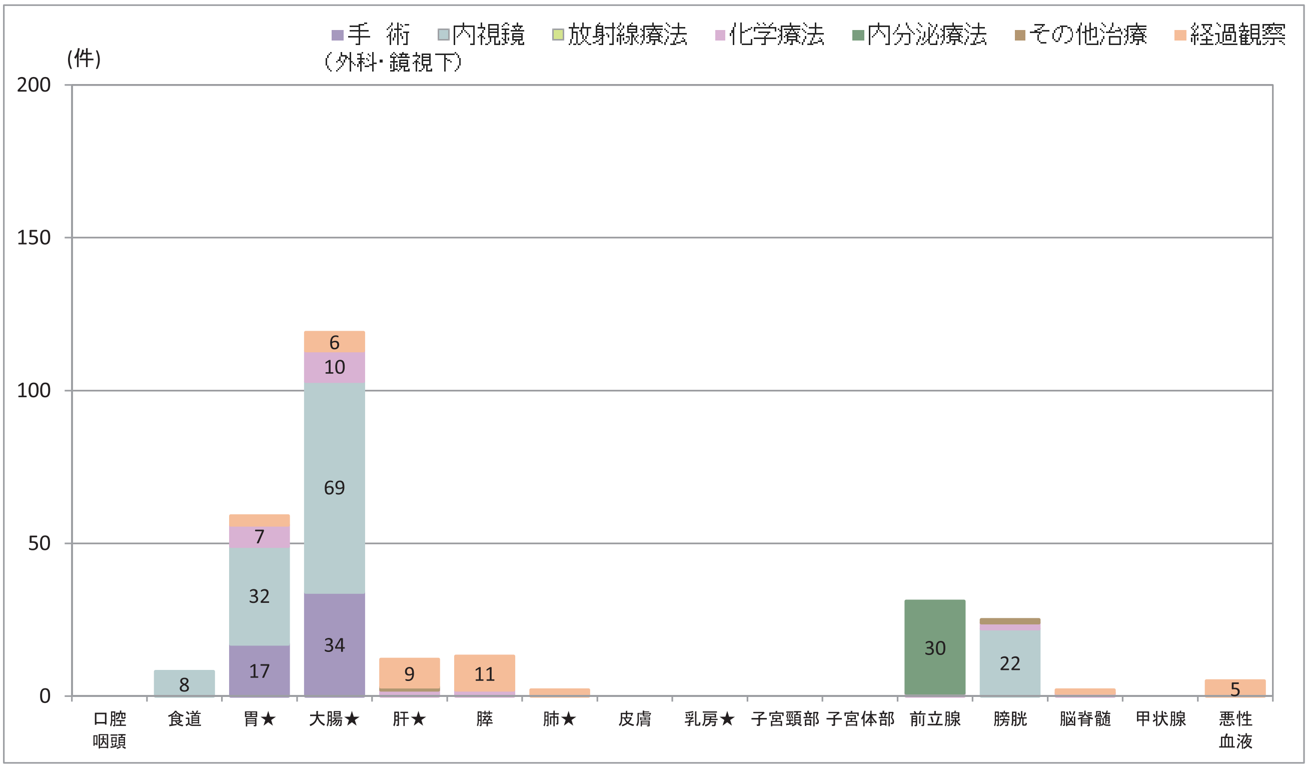
治療施設	件数
1初回治療せず	76
2初回治療開始	290
3初回治療継続	6
4初回治療終了後	52
8その他	*
計	427



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		8						8	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	17	32		7			*	59	95.9%	4.1%	0.0%
大腸★	34	69		10			6	119	98.1%	1.9%	0.0%
肝★				*		*	9	12			
膵				*			11	13			
肺★							*	*			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺				*	30			31			
膀胱		22		*		*		25	86.4%	13.6%	0.0%
脳脊髄				*			*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							5	5			
計	51	131	0	25	30	*	37	276			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

天草地域医療センター

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

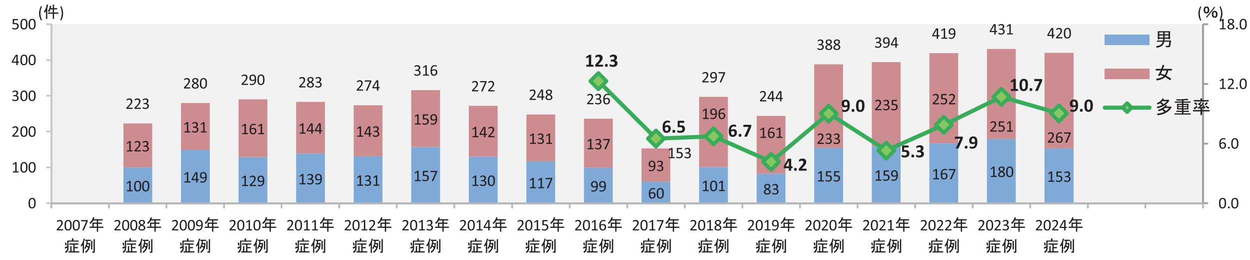
所 在 地	天草市東町101番地		
病 床 数 追加情報	155床（一般149床；感染症4床；結核2床）		
診 療 科 数	13科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	16.4（日）		
入院患者数	3,025（人）		
外来患者延数	61,888（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　2,000（件/概算）		
院内がん登録件数	420（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

本院は天草医療圏で唯一放射線治療ができる施設である。
2018年7月よりセンチネルリンパ節生検の施設認定を受け、一期的乳癌手術も当院にて可能となった。
また、2023年10月より非常勤の乳腺専門医師1名の増員があり乳癌治療の充実に努めている。
医師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師・がん専門相談員・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等によるチーム医療に取り組んでいる。また、私のカルテによる連携、がんサロンの開催やがん患者・家族会のサポート等、地域においてがん患者が安心して治療を受けられるよう支援している。

【医療圏】
登録件数420件中408件（97.1%）が天草医療圏となっている。
【登録件数】
・登録件数は420件（男性153件、女性267件）、前年431件（男性180件、女性251件）、男性は15%減少、女性は6%増加となった。
・部位別登録件数（『その他』を除く上位3部位）
全体 『乳房』118件（前年100件）、『悪性血液』62件（前年59件）、『肺』61件（前年67件）
男性 『肺』43件（前年53件）、『悪性血液』33件（前年26件）、『大腸』13件（前年8件）
女性 『乳房』118件（前年99件）、『悪性血液』29件（前年35件）、『肺』18件（前年15件）
乳癌の登録件数が前年より18件（15.3%）増、全体に占める割合は28.1%（前年23.2%）であった。
【年齢】
・全体平均年齢70.8歳、男性72.6歳（前年74.2歳）、女性69.7歳（前年68.8歳）
平均年齢は2018年　67.4歳、2019年　68.1歳、2020年　69.5歳、2021年　70.8歳、2022年　71.4歳、2023年 71.3歳、2024年 70.8歳。

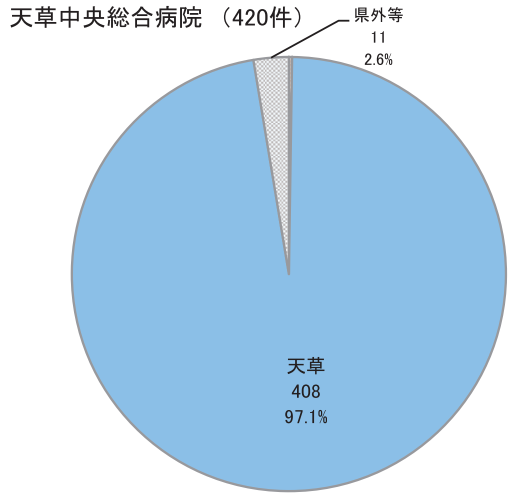
診断年別登録件数（参考）

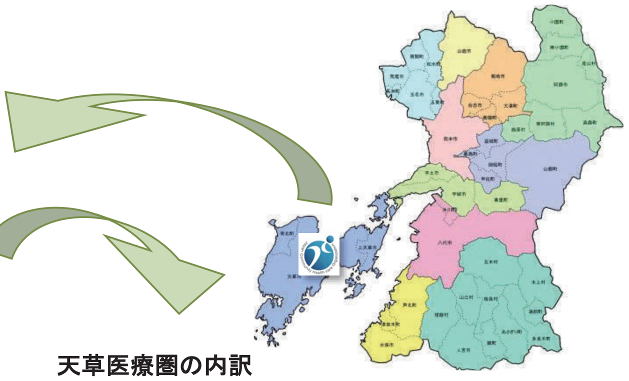


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

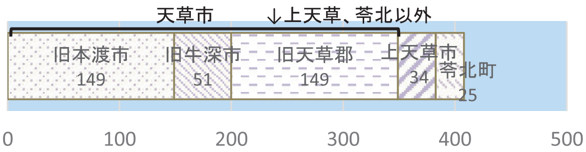
※ 全般において3件以下は*又は非表示





※ 菊池は1～3件

天草医療圏の内訳

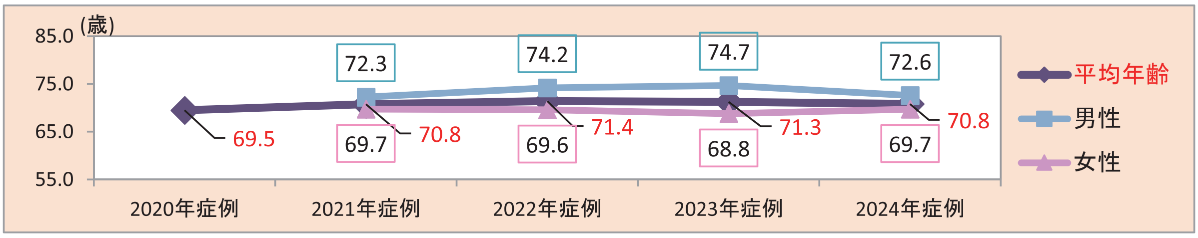


◇ 医療圏別上位5部位

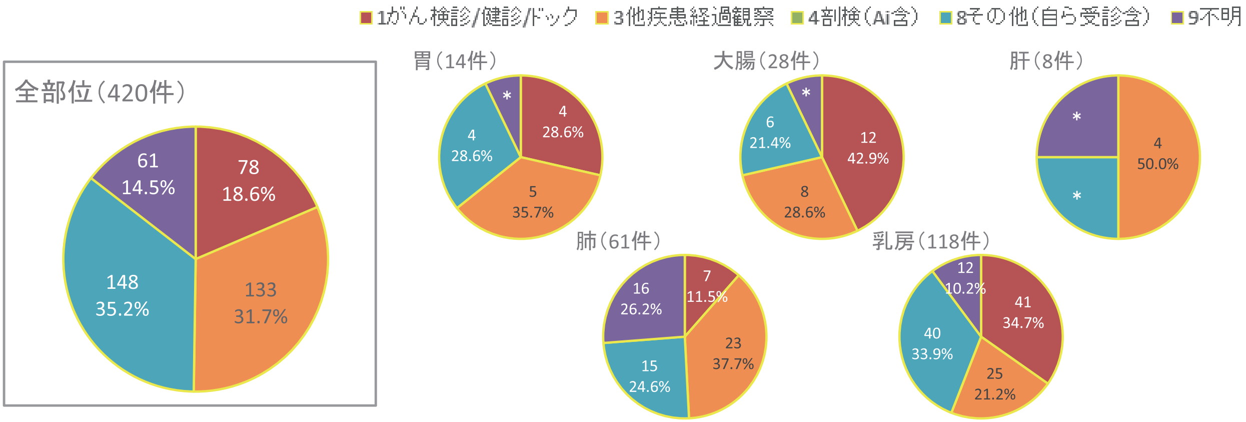
熊・上（熊本）			有明			阿蘇			球磨		
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草	乳房	117
										肺	60
										悪性血液	60
										その他	36
										大腸	26
宇城			菊池	該当部位	*	芦北			県外等	該当部位	各*

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

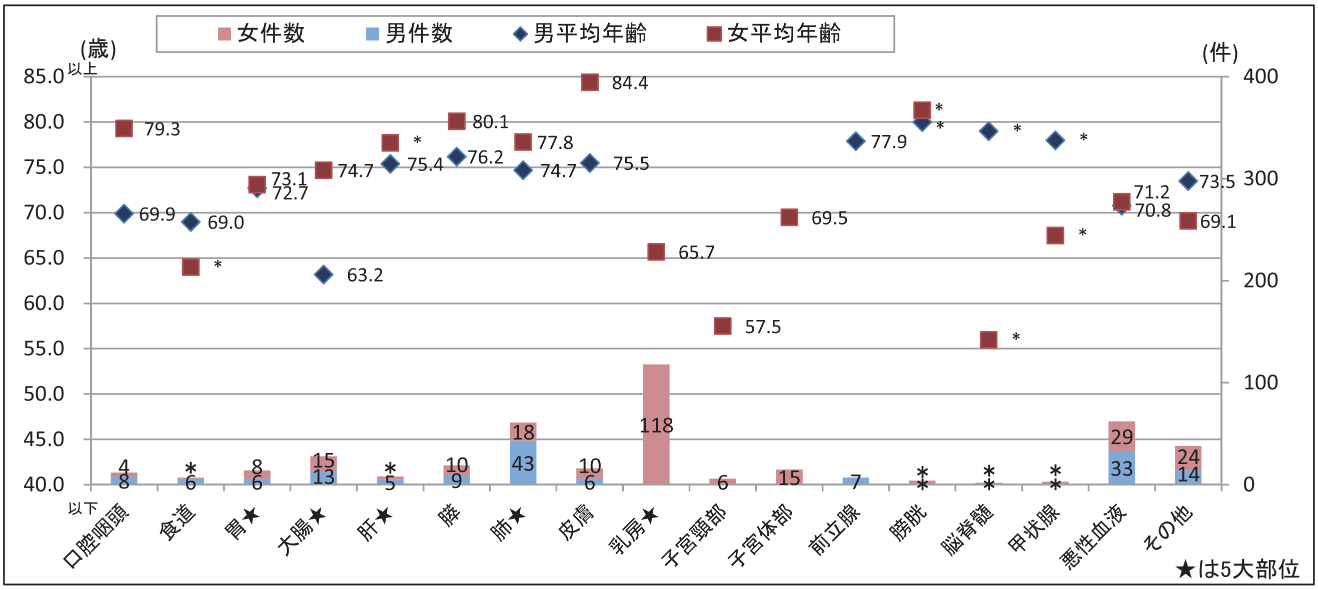
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	43
悪性血液	33
その他	14
大腸	13
膵	9
口腔咽頭	8
前立腺	7
食道	6
胃	6
皮膚	6
肝	5
膀胱	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	153

0～14歳	

15～39歳	
該当部位	*
計	*

40～49歳	
該当部位	*
計	*

50～59歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	11

60～69歳	
肺	9
悪性血液	8
大腸	5
その他	4
該当部位	各*
計	36

70～79歳	
肺	19
悪性血液	13
皮膚	5
該当部位	各4
など	
計	62

80～89歳	
肺	13
悪性血液	6
その他	6
該当部位	各*
計	38

90歳～	
該当部位	各*
計	*

女性全体	
乳房	118
悪性血液	29
その他	24
肺	18
大腸	15
子宮体部	15
膵	10
皮膚	10
胃	8
子宮頸部	6
口腔咽頭	4
肝	*
膀胱	*
甲状腺	*
食道	*
脳脊髄	*
前立腺	
計	267

0～14歳	

15～39歳	
該当部位	各*
計	7

40～49歳	
乳房	13
該当部位	各*
計	18

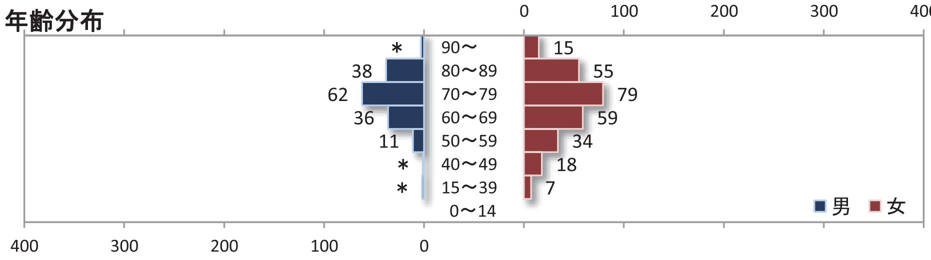
50～59歳	
乳房	23
その他	6
該当部位	各*
計	34

60～69歳	
乳房	31
その他	7
大腸	5
悪性血液	4
該当部位	各*
計	59

70～79歳	
乳房	31
悪性血液	15
肺	7
子宮体部	7
大腸	4
該当部位	各*
計	79

80～89歳	
乳房	15
皮膚	8
肺	7
悪性血液	6
その他	4
該当部位	各*
計	55

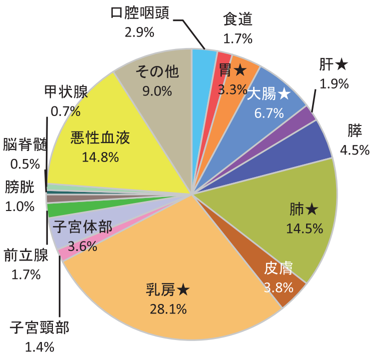
90歳～	
該当部位	各*
計	15



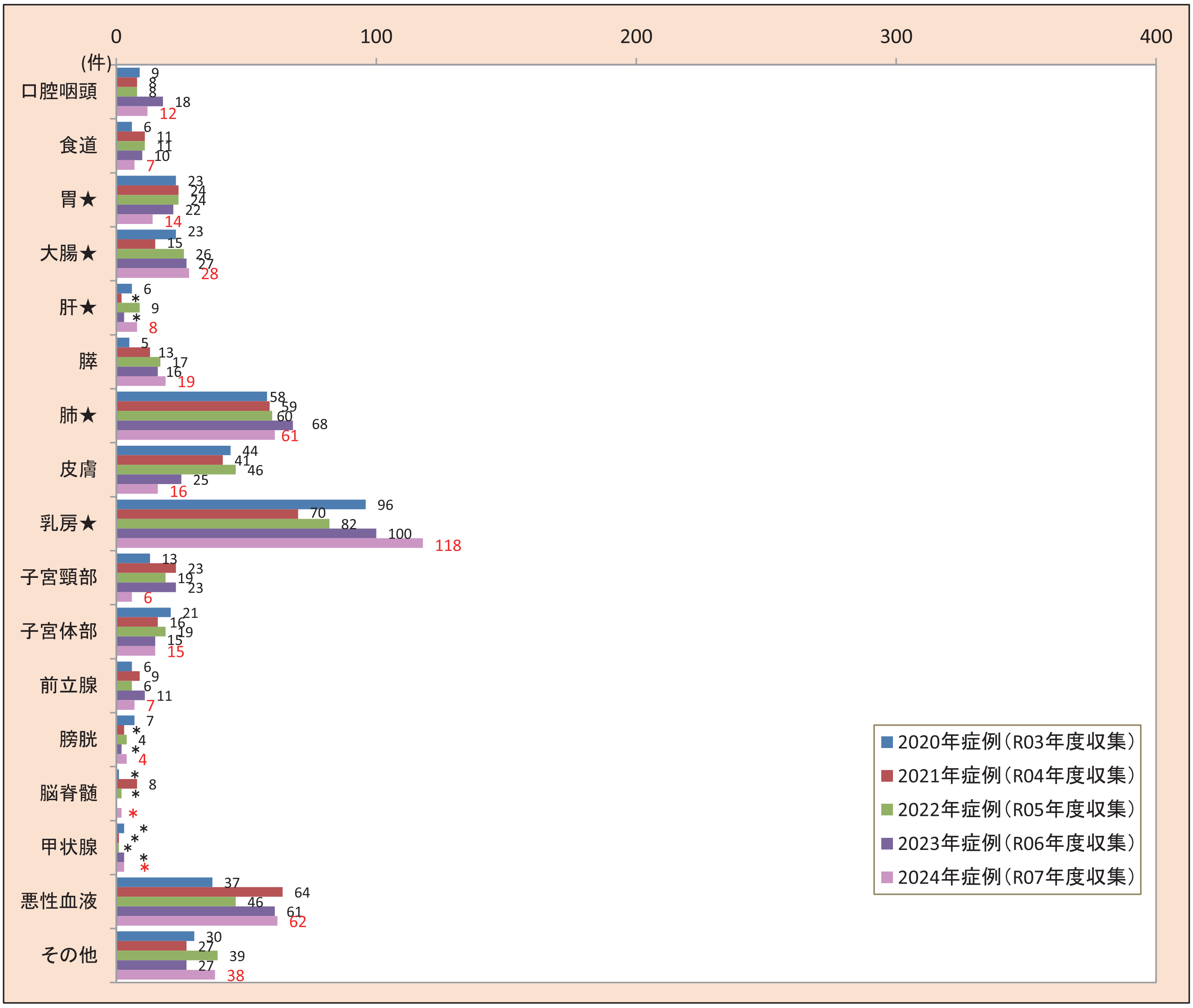
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	9	8	8	18	12
食道	6	11	11	10	7
胃★	23	24	24	22	14
大腸★	23	15	26	27	28
肝★	6	*	9	*	8
膵	5	13	17	16	19
肺★	58	59	60	68	61
皮膚	44	41	46	25	16
乳房★	96	70	82	100	118
子宮頸部	13	23	19	23	6
子宮体部	21	16	19	15	15
前立腺	6	9	6	11	7
膀胱	7	*	4	*	4
脳脊髄	*	8	*		*
甲状腺	*	*	*	*	*
悪性血液疾患	37	64	46	61	62
その他	30	27	39	27	38
計	388	394	419	431	420

2024年診断症例　主要部位別割合

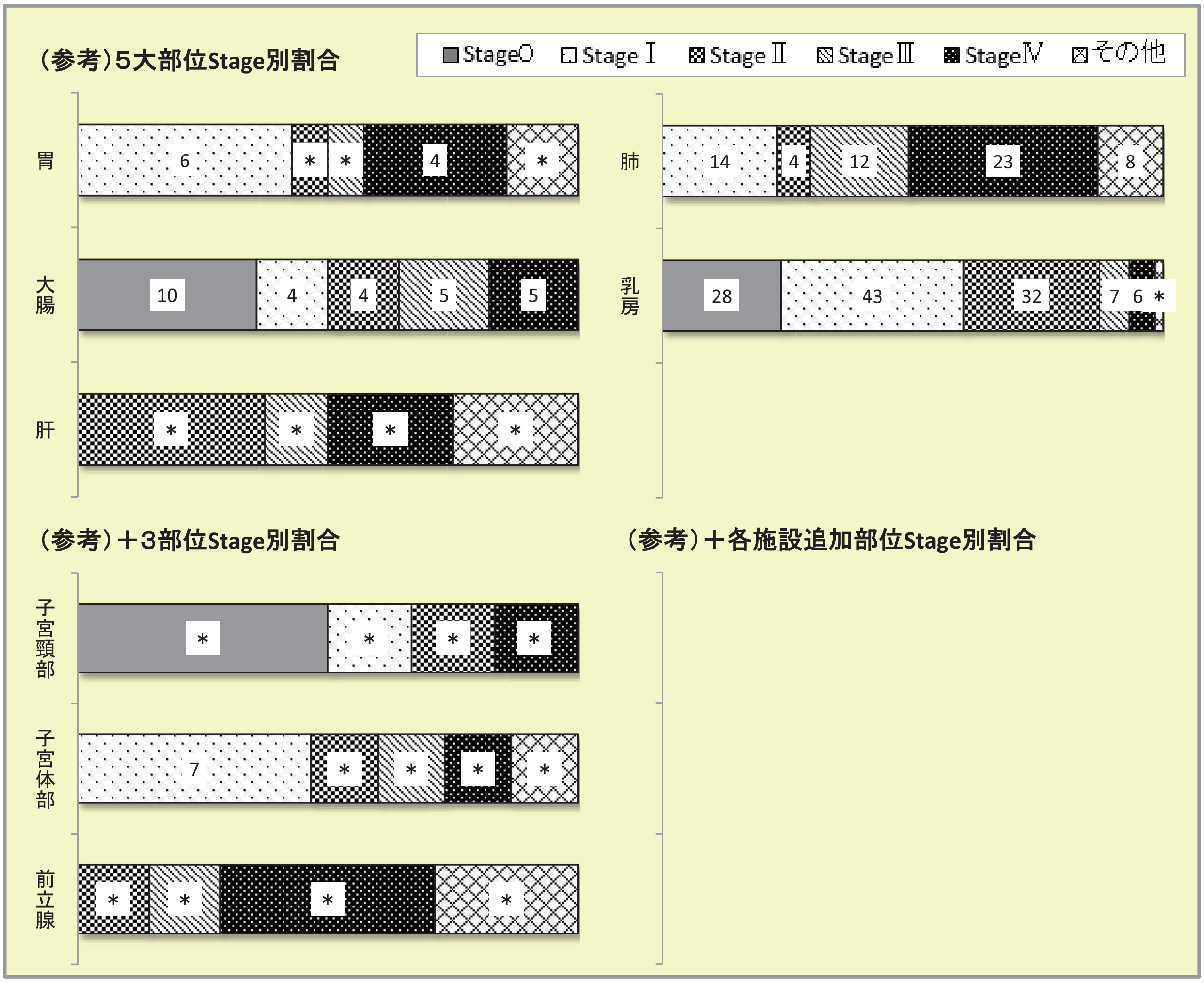


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

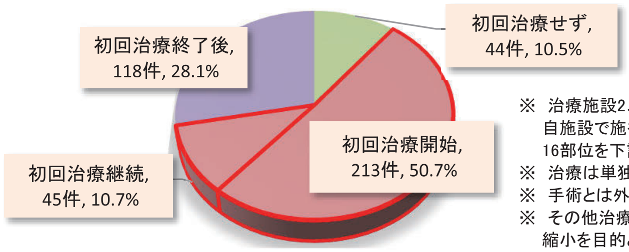
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	12	*	*			7	*
食道	7		*		*	*	*
胃★	14		6	*	*	4	*
大腸★	28	10	4	4	5	5	
肝★	8			*	*	*	*
膵	19			5	*	13	
肺★	61		14	4	12	23	8
皮膚	16	4	11			*	
乳房★	118	28	43	32	7	6	*
子宮頸部	6	*	*	*		*	
子宮体部	15		7	*	*	*	*
前立腺	7			*	*	*	*
膀胱	4	*	*	*			
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*		*		
悪性血液疾患	62		8	5	6	14	29
その他	38	*	4	*	9	8	13
計	420	48	107	63	47	90	65



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

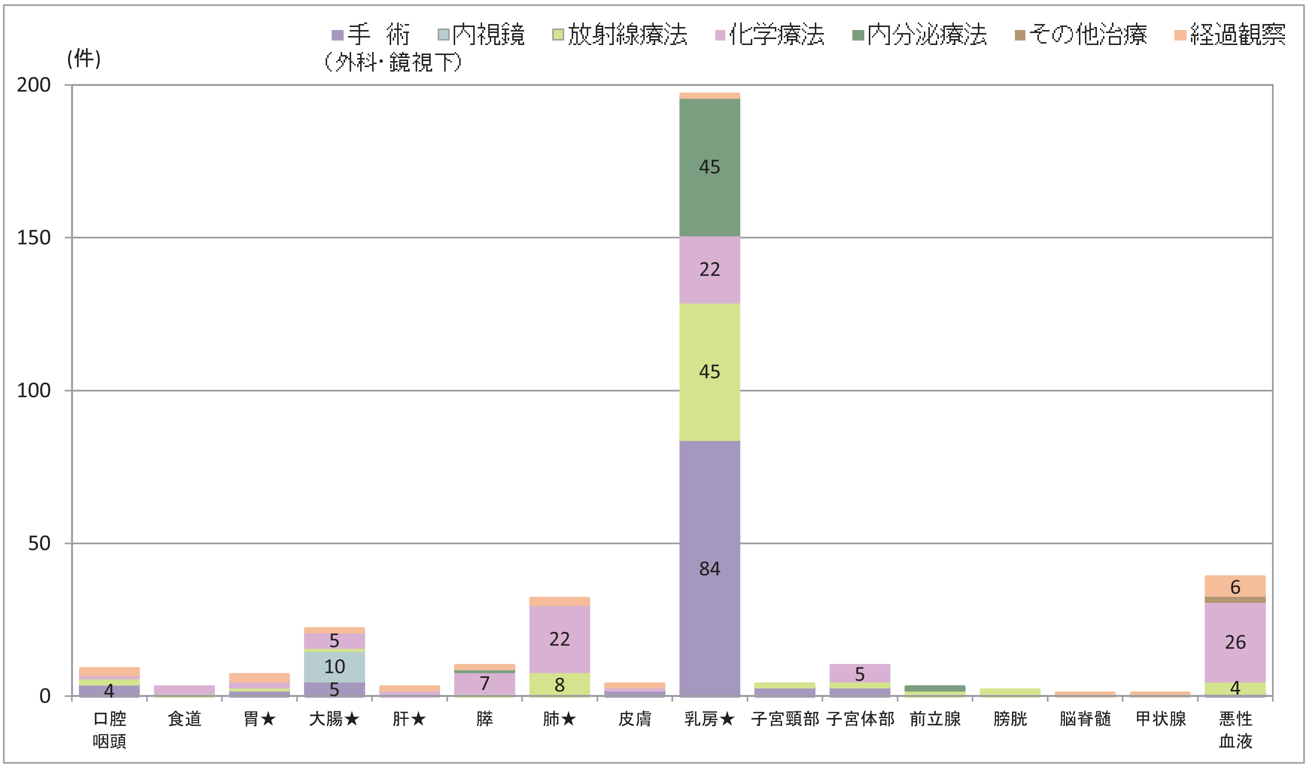
治療施設	件数
1初回治療せず	44
2初回治療開始	213
3初回治療継続	45
4初回治療終了後	118
8その他	
計	420



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

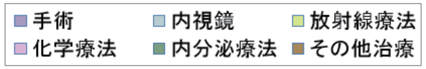
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4		＊	＊			＊	9	100.0%	0.0%	0.0%
食道			＊	＊				＊			
胃★	＊		＊	＊			＊	7	50.0%	50.0%	0.0%
大腸★	5	10	＊	5			＊	22	86.7%	0.0%	13.3%
肝★				＊			＊	＊			
膵			＊	7	＊		＊	10			
肺★			8	22			＊	32			
皮膚	＊			＊			＊	4	50.0%	50.0%	0.0%
乳房★	84		45	22	45		＊	197	95.2%	4.8%	0.0%
子宮頸部	＊		＊					4	66.7%	33.3%	0.0%
子宮体部	＊		＊	5				10	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			＊		＊			＊			
膀胱			＊					＊			
脳脊髄							＊	＊			
甲状腺							＊	＊			
悪性血液疾患	＊		4	26		＊	6	39	100.0%	0.0%	0.0%
計	104	10	70	95	47	＊	19	347			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター		

○基本情報

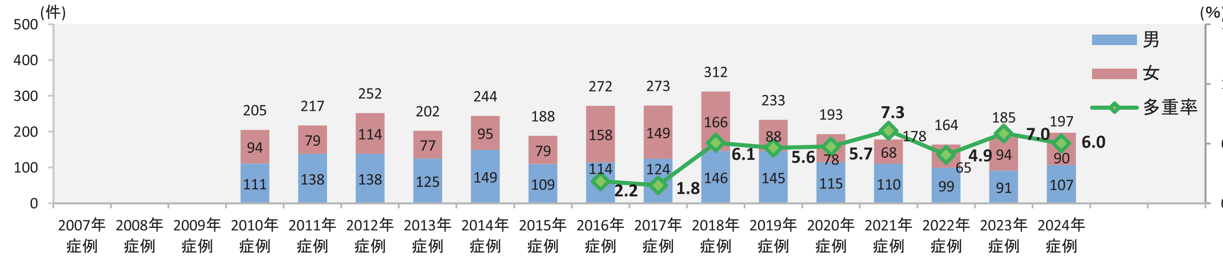
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	合志市須屋2659番地		
病　床　数 追加情報	446床（一般279床；療養167床）		
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2009.11.01
平均在院日数	31.8（日）		
入院患者数	3,793（人）		
外来患者延数	54,910（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　748（件）		
院内がん登録件数	197（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0(名)		

○医療機関からのコメント

【 登録件数 】
2024年は外来症例を含め197症例で，2023年に比べ12例増加していました。
【当院の特徴】
国立病院機構熊本再春医療センターは合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療支援病院の指定を受けました。県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療（神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など）を受け持っています。がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT，MRI，シンチグラム（核医学），マンモグラフィー，超音波，内視鏡を始めとする断装置を有しています。がん治療に関しては外科手術（大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術），抗癌化学療法，緩和医療を行い，外来化学療法，も併せて行っております。平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会，クリスマス会などを行っています。
【部位別症例件数】
肺癌82例（2例増加）、大腸癌45例（18例増加）、胃癌21例（9例増加）、食道癌5例（4例増加）、乳癌16例（16例減少）、その他です。がん発生部位は肺癌41.6%・大腸癌22.8・胃癌10.7%・肝・胆、膵臓を含め7.1%・乳癌8.1%となっています。
【医療圏】
本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池が69.0%、熊本市20.8%、鹿本7.1%となっています。また、70歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。
【今後の抱負】
がん診療連携拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を促進して参りたいと考えています。

診断年別登録件数（参考）

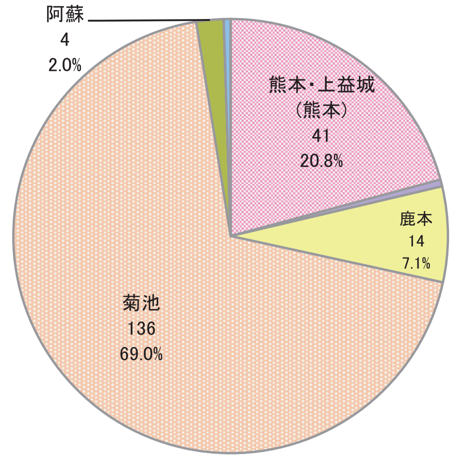


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

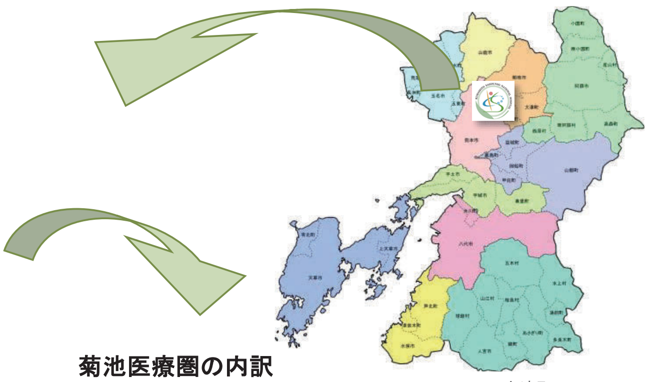
①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

熊本再春医療センター　（197件）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※(上益城)、天草は1～3件



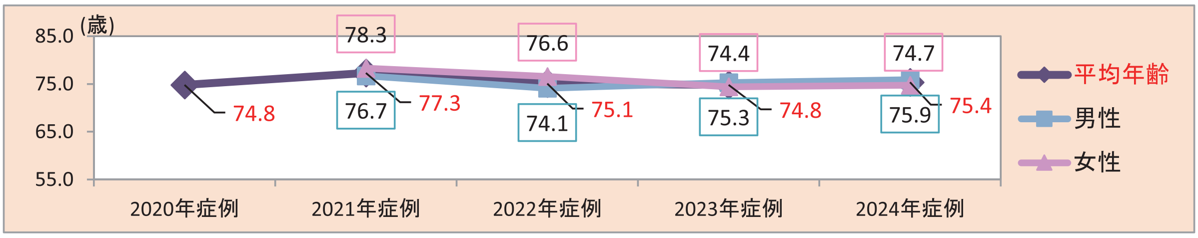
菊池医療圏の内訳

◇　医療圏別上位5部位

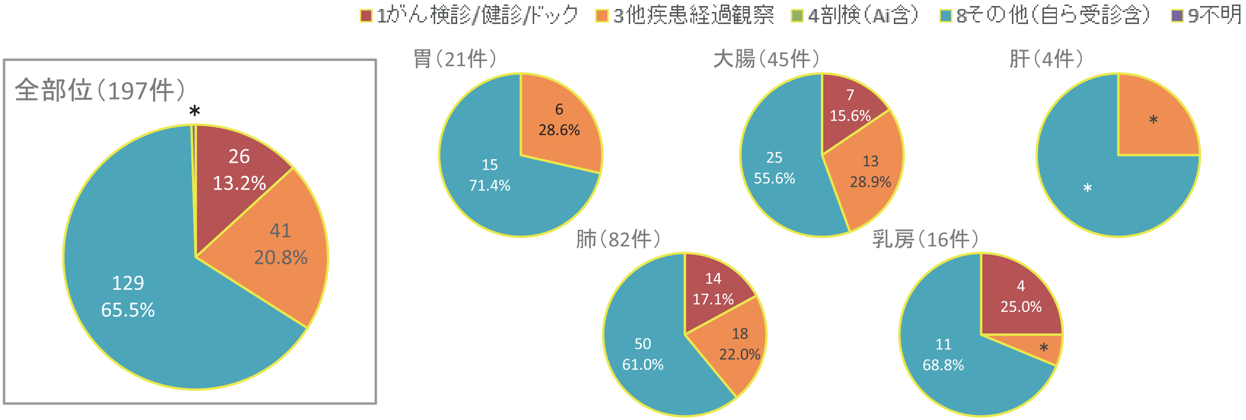
熊・上（熊本）	肺	18	有明			阿蘇	該当部位	各*	球磨		
	大腸	11									
	胃	4									
	乳房	4									
	該当部位	各*									
熊・上（上益城）	該当部位	*	鹿本	肺	7	八代			天草	該当部位	*
				大腸	4						
				該当部位	各*						
宇城			菊池	肺	54	芦北			県外等		
				大腸	28						
				胃	16						
				乳房	11						
				該当部位	各9						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

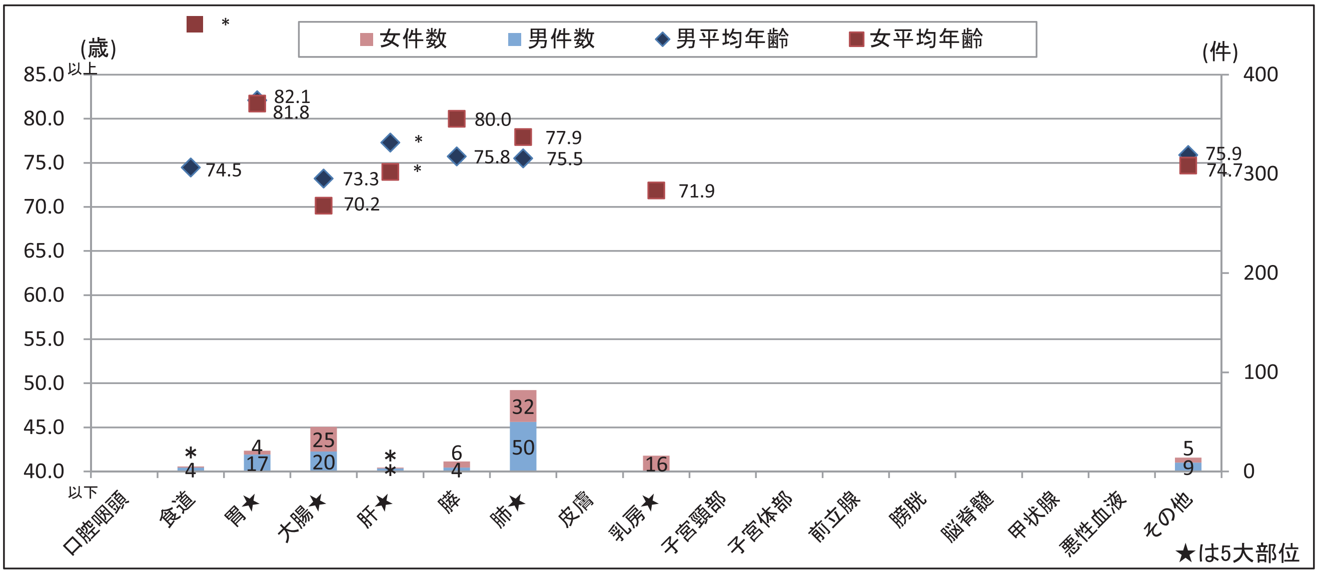
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	50
大腸	20
胃	17
その他	9
食道	4
膵	4
肝	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	107

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
				該当部位	各*		
				計	*		

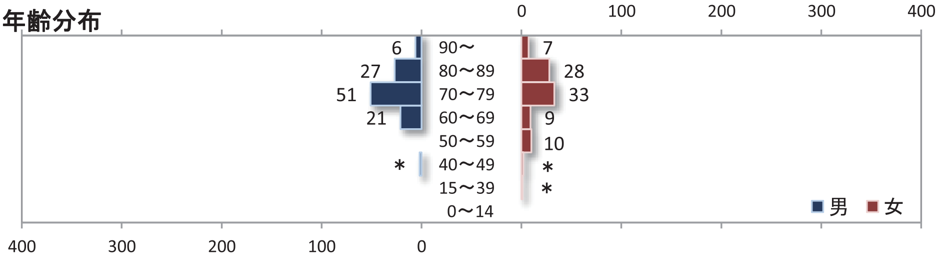
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肺	11	肺	21	肺	16	胃	4
大腸	6	大腸	11	胃	6	該当部位	各*
該当部位	各*	胃	6	該当部位	各*		
		その他	5				
		膵	4				
		該当部位	各*				
計	21	計	51	計	27	計	6

女性全体	
肺	32
大腸	25
乳房	16
膵	6
その他	5
胃	4
食道	*
肝	*
口腔咽頭	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	90

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	*	該当部位	各*	大腸	5
						乳房	5
		計	*	計	*	計	10

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	4	肺	16	肺	10	該当部位	各*
肺	4	大腸	8	大腸	7		
該当部位	*	膵	4	乳房	5		
		該当部位	各*	胃	4		
				該当部位	各*		
計	9	計	33	計	28	計	7

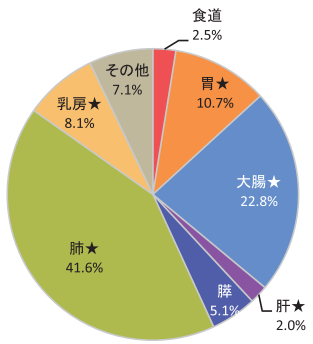
年齢分布



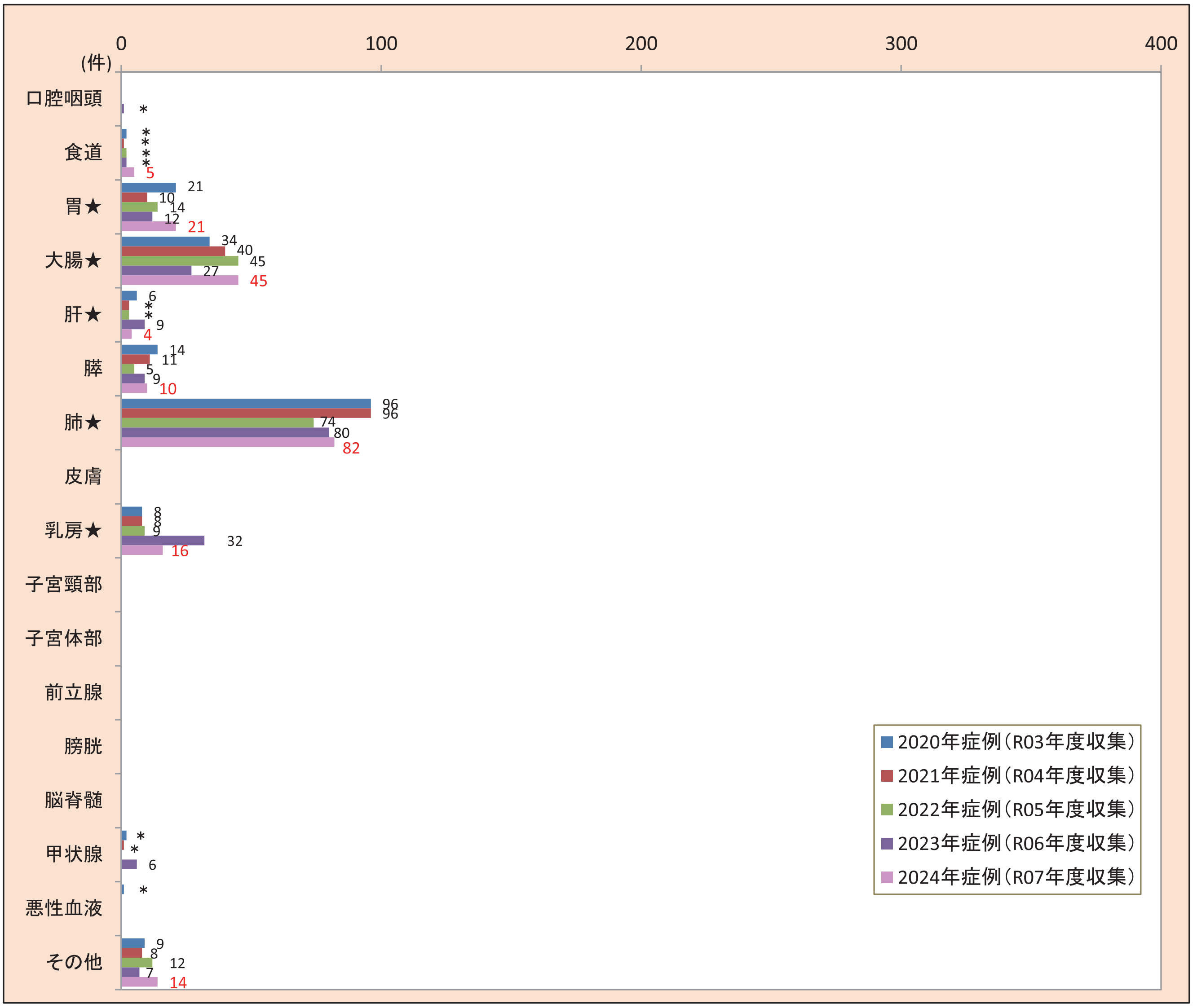
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭				*	
食道	*	*	*	*	5
胃★	21	10	14	12	21
大腸★	34	40	45	27	45
肝★	6	*	*	9	4
膵	14	11	5	9	10
肺★	96	96	74	80	82
皮膚					
乳房★	8	8	9	32	16
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺					
膀胱					
脳脊髄					
甲状腺	*	*		6	
悪性血液疾患	*				
その他	9	8	12	7	14
計	193	178	164	185	197

2024年診断症例　主要部位別割合



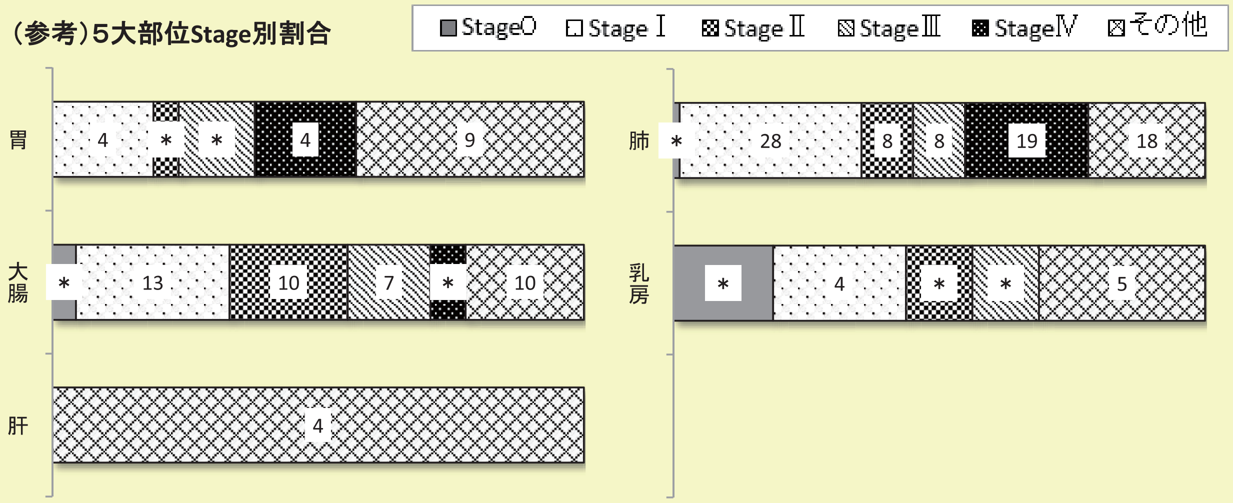
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



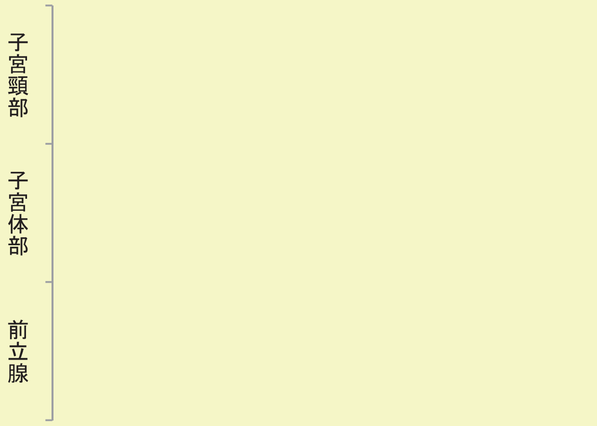
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	5		＊	＊			＊
胃★	21		4	＊	＊	4	9
大腸★	45	＊	13	10	7	＊	10
肝★	4						4
膵	10			＊	＊	＊	6
肺★	82	＊	28	8	8	19	18
皮膚	0						
乳房★	16	＊	4	＊	＊		5
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	14		＊	＊	＊	＊	9
計	197	6	52	24	23	28	64

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

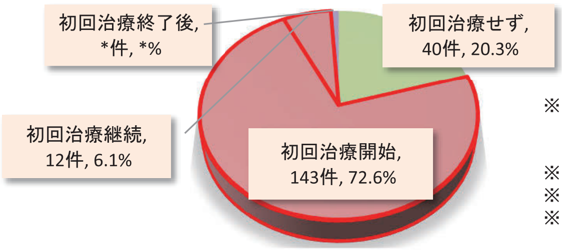


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

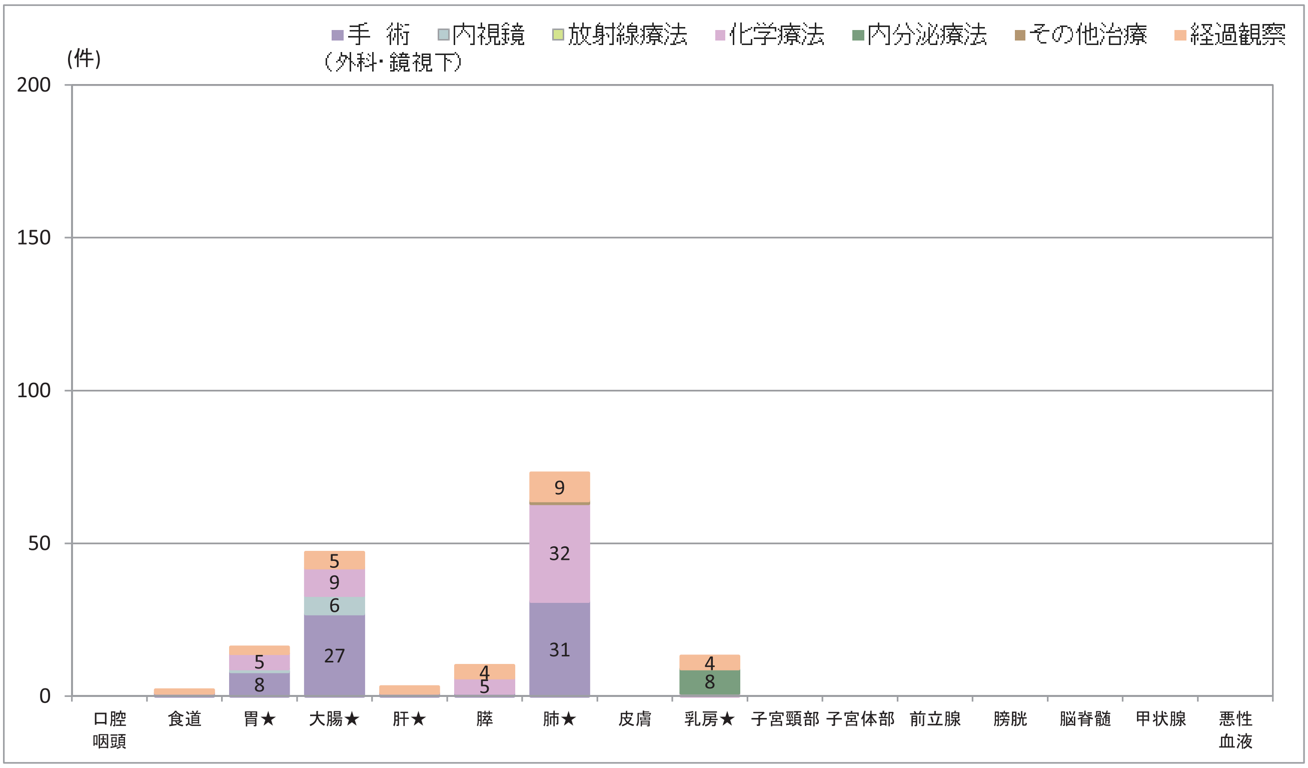
治療施設	件数
1初回治療せず	40
2初回治療開始	143
3初回治療継続	12
4初回治療終了後	＊
8その他	
計	197



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	＊						＊	＊	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	8	＊		5			＊	16	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	27	6		9			5	47	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	＊						＊	＊	100.0%	0.0%	0.0%
膵	＊			5			4	10	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	31			32		＊	9	73	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★				＊	8		4	13			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	69	7	0	52	8	＊	27	164			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医 療 機 関 名	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院

○基本情報

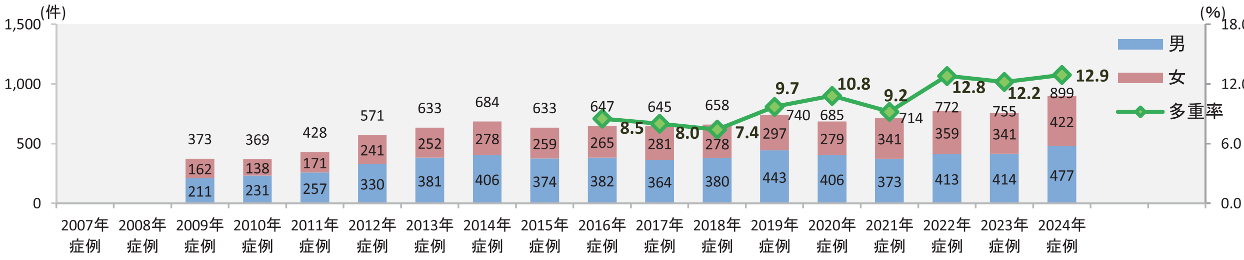
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	八代市通町10番10号		
病　床　数	400床（一般396床；感染症4床）		
追加情報	地域包括ケア病棟56床；無菌室8床		
診 療 科 数	46科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	14.2（日）		
入院患者数	8,376（人）		
外来患者延数	142,847（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　4,430（件/概算）		
院内がん登録件数	899（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は2006年からがんセンターを設立し、特にがん治療に力を入れている。
1.症例件数
当院における2024年の症例件数は899件（前年比+144件）であり、男女比としては男性が53．1%（477件）、女性が46．9%（422件）であった。また八代医療圏における患者の割合は80．9%となっている。
2.平均年齢
症例の平均年齢は72．8歳（前年比＋0．5）であり、年齢層では男女ともに70歳代が最も多かった。
3.部位別症例件数
部位別では、大腸がん140件（15．8%）、悪性血液疾患137件（15．2%）、前立腺がん69件（7．7%）、肺がん60件（6．7%）、子宮体がん59件（6．6%）の順で多かった。登録部位の順は前年と1番目と2番目が前後した。また上位5部位で全体の51．7%を占めていた。
4.治療
2020年9月より大規模増築ならびに改修に着工し、外来・化学療法部門、健康管理センター、内視鏡センター、人工透析センター、手術センター等が含まれており、2023年2月に竣工した。さらに本館の改修・拡張を完了した。また10月より産科を再開することとなり外来、入院・分娩施設の工事も完了した。
治療件数の内訳は、手術が治療全体の34．9%、化学療法31．3%、内視鏡12．8%、放射線療法7．2%、内分泌療法6．1%の順になっていた。
胃や大腸は進行癌であっても薬物療法を行い、癌の進行度に応じた術式を選択し、個々の症例に最も適切な手術を行うようにしており、可能な限り根治術を目指している。
当院は最新の質の高いがん治療を行っているが、今後も継続しながら更なる地域医療や施設との連携を図って行く必要がある。

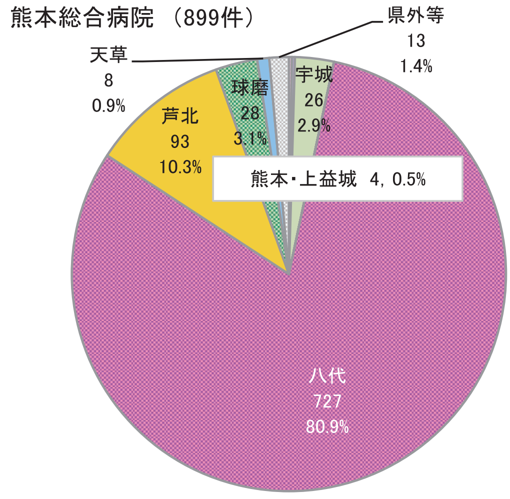
診断年別登録件数（参考）



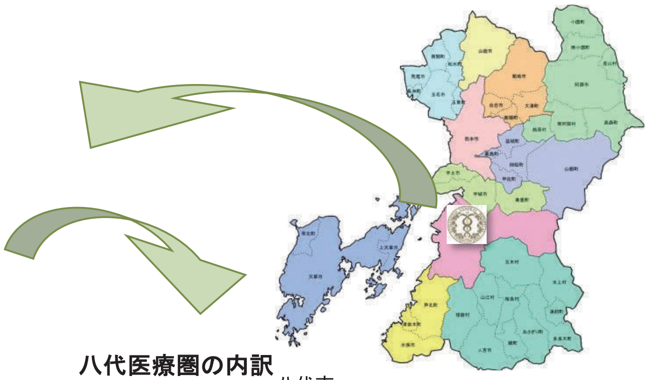
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※（熊本）、（上益城）は1～3件

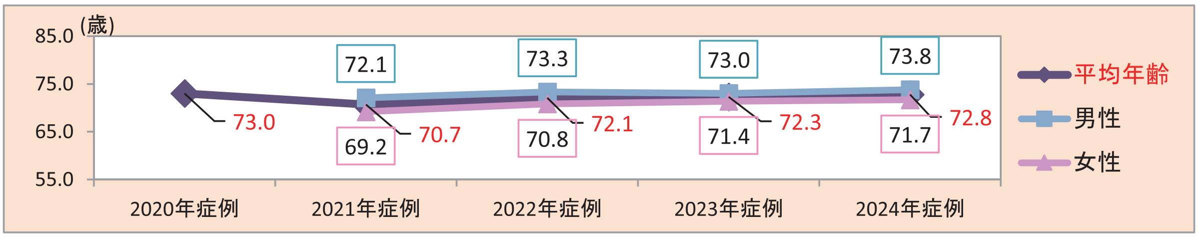


◇　医療圏別上位5部位

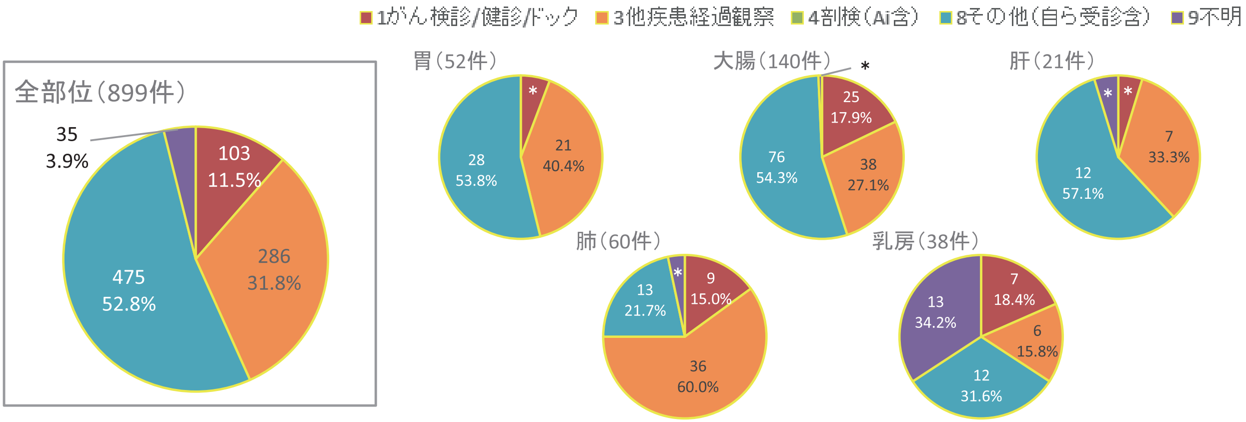
熊・上（熊本）	該当部位	各*	有明			阿蘇			球磨	悪性血液	7
										子宮体部	6
										前立腺	6
										該当部位	各*
熊・上（上益城）	該当部位	各*	鹿本			八代	大腸	130	天草	口腔咽頭	4
							悪性血液	89		該当部位	各*
							その他	82			
							肺	55			
							該当部位	各50			
宇城	その他	5	菊池			芦北	悪性血液	31	県外等	悪性血液	6
	子宮体部	4					その他	16		該当部位	各*
	該当部位	各*					大腸	8			
							前立腺	8			
							該当部位	各5			

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

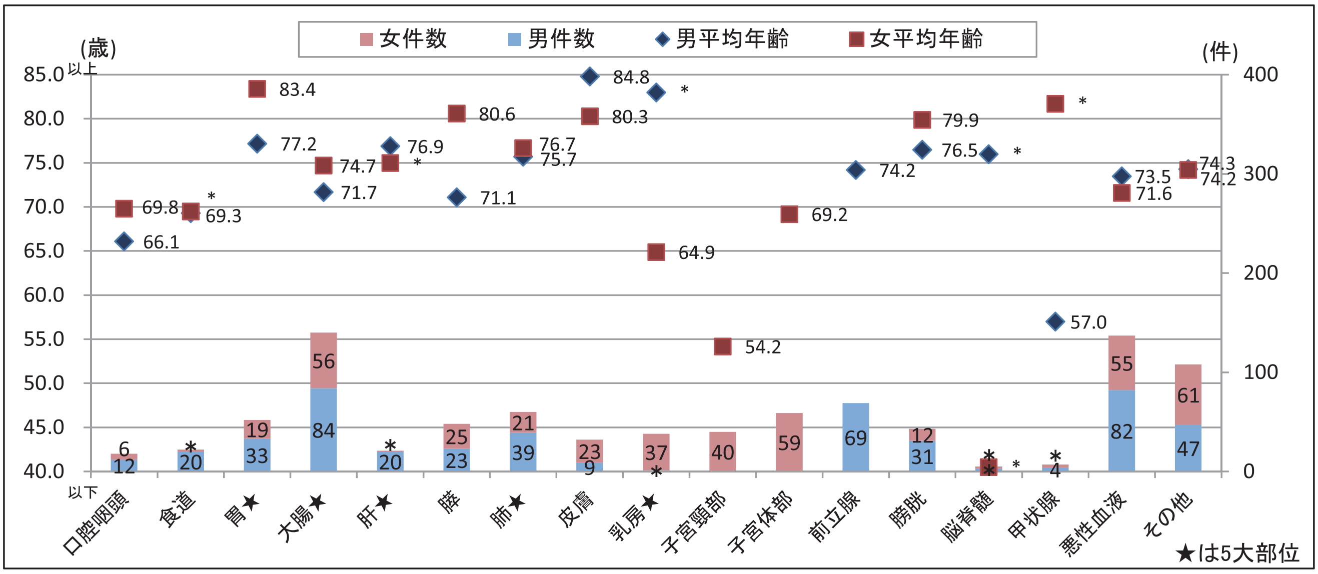
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
大腸	84
悪性血液	82
前立腺	69
その他	47
肺	39
胃	33
膀胱	31
膵	23
食道	20
肝	20
口腔咽頭	12
皮膚	9
甲状腺	4
脳脊髄	*
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	477

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	10
						悪性血液	5
						該当部位	各*
		計	5	計	9	計	30

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	20	大腸	32	悪性血液	27	肺	5
前立腺	20	前立腺	30	大腸	18	悪性血液	5
悪性血液	13	悪性血液	27	その他	17	該当部位	各*
その他	11	肺	15	前立腺	14		
該当部位	各7	その他	15	胃	13		
など		など		など			
計	101	計	180	計	126	計	26

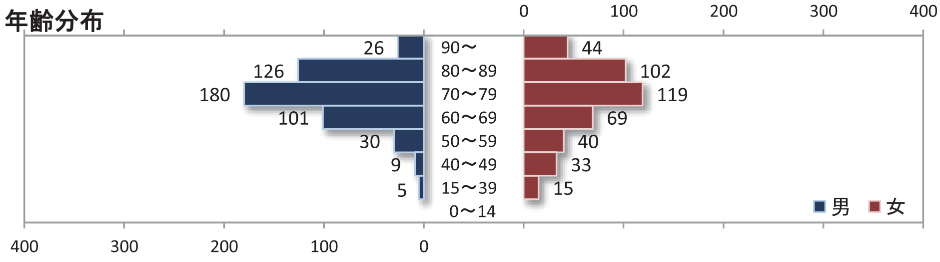
女性

女性全体	
その他	61
子宮体部	59
大腸	56
悪性血液	55
子宮頸部	40
乳房	37
膵	25
皮膚	23
肺	21
胃	19
膀胱	12
口腔咽頭	6
甲状腺	*
食道	*
脳脊髄	*
肝	*
前立腺	
計	422

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		子宮頸部	10	子宮頸部	11	子宮体部	9
		該当部位	各*	乳房	7	大腸	7
				子宮体部	6	悪性血液	6
				その他	5	その他	5
				該当部位	各*	該当部位	各4
						など	
		計	15	計	33	計	40

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
子宮体部	17	悪性血液	18	悪性血液	17	大腸	8
乳房	12	その他	17	その他	17	皮膚	8
大腸	10	大腸	16	大腸	13	その他	8
悪性血液	10	該当部位	各11	子宮体部	11	胃	6
その他	8	乳房	10	膵	8	子宮体部	5
など		など		など		など	
計	69	計	119	計	102	計	44

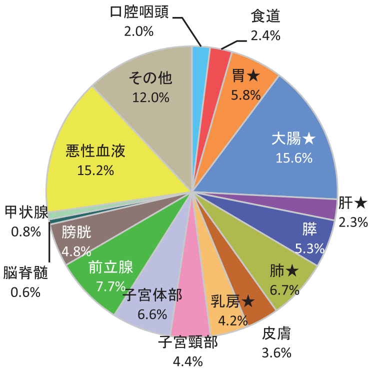
年齢分布



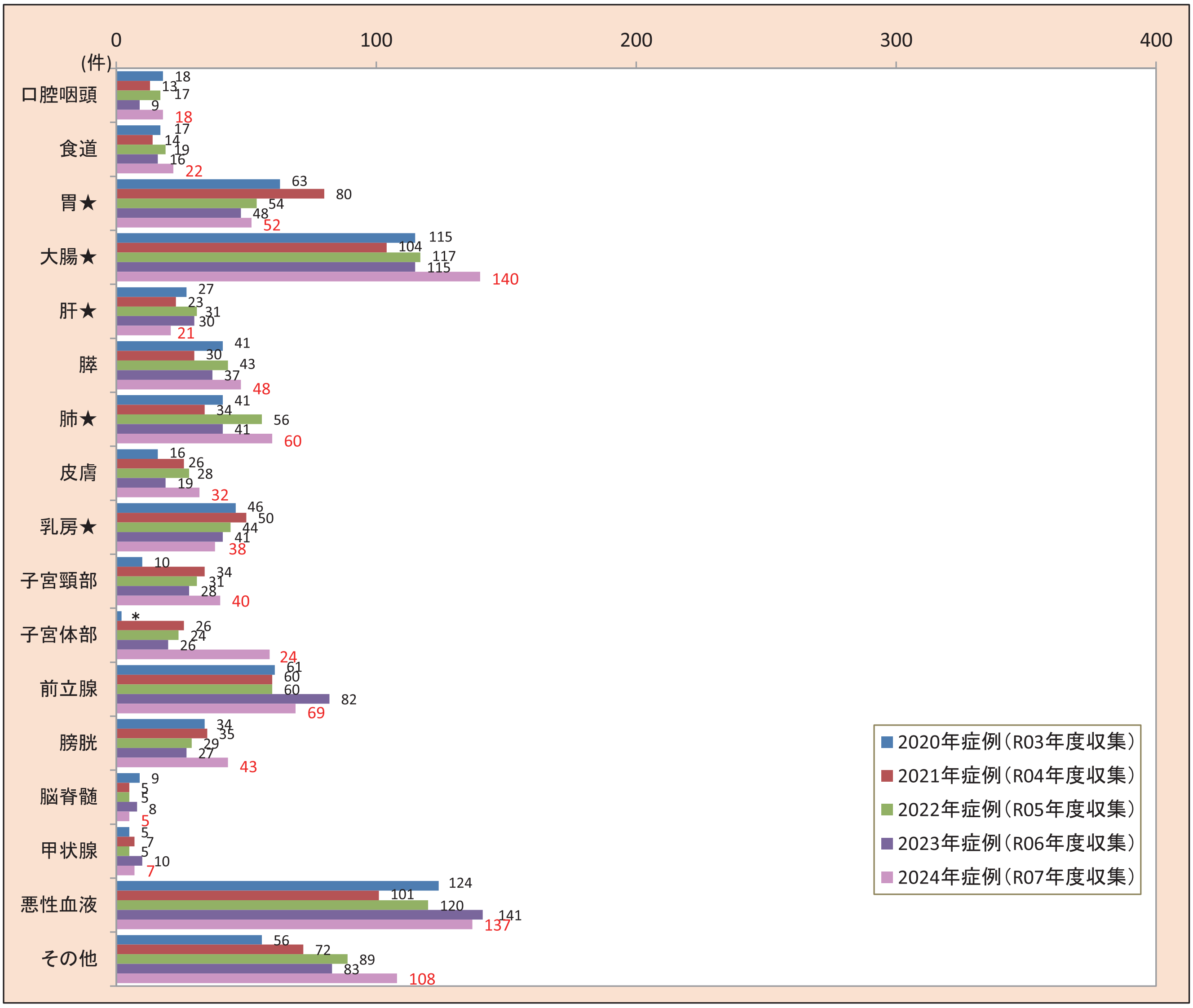
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06度収集）	2024年症例（R07度収集）
口腔咽頭	18	13	17	9	18
食道	17	14	19	16	22
胃★	63	80	54	48	52
大腸★	115	104	117	115	140
肝★	27	23	31	30	21
膵	41	30	43	37	48
肺★	41	34	56	41	60
皮膚	16	26	28	19	32
乳房★	46	50	44	41	38
子宮頸部	10	34	31	28	40
子宮体部	*	26	24	20	59
前立腺	61	60	60	82	69
膀胱	34	35	29	27	43
脳脊髄	9	5	5	8	5
甲状腺	5	7	5	10	7
悪性血液疾患	124	101	120	141	137
その他	56	72	89	83	108
計	685	714	772	755	899

2024年診断症例　主要部位別割合

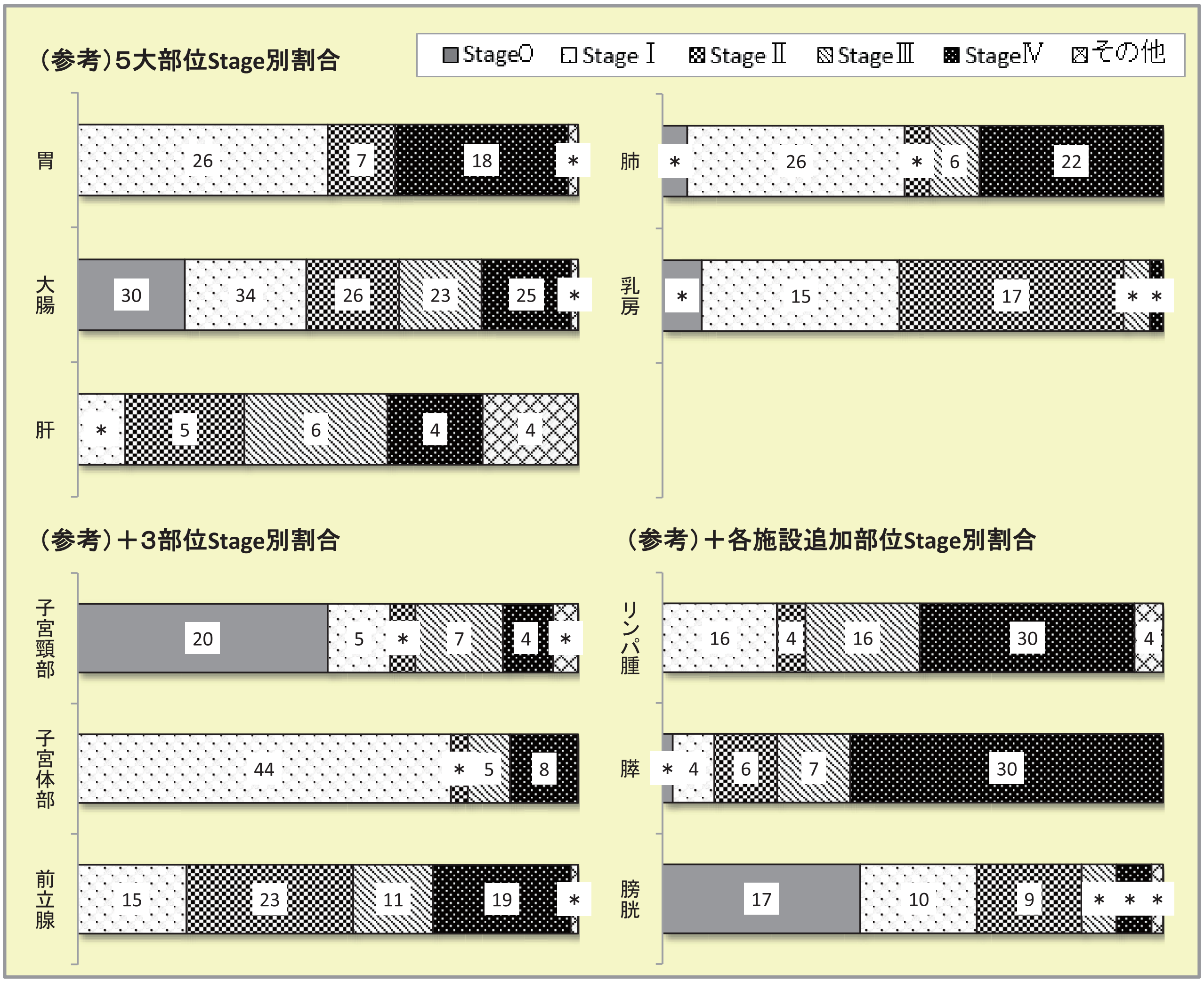


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

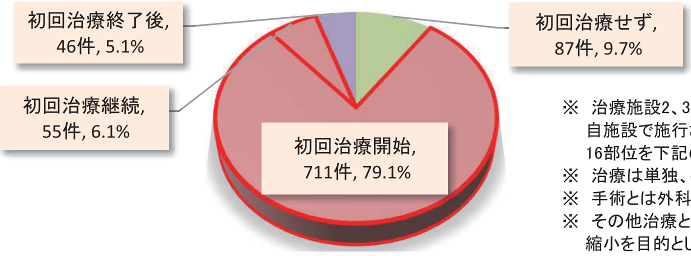
全体	件数	Stage0	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	18	＊	＊	＊	5	5	＊
食道	22	＊	10	＊	＊	5	
胃★	52		26	7		18	＊
大腸★	140	30	34	26	23	25	＊
肝★	21		＊	5	6	4	4
膵	48	＊	4	6	7	30	
肺★	60	＊	26	＊	6	22	
皮膚	32	7	18	＊	＊		4
乳房★	38	＊	15	17	＊	＊	
子宮頸部	40	20	5	＊	7	4	＊
子宮体部	59		44	＊	5	8	
前立腺	69		15	23	11	19	＊
膀胱	43	17	10	9	＊	＊	＊
脳脊髄	5						5
甲状腺	7		＊	4			
悪性血液疾患	137		16	4	16	30	71
その他	108	4	32	8	20	26	18
計	899	89	263	121	115	200	111



※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

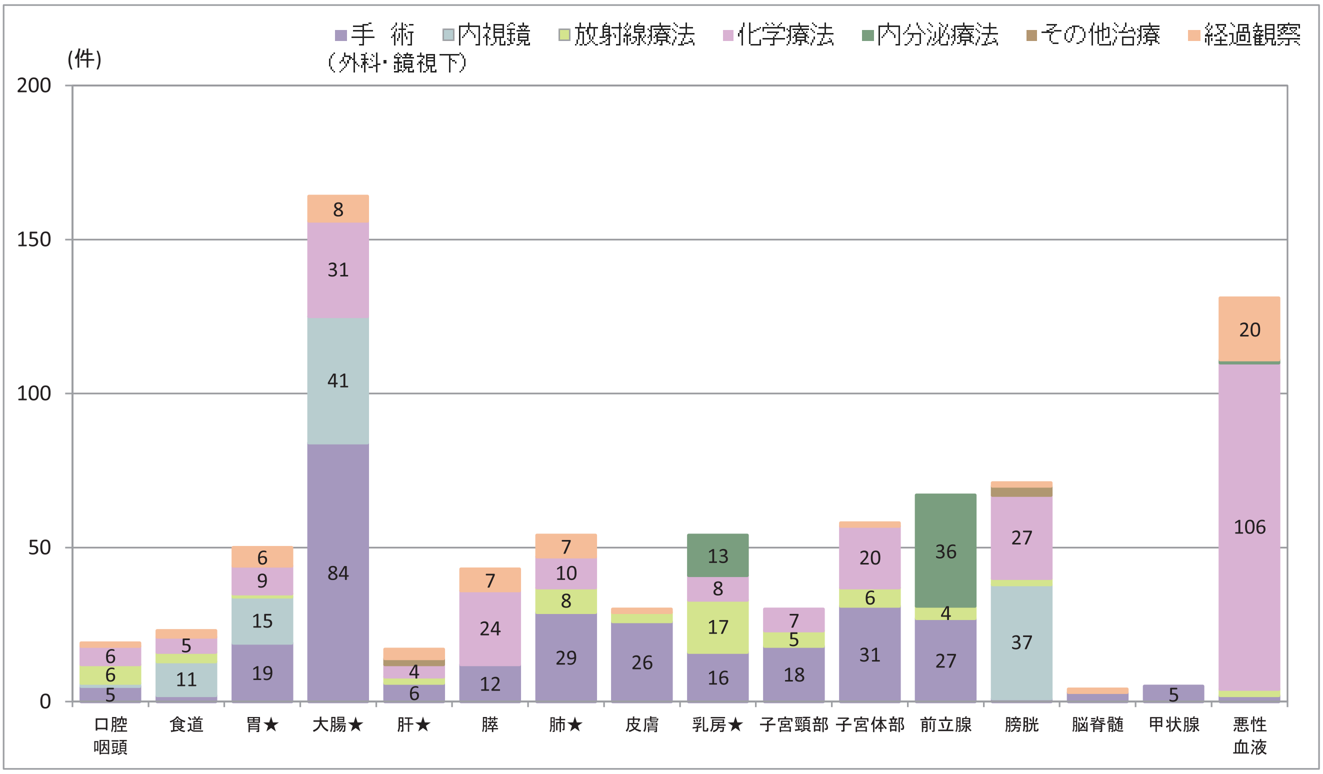
治療施設	件数
1初回治療せず	87
2初回治療開始	711
3初回治療継続	55
4初回治療終了後	46
8その他	
計	899



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

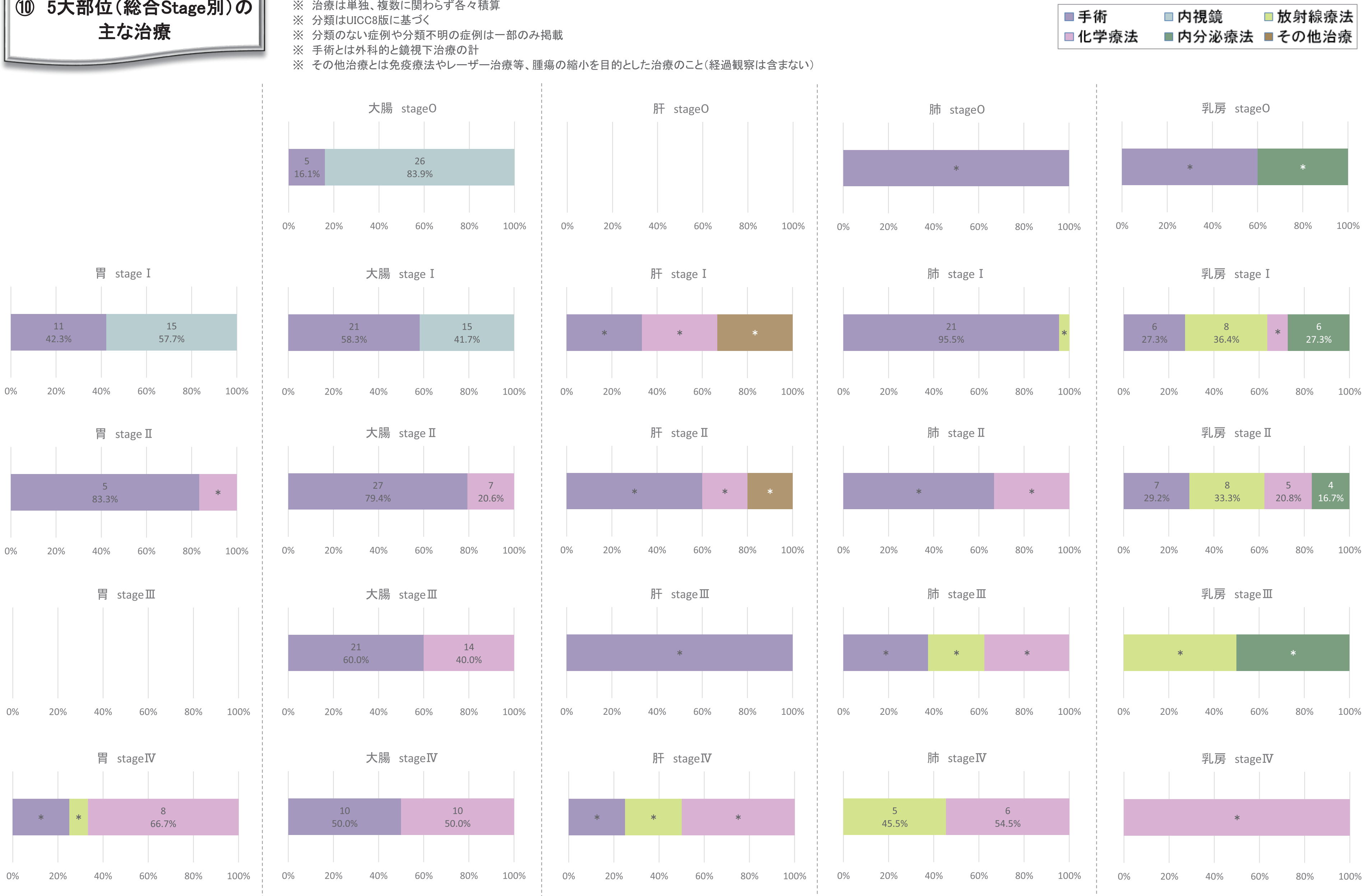
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	5	＊	6	6			＊	19	100.0%	0.0%	0.0%
食道	＊	11	＊	5			＊	23	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	19	15	＊	9			6	50	97.1%	2.9%	0.0%
大腸★	84	41		31			8	164	92.5%	7.5%	0.0%
肝★	6		＊	4		＊	＊	17	100.0%	0.0%	0.0%
膵	12			24			7	43	66.7%	33.3%	0.0%
肺★	29		8	10			7	54	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	26		＊				＊	30	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	16		17	8	13			54	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	18		5	7				30	94.4%	5.6%	0.0%
子宮体部	31		6	20			＊	58	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	27		4		36			67	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	＊	37	＊	27		＊	＊	71	47.4%	52.6%	0.0%
脳脊髄	＊						＊	4	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	＊		＊	106	＊		20	131	100.0%	0.0%	0.0%
計	286	105	59	257	50	5	58	820			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	国家公務員共済組合連合会　熊本中央病院

○基本情報

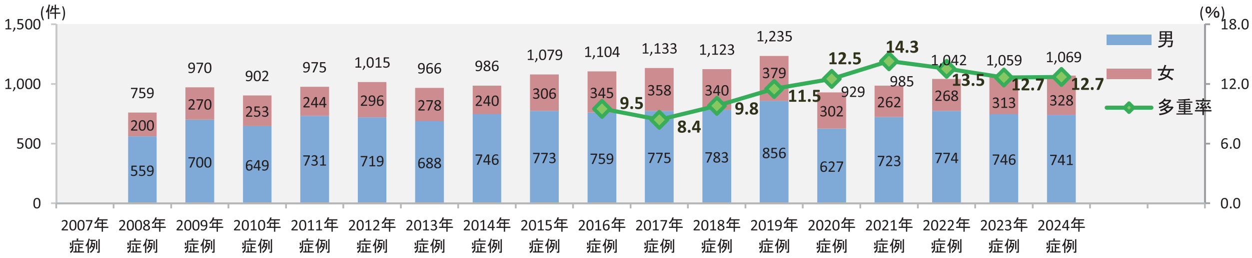
【令和6(2024)年12月現在】

所在地	熊本市南区田井島1丁目5番1号		
病床数 追加情報	361床（一般361床）		
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	10.7（日）		
入院患者数	8,700（人）		
外来患者延数	126,196（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　6,401（件）		
院内がん登録件数	1,069（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　3　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

[件数]
当院の症例数は1069件であり、昨年と比べ約0.9%の増加となっている(昨年1059件)。
[男女比・平均年齢]
男女比率は男性69.3%(741件)、女性30.7%(328件)、平均年齢は72.6歳であり、ほぼ前年同様である。
[患者住所医療圏]
熊本市が53.0%を占め、続いて上益城(13.0%)、宇城(9.9%)、菊池(6.8%)と、熊本市に限らず複数の医療圏をカバーしており、くまちゅう画像ネットの利用など地域連携に取り組んでいる結果といえる。
[当院の特徴]
当院症例の特徴としては、前立腺と肺で全体の半数(50.5%)を占めていることが挙げられ、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療と、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療に特化している。
主要部位別件数の上位からみると、前立腺(293件)、肺(247件)、大腸(153件)、膀胱(111件)、乳房(86件)となり、上位5部位に5大がんのうち3部位が入っている。
また、統計上では「部位区分:その他」に含まれているが、腎、尿路等の症例数も多く、前立腺、膀胱と合わせると、泌尿器系の症例数は432件に上る。同様に消化器系の症例数は276件となる。
治療に関しては、例年どおり手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っていると言える。2024年よりロボット支援手術も導入されたため、今後この件数は増えていくと考えられる。
また、消化器系の症例においては、胃(43件)、大腸(76件)、食道(11件)と内視鏡的治療の症例数も多く、進行度に合わせた治療の選択が可能である。
手術以外では、外来化学療法室での化学療法、放射線科での放射線療法と、内科的治療の体制も整備されており、集学的治療を行うことができる。

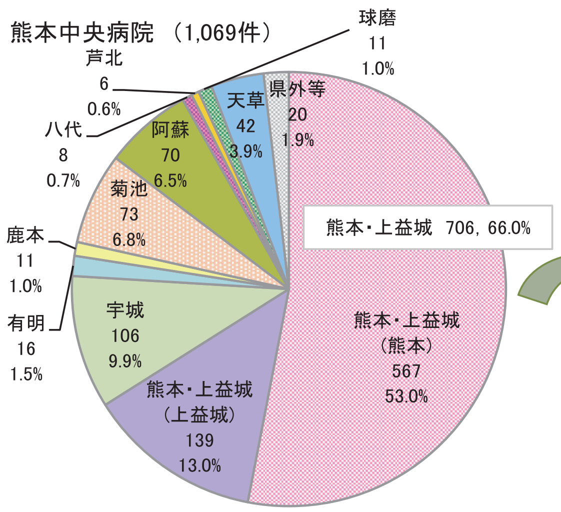
診断年別登録件数（参考）

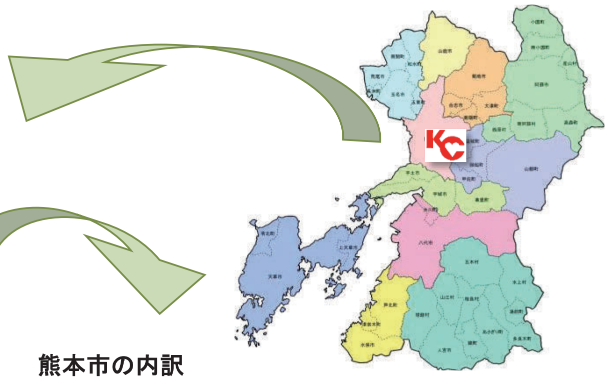


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※ 全般において3件以下は*又は非表示





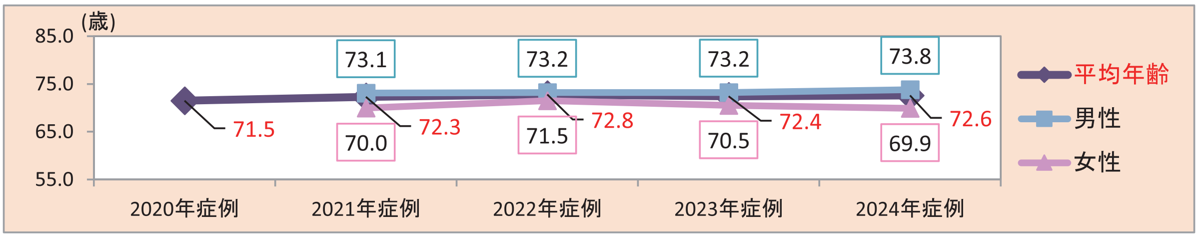
熊本市の内訳

◇ 医療圏別上位5部位

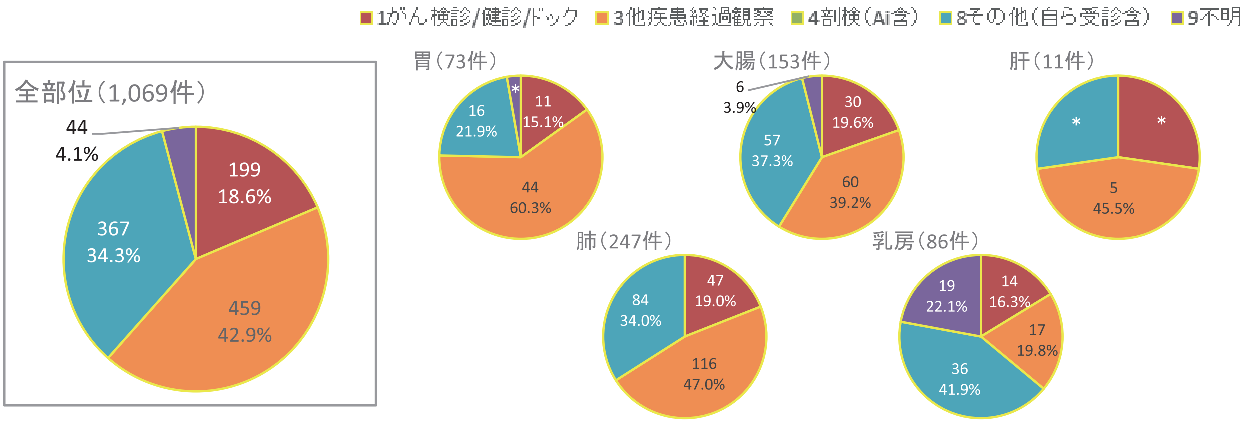
熊・上（熊本）	肺	141	有明	該当部位	各*	阿蘇	前立腺	31	球磨	前立腺	5
	前立腺	108					肺	18		肺	4
	大腸	96					膀胱	10		該当部位	各*
	乳房	59					大腸	4			
	胃	53					該当部位	各*			
熊・上（上益城）	前立腺	49	鹿本	前立腺	5	八代	該当部位	各*	天草	肺	16
	肺	28		該当部位	各*					前立腺	12
	大腸	23								大腸	6
	該当部位	各8								該当部位	各*
	胃	7									
宇城	前立腺	37	菊池	前立腺	37	芦北	該当部位	各*	県外等	肺	6
	肺	19		膀胱	19					乳房	4
	大腸	16		その他	6					該当部位	各*
	膀胱	12		肺	4						
	胃	6		該当部位	各*						

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

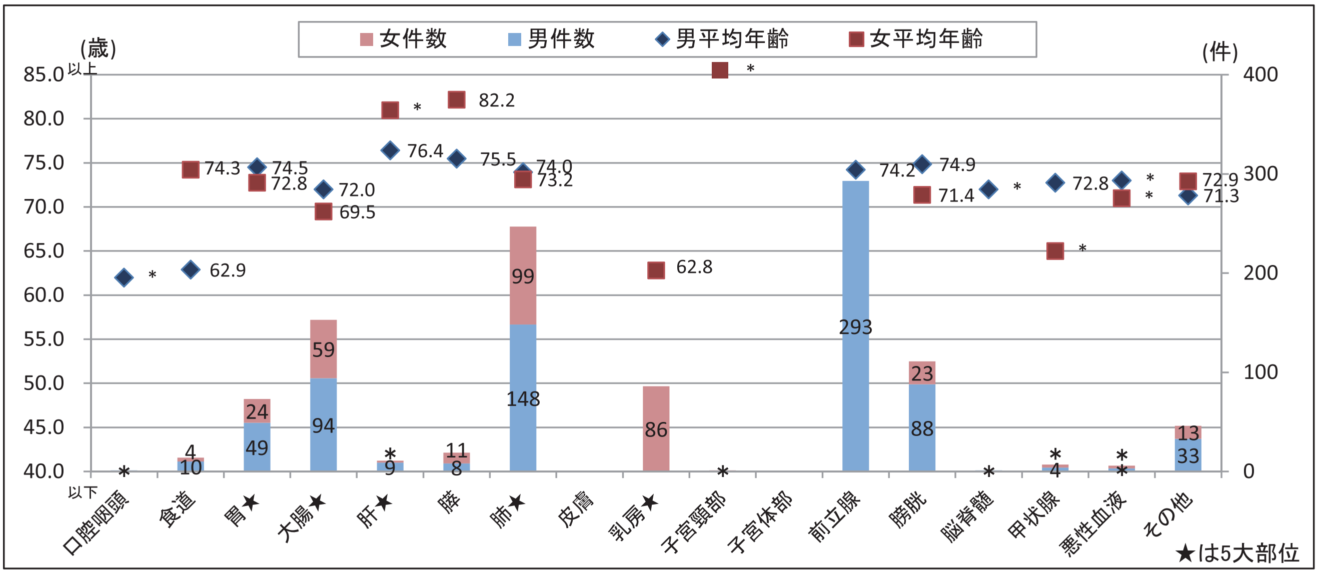
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	293
肺	148
大腸	94
膀胱	88
胃	49
その他	33
食道	10
肝	9
膵	8
甲状腺	4
悪性血液	*
口腔咽頭	*
脳脊髄	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	741

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	11
						前立腺	8
						肺	7
						膀胱	4
						該当部位	各*
		計	*	計	7	計	35

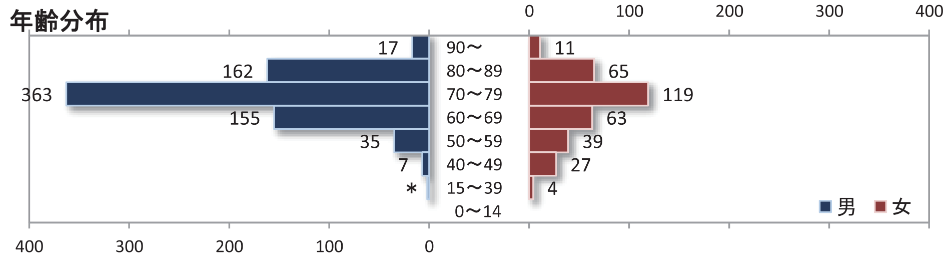
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	61	前立腺	160	前立腺	61	膀胱	8
肺	33	肺	65	肺	39	該当部位	各*
膀胱	19	大腸	46	膀胱	19		
大腸	15	膀胱	37	大腸	18		
胃	9	胃	25	胃	11		
	など		など		など		
計	155	計	363	計	162	計	17

女性全体	
肺	99
乳房	86
大腸	59
胃	24
膀胱	23
その他	13
膵	11
食道	4
甲状腺	*
悪性血液	*
肝	*
子宮頸部	*
口腔咽頭	
皮膚	
子宮体部	
前立腺	
脳脊髄	
計	328

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	乳房	17	乳房	14
				大腸	5	肺	10
				該当部位	各*	大腸	7
						該当部位	各*
		計	4	計	27	計	39

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	19	肺	47	肺	19	肺	4
肺	18	乳房	21	乳房	12	該当部位	各*
大腸	15	大腸	20	大腸	10		
胃	7	胃	10	膵	7		
該当部位	各*	膀胱	9	膀胱	7		
			など		など		
計	63	計	119	計	65	計	11

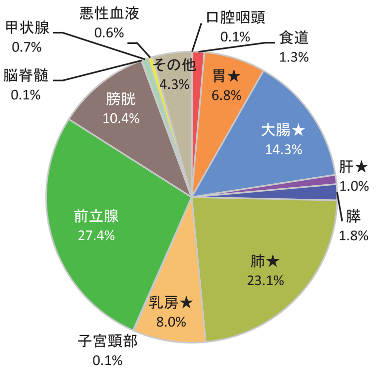
年齢分布



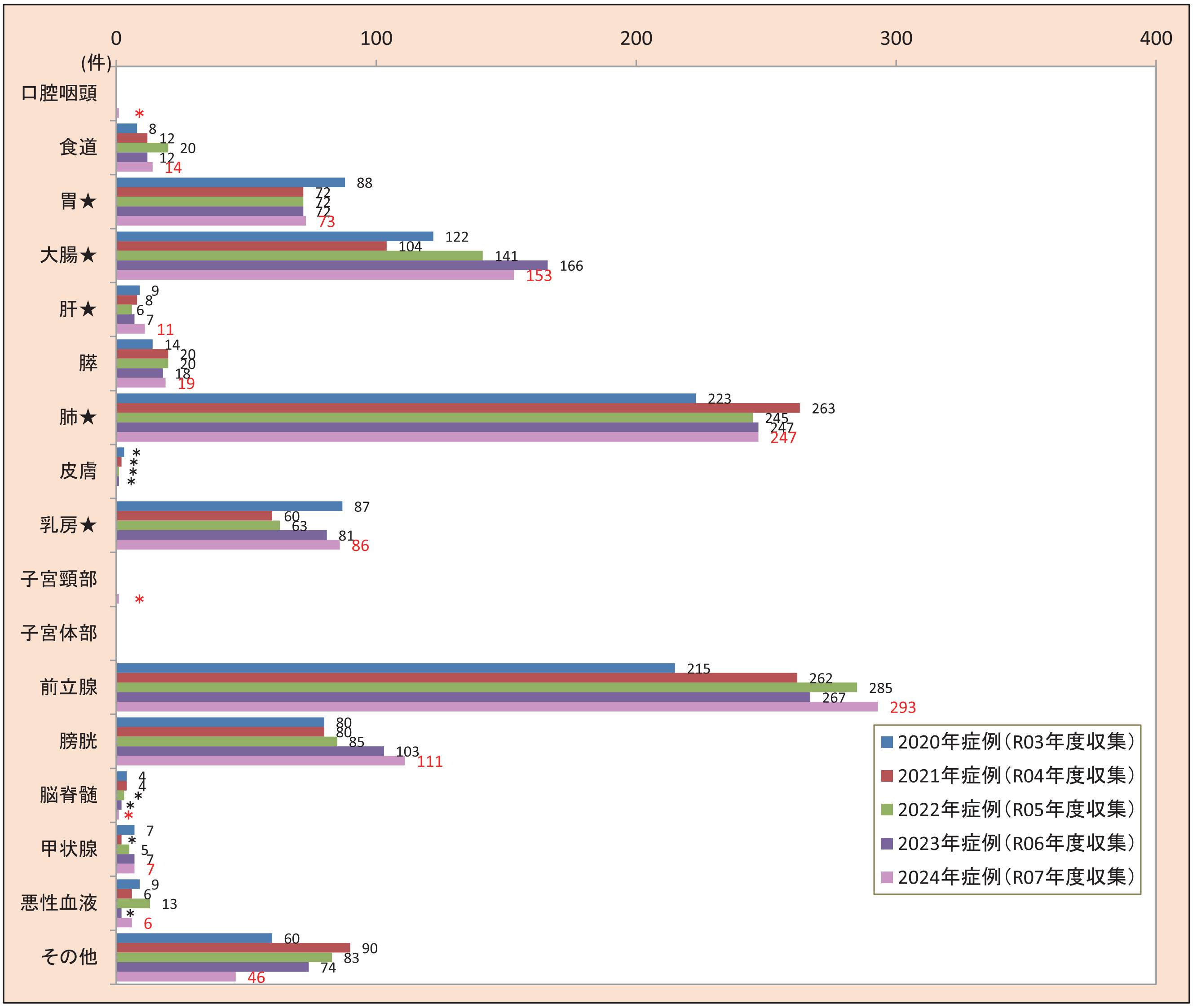
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭					＊
食道	8	12	20	12	14
胃★	88	72	72	72	73
大腸★	122	104	141	166	153
肝★	9	8	6	7	11
膵	14	20	20	18	19
肺★	223	263	245	247	247
皮膚	＊	＊	＊	＊	
乳房★	87	60	63	81	86
子宮頸部					＊
子宮体部					
前立腺	215	262	285	267	293
膀胱	80	80	85	103	111
脳脊髄	4	4	＊	＊	＊
甲状腺	7	＊	5	7	7
悪性血液疾患	9	6	13	＊	6
その他	60	90	83	74	46
計	929	985	1,042	1,059	1,069

2024年診断症例　主要部位別割合

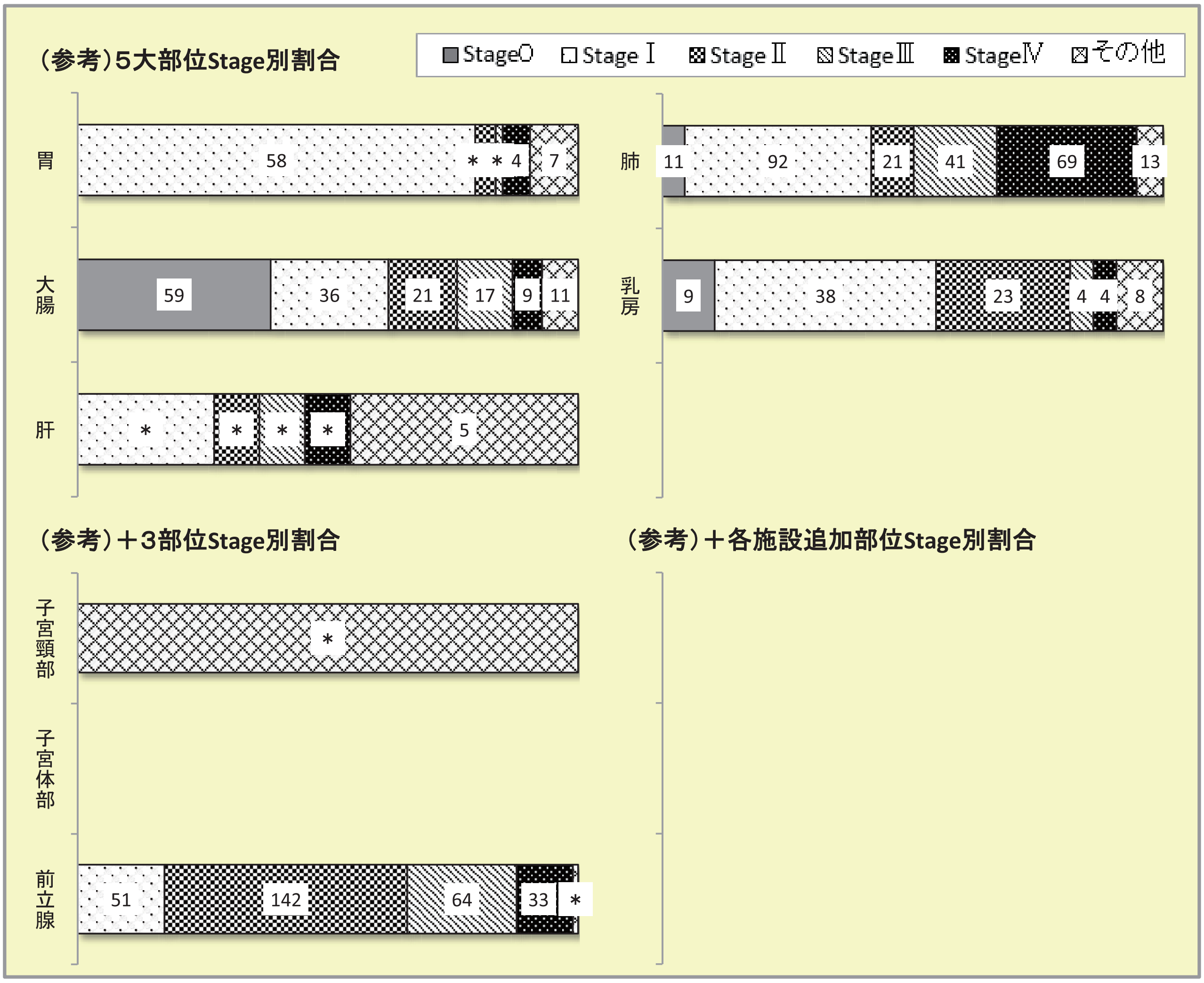


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

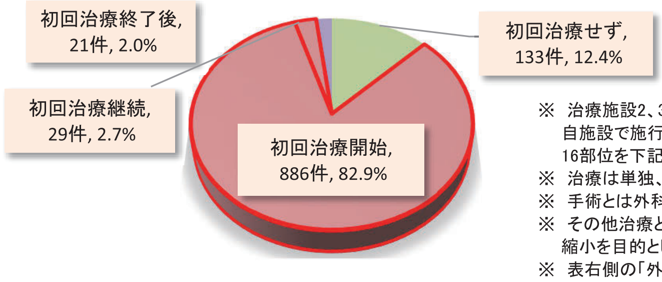
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	＊						＊
食道	14	＊	11	＊			＊
胃★	73		58	＊	＊	4	7
大腸★	153	59	36	21	17	9	11
肝★	11		＊	＊	＊	＊	5
膵	19	＊	5		＊	6	5
肺★	247	11	92	21	41	69	13
皮膚	0						
乳房★	86	9	38	23	4	4	8
子宮頸部	＊						＊
子宮体部	0						
前立腺	293		51	142	64	33	＊
膀胱	111	67	23	6	6	＊	7
脳脊髄	＊						＊
甲状腺	7		4	＊			＊
悪性血液疾患	6						6
その他	46	8	16	＊	4	5	11
計	1,069	156	337	222	140	133	81



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

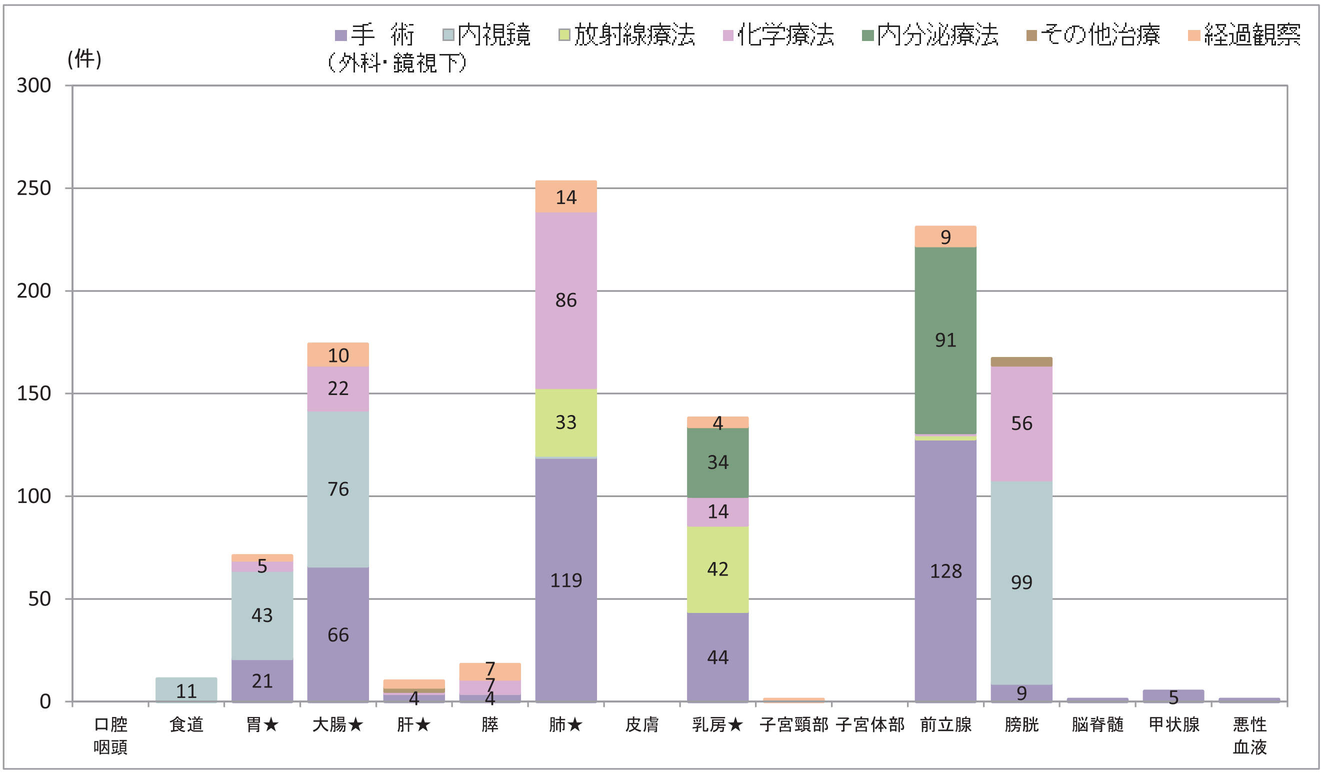
治療施設	件数
1初回治療せず	133
2初回治療開始	886
3初回治療継続	29
4初回治療終了後	21
8その他	
計	1,069



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		11						11	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	21	43		5			*	71	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	66	76		22			10	174	97.8%	2.2%	0.0%
肝★	4			*		*	*	10	100.0%	0.0%	0.0%
膵	4			7			7	18	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	119	*	33	86			14	253	98.3%	1.7%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	44		42	14	34		4	138	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部							*	*			
子宮体部								0			
前立腺	128		*	*	91		9	231	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	9	99		56		*		167	69.9%	30.1%	0.0%
脳脊髄	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
計	402	230	77	192	125	5	50	1,081			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

※　stage不明や分類なしなどで 放射線療法　4件

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	国保　水俣市立総合医療センター

○基本情報

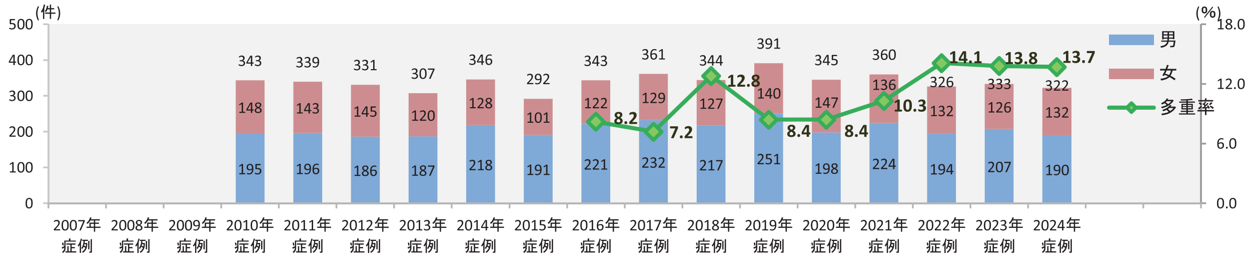
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	水俣市天神町1丁目2番1号		
病　床　数 追加情報	361床（一般357床；感染症4床） HCU10床；回復期リハ病棟95床		
診療科数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	15.3（日）		
入院患者数	4,420（人）		
外来患者延数	149,136（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　1,400（件）		
院内がん登録件数	322（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

〈登録件数〉 全体で322件であり、前年の333件と比べてやや減少していた。
〈患者住所医療圏〉 主な医療圏は担当である芦北（水俣・津奈木・芦北）の234件（72.7%）で、県外である鹿児島県から来院する患者が86件（26.7%）であった。県外からの来院は例年よりも少なかったが、2割以上を占めていた。
〈平均年齢　男女比〉 登録症例の全体の平均年齢は74.6歳で前年と変わらず、依然として登録症例の高齢化は継続している。男女比は男性190件（59.0%）、女性132件（41.0.%）であり、例年通りの割合であった。
〈部位別登録件数〉 5大癌は肺癌45件（14.0%）、大腸癌45件（14.0%）、乳癌37件（11.5%）、胃癌20件（6.2%）、肝癌4件（1.2%）であり、胃癌および肝癌が減少していた。
〈5大癌の発見経緯〉 有症状による受診が契機の件数が146件（45.3%）が一番多く、次いで他疾患観察中の140件（43.5%）であった。がん検診が契機の件数は35件(10.9%)でありやや減少していた。
〈Stageと治療内容〉 全体のStage別の割合は0期は10.9%、Ⅰ期は35.4%、Ⅱ－Ⅲ期は28.9%、Ⅳ期は18.3%と例年通りの割合であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術＋内視鏡による治療が120件（37.3%）であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は112件（34.8%）であり、主に肺癌、前立腺癌、乳癌、膀胱癌、大腸癌が占めていた。
〈特徴〉 芦北水俣医療圏の人口減少の影響もあり、全体の登録件数はやや減少傾向であるが、高齢者の割合は以前として高く、地域でのがん診療の特徴を示している。
　当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが多い。また当院をかかりつけとする患者や併存疾患を有する高齢のがん患者が多い状況である。地域に根付いた総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、多職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
　さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

診断年別登録件数（参考）

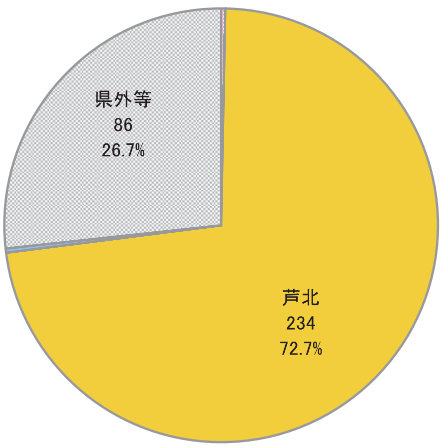


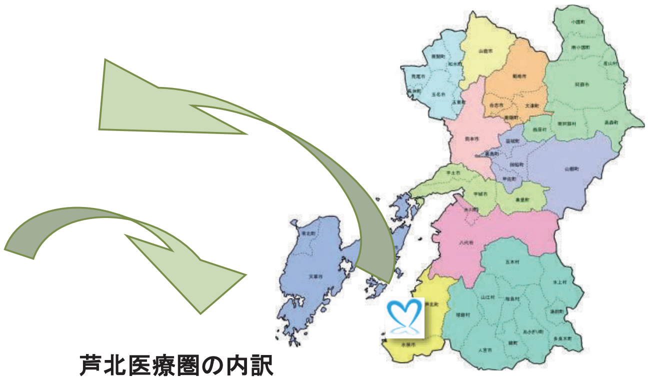
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

水俣市立総合医療センター （322件）

※ 全般において3件以下は*又は非表示





芦北医療圏の内訳

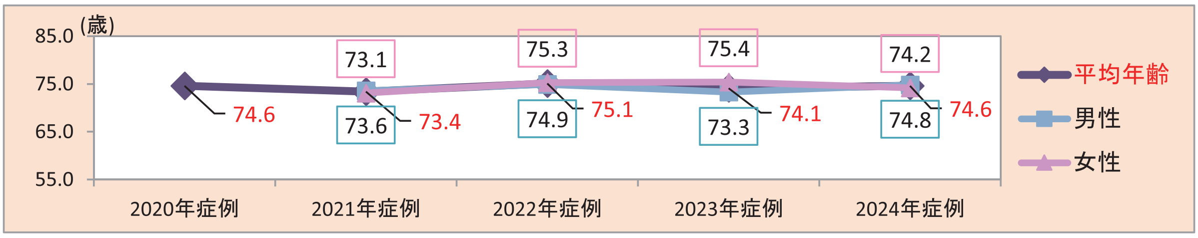
※（熊本）、天草は1～3件

◇ 医療圏別上位5部位

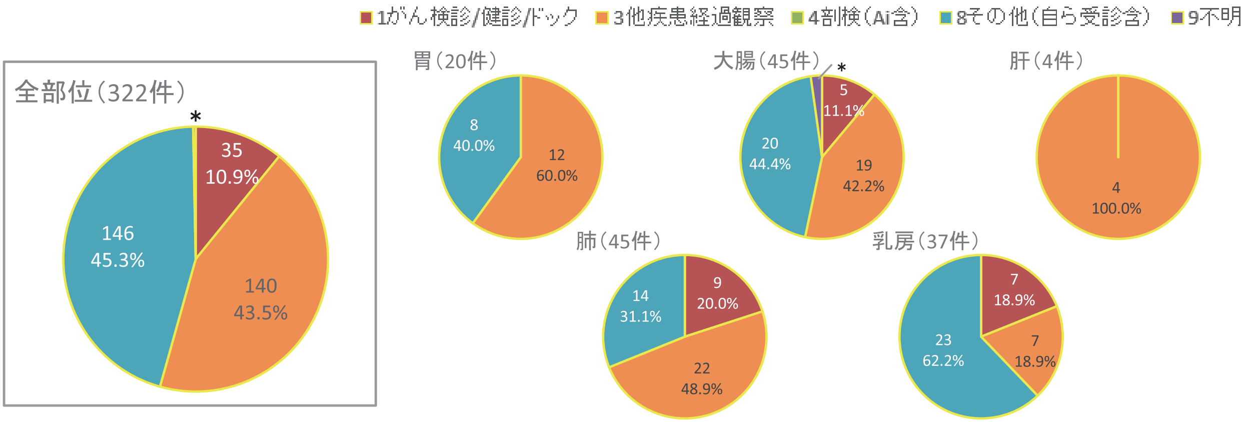
熊・上（熊本）	該当部位	*	有明			阿蘇			球磨		
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草	該当部位	*
宇城			菊池			芦北	大腸	39	県外等	肺	18
							乳房	29		皮膚	13
							前立腺	29		前立腺	12
							肺	27		乳房	8
							その他	25		その他	8

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

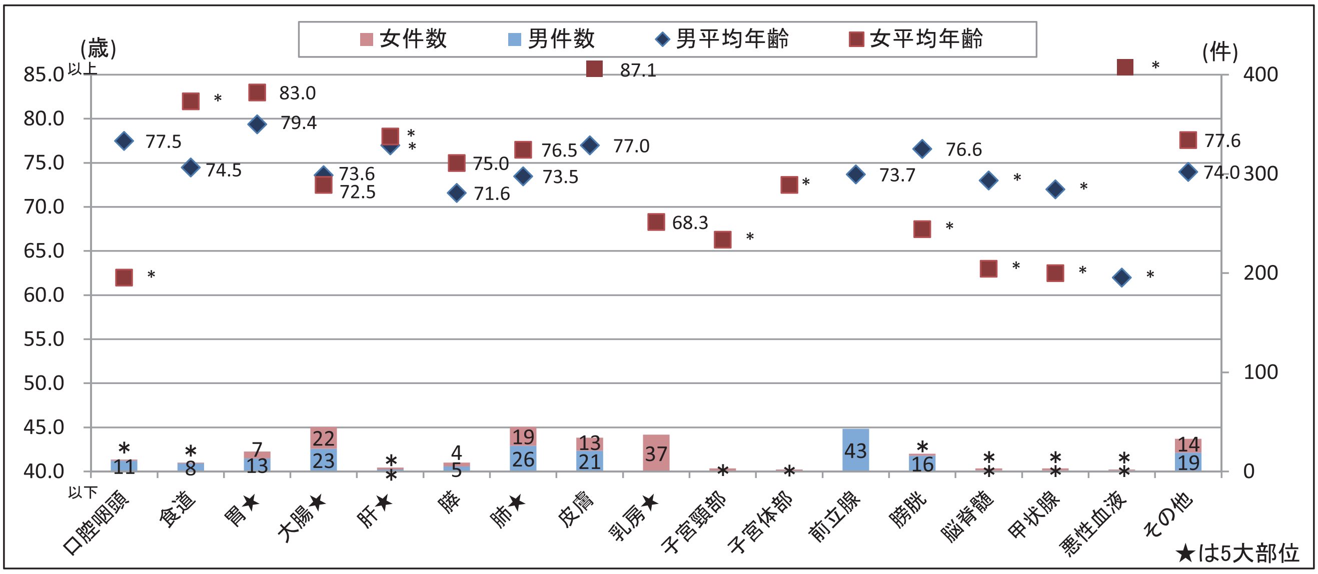
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	43
肺	26
大腸	23
皮膚	21
その他	19
膀胱	16
胃	13
口腔咽頭	11
食道	8
膵	5
肝	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	190

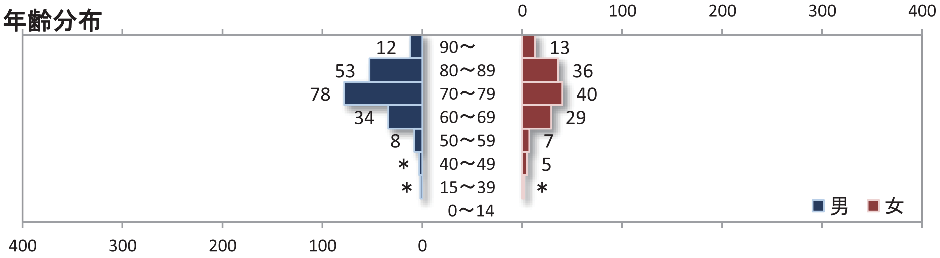
0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
		計	*	計	*	計	8

60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
前立腺	9	前立腺	23	前立腺	9	皮膚	5
大腸	6	肺	12	胃	8	該当部位	各*
膀胱	4	皮膚	9	肺	8		
食道	4	その他	8	大腸	7		
該当部位	各*	口腔咽頭	6	該当部位	各6		
		など		など			
計	34	計	78	計	53	計	12

女性全体	
乳房	37
大腸	22
肺	19
その他	14
皮膚	13
胃	7
膵	4
子宮頸部	*
肝	*
子宮体部	*
膀胱	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
口腔咽頭	*
食道	*
悪性血液	*
前立腺	
計	132

0〜14歳		15〜39歳		40〜49歳		50〜59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*
		計	*	計	5	計	7

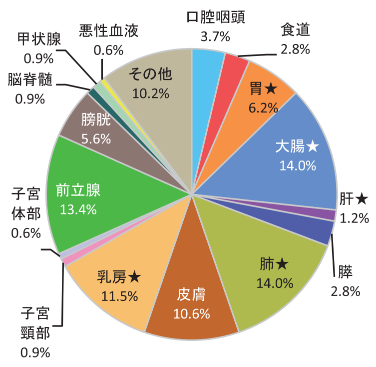
60〜69歳		70〜79歳		80〜89歳		90歳〜	
乳房	11	乳房	13	大腸	6	皮膚	6
大腸	4	肺	7	肺	6	該当部位	各*
その他	4	大腸	6	乳房	6		
該当部位	各*	該当部位	各*	その他	6		
				該当部位	各4		
				など			
計	29	計	40	計	36	計	13



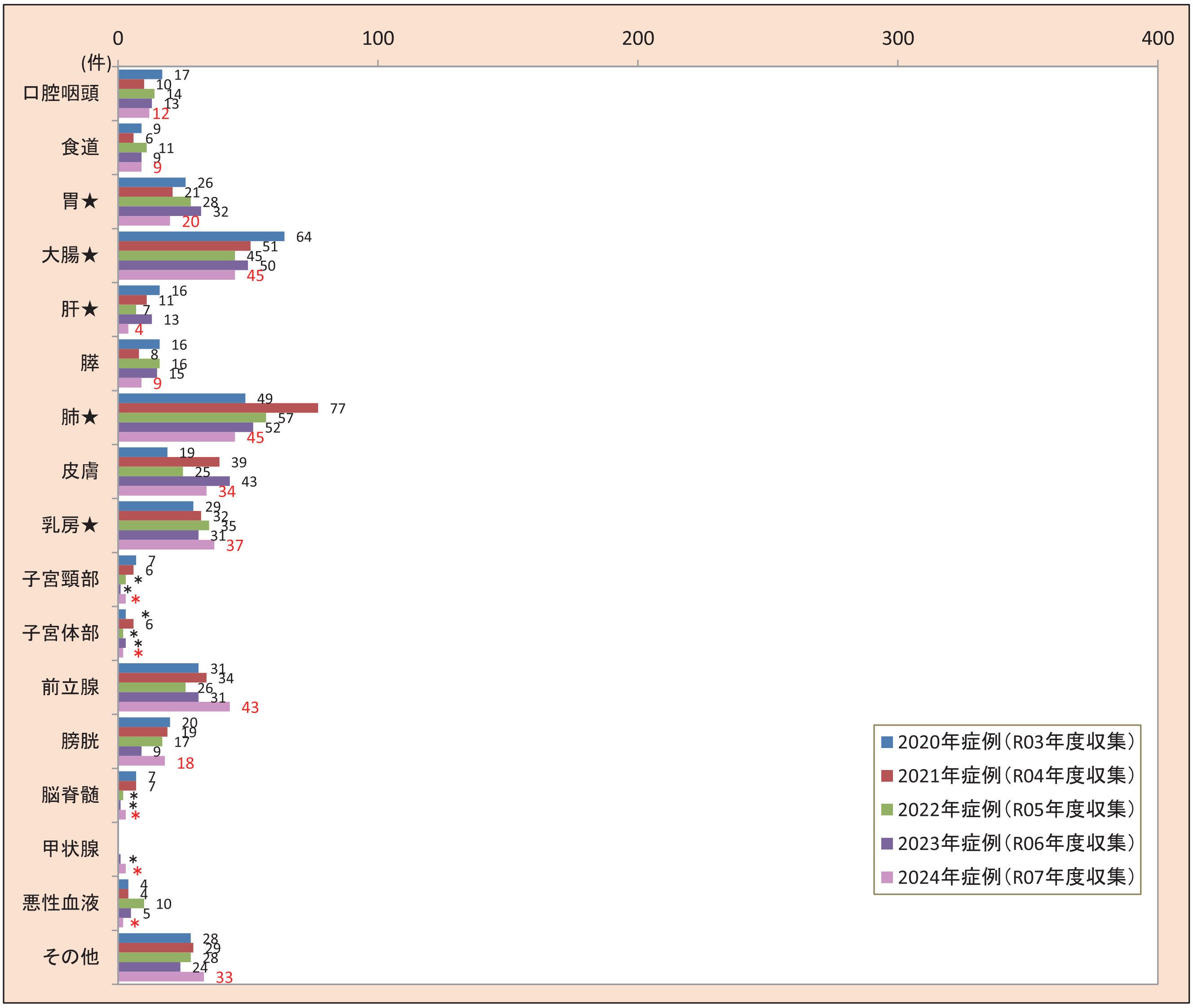
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	17	10	14	13	12
食道	9	6	11	9	9
胃★	26	21	28	32	20
大腸★	64	51	45	50	45
肝★	16	11	7	13	4
膵	16	8	16	15	9
肺★	49	77	57	52	45
皮膚	19	39	25	43	34
乳房★	29	32	35	31	37
子宮頸部	7	6	＊	＊	＊
子宮体部	＊	6	＊	＊	＊
前立腺	31	34	26	31	43
膀胱	20	19	17	9	18
脳脊髄	7	7	＊	＊	＊
甲状腺				＊	＊
悪性血液疾患	4	4	10	5	＊
その他	28	29	28	24	33
計	345	360	326	333	322

2024年診断症例　主要部位別割合

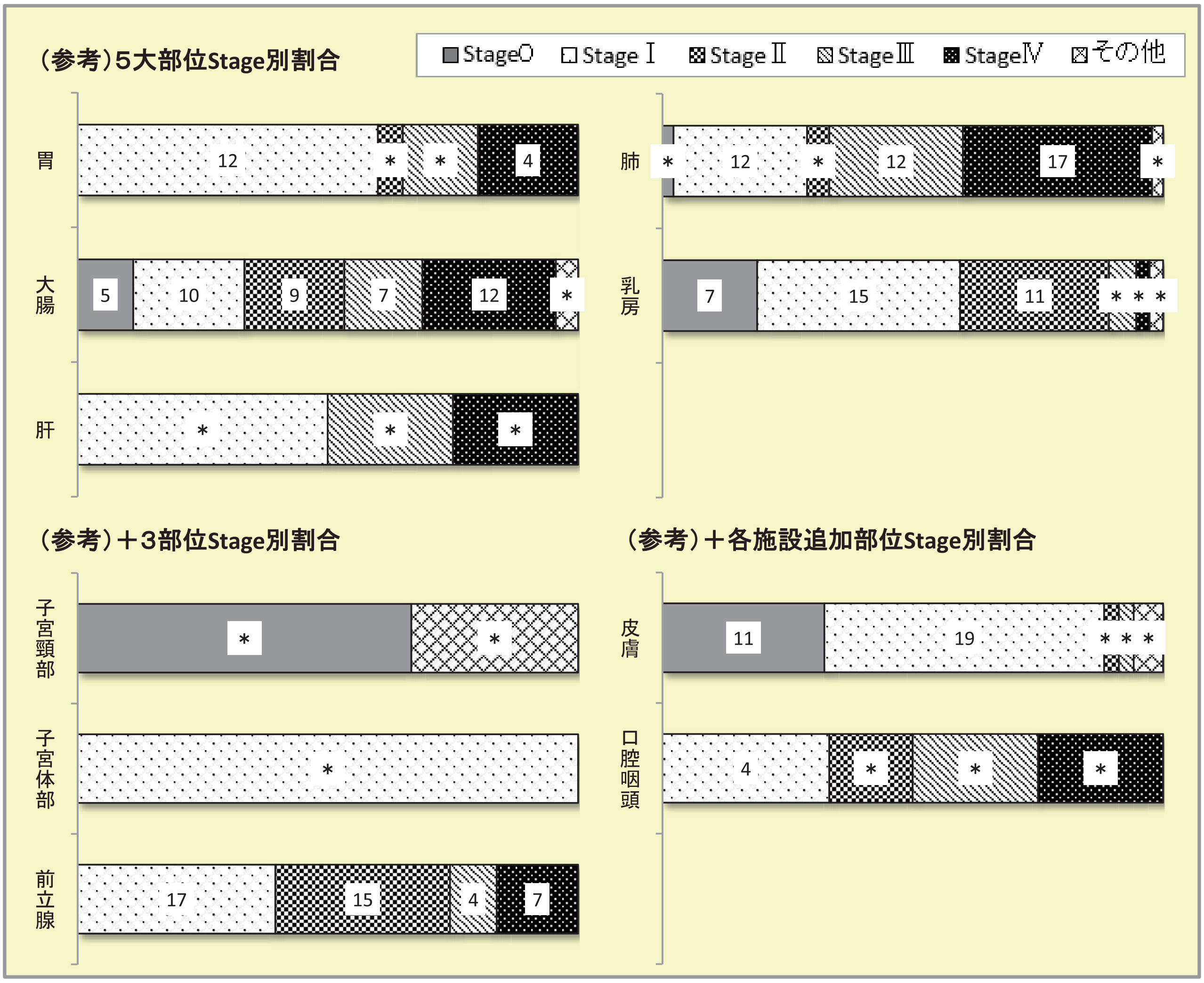


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

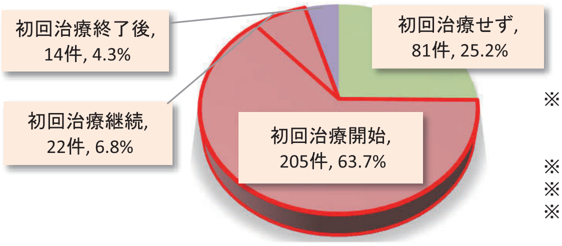
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	12		4	*	*	*	
食道	9	*	5	*	*		
胃★	20		12	*	*	4	
大腸★	45	5	10	9	7	12	*
肝★	4		*		*	*	
膵	9		*	*	*	5	
肺★	45	*	12	*	12	17	*
皮膚	34	11	19	*	*		*
乳房★	37	7	15	11	*	*	*
子宮頸部	*	*					*
子宮体部	*		*				
前立腺	43		17	15	4	7	
膀胱	18	8	*	5	*	*	
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*			*	
悪性血液疾患	*						*
その他	33		9	*	6	7	9
計	322	35	114	50	43	59	21



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

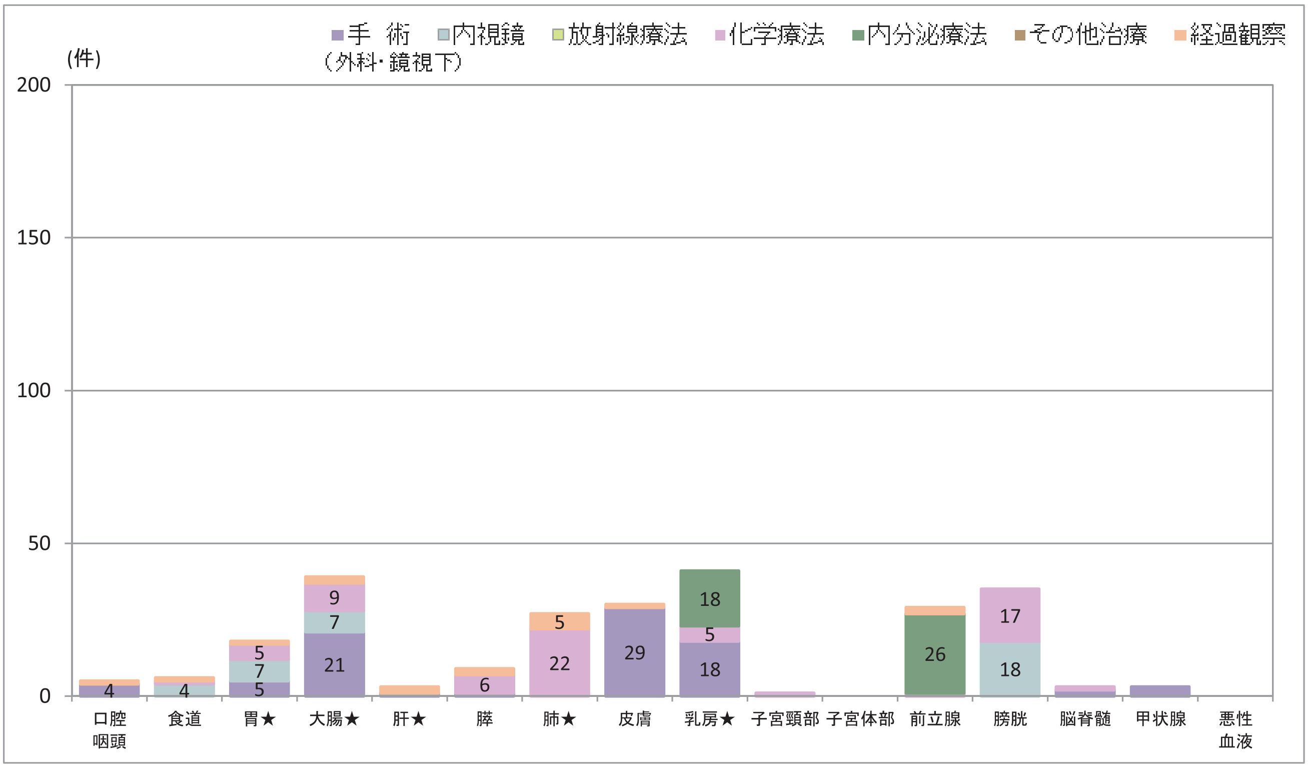
治療施設	件数
1初回治療せず	81
2初回治療開始	205
3初回治療継続	22
4初回治療終了後	14
8その他	
計	322



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

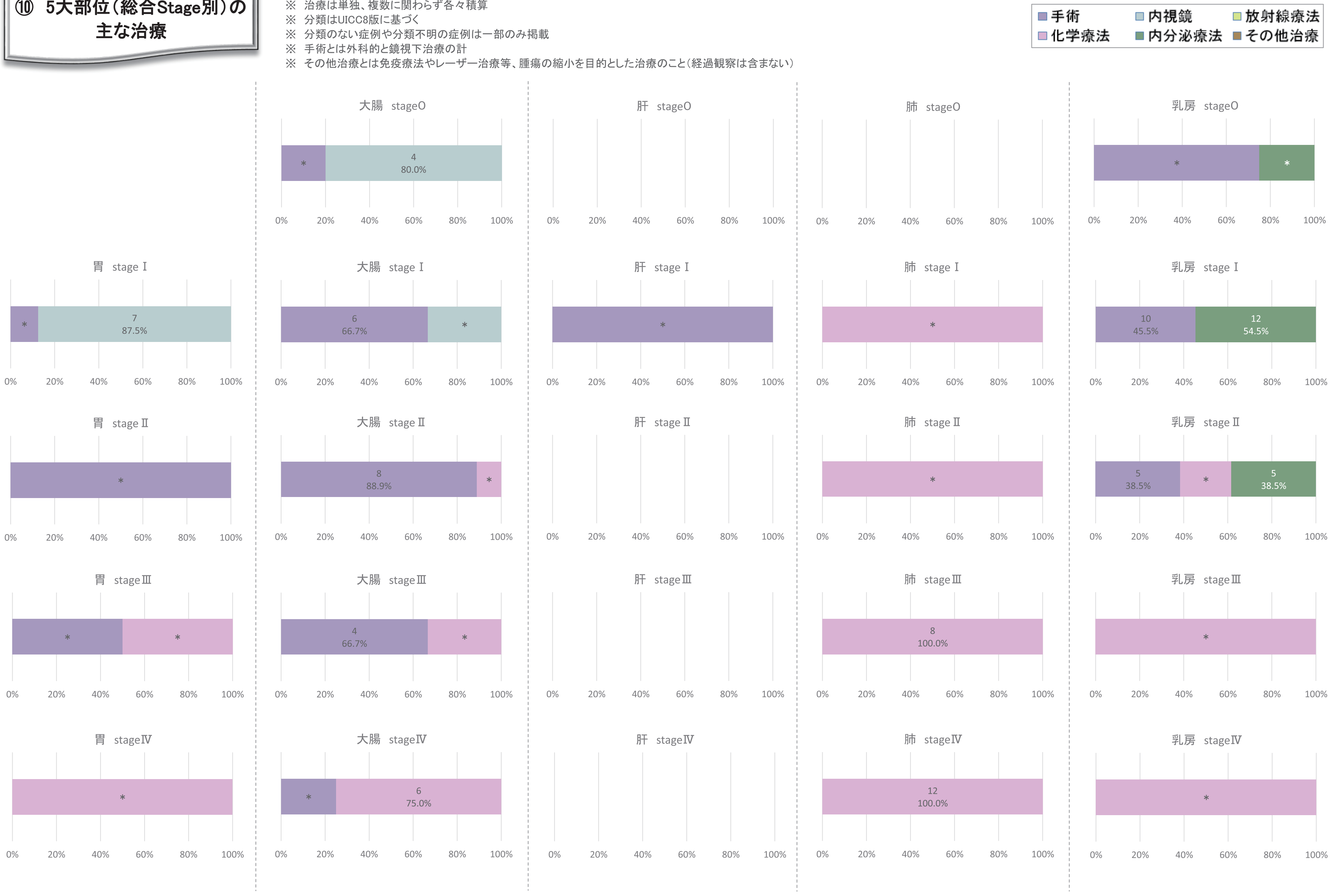
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4						*	5	100.0%	0.0%	0.0%
食道		4		*			*	6	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	5	7		5			*	18	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	21	7		9			*	39	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			6			*	9	0.0%	100.0%	0.0%
肺★				22			5	27			
皮膚	29						*	30	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	18			5	18			41	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部				*				*			
子宮体部								0			
前立腺				*	26		*	29			
膀胱		18		17				35	38.9%	61.1%	0.0%
脳脊髄	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	*							*	66.7%	33.3%	0.0%
悪性血液疾患								0			
計	84	36	0	68	44	0	17	249			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　―2024年診断症例―

医療機関名	医療法人創起会　くまもと森都総合病院

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3-2-65		
病床数 追加情報	199床（一般199床）		
診療科数	22科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2008.04.01
平均在院日数	9.8（日）		
入院患者数	5,050（人）		
外来患者延数	84,832（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	15
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　12,000（件/概算）		
院内がん登録件数	696（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　4　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

2024年診断症例として696件のがん登録を行った。

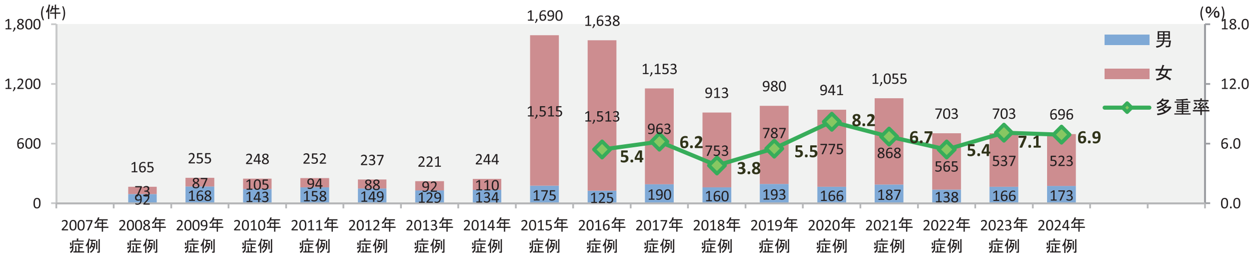
【当院の症例数】
2024年データでは、乳がんが260例（37.4%）と多く、悪性血液疾患158例（22.7%）、子宮頚がん101例（14.5%）、肝がん31例（4.5%）、皮膚がん30例（4.3%）と全体の8割強を占めている。その他には大腸が27例（3.9%）、肺がん18例（2.6%）、子宮体がん17例（2.4%）の順に多かった。

【患者の年齢層】
登録患者の平均年齢は64.3歳（男性72.0歳、女性61.7歳）。男女比は約2.5:7.5と女性が多い傾向にあった。主な内訳は乳がんが 61.1歳、悪性血液疾患 73.3歳、子宮頸がん 43.6歳、肝がん73.2歳、皮膚がん77.5歳であった。

【患者の医療圏】
患者住所は、半数以上（65.8%）が熊本市内だったが、その他にも菊池11.1%、上益城4.5%、宇城2.7%、天草3.7%、有明2.9%などの医療圏からの受診が多い。

【部位別治療内容】
乳がんに対しては手術療法、化学療法、内分泌療法と集学的に治療が実施されている。造血器腫瘍は、化学療法が施行されており、自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法も施行されている。皮膚がん、子宮がん、胃がん、大腸がんは手術療法を中心とした治療が行われている。肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的にて紹介になる場合が多いため手術症例は少なく、TACEなどを含む化学療法を施行した症例が多くなっている。

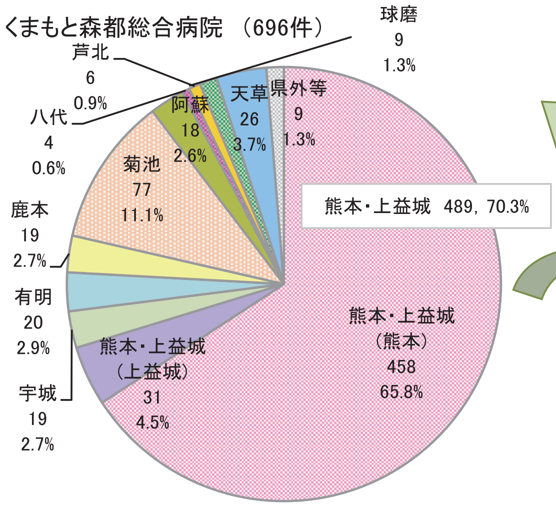
診断年別登録件数（参考）

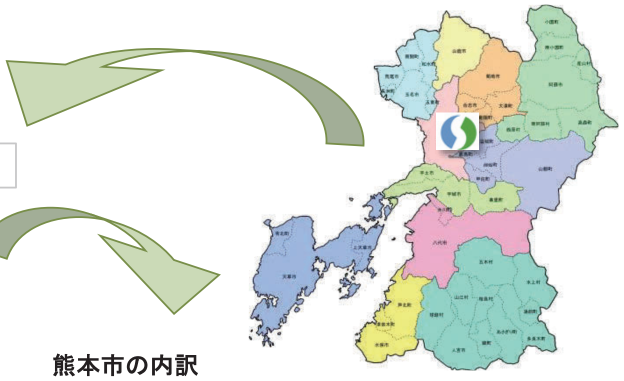


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





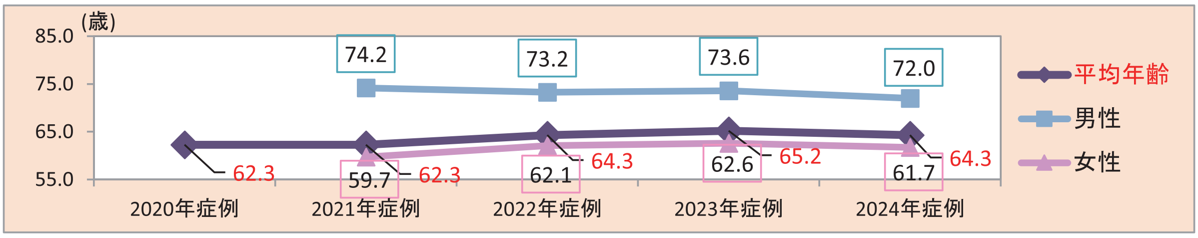
熊本市の内訳

◇　医療圏別上位5部位

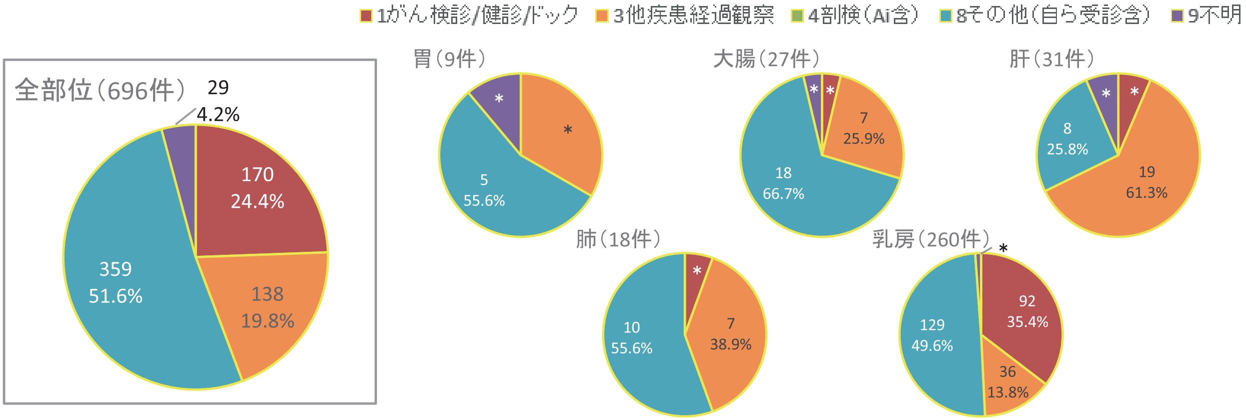
熊・上（熊本）	乳房	152	有明	乳房	11	阿蘇	乳房	7	球磨	乳房	5
	悪性血液	103		該当部位	各*		悪性血液	5		該当部位	各*
	子宮頸部	69					該当部位	各*			
	大腸	25									
	皮膚	23									
熊・上（上益城）	乳房	10	鹿本	乳房	10	八代	乳房	4	天草	悪性血液	12
	悪性血液	9		該当部位	各*					乳房	9
	子宮頸部	4								該当部位	各*
	該当部位	各*									
宇城	乳房	10	菊池	乳房	32	芦北	乳房	6	県外等	乳房	4
	悪性血液	5		子宮頸部	18					該当部位	各*
	該当部位	各*		悪性血液	15						
				肝	4						
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

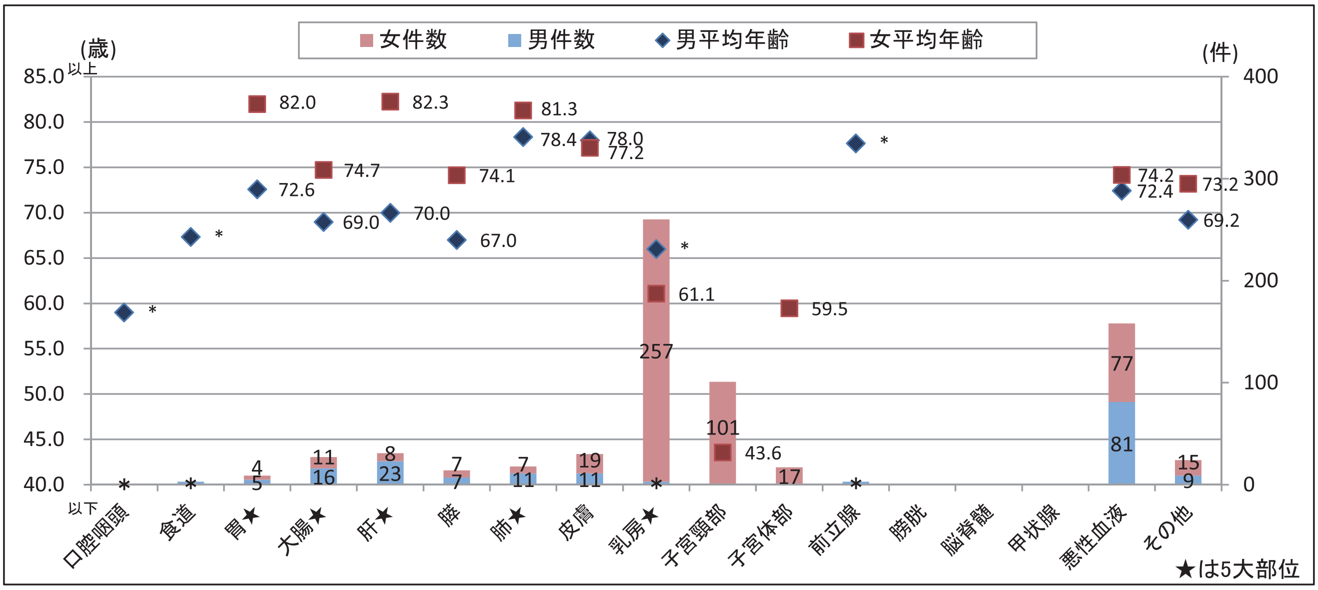
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
悪性血液	81
肝	23
大腸	16
肺	11
皮膚	11
その他	9
膵	7
胃	5
食道	*
乳房	*
前立腺	*
口腔咽頭	*
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	173

0〜14歳	
計	

15〜39歳	
悪性血液	4
該当部位	*
計	5

40〜49歳	
該当部位	各*
計	6

50〜59歳	
悪性血液	7
該当部位	各*
計	16

60〜69歳	
悪性血液	9
肝	6
大腸	4
該当部位	各*
計	32

70〜79歳	
悪性血液	29
肝	9
肺	6
大腸	5
皮膚	5
該当部位	各*
計	60

80〜89歳	
悪性血液	27
皮膚	5
該当部位	各*
計	44

90歳〜	
該当部位	各*
計	10

女性全体	
乳房	257
子宮頸部	101
悪性血液	77
皮膚	19
子宮体部	17
その他	15
大腸	11
肝	8
膵	7
肺	7
胃	4
口腔咽頭	
食道	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	523

0〜14歳	
計	

15〜39歳	
子宮頸部	36
乳房	6
該当部位	各*
計	47

40〜49歳	
乳房	56
子宮頸部	41
該当部位	各*
計	102

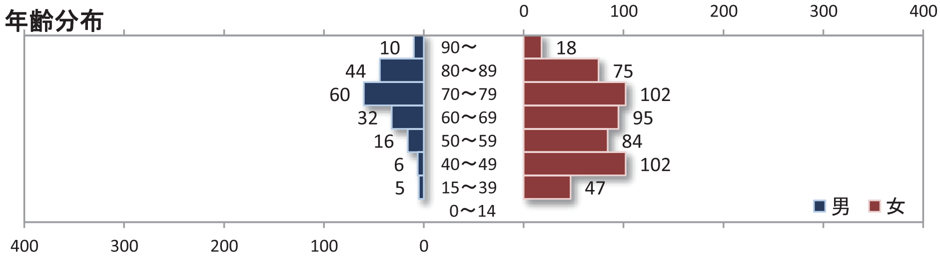
50〜59歳	
乳房	50
子宮頸部	16
悪性血液	8
子宮体部	6
該当部位	各*
計	84

60〜69歳	
乳房	70
悪性血液	10
その他	4
該当部位	各*
計	95

70〜79歳	
乳房	54
悪性血液	21
大腸	4
子宮頸部	4
その他	4
該当部位	各*
計	102

80〜89歳	
悪性血液	30
乳房	18
皮膚	9
その他	4
該当部位	各*
計	75

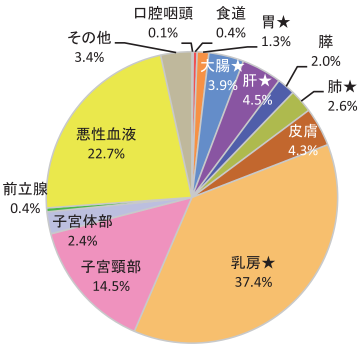
90歳〜	
悪性血液	4
該当部位	各*
計	18



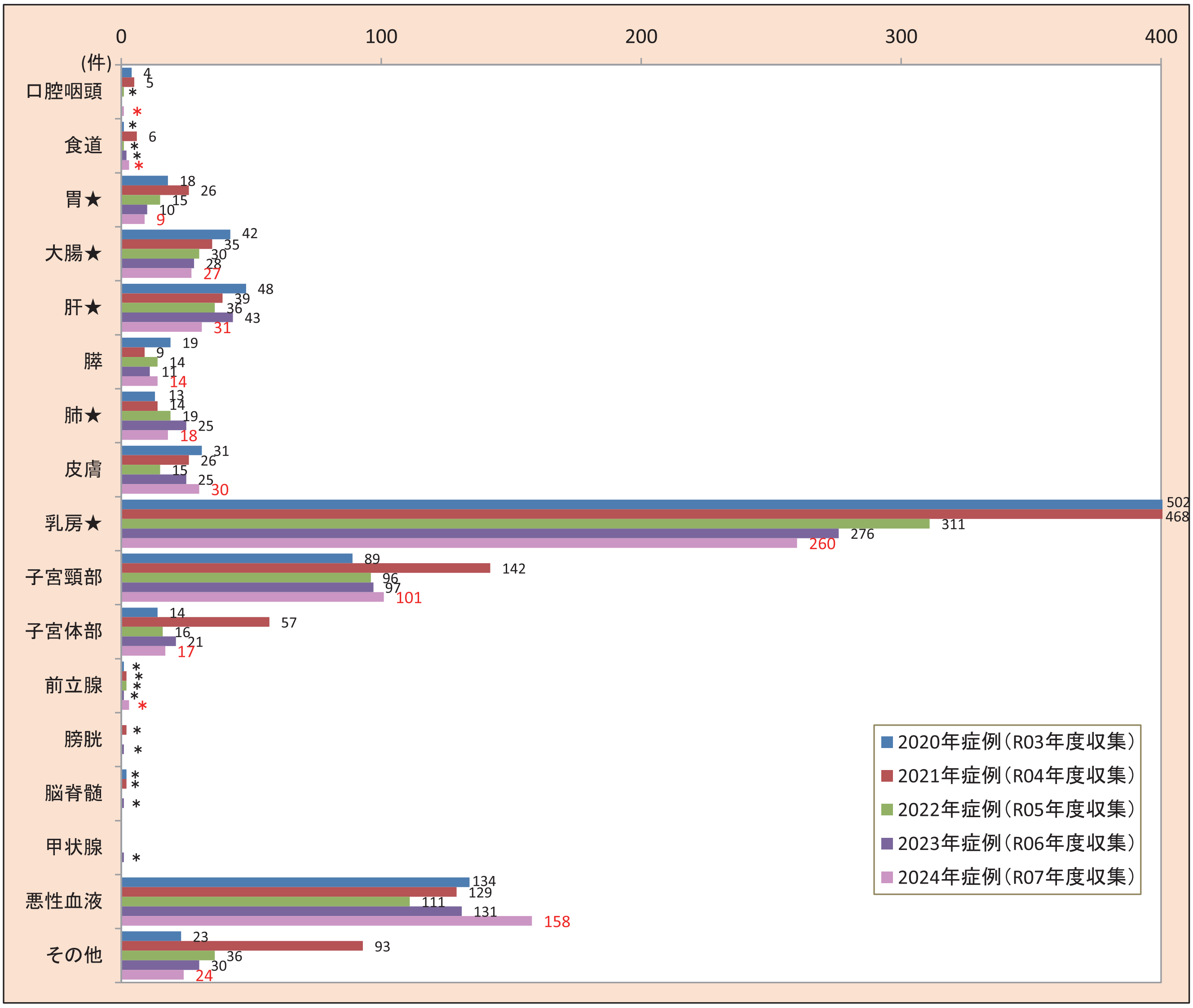
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	4	5	*		*
食道	*	6	*	*	*
胃★	18	26	15	10	9
大腸★	42	35	30	28	27
肝★	48	39	36	43	31
膵	19	9	14	11	14
肺★	13	14	19	25	18
皮膚	31	26	15	25	30
乳房★	502	468	311	276	260
子宮頸部	89	142	96	97	101
子宮体部	14	57	16	21	17
前立腺	*	*	*	*	*
膀胱		*		*	
脳脊髄	*	*		*	
甲状腺				*	
悪性血液疾患	134	129	111	131	158
その他	23	93	36	30	24
計	941	1,055	703	703	696

2024年診断症例　主要部位別割合



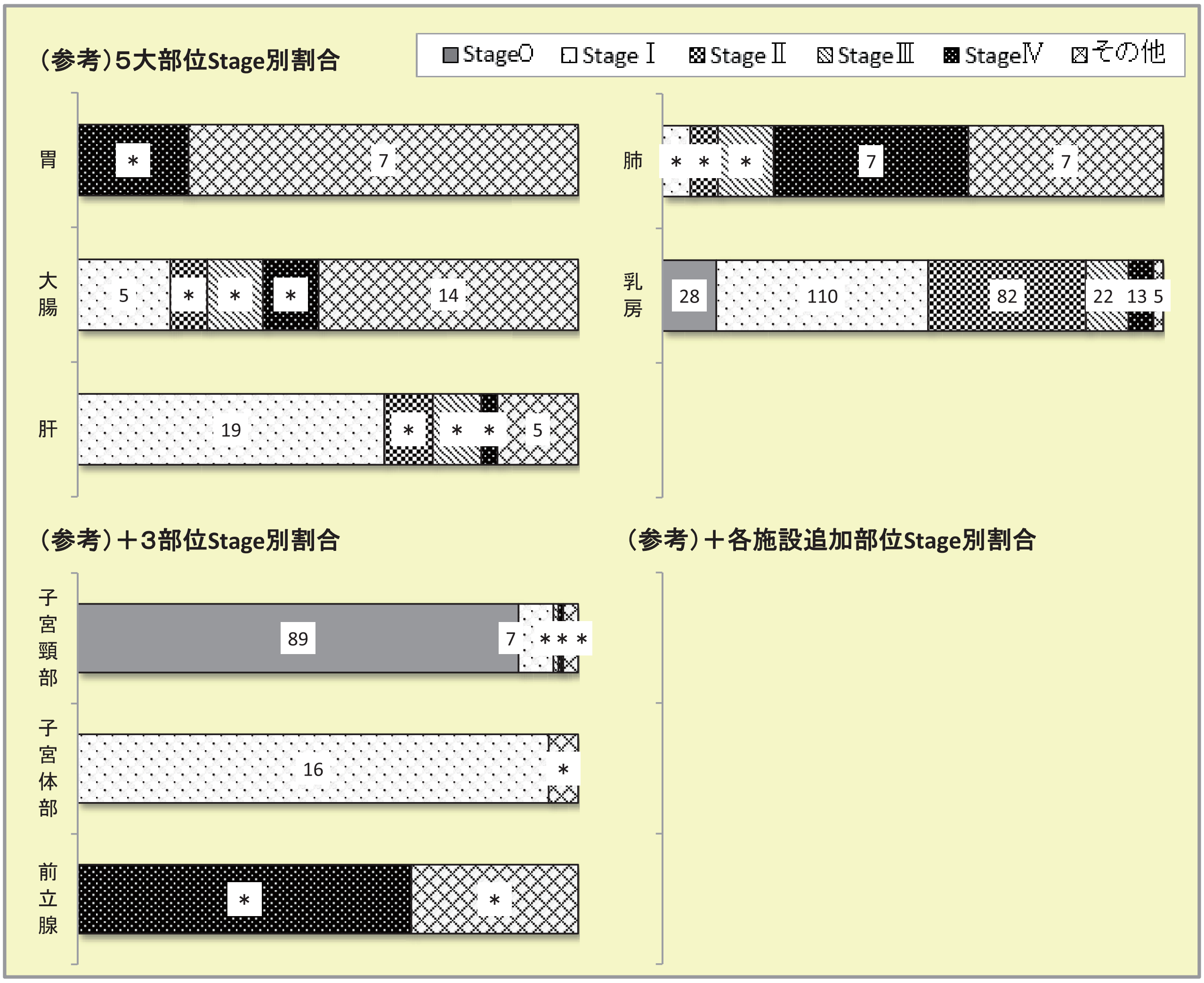
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



くまもと森都総合病院

⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

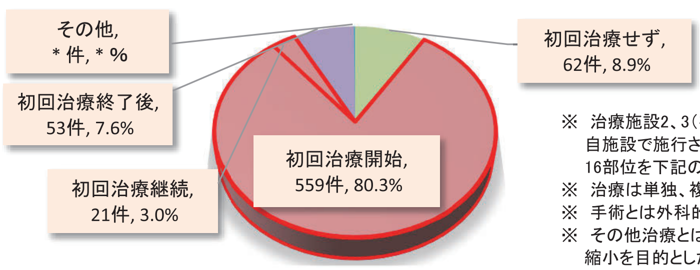
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	＊					＊	
食道	＊				＊	＊	＊
胃★	9					＊	7
大腸★	27		5	＊	＊	＊	14
肝★	31		19	＊	＊	＊	5
膵	14		＊	＊		7	5
肺★	18		＊	＊	＊	7	7
皮膚	30	11	11	＊	＊		6
乳房★	260	28	110	82	22	13	5
子宮頸部	101	89	7		＊	＊	＊
子宮体部	17		16				＊
前立腺	＊					＊	＊
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	158		＊	＊	＊	＊	151
その他	24		4		＊	＊	16
計	696	128	176	93	35	42	222



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

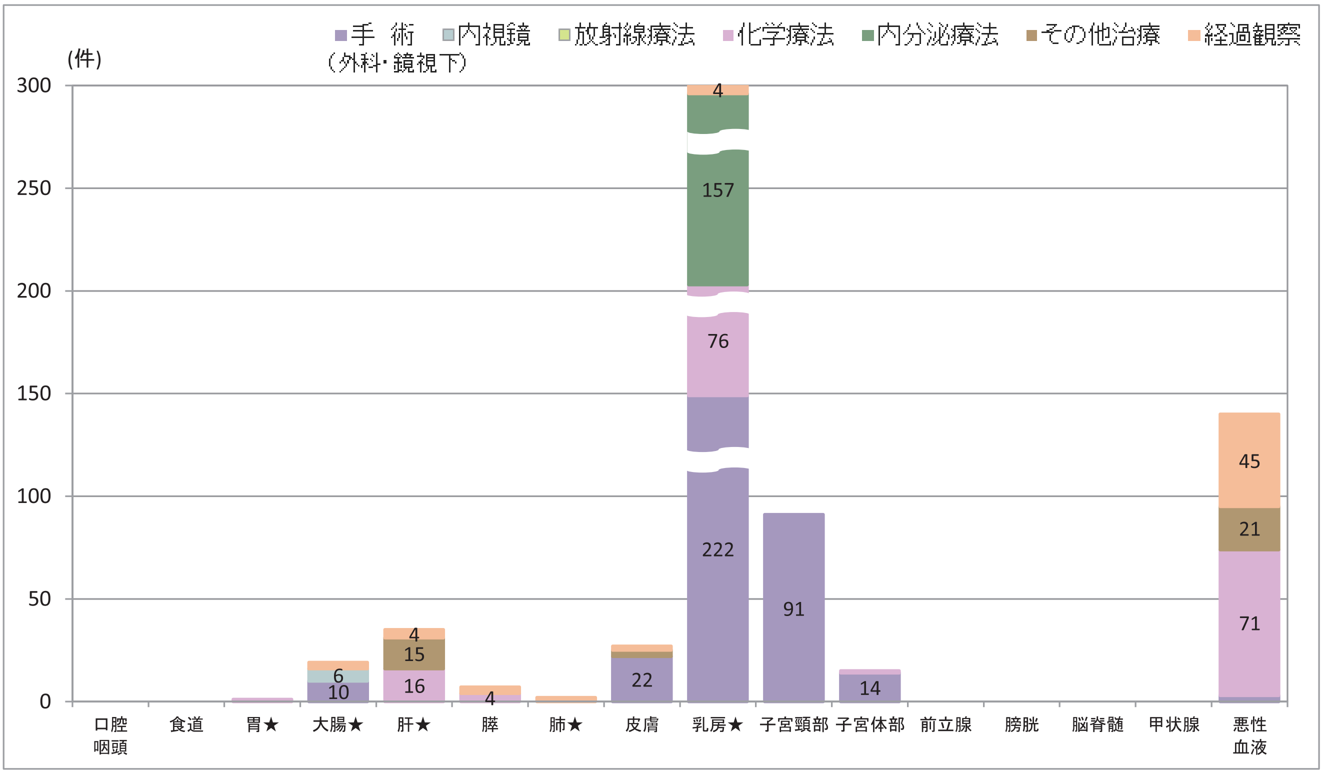
治療施設	件数
1初回治療せず	62
2初回治療開始	559
3初回治療継続	21
4初回治療終了後	53
8その他	*
計	696



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

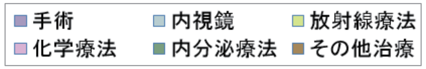
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★				*				*	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	10	6					*	19	84.6%	15.4%	0.0%
肝★				16		15	4	35			
膵				4			*	7			
肺★							*	*			
皮膚	22					*	*	27	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	222			76	157		4	459	99.0%	0.5%	0.5%
子宮頸部	91							91	96.2%	2.5%	1.3%
子宮体部	14			*				15	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*			71		21	45	140	100.0%	0.0%	0.0%
計	362	6	0	169	157	39	63	796			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※　stage不明や分類なしなどで 内視鏡治療　　6件

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医 療 機 関 名	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター

○基本情報

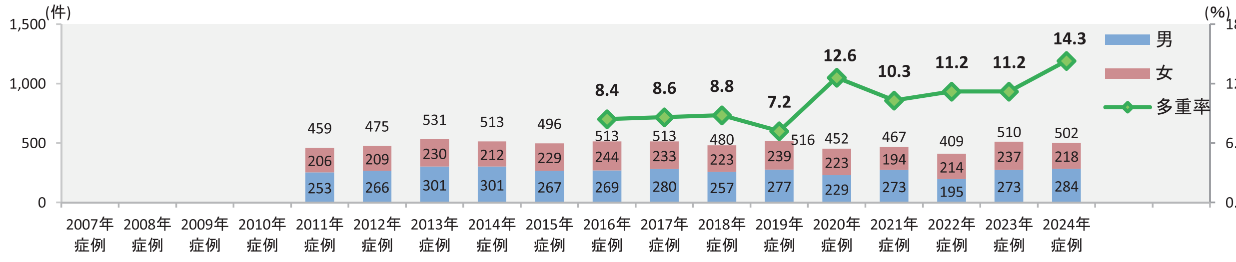
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区本荘5丁目16-10		
病　床　数	227床（一般227床）		
追加情報	地域包括ケア病棟28床		
診 療 科 数	15科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2011.01.01
平均在院日数	10.0（日）		
入院患者数	5,545（人）		
外来患者延数	55,386（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	14
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　8,202（件）		
院内がん登録件数	502（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　3　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【症例数】
2024年の症例数は502件であり、前年より8件減少となった。男女別では、男性284件（前年273件）、女性218件（前年237件）で、男性の件数は増加しており、女性の件数は減少していた。
【年齢】
全体の平均年齢は、74.6歳（男性74.3歳、女性75.1歳）であった。年齢分布では、前年と同様に男女ともに70歳代の罹患数が多かった。
【診断時住所】
熊本市が全体の87.3%を占め、次いで菊池（4.2%）、宇城（3.0%）となった。当院は熊本市医師会病院であり、医師会員からの紹介患者が主体であり、熊本市が大半を占めている。
【上位5部位】
大腸（27.3%）、胃（16.3%）、肺（14.9%）、膵（12.5%）、乳房（6.0%）であった。前年と比較すると、大腸と肺の件数が減少、胃の件数が増加しており、肺と胃の順位が入れ替わった。当院では、膵が上位5部位に入るのが特徴的であり、今回63件と例年より多い症例数であった。
【初回治療、上位5部位別病期分類（初回治療開始、継続症例）】
初回治療の42.9%（前年44.7%）を手術が占め、化学療法28.6%（前年30.6%）、内視鏡治療24.8%（前年18.9%）の割合であった。今回、胃の内視鏡治療件数が増加しており例年より内視鏡治療の割合が高くなった。
<大腸>手術の内、77.3%が腹腔鏡下で行われている。内視鏡治療のステージは0～Ⅰが多く、化学療法はステージⅡ～Ⅳが多かった。
<肺>初回治療は化学療法が行われており、ステージⅣの割合が66.7%と一番高かった。
<胃>手術や内視鏡治療が多く手術の内、75.0%が腹腔鏡下で行われている。また、内視鏡治療の件数が前年より増加し、すべてステージⅠであった。
<膵>手術では、SSPPDやDPが多く施行されており、術後化学療法としてS-1療法が施行されていた。ステージⅢ～Ⅳに対する化学療法では、アブラキサン+GEM療法が多く施行されていた。
<乳房>前年より症例数や手術件数は減少していた。地域医療機関と連携し手術が行われており、ステージⅠ～Ⅱが多かった。
★がんサロン「よかとこネット」
2009年がん患者さんとその家族を支援したいという強い思いから当院の有志ある看護師によって作成された組織である。現在では、偶数月に看護師、MSW、薬剤師、管理栄養士等、多職種の有志によりイベントが開催され、がん患者さん、患者さん家族、院外参加者の不安な気持ちや悩みを分かち合う交流の場所となっている。

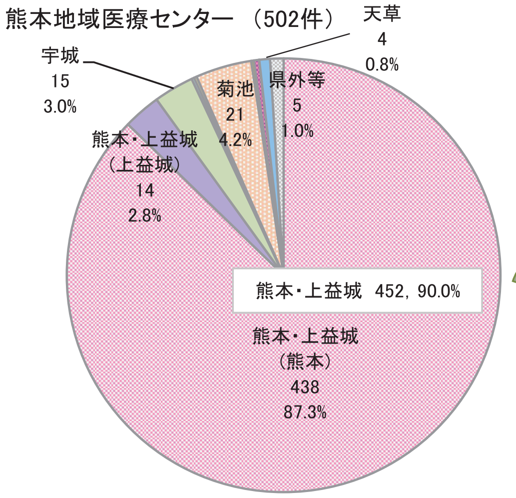
診断年別登録件数（参考）

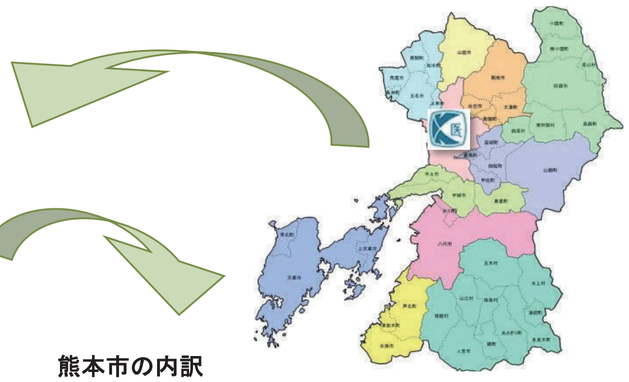


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





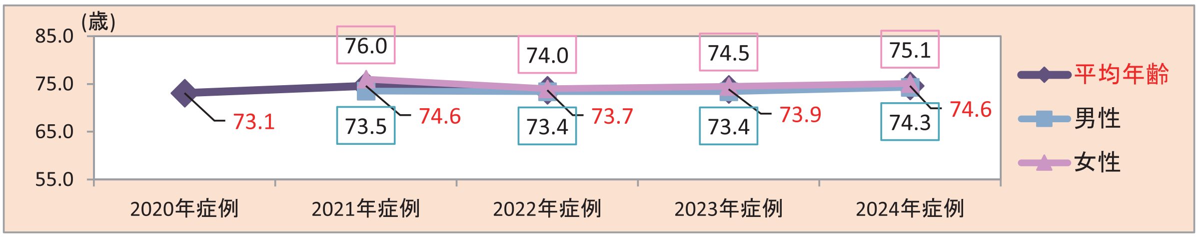
※ 有明、鹿本、阿蘇、八代は1～3件

◇　医療圏別上位5部位

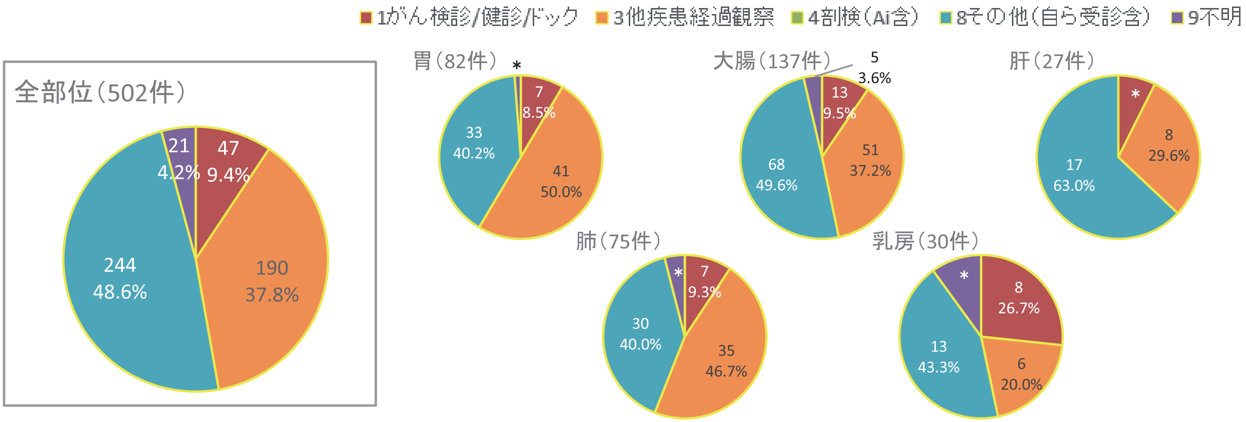
熊・上（熊本）	大腸	123	有明	該当部位	*	阿蘇	該当部位	*	球磨		
	胃	70									
	肺	67									
	膵	54									
	その他	38									
熊・上（上益城）	大腸	5	鹿本	該当部位	*	八代	該当部位	*	天草	該当部位	各*
	該当部位	各*									
宇城	胃	6	菊池	胃	4	芦北			県外等	該当部位	各*
	該当部位	各*		膵	4						
				肺	4						
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

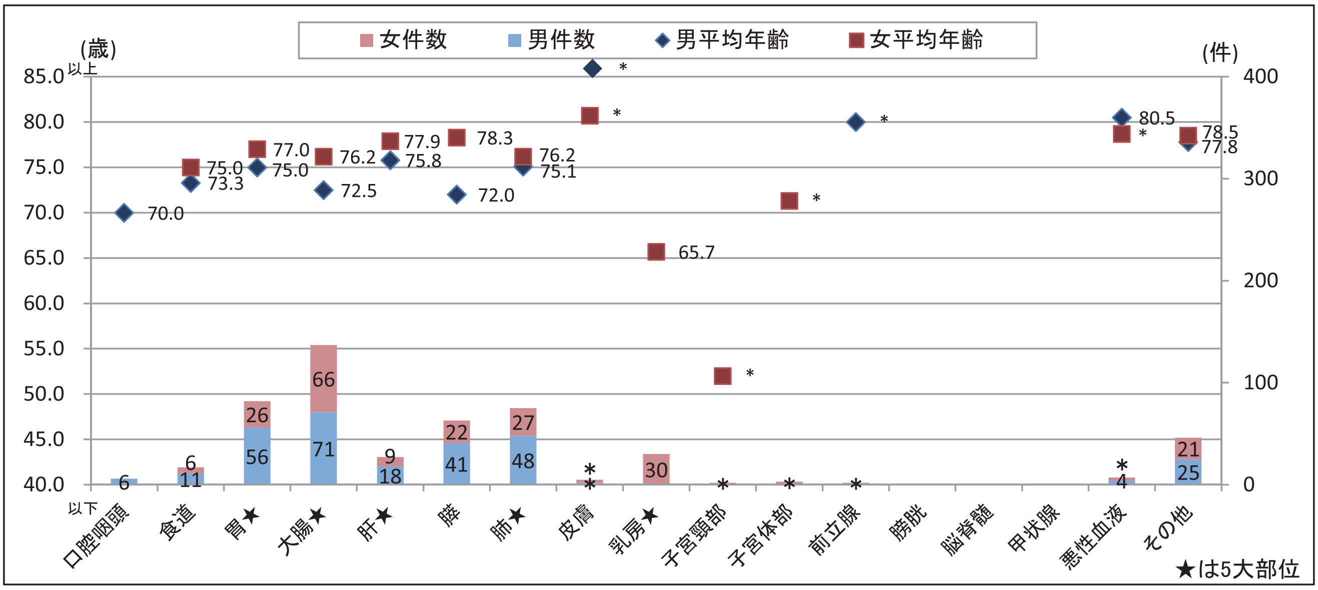
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
大腸	71
胃	56
肺	48
膵	41
その他	25
肝	18
食道	11
口腔咽頭	6
悪性血液	4
皮膚	*
前立腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	284

0〜14歳	

15〜39歳	
該当部位	*
計	*

40〜49歳	
該当部位	各*
計	6

50〜59歳	
大腸	8
胃	6
肺	4
該当部位	各*
計	25

60〜69歳	
大腸	19
膵	9
肺	9
胃	7
その他	5
該当部位	各*
計	55

70〜79歳	
胃	20
肺	18
大腸	17
膵	16
肝	7
など	
計	95

80〜89歳	
胃	20
大腸	17
肺	15
膵	10
その他	7
など	
計	84

90歳〜	
大腸	7
その他	5
該当部位	各*
計	18

女性

女性全体	
大腸	66
乳房	30
肺	27
胃	26
膵	22
その他	21
肝	9
食道	6
皮膚	*
子宮体部	*
悪性血液	*
子宮頸部	*
口腔咽頭	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	218

0〜14歳	

15〜39歳	

40〜49歳	
乳房	4
該当部位	各*
計	10

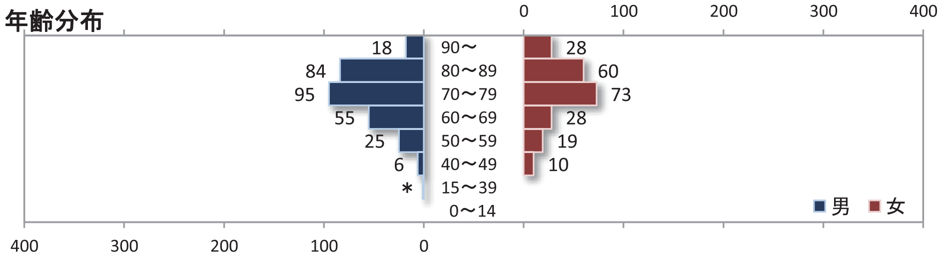
50〜59歳	
乳房	6
大腸	5
該当部位	各*
計	19

60〜69歳	
乳房	9
大腸	5
胃	4
該当部位	各*
計	28

70〜79歳	
大腸	24
肺	12
胃	10
膵	7
乳房	6
など	
計	73

80〜89歳	
大腸	19
胃	8
膵	8
肺	6
その他	6
など	
計	60

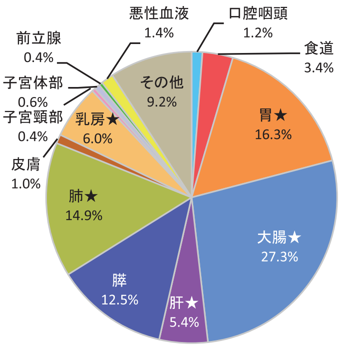
90歳〜	
大腸	10
その他	6
肺	4
該当部位	各*
計	28



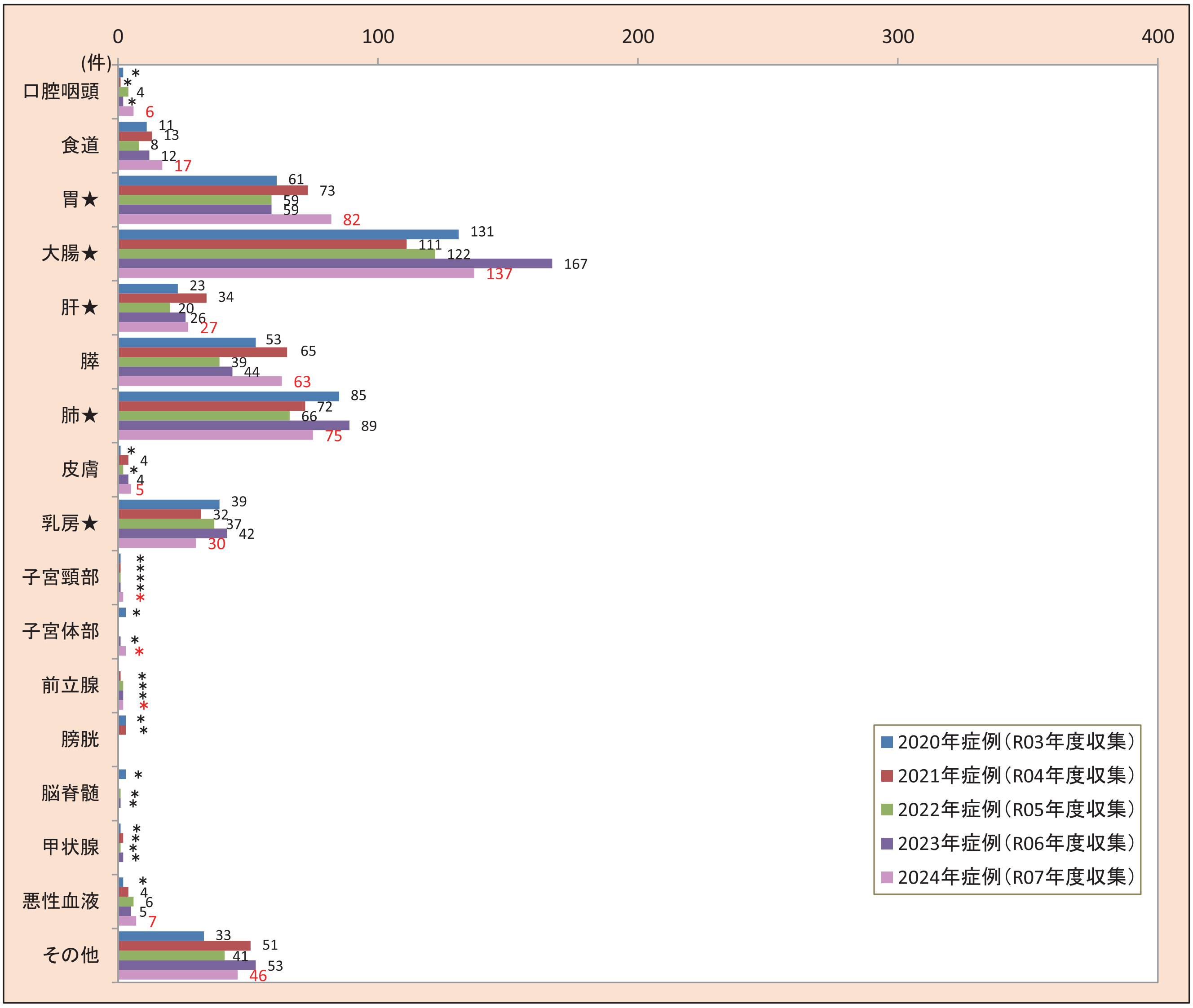
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)	2024年症例 (R07年度収集)
口腔咽頭	＊	＊	4	＊	6
食道	11	13	8	12	17
胃★	61	73	59	59	82
大腸★	131	111	122	167	137
肝★	23	34	20	26	27
膵	53	65	39	44	63
肺★	85	72	66	89	75
皮膚	＊	4	＊	4	5
乳房★	39	32	37	42	30
子宮頸部	＊	＊	＊	＊	＊
子宮体部	＊			＊	＊
前立腺		＊	＊	＊	＊
膀胱	＊	＊			
脳脊髄	＊		＊	＊	
甲状腺	＊	＊	＊	＊	
悪性血液疾患	＊	4	6	5	7
その他	33	51	41	53	46
計	452	467	409	510	502

2024年診断症例　主要部位別割合

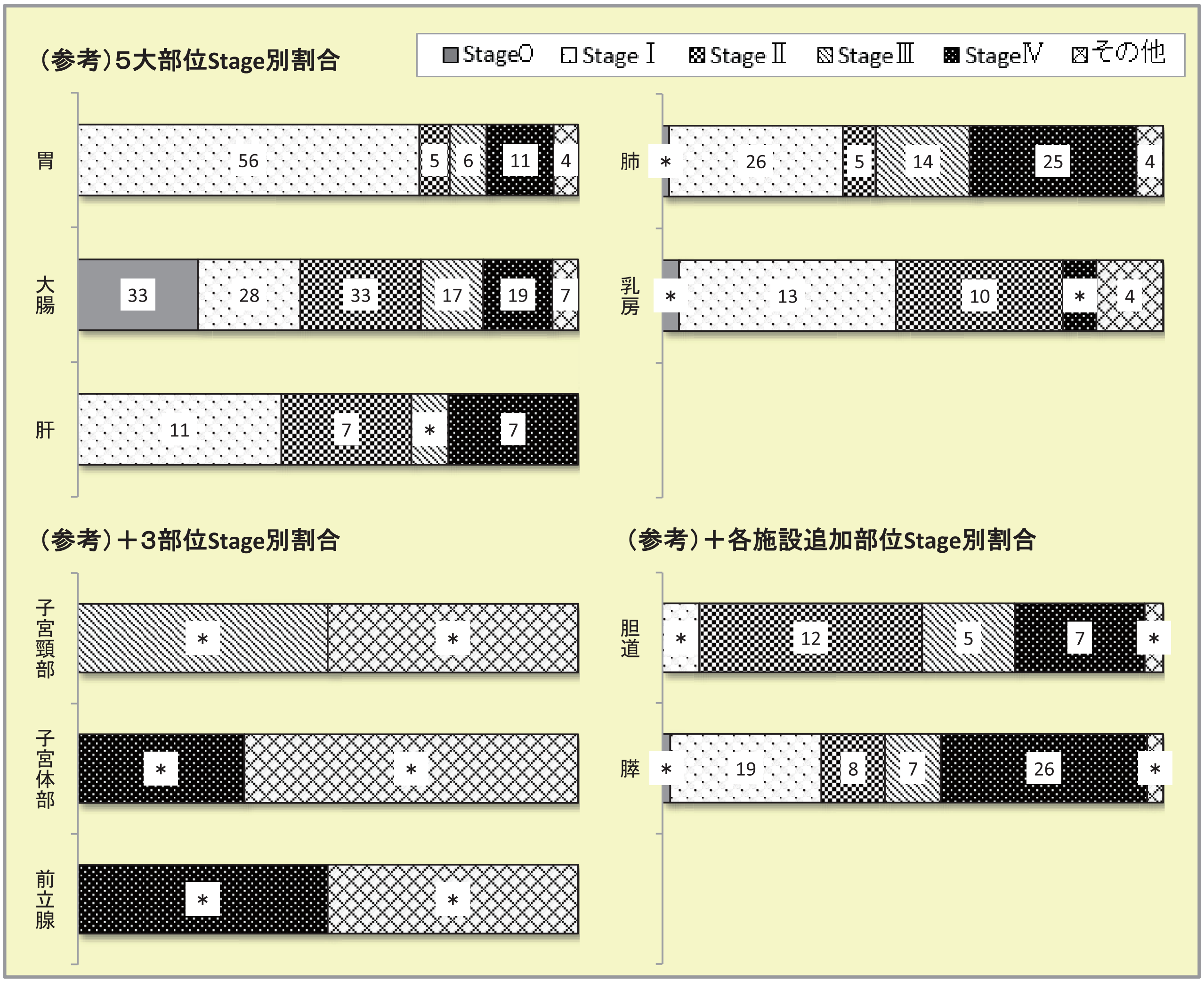


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

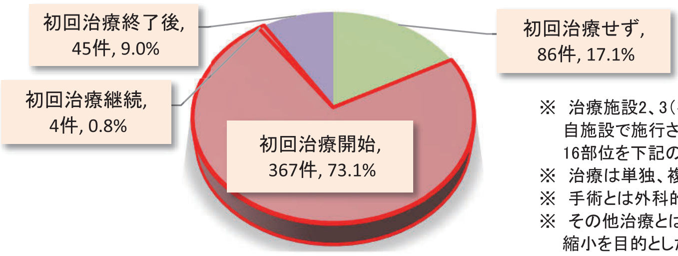
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	6	4				＊	＊
食道	17	7	4	＊		＊	＊
胃★	82		56	5	6	11	4
大腸★	137	33	28	33	17	19	7
肝★	27		11	7	＊	7	
膵	63	＊	19	8	7	26	＊
肺★	75	＊	26	5	14	25	4
皮膚	5	＊	＊				＊
乳房★	30	＊	13	10		＊	4
子宮頸部	＊				＊		＊
子宮体部	＊					＊	＊
前立腺	＊					＊	＊
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	7		＊	＊	＊	＊	
その他	46		＊	12	10	10	12
計	502	49	162	85	58	107	41



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

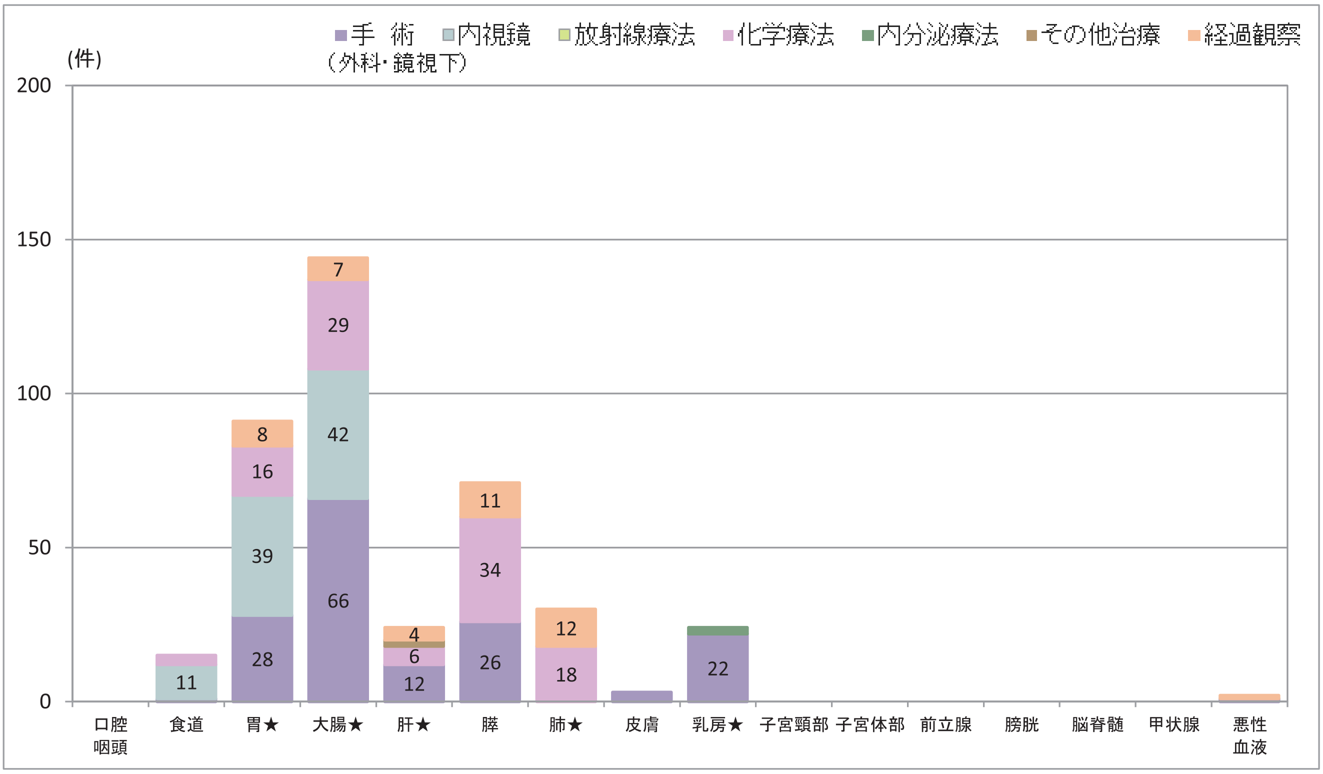
治療施設	件数
1初回治療せず	86
2初回治療開始	367
3初回治療継続	4
4初回治療終了後	45
8その他	
計	502



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

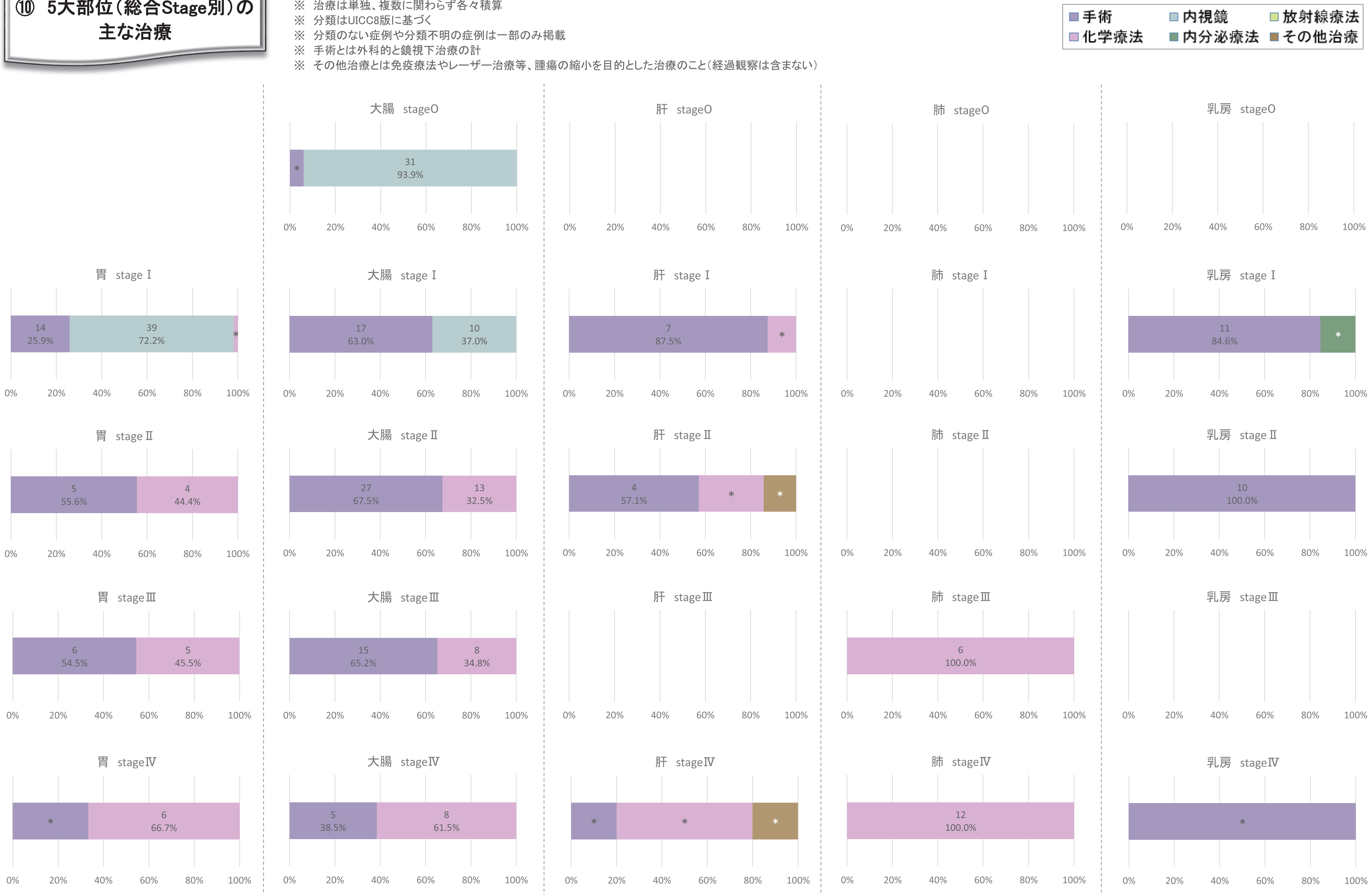
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	＊	11		＊				15	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	28	39		16			8	91	92.2%	7.8%	0.0%
大腸★	66	42		29			7	144	93.5%	6.5%	0.0%
肝★	12			6		＊	4	24	100.0%	0.0%	0.0%
膵	26			34			11	71	84.6%	15.4%	0.0%
肺★				18			12	30			
皮膚	＊							＊	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	22				＊			24	90.9%	9.1%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	＊						＊	＊	0.0%	100.0%	0.0%
計	159	92	0	106	＊	＊	43	404			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

〇基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3丁目2番55号		
病床数	166床（一般166床）		
追加情報			
診療科数	10科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07	がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	12.4（日）		
入院患者数	4,183（人）		
外来患者延数	64,231（人）		
がんの外来化学療法	〇	がんの緩和ケア	〇
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	20
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　831（件）		
院内がん登録件数	375（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）		

〇医療機関からのコメント

【登録件数】院内がん登録を2010年症例より開始し、2024年は375件を登録した（前年比101.1%）。

【発生部位】当院は大腸肛門の専門病院であるため大腸が184件（49.1%）と多くを占める。次いで、その他（肛門管など）が52件（13.9%）である。

【医療圏】熊本市が237件（63.2%）と最も多く、次いで県北部地域（有明、鹿本、菊池、阿蘇）で82件（21.9%）、上益城で20件（5.3%）と3つの地域で90.4%を占めている。また、県外からの受診は10件（2.7%）であった。熊本・上益城医療圏では、当院所在地である熊本市中央区81件（34.2%）、および熊本市東区72件（30.4%）が多い。

【性・年齢】男女ともに70代が最も多く、診断時の平均年齢は72.1歳（男性72.5歳、女性71.6歳）であった。

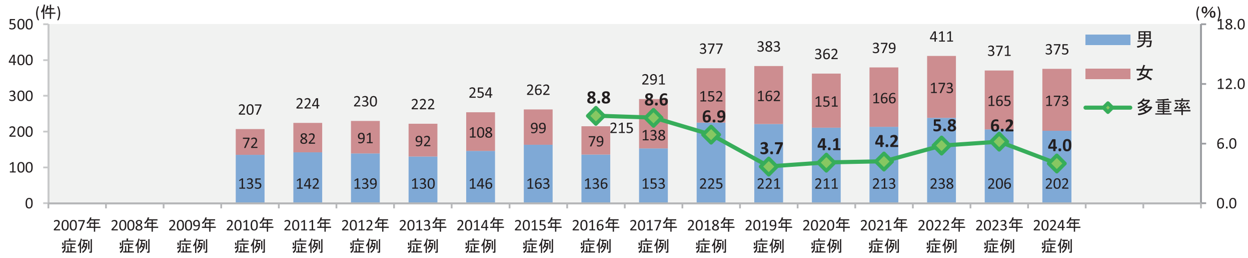
【発見経緯】大腸184件の内訳は自主受診を含むその他が94件（51.1%）と最も多く、次いでがん検診・健診・ドックが65件（35.3%）であった。

【病期分類】大腸においてStage0期が38件（20.7%）、StageI期が44件（23.9%）、StageII期が26件（14.1%）、StageIII期が33件（17.9%）、StageIV期が28件（15.2%）、その他が15件（8.2%）となっている。

【治療】主要部位別治療の大腸において、手術93件（49.7%）、内視鏡56件（29.9%）と観血的治療の割合が高い。また観血的治療において、原発巣切除（遺残なし）が135件（94.4%）とほとんどを占めている。

【部位】大腸がんの件数184件のうち直腸が87件（47.3%）と多く約半数を占めているが、これは当院が大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることでその治療を希望し、受診する患者が多いことが要因の一つと考えられる。

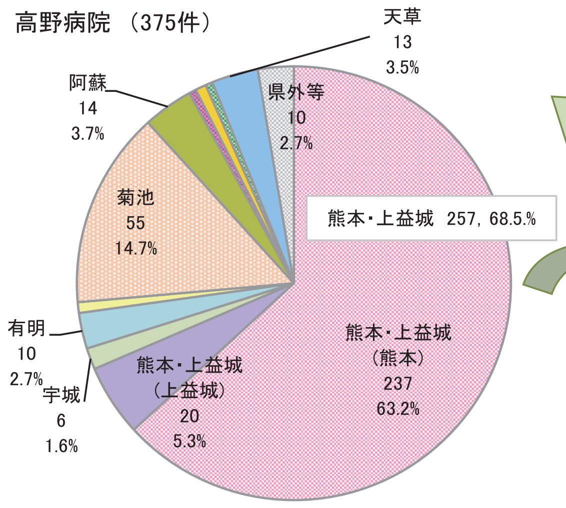
診断年別登録件数（参考）

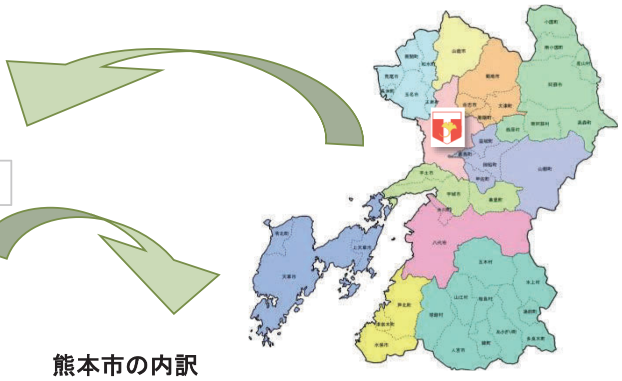


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





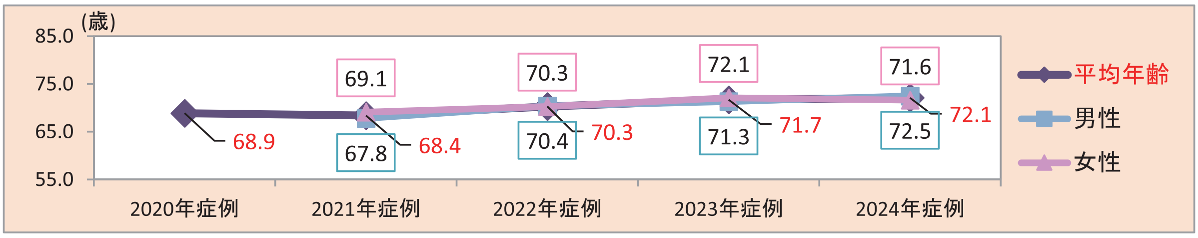
※ 鹿本、八代、芦北、球磨は1～3件

◇　医療圏別上位5部位

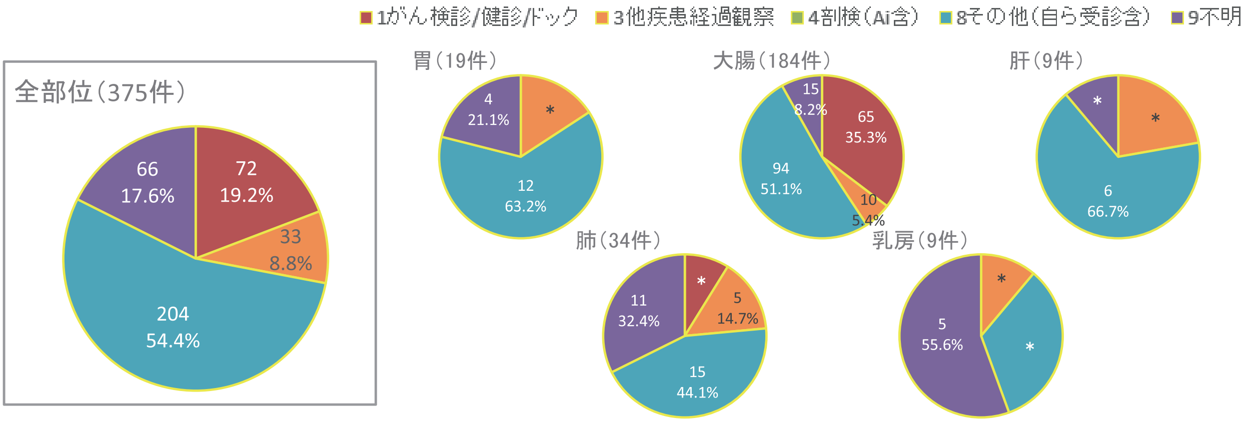
熊・上（熊本）	大腸	103	有明	その他	5	阿蘇	大腸	6	球磨	該当部位	*
	その他	35		大腸	4		肺	4			
	肺	27		該当部位	*		該当部位	各*			
	膵	14									
	胃	13									
熊・上（上益城）	大腸	12	鹿本	該当部位	各*	八代	該当部位	*	天草	大腸	12
	該当部位	各*								該当部位	*
宇城	該当部位	各*	菊池	大腸	30	芦北	該当部位	各*	県外等	大腸	7
				その他	9					該当部位	各*
				膵	5						
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

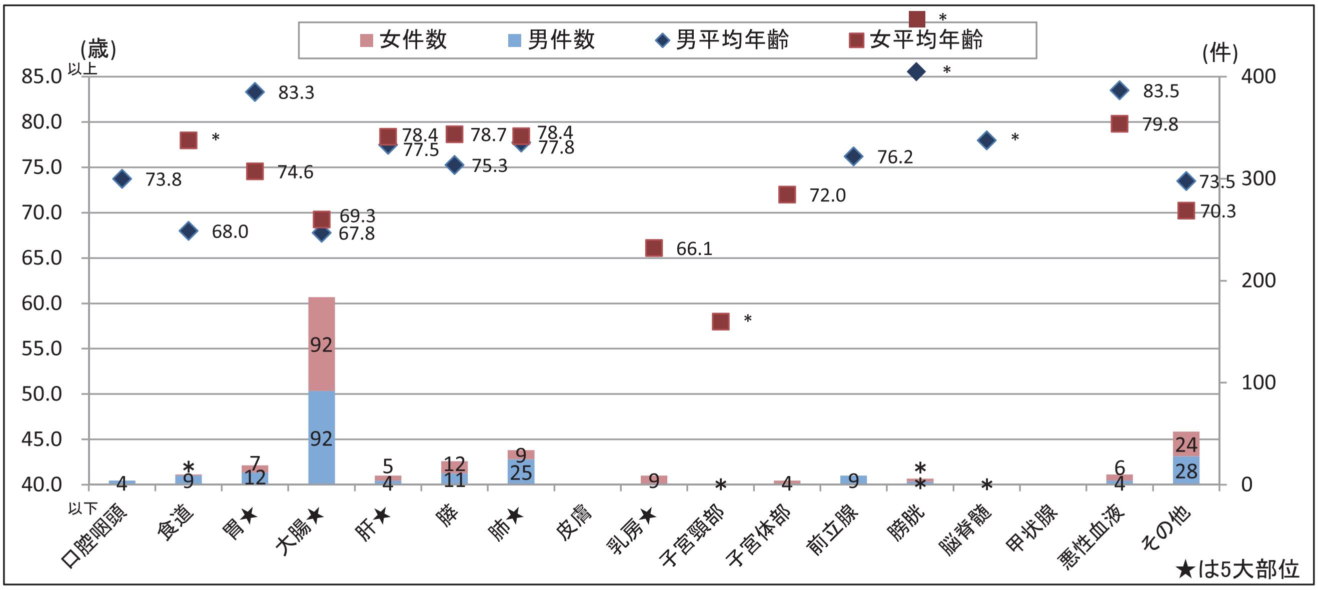
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	92
その他	28
肺	25
胃	12
膵	11
食道	9
前立腺	9
口腔咽頭	4
肝	4
悪性血液	4
膀胱	*
脳脊髄	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	202

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	*	該当部位	各*	大腸	17
						該当部位	各*
		計	*	計	5	計	24

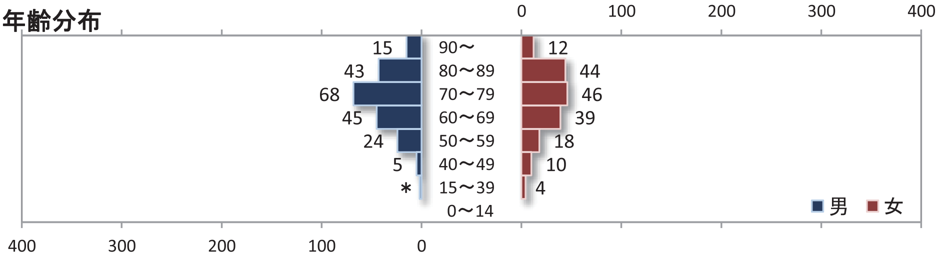
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	27	大腸	29	大腸	10	大腸	4
その他	9	肺	12	その他	9	該当部位	各*
食道	5	その他	7	胃	7		
該当部位	各*	肝	4	肺	7		
		該当部位	各*	膵	5		
				該当部位	各*		
計	45	計	68	計	43	計	15

女性全体	
大腸	92
その他	24
膵	12
肺	9
乳房	9
胃	7
悪性血液	6
肝	5
子宮体部	4
膀胱	*
食道	*
子宮頸部	*
口腔咽頭	
皮膚	
前立腺	
脳脊髄	
甲状腺	
計	173

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	大腸	9	大腸	12
				該当部位	*	該当部位	各*
		計	4	計	10	計	18

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	23	大腸	25	大腸	19	大腸	4
乳房	5	その他	5	その他	7	該当部位	各*
その他	5	該当部位	各*	膵	4		
該当部位	各*			肺	4		
				該当部位	各*		
計	39	計	46	計	44	計	12

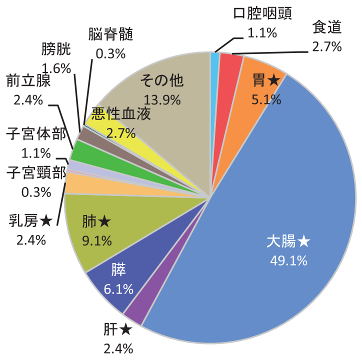
年齢分布



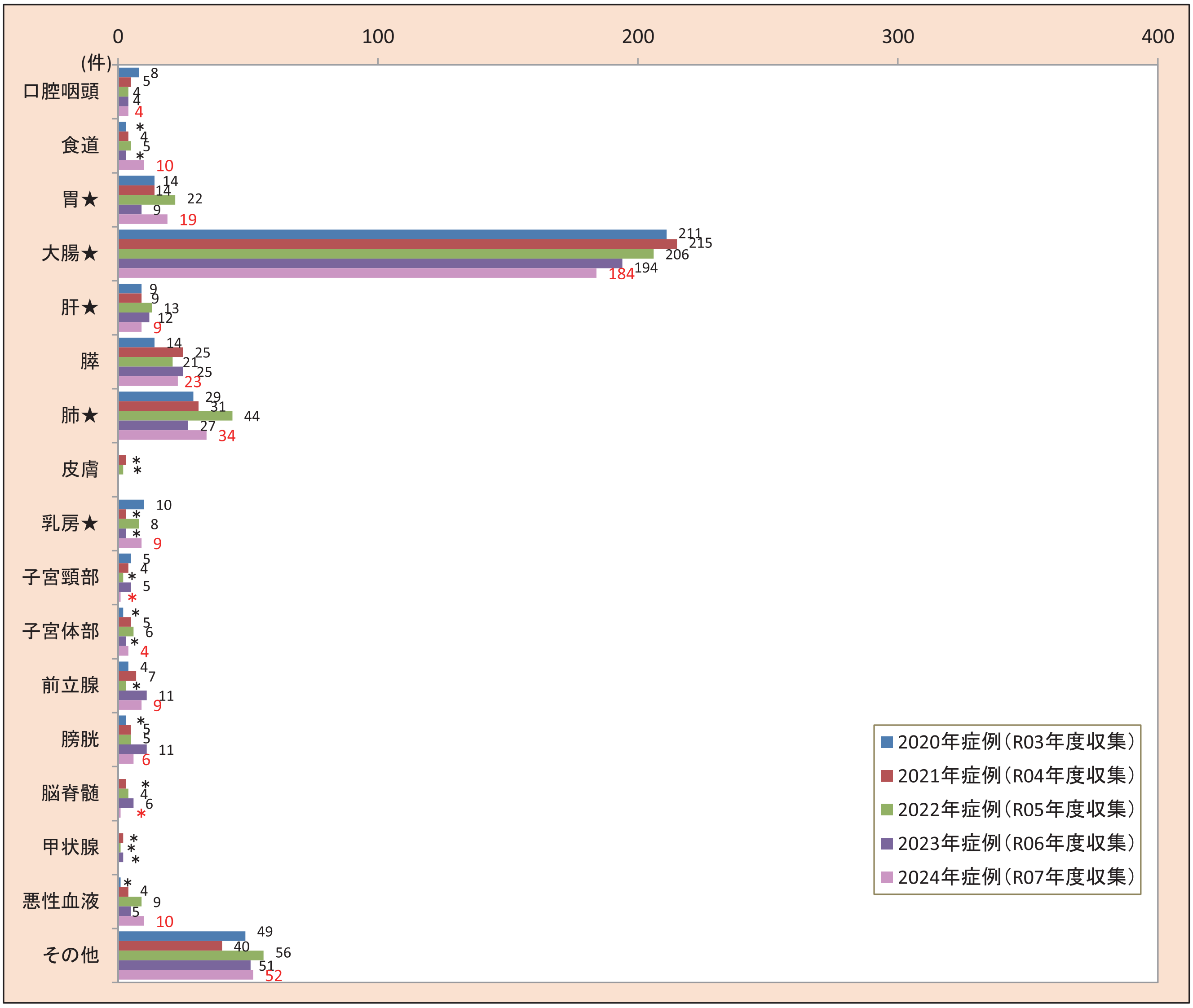
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)	2024年症例 (R07年度収集)
口腔咽頭	8	5	4	4	4
食道	*	4	5	*	10
胃★	14	14	22	9	19
大腸★	211	215	206	194	184
肝★	9	9	13	12	9
膵	14	25	21	25	23
肺★	29	31	44	27	34
皮膚		*	*		
乳房★	10	*	8	*	9
子宮頸部	5	4	*	5	*
子宮体部	*	5	6	*	4
前立腺	4	7	*	11	9
膀胱	*	5	5	11	6
脳脊髄		*	4	6	*
甲状腺		*	*	*	
悪性血液疾患	*	4	9	5	10
その他	49	40	56	51	52
計	362	379	411	371	375

2024年診断症例 主要部位別割合

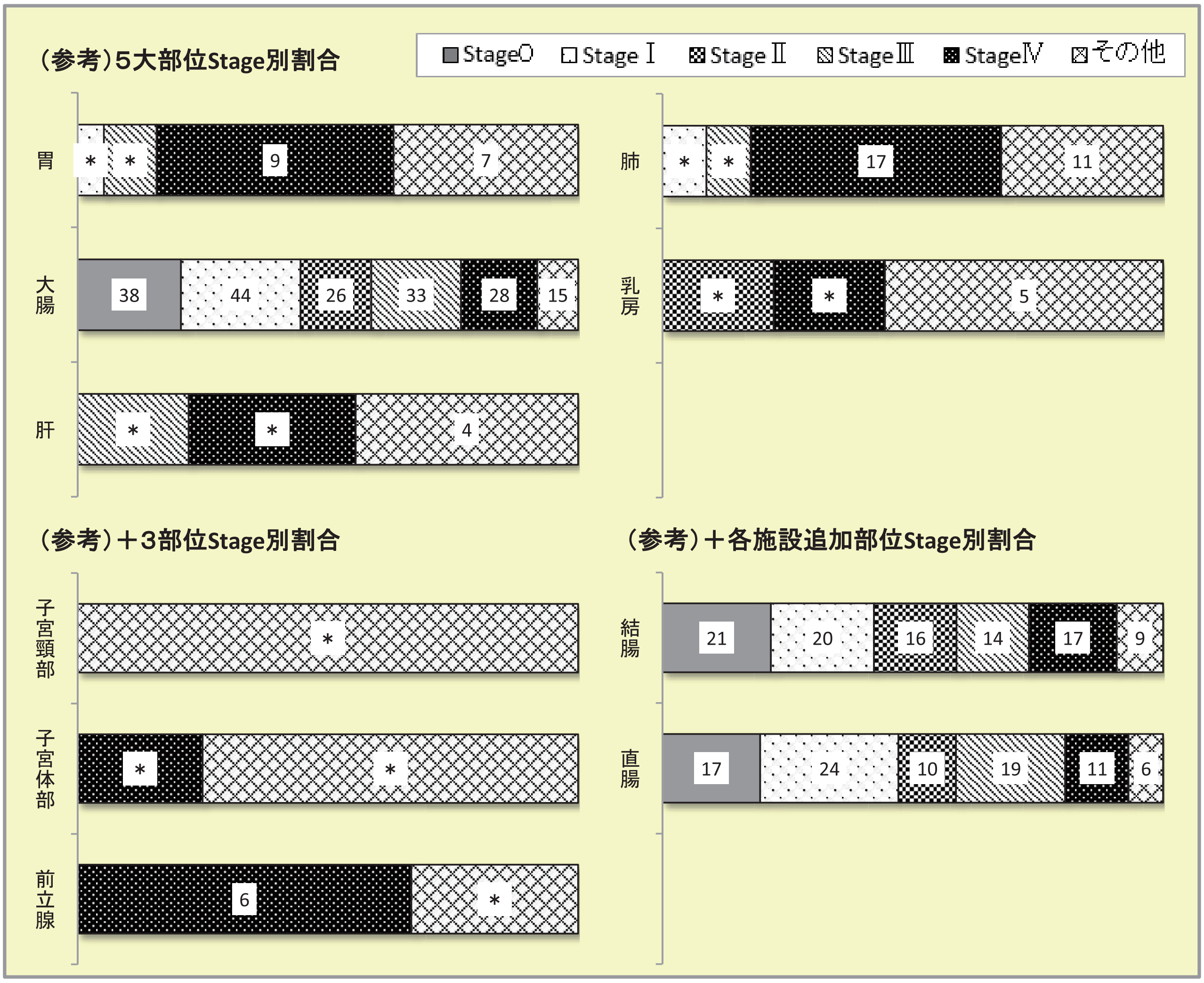


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

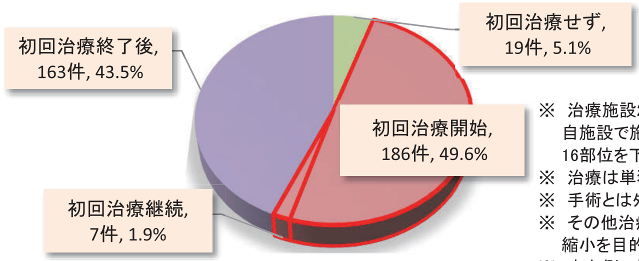
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	4					＊	＊
食道	10					＊	8
胃★	19		＊		＊	9	7
大腸★	184	38	44	26	33	28	15
肝★	9				＊	＊	4
膵	23			＊	＊	12	9
肺★	34		＊		＊	17	11
皮膚	0						
乳房★	9			＊		＊	5
子宮頸部	＊						＊
子宮体部	4					＊	＊
前立腺	9					6	＊
膀胱	6						6
脳脊髄	＊						＊
甲状腺	0						
悪性血液疾患	10						10
その他	52		＊	＊	6	8	35
計	375	38	49	31	47	91	119



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

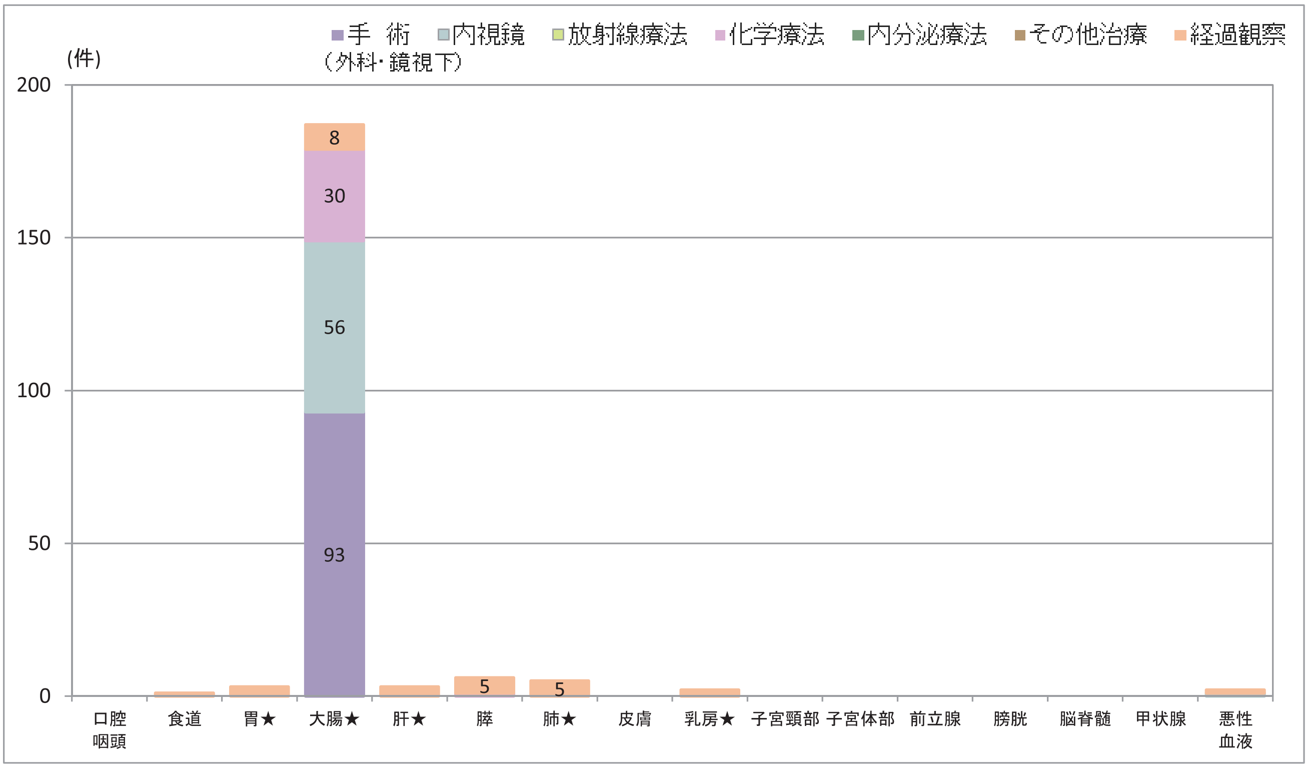
治療施設	件数
1初回治療せず	19
2初回治療開始	186
3初回治療継続	7
4初回治療終了後	163
8その他	
計	375



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果 遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ 切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道							＊	＊			
胃★							＊	＊			
大腸★	93	56		30			8	187	94.4%	4.9%	0.7%
肝★							＊	＊			
膵				＊			5	6			
肺★							5	5			
皮膚								0			
乳房★							＊	＊			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患		＊					＊	＊	0.0%	0.0%	100.0%
計	93	57	0	31	0	0	28	209			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

高野病院

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医 療 機 関 名	山鹿市民医療センター

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	山鹿市山鹿511		
病　床　数	201床（一般197床；感染症4床）		
追加情報	地域包括ケア病棟38床		
診 療 科 数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16	がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	15.5（日）		
入院患者数	2,648（人）		
外来患者延数	44,293（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	13
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　1,000（件）		
院内がん登録件数	277（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当センターでは、2010年より入院症例を対象とした院内がん登録を開始し、2016年の全国がん登録制度の導入に伴い、外来症例の登録も開始しました。

2024年の院内がん登録件数は、大腸が最も多く51件、次いで乳房・膵臓が36件、胃が28件、肺が25件、肝臓が16件となっています。性別では男性が144件、女性が133件で、年齢は男性が平均76.4歳、女性が平均73.6歳と、例年と同様の傾向を示しています。

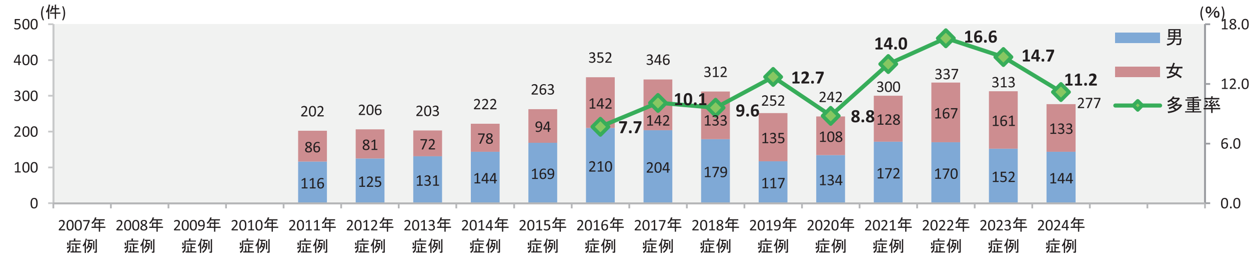
医療圏別の割合では、鹿本医療圏からの患者様が73.6%を占めており、その他の地域からは26.4%となっています。今年は特に、鹿本医療圏以外からの患者様の受診が増加している傾向が見られます。

このような背景には、当センターの体制整備の強化があると考えられます。具体的には、「わたしのカルテ」の運用開始や化学療法体制の充実、2011年7月に開設したがん相談支援センターによる情報提供と相談対応の強化、2012年4月の緩和ケア病棟の開棟、2016年の肝胆膵外科および肝がん集学的治療グループの設立、さらに2019年4月にはがん総合的診療チームの発足など、がん医療の質を高める取り組みを継続してきました。

これらの取り組みにより、がんの発見から治療、そしてその後のフォローアップまで一貫して対応できる体制が整い、地域の医療機関との連携もより深まりました。また、緩和ケア病棟の開棟によって、地元で終末期を過ごしたいという患者様の希望に応えることが可能となり、治療開始後の症例数の増加にもつながっています。

今後も、地域のがん拠点病院として、がん治療の質の向上と患者様の生活の質（QOL）の向上に貢献してまいります。

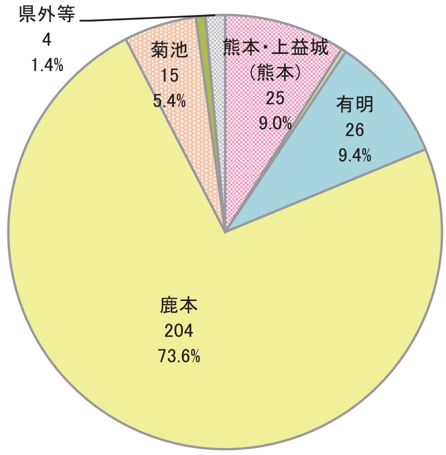
診断年別登録件数（参考）



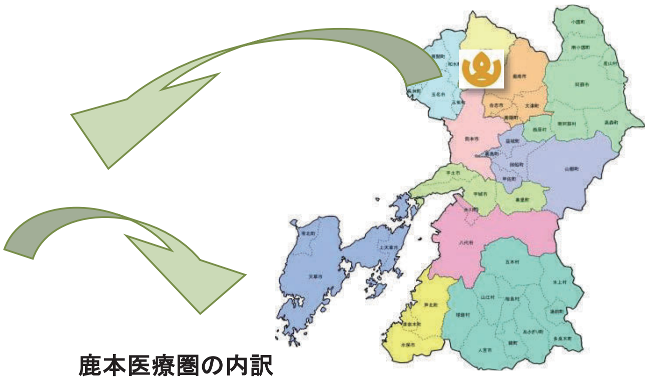
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※ 宇城、阿蘇は1～3件

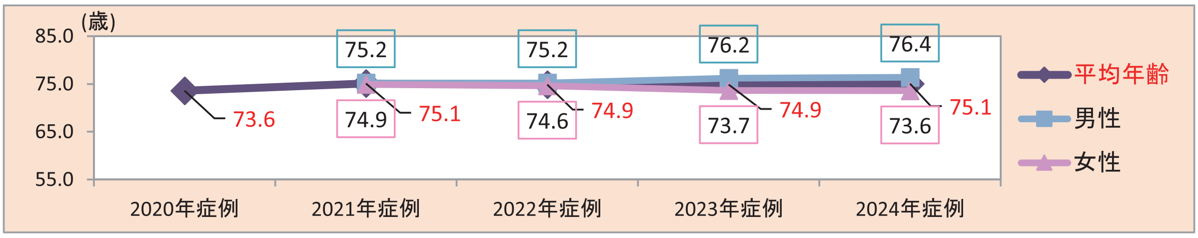


◇　医療圏別上位5部位

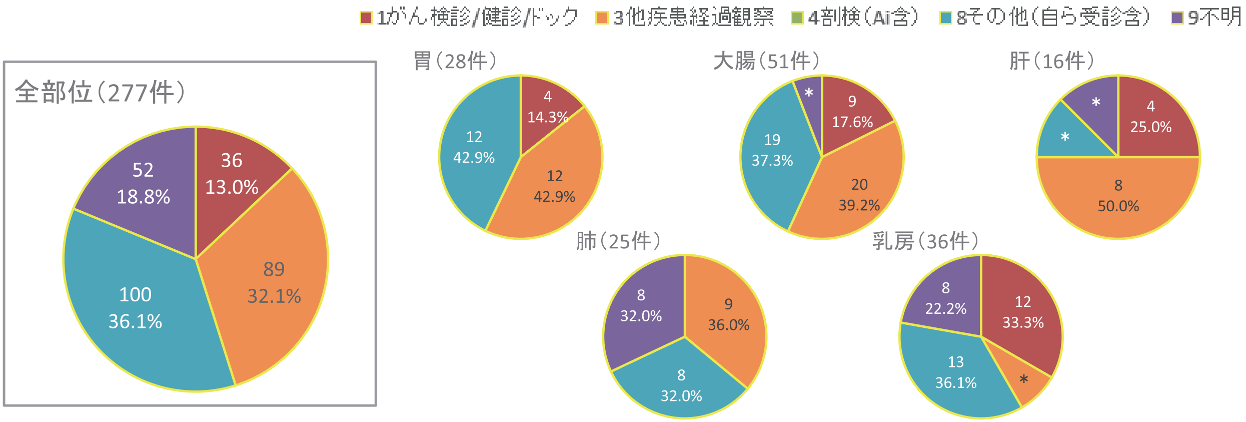
熊・上（熊本）	膵	8	有明	その他	5	阿蘇	該当部位	各*	球磨		
	乳房	5		大腸	4						
	その他	4		膵	4						
	該当部位	各*		該当部位	各*						
熊・上（上益城）			鹿本	大腸	40	八代			天草		
				その他	30						
				乳房	27						
				胃	22						
				肺	19						
宇城	該当部位	*	菊池	大腸	4	芦北			県外等	該当部位	各*
				膵	4						
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

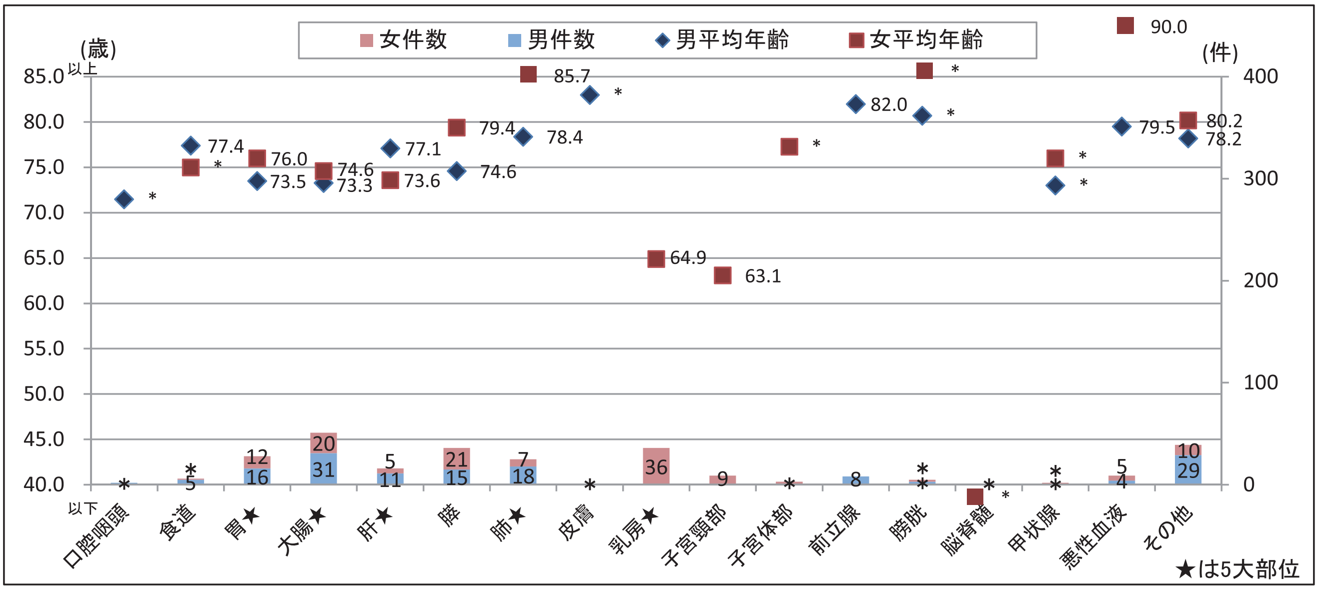
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	31
その他	29
肺	18
胃	16
膵	15
肝	11
前立腺	8
食道	5
悪性血液	4
膀胱	*
口腔咽頭	*
皮膚	*
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	144

0～14歳	

15～39歳	

40～49歳	
該当部位	*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	4

60～69歳	
大腸	9
該当部位	各*
計	23

70～79歳	
大腸	15
その他	13
膵	10
胃	8
肺	6
該当部位	各*
計	64

80～89歳	
その他	10
肺	9
大腸	6
前立腺	5
肝	4
該当部位	各*
計	44

90歳～	
該当部位	各*
計	8

女性全体	
乳房	36
膵	21
大腸	20
胃	12
その他	10
子宮頸部	9
肺	7
肝	5
悪性血液	5
子宮体部	*
膀胱	*
食道	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
前立腺	
計	133

0～14歳	

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
乳房	6
該当部位	各*
計	9

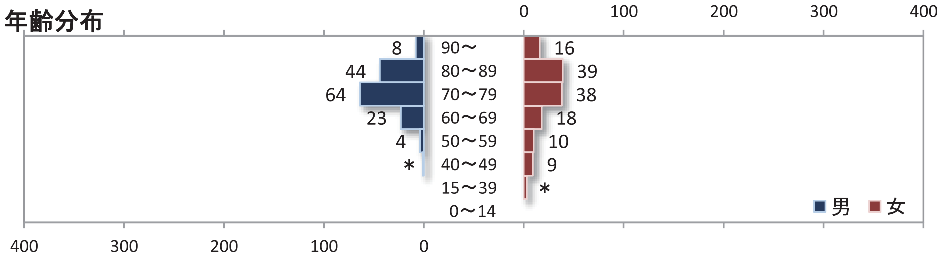
50～59歳	
乳房	7
該当部位	各*
計	10

60～69歳	
大腸	5
乳房	4
子宮頸部	4
該当部位	各*
計	18

70～79歳	
乳房	10
膵	8
大腸	6
胃	5
該当部位	各*
計	38

80～89歳	
膵	9
大腸	6
乳房	5
肺	4
その他	4
該当部位	各*
計	39

90歳～	
該当部位	各*
計	16

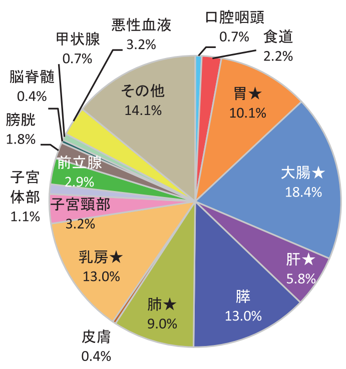


山鹿市民医療センター

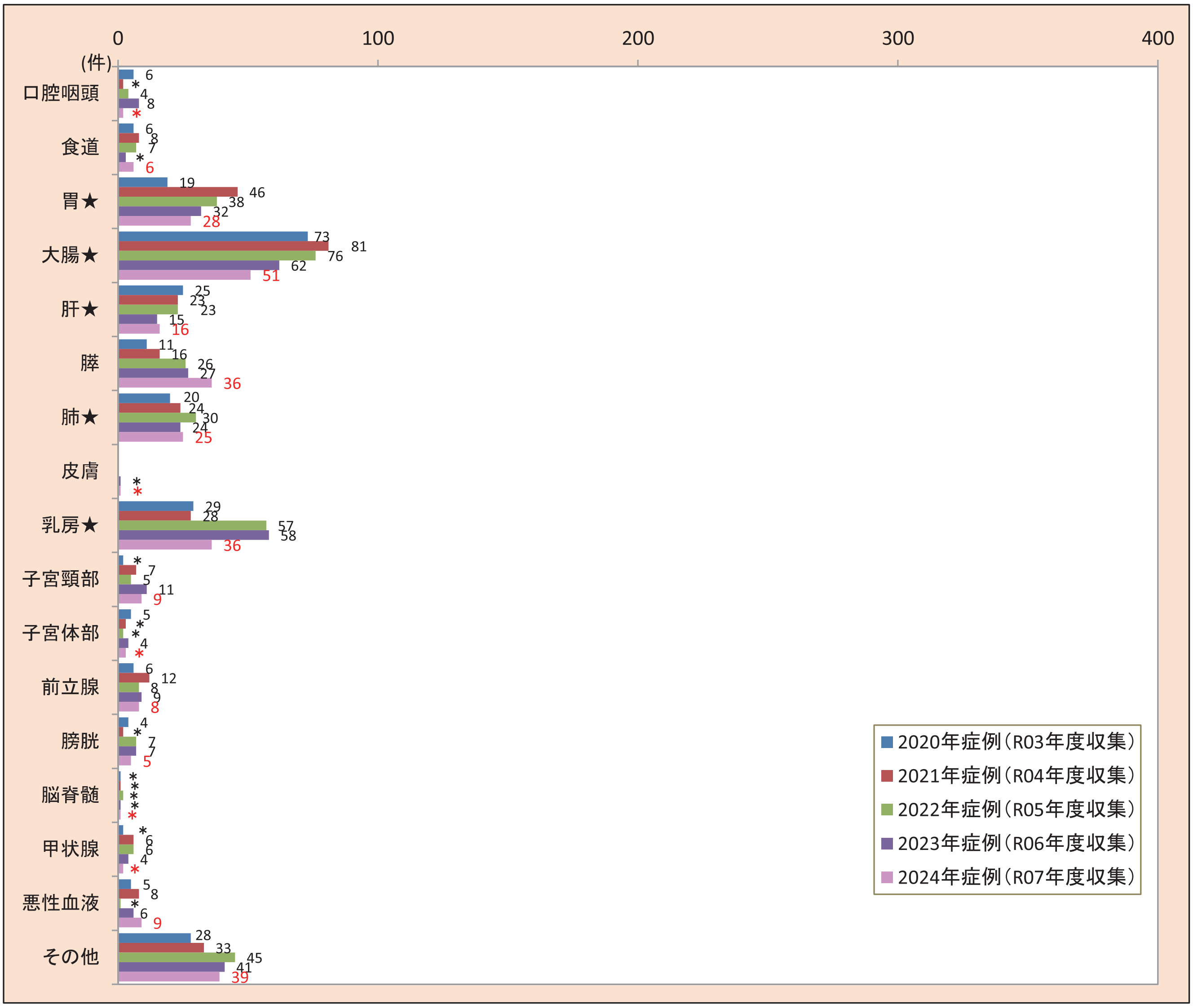
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	6	＊	4	8	＊
食道	6	8	7	＊	6
胃★	19	46	38	32	28
大腸★	73	81	76	62	51
肝★	25	23	23	15	16
膵	11	16	26	27	36
肺★	20	24	30	24	25
皮膚				＊	＊
乳房★	29	28	57	58	36
子宮頸部	＊	7	5	11	9
子宮体部	5	＊	＊	4	＊
前立腺	6	12	8	9	8
膀胱	4	＊	7	7	5
脳脊髄	＊	＊	＊	＊	＊
甲状腺	＊	6	6	4	＊
悪性血液疾患	5	8	＊	6	9
その他	28	33	45	41	39
計	242	300	337	313	277

2024年診断症例　主要部位別割合

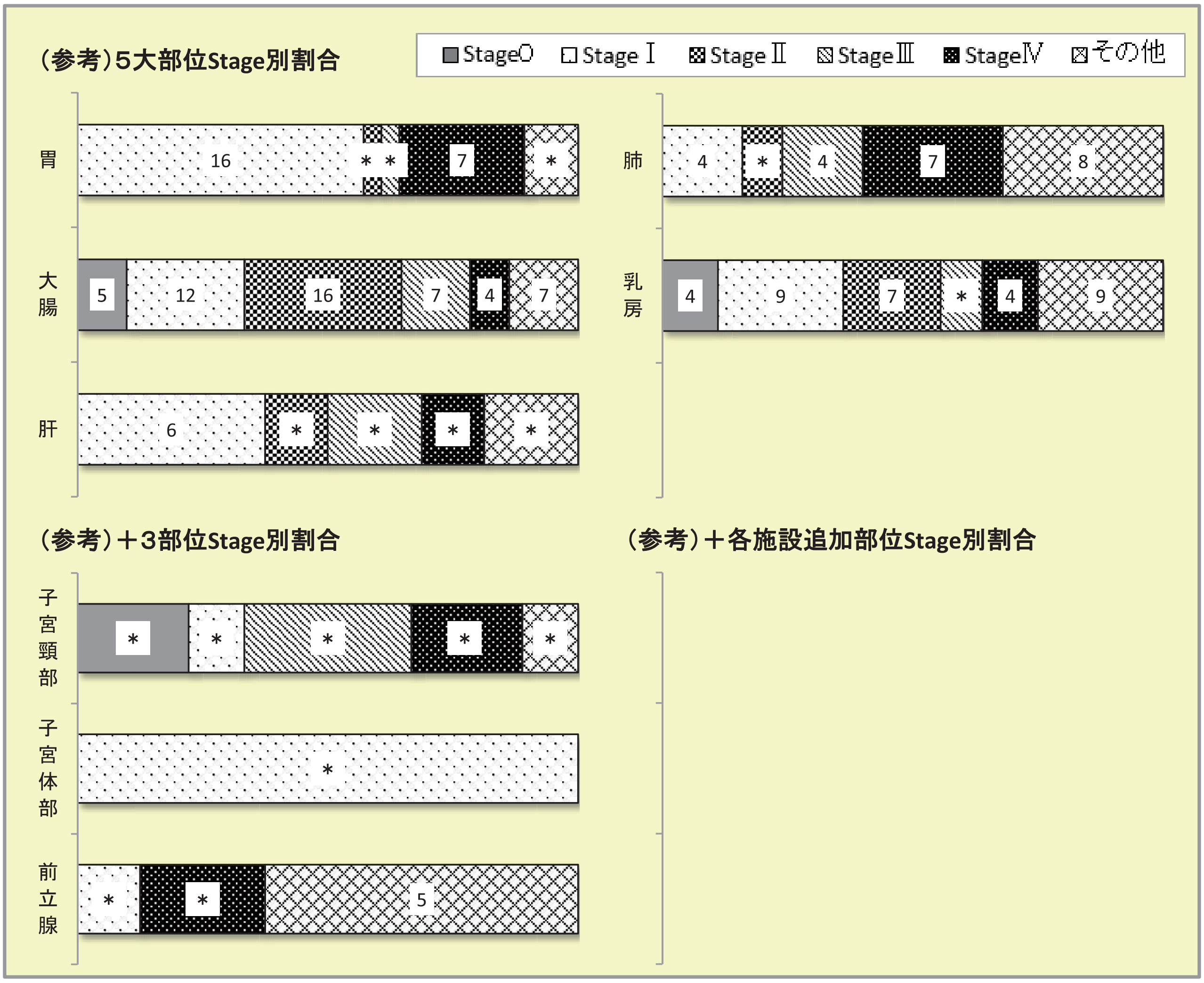


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

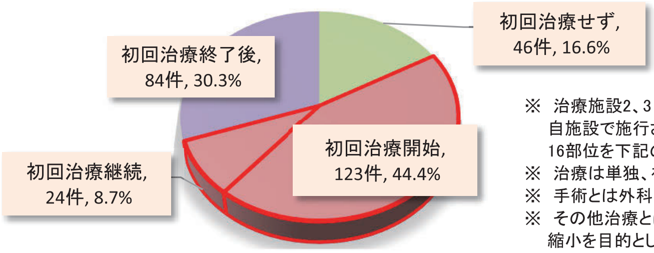
全体	件数	Stage0	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	Stage Ⅳ	その他
口腔咽頭	*		*				*
食道	6		*		*	*	*
胃★	28		16	*	*	7	*
大腸★	51	5	12	16	7	4	7
肝★	16		6	*	*	*	*
膵	36		11		*	13	9
肺★	25		4	*	4	7	8
皮膚	*						*
乳房★	36	4	9	7	*	4	9
子宮頸部	9	*	*		*	*	*
子宮体部	*		*				
前立腺	8		*			*	5
膀胱	5						5
脳脊髄	*						*
甲状腺	*				*		*
悪性血液疾患	9		*		*	*	5
その他	39		4		4	10	21
計	277	11	71	28	31	55	81



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

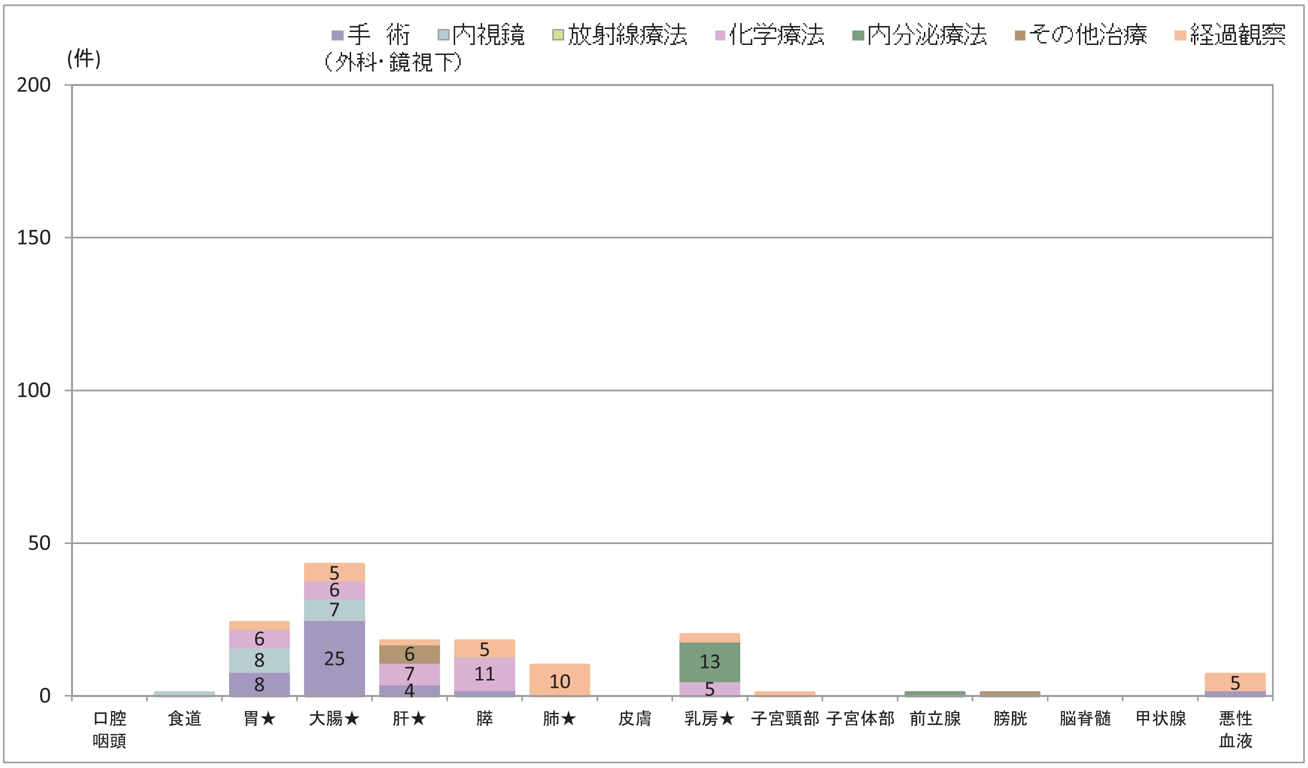
治療施設	件数
1初回治療せず	46
2初回治療開始	123
3初回治療継続	24
4初回治療終了後	84
8その他	
計	277



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

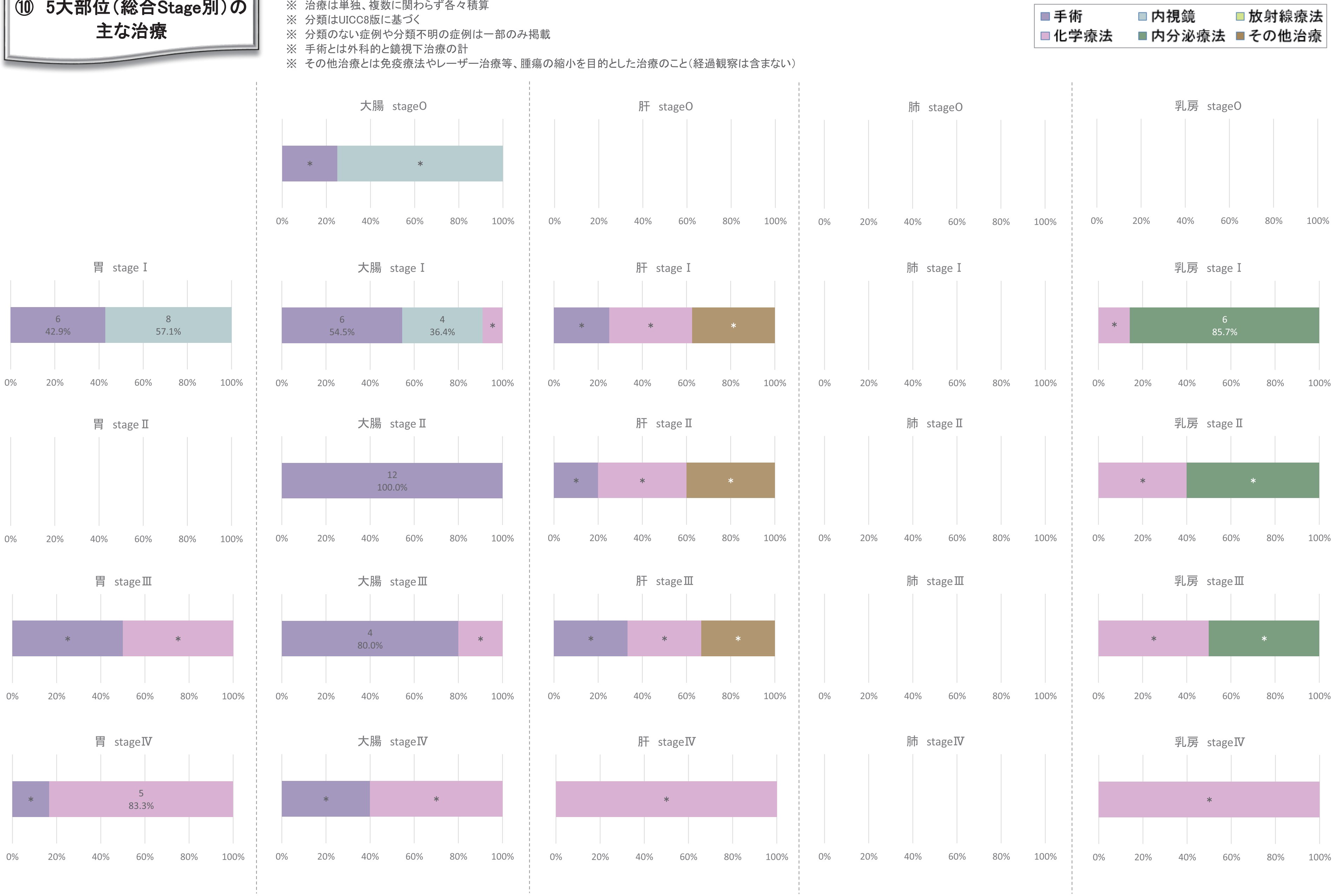
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果 遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		*						*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	8	8		6			*	24	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	25	7		6			5	43	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	4			7		6	*	18	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			11			5	18	100.0%	0.0%	0.0%
肺★							10	10			
皮膚								0			
乳房★				5	13		*	20			
子宮頸部							*	*			
子宮体部								0			
前立腺					*			*			
膀胱						*		*			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*						5	7	100.0%	0.0%	0.0%
計	41	16	0	35	14	7	31	144			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構　熊本南病院

〇基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

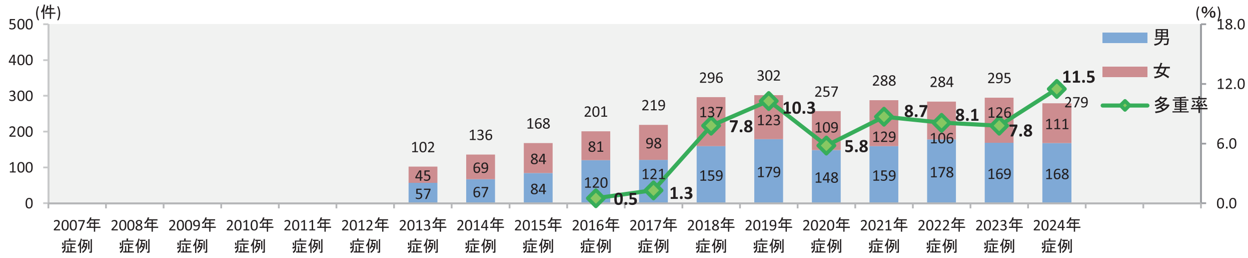
所　在　地	宇城市松橋町豊福2338番地		
病　床　数 追加情報	172床（一般150床；結核22床）		
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28	がん登録開始基準日	2012.04.01
平均在院日数	27.6（日）		
入院患者数	1,495（人）		
外来患者延数	26,006（人）		
がんの外来化学療法	〇	がんの緩和ケア	〇
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	16
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　673（件）		
院内がん登録件数	279（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）		

〇医療機関からのコメント

≪登録件数≫
・当院の2024年登録件数は、279件であり前年より16件の減少となった。
≪患者住所医療圏≫
・宇城84.9%(前年80.7%)、八代5%、熊本4.3%、天草4.3%と宇城が全患者の8割以上を占めている。
≪平均年齢・男女比≫
・登録症例の全体の平均年齢は77.9歳であり、年齢分布で一番多い70歳代男性は全患者の22.6%、70歳代女性が10.8%、80歳代男性が全患者の22.2%、80歳代女性が14.7%となっている。男女比は、男性60.2%(168件)、女性39.8%(111件)となっている。
≪部位別登録件数≫
・肺60件(21.5%)、悪性血液疾患55件(19.7%)、大腸30件(10.8%)、胃23件(8.2%)、肝21件(7.5%)、膵18件(6.5%)、乳房16件(5.7%)、前立腺13件(4.7%)、その他43件(15.4%)となった。
≪部位別病期分類の割合≫
・Stage0期(1.4%)、StageⅠ期(12.9%)、StageⅡ期(6.1%)、StageⅢ期(7.9%)、StageⅣ期(29.4%)、その他(42.3%)となった。当院は悪性血液疾患が多いため、その他の割合が多いと考えられる。
≪特徴≫
・宇城地域医療圏からの患者がもっとも多い。高齢者(70歳以上)が8割以上を占めている。
・「がん」治療においては、外科治療、化学療法、緩和ケアを組み合わせ集学的治療を行い、診断から終末期までの手厚い医療提供ができる病院として、宇城医療圏唯一の「熊本県がん診療連携拠点病院」の指定を受けている。
・「緩和ケア病棟」を開設しており、「がんの診断から治療、緩和治療」までがんの全治療に携わっている。
・毎月の地域ケア連携研修会や市民公開講座の開催、出張健康教室を行っており、地域医療の質の向上と市民に向けた情報発信に努めている。
・「私のカルテ」による連携をさらに進め、「宇城がんサロン～ほっとカフェ～」を関係者に利用しやすくなることにも取り組んでいる。

今後もがん診療連携拠点病院の役割として、がん治療の質の向上を目指していく。

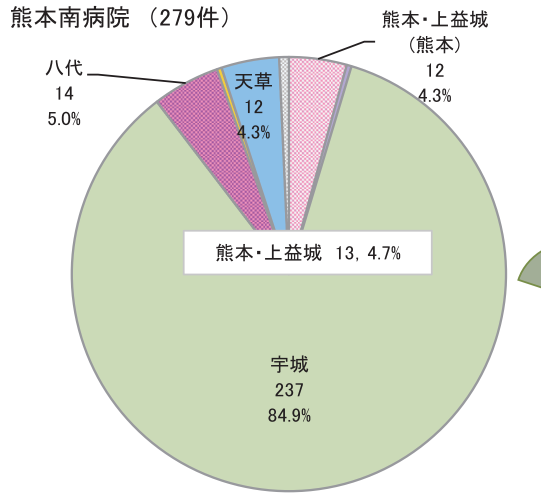
診断年別登録件数（参考）



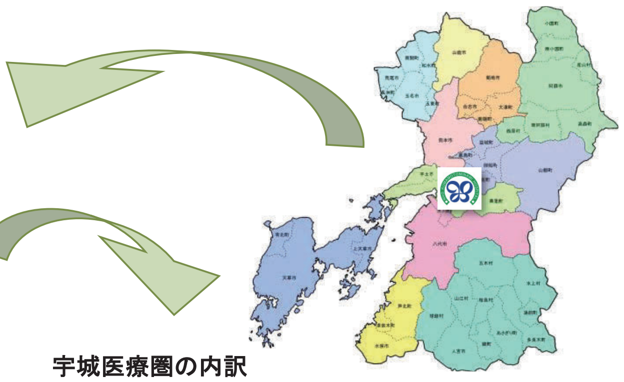
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況(2024年診断症例)

※　全般において3件以下は*又は非表示



※(上益城)、芦北、県外等は1～3件



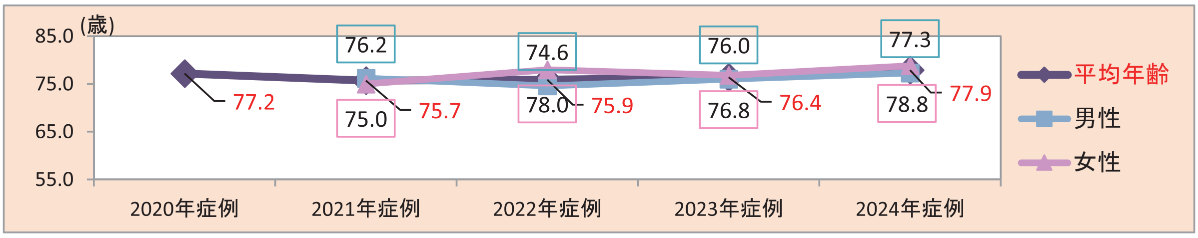
宇城医療圏の内訳

◇　医療圏別上位5部位

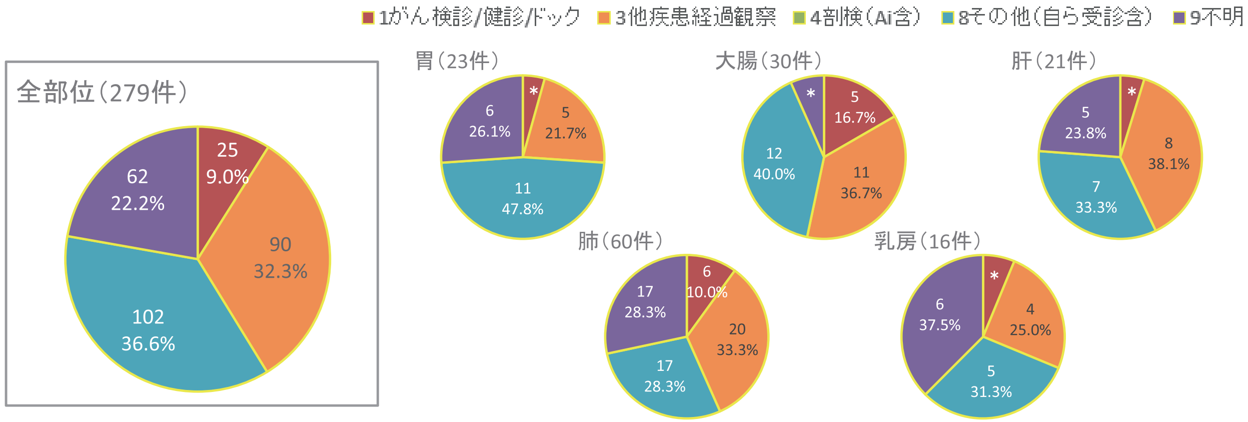
熊・上(熊本)	該当部位	各*	有明			阿蘇			球磨		
熊・上(上益城)	該当部位	*	鹿本			八代	その他	5	天草	肺	5
							肺	4		該当部位	各*
							該当部位	各*			
宇城	悪性血液	47	菊池			芦北	該当部位	*	県外等	該当部位	*
	肺	46									
	大腸	26									
	胃	21									
	その他	20									

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

②　平均年齢と年次比較

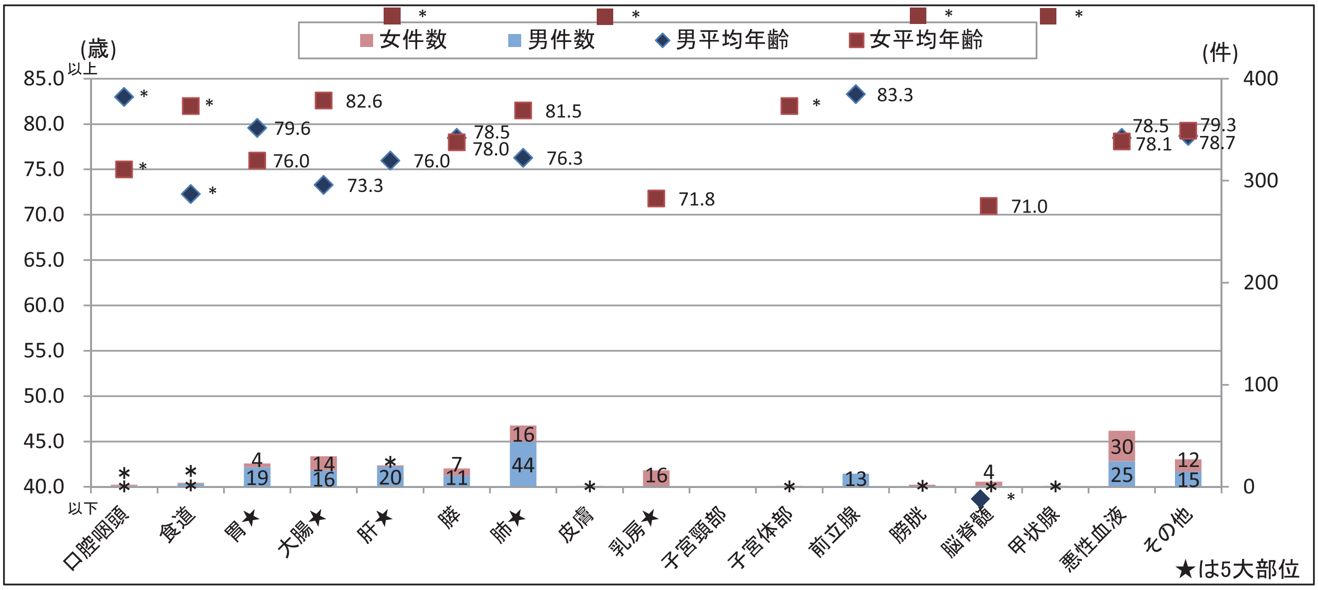


③　発見経緯 5大部位の内訳



熊本南病院

④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
肺	44
悪性血液	25
肝	20
胃	19
大腸	16
その他	15
前立腺	13
膵	11
食道	*
口腔咽頭	*
脳脊髄	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
甲状腺	
計	168

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	*	該当部位	*	該当部位	各*
		計	*	計	*	計	*

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
大腸	5	肺	18	肺	16	前立腺	4
肺	5	悪性血液	11	胃	9	該当部位	各*
該当部位	各*	肝	8	悪性血液	9		
		胃	7	肝	8		
		大腸	7	その他	7		
		など		など			
計	26	計	63	計	62	計	12

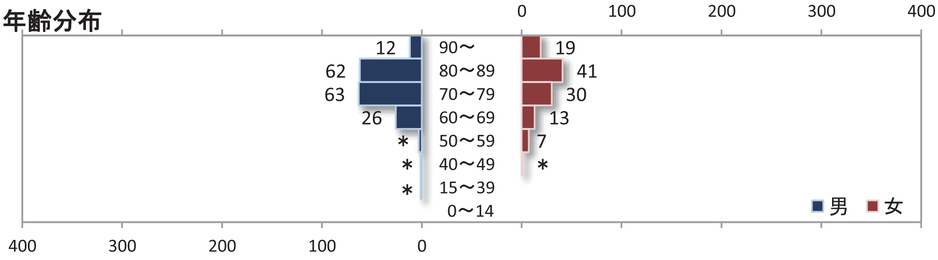
女性

女性全体	
悪性血液	30
肺	16
乳房	16
大腸	14
その他	12
膵	7
胃	4
脳脊髄	4
膀胱	*
口腔咽頭	*
食道	*
肝	*
皮膚	*
子宮体部	*
甲状腺	*
子宮頸部	
前立腺	
計	111

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
				該当部位	*	該当部位	各*
				計	*	計	7

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	5	悪性血液	11	悪性血液	9	悪性血液	6
該当部位	各*	乳房	5	大腸	8	肺	4
		該当部位	各*	肺	6	該当部位	各*
				その他	6		
				乳房	4		
				該当部位	各*		
計	13	計	30	計	41	計	19

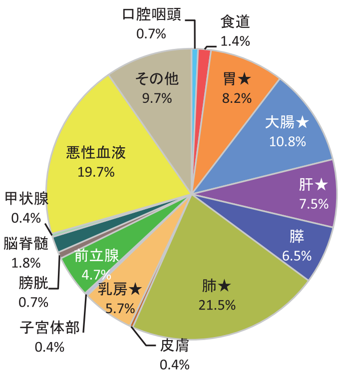
年齢分布



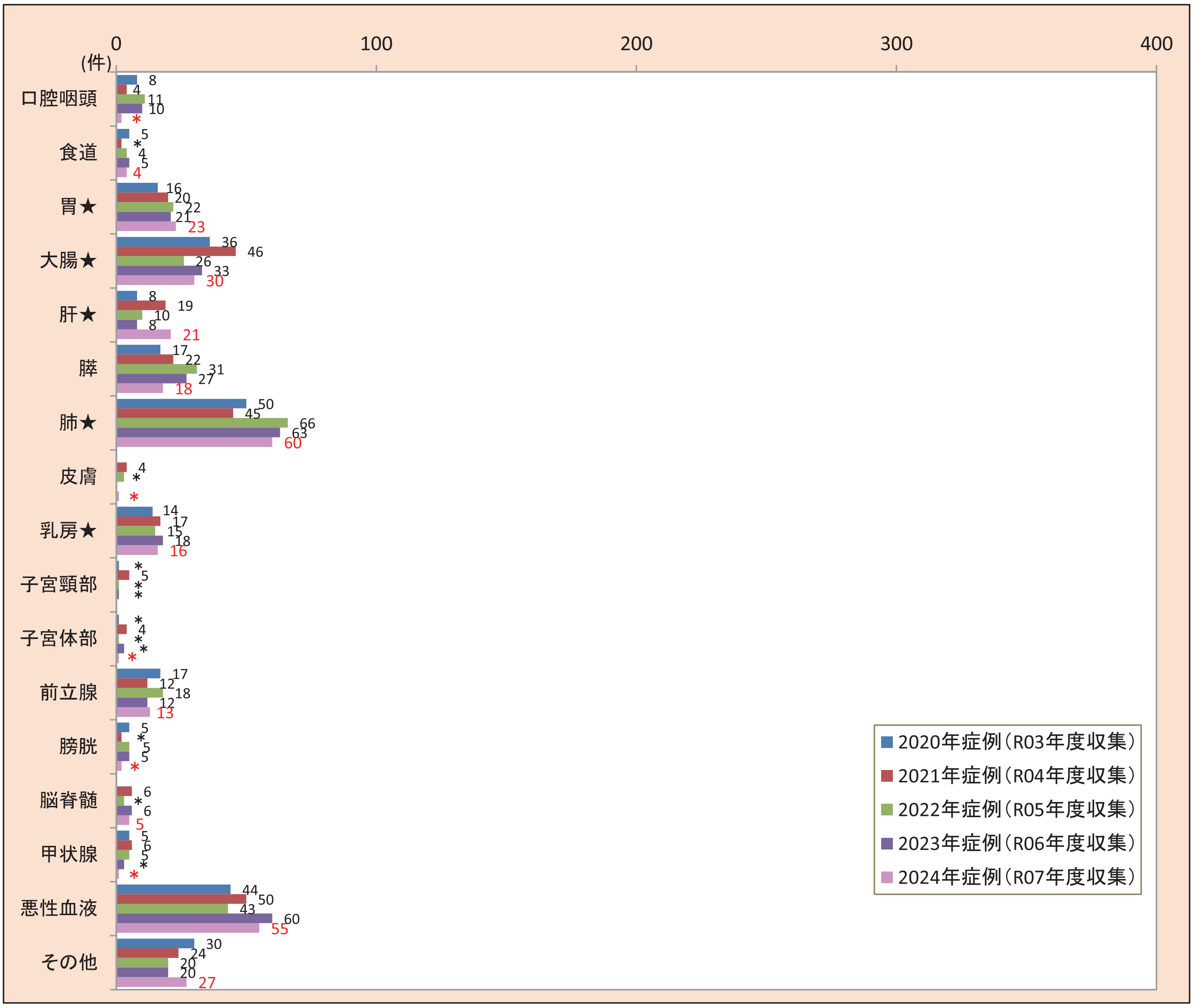
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	8	4	11	10	＊
食道	5	＊	4	5	4
胃★	16	20	22	21	23
大腸★	36	46	26	33	30
肝★	8	19	10	8	21
膵	17	22	31	27	18
肺★	50	45	66	63	60
皮膚		4	＊		＊
乳房★	14	17	15	18	16
子宮頸部	＊	5	＊	＊	
子宮体部	＊	4	＊	＊	＊
前立腺	17	12	18	12	13
膀胱	5	＊	5	5	＊
脳脊髄		6	＊	6	5
甲状腺	5	6	5	＊	＊
悪性血液疾患	44	50	43	60	55
その他	30	24	20	20	27
計	257	288	284	295	279

2024年診断症例　主要部位別割合

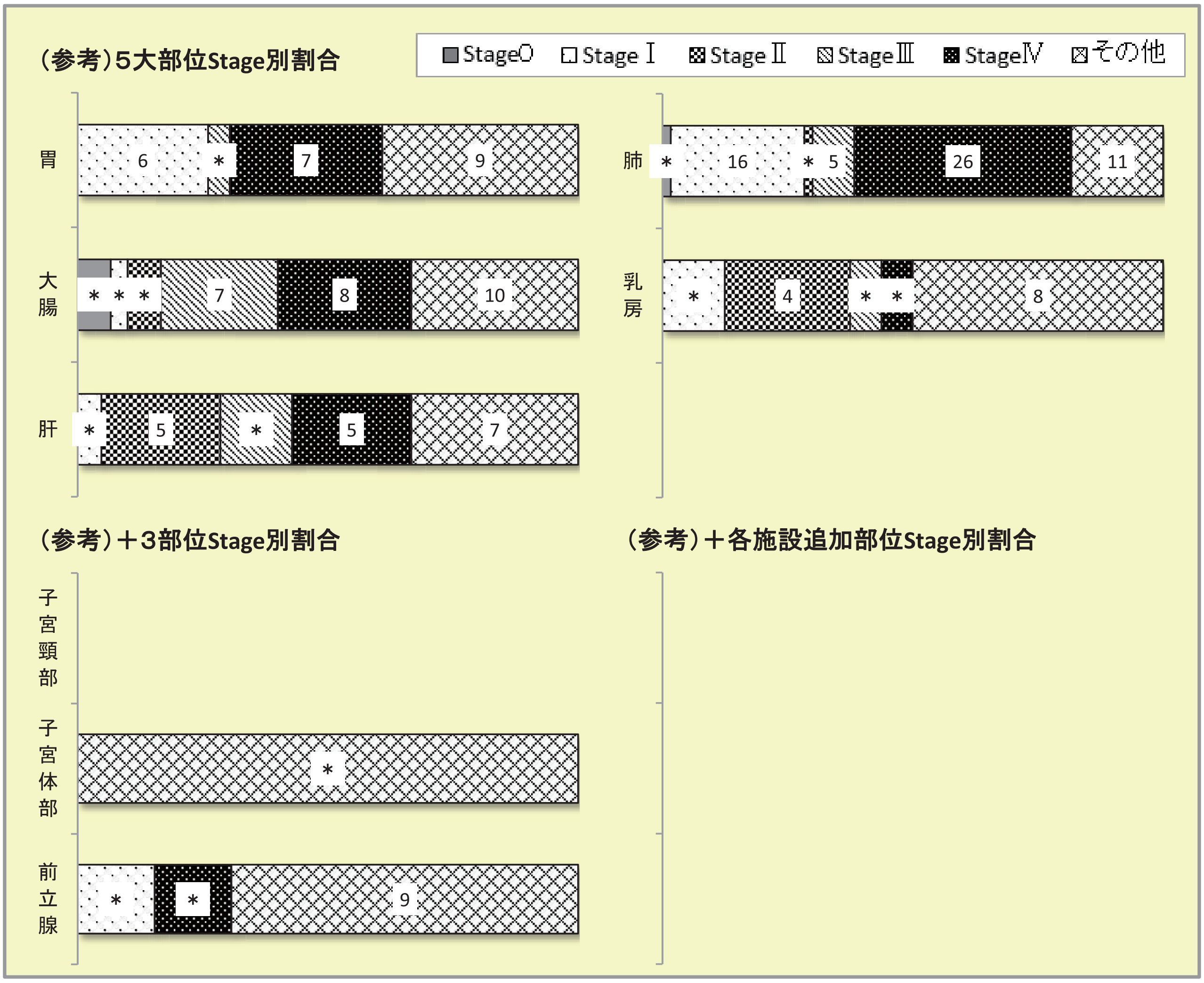


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

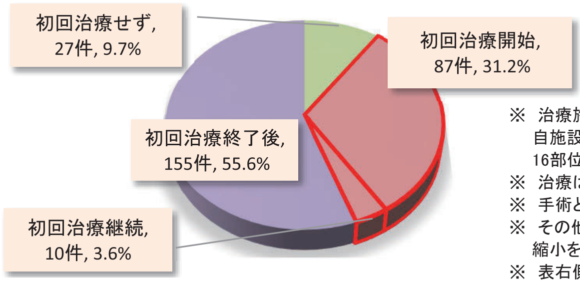
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	4		*				*
胃★	23		6		*	7	9
大腸★	30	*	*	*	7	8	10
肝★	21		*	5	*	5	7
膵	18			*	*	11	*
肺★	60	*	16	*	5	26	11
皮膚	*						*
乳房★	16		*	4	*	*	8
子宮頸部	0						
子宮体部	*						*
前立腺	13		*			*	9
膀胱	*					*	*
脳脊髄	5						5
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	55		*	4	*	12	35
その他	27	*	*		*	7	15
計	279	4	36	17	22	82	118



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

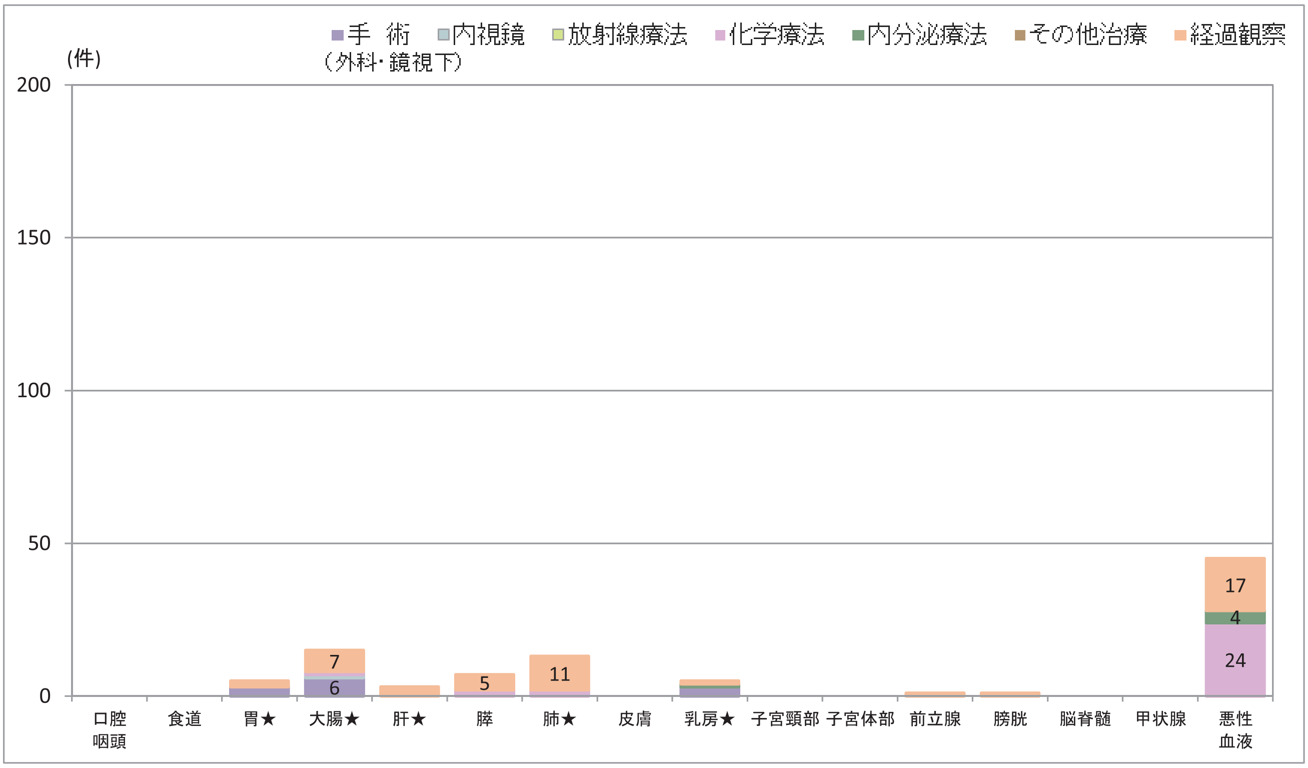
治療施設	件数
1初回治療せず	27
2初回治療開始	87
3初回治療継続	10
4初回治療終了後	155
8その他	
計	279



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

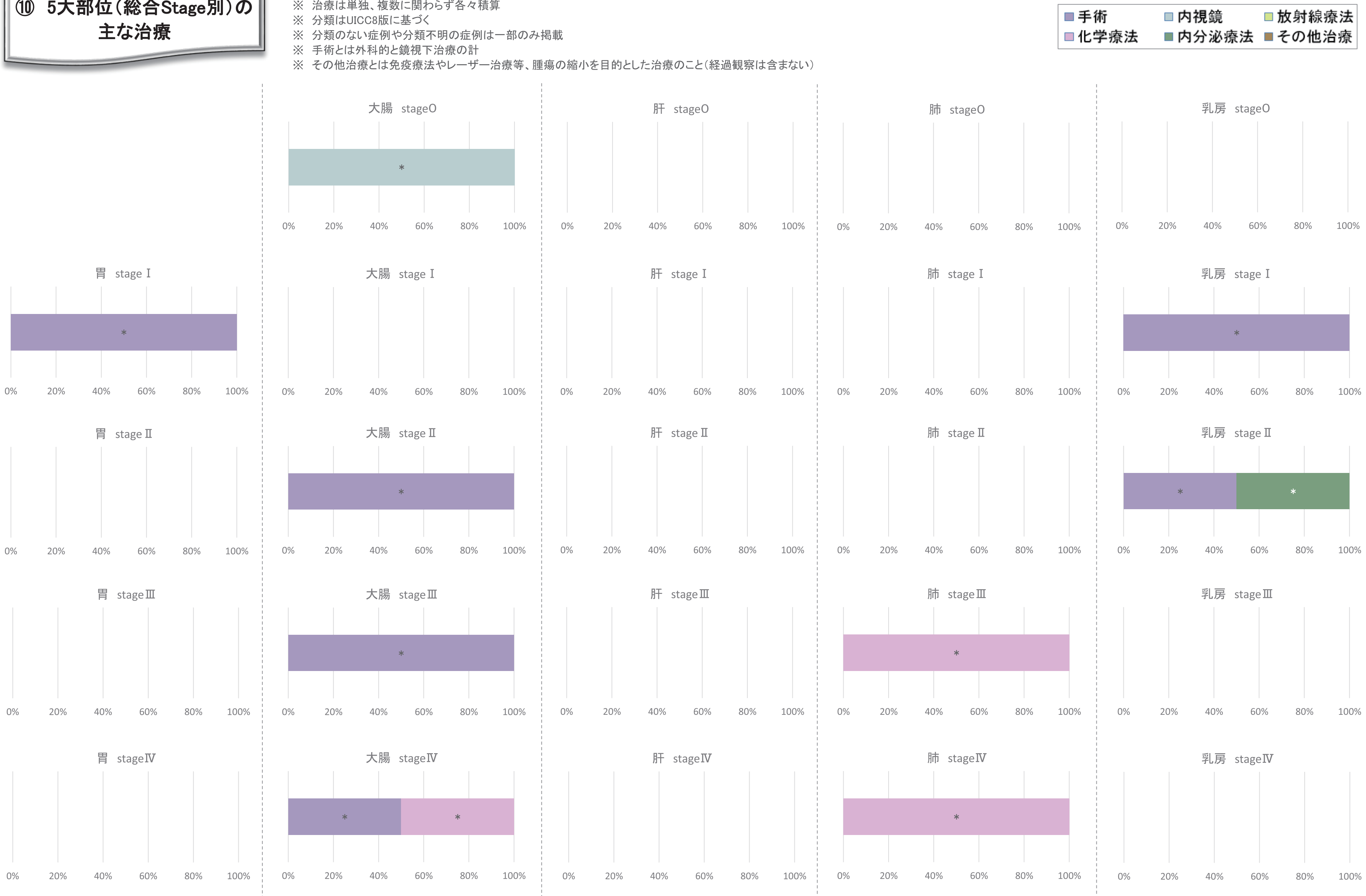
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果 遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*						*	5	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	6	*		*			7	15	85.7%	14.3%	0.0%
肝★							*	*			
膵				*			5	7			
肺★				*			11	13			
皮膚								0			
乳房★	*				*		*	5	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺							*	*			
膀胱							*	*			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患				24	4		17	45			
計	12	*	0	29	5	0	48	95			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	阿蘇医療センター		

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所在地	阿蘇市黒川1266番地		
病床数	124床（一般120床；感染症4床）		
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01	がん登録開始基準日	2020.01.01
平均在院日数	16.5（日）		
入院患者数	1,661（人）		
外来患者延数	25,700（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　1,924（件/概算）		
院内がん登録件数	98（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 ／初級者 1 ／他 0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は、令和2年4月に阿蘇医療圏で唯一の「熊本県指定がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。以前から阿蘇医療圏内の患者さんは、がんと診断されると、熊本市内などの病院で受診または入院治療を行い、急性期および急性期後の外来通院をせざるを得ない状況でした。さらに熊本地震以降は主要幹線道路やJR等の交通インフラも不便になり患者さんや家族にとって遠距離の通院が負担となっていました。そういった地域の課題に対応するため、当院は平成26年の開院以来、医師の招聘、診療科の拡充等を図ってきたところです。

現在、がん関係の診療科は消化器外科、脳神経外科、歯科口腔外科、乳腺外科、婦人科、腫瘍内科、血液内科等を中心に診療を行っております。地域の医療機関からの紹介や、当院でがんを疑われた患者さんの診断から治療、熊本市内等での手術を受けられた患者さんの退院後のフォローや化学療法を行っています。

主要がん以外の「その他」については、胆道系、腎尿管など多岐に渡り、主に継続治療や治療後のフォローを行っています。

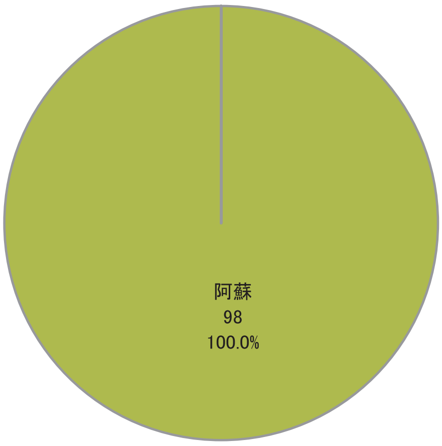
診断年別登録件数（参考）

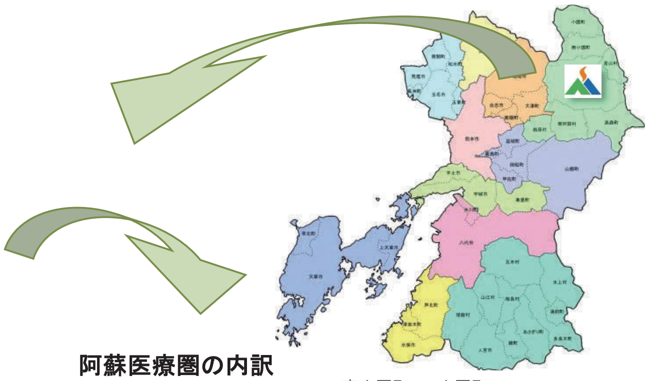
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

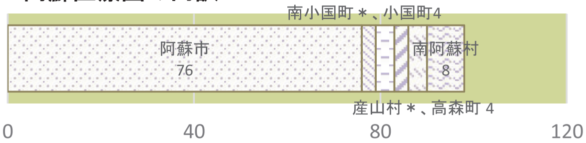
阿蘇医療センター　（98件）

※　全般において3件以下は*又は非表示





阿蘇医療圏の内訳

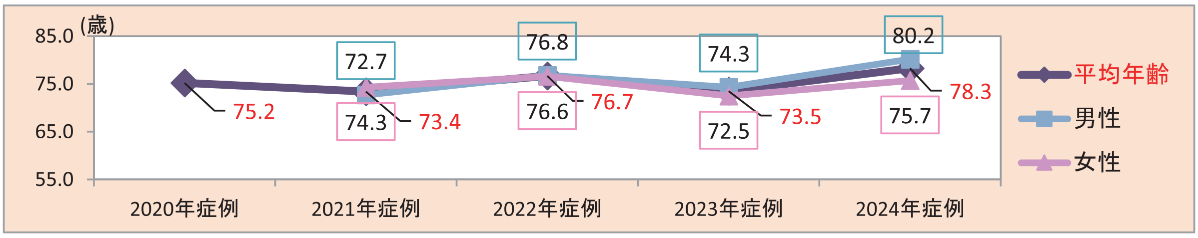


◇　医療圏別上位5部位

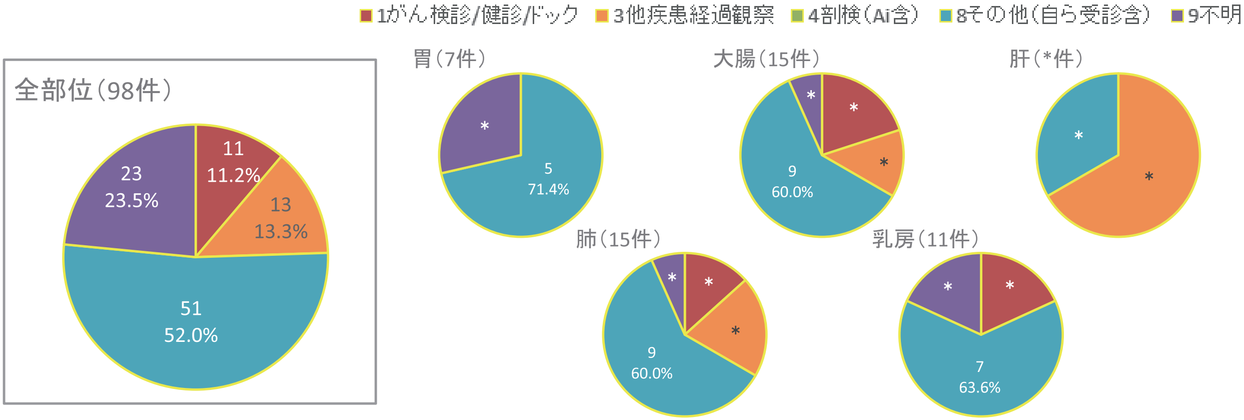
熊・上（熊本）			有明			阿蘇	前立腺	16	球磨		
							大腸	15			
							肺	15			
							乳房	11			
							該当部位	各7			
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草		
宇城			菊池			芦北			県外等		

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

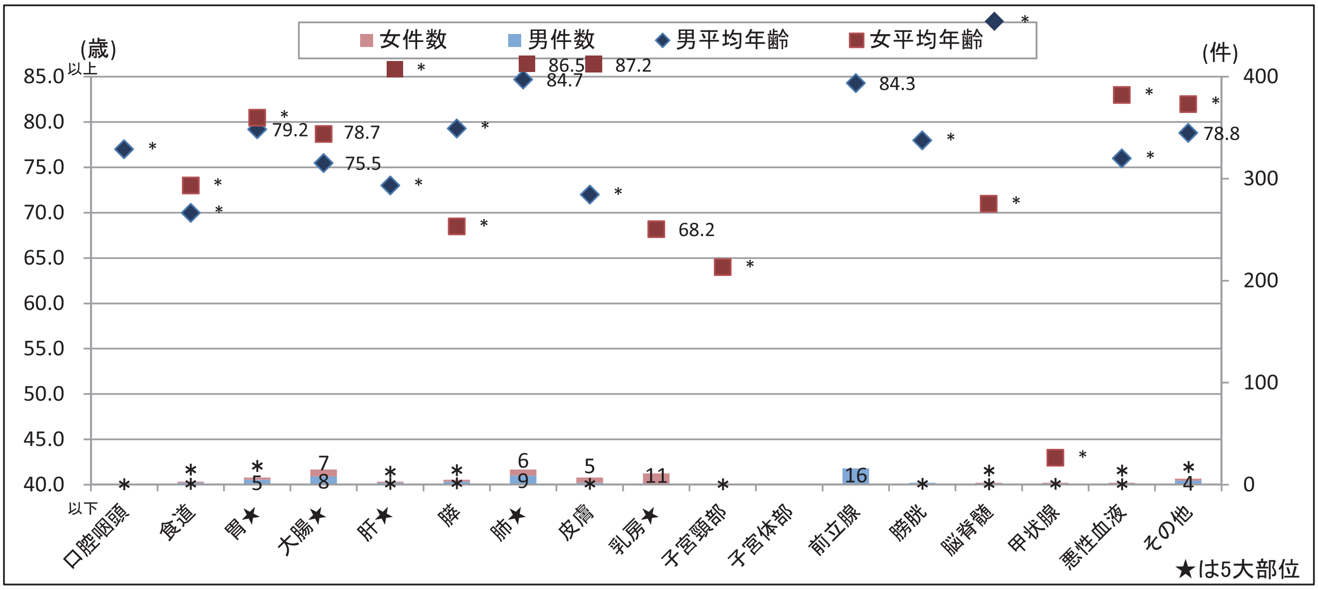
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	16
肺	9
大腸	8
胃	5
その他	4
膵	*
食道	*
肝	*
皮膚	*
膀胱	*
口腔咽頭	*
脳脊髄	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	56

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
						該当部位	*
						計	*

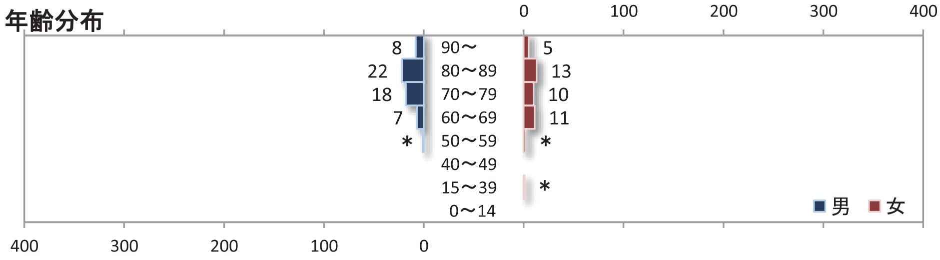
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
該当部位	各*	前立腺	5	肺	6	前立腺	5
		大腸	4	前立腺	5	該当部位	各*
		該当部位	各*	胃	4		
				該当部位	各*		
計	7	計	18	計	22	計	8

女性全体	
乳房	11
大腸	7
肺	6
皮膚	5
胃	*
膵	*
甲状腺	*
その他	*
食道	*
肝	*
子宮頸部	*
脳脊髄	*
悪性血液	*
口腔咽頭	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
計	42

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	*			該当部位	各*
			*			計	*

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	6	該当部位	各*	大腸	4	該当部位	各*
該当部位	各*			該当部位	各*		
計	11	計	10	計	13	計	5

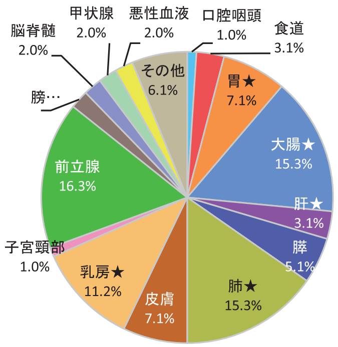
年齢分布



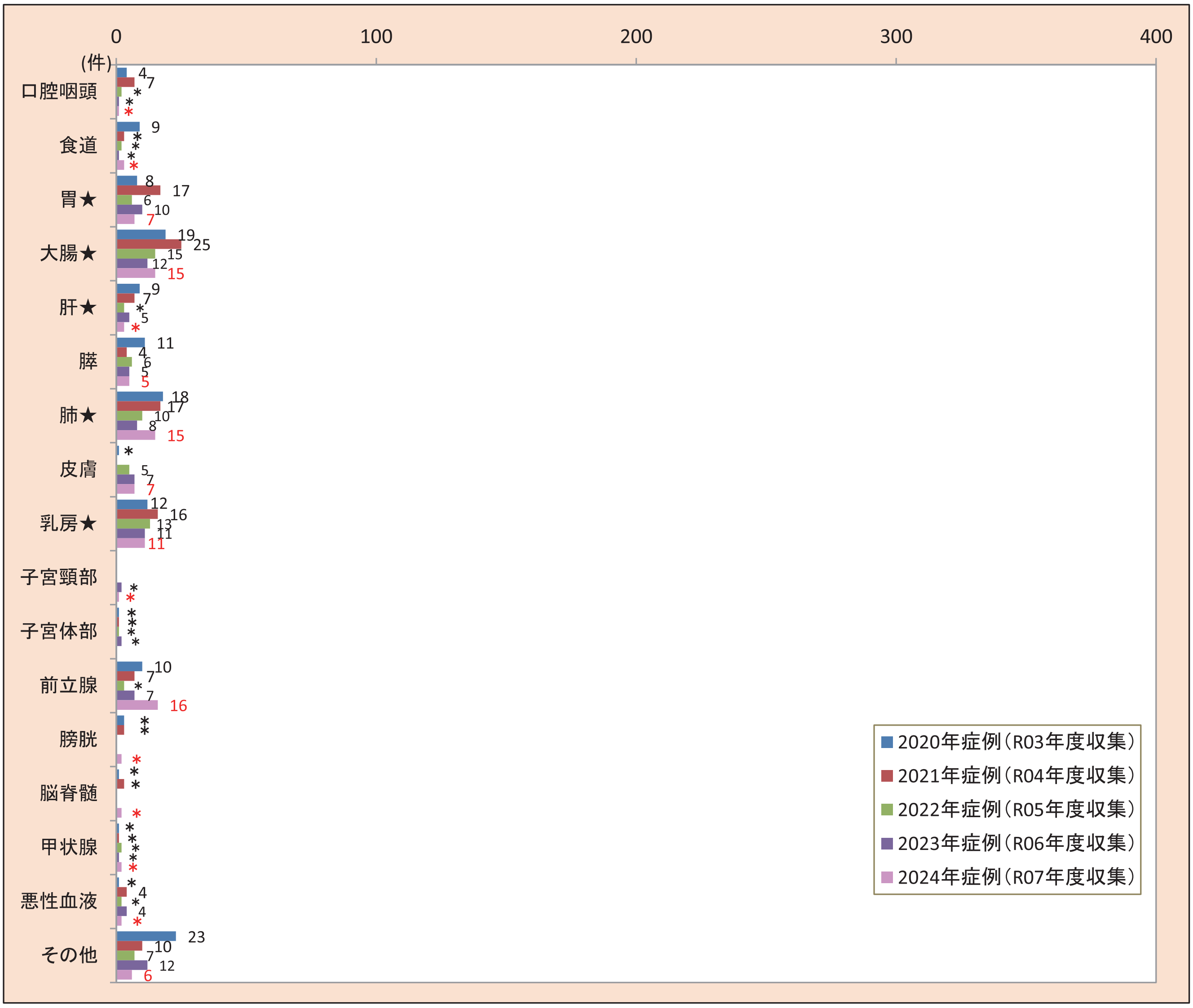
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	4	7	＊	＊	＊
食道	9	＊	＊	＊	＊
胃★	8	17	6	10	7
大腸★	19	25	15	12	15
肝★	9	7	＊	5	＊
膵	11	4	6	5	5
肺★	18	17	10	8	15
皮膚	＊		5	7	7
乳房★	12	16	13	11	11
子宮頸部				＊	＊
子宮体部	＊	＊	＊	＊	
前立腺	10	7	＊	7	16
膀胱	＊	＊			＊
脳脊髄	＊	＊			＊
甲状腺	＊	＊	＊	＊	＊
悪性血液疾患	＊	4	＊	4	＊
その他	23	10	7	12	6
計	131	125	77	88	98

2024年診断症例　主要部位別割合

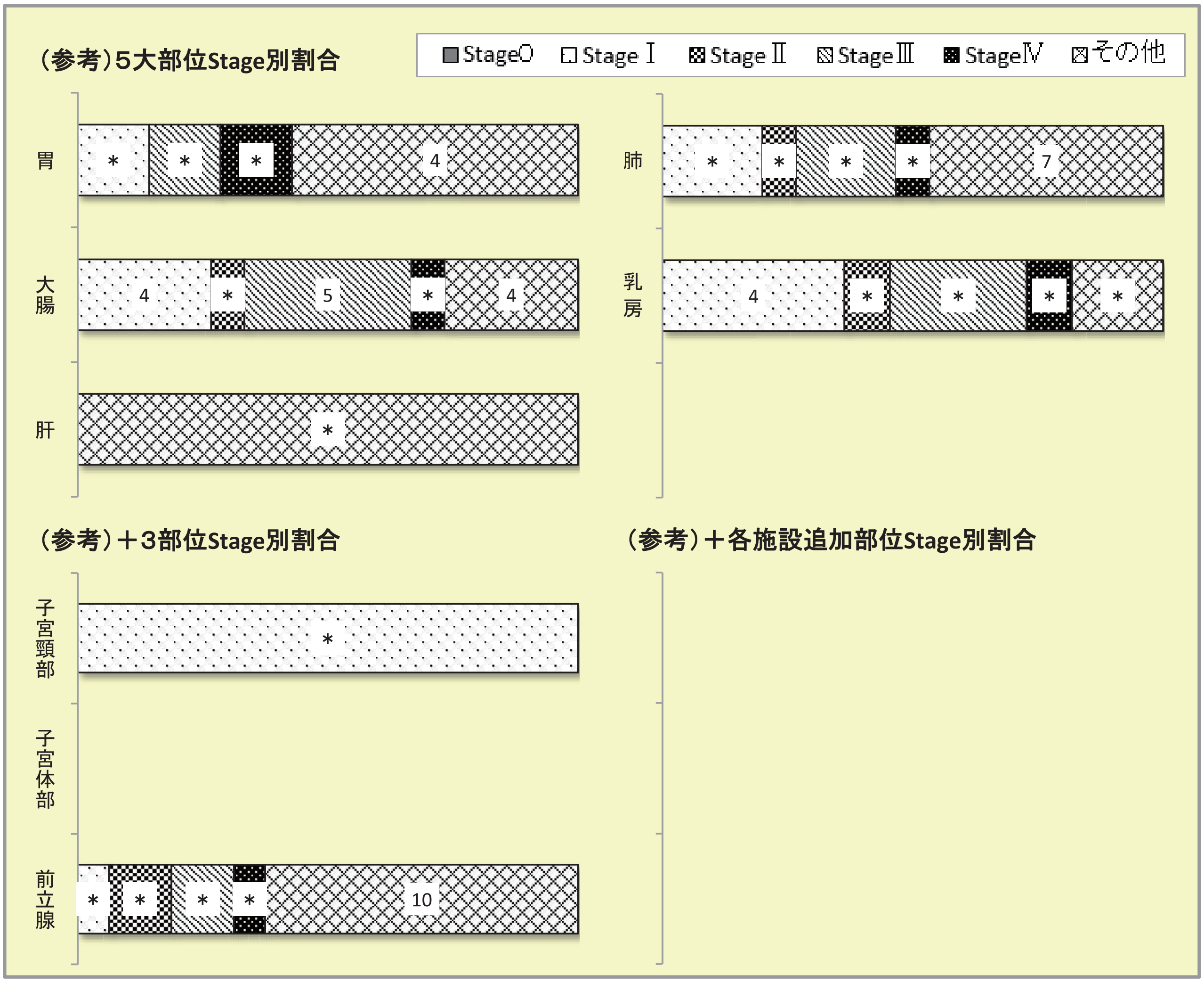


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、
　骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て
　（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、
　子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から
　分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

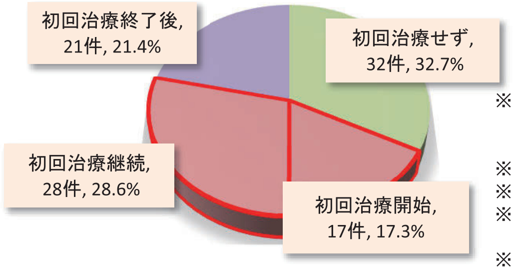
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	*						*
食道	*		*				*
胃★	7		*		*	*	4
大腸★	15		4	*	5	*	4
肝★	*						*
膵	5					*	*
肺★	15		*	*	*	*	7
皮膚	7		*				5
乳房★	11		4	*	*	*	*
子宮頸部	*		*				
子宮体部	0						
前立腺	16		*	*	*	*	10
膀胱	*		*				*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*				*
悪性血液疾患	*						*
その他	6		*	*			*
計	98	0	21	6	14	7	50



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

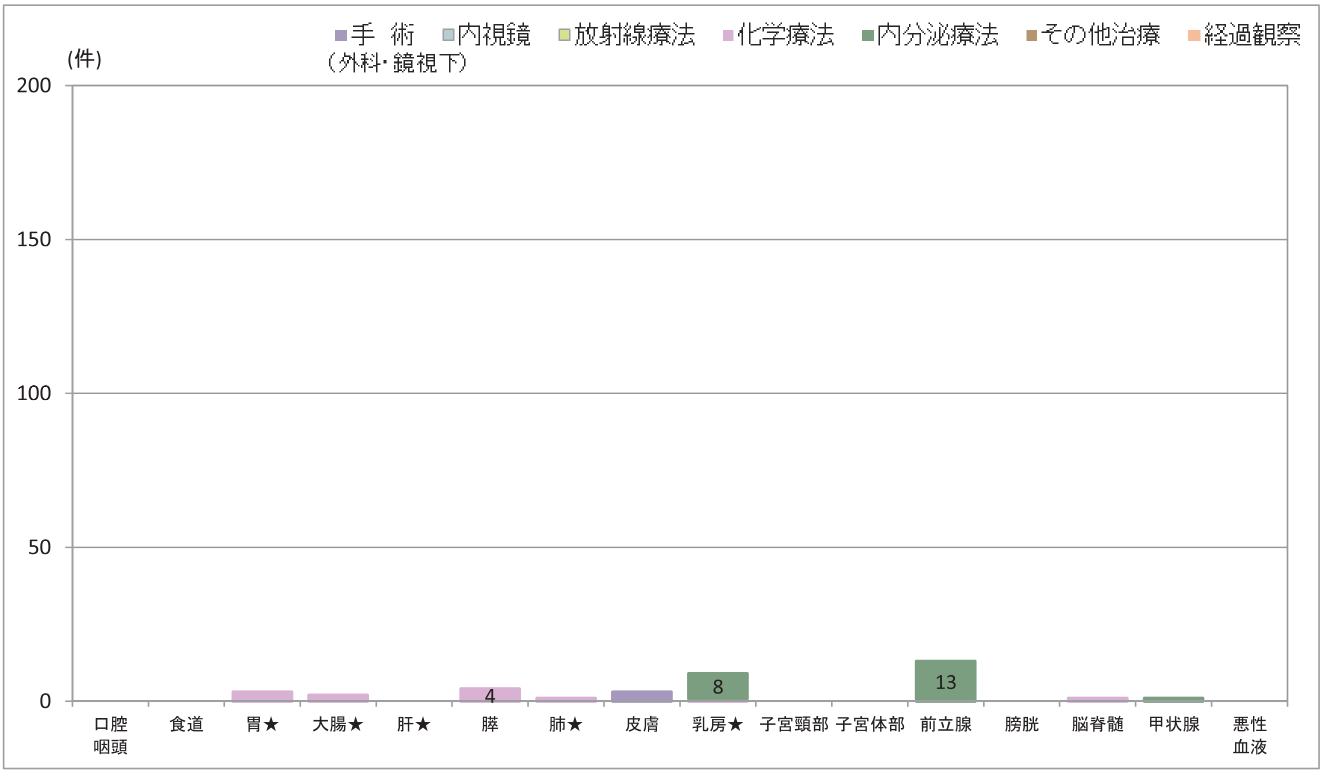
治療施設	件数
1初回治療せず	32
2初回治療開始	17
3初回治療継続	28
4初回治療終了後	21
8その他	
計	98



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★				*				*			
大腸★				*				*			
肝★								0			
膵				4				4			
肺★				*				*			
皮膚	*							*	66.7%	33.3%	0.0%
乳房★				*	8			9			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					13			13			
膀胱								0			
脳脊髄				*				*			
甲状腺					*			*			
悪性血液疾患								0			
計	*	0	0	12	22	0	0	37			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）

■手術　■内視鏡　■放射線療法
■化学療法　■内分泌療法　■その他治療

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	熊本市立熊本市民病院

○基本情報

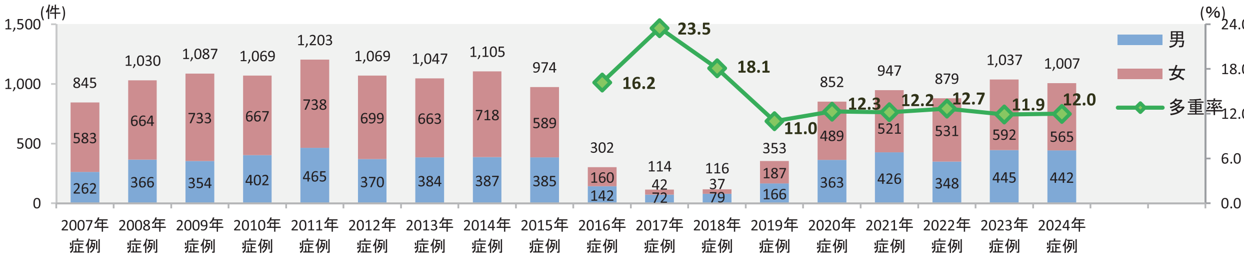
【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	熊本市東区東町4丁目1-60		
病　床　数	388床（一般380床；感染症8床）		
追加情報	無菌室4床		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01	がん登録開始基準日	1981.01.01
平均在院日数	11.2（日）		
入院患者数	10,703（人）		
外来患者延数	116,504（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　141,954（件）		
院内がん登録件数	1,007（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　3　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【症例件数】
2024年は1,007件で前年(1,037件)と比較して30件減少。
【性別】
男性442件(43.9%)、女性565件(56.1%)で女性が多い。
過去数年の男女比は変化なし。
乳房疾患、子宮頸部および子宮体部がんが多いためと考えられる。
【年齢】
平均年齢68.5歳で前年との変化なし。性別平均年齢は男性が下がり、女性が上がっている。
全体としては高齢者が増えている傾向はある。
【医療圏】
熊本市東区421件(41.8%)、上益城211件(21.0%)であった。熊本市と上益城郡だけで全体の8割を占めている。
これは当院が担当する医療圏を示しており、今後も地域の医療機関との連携を深めて行きたい。
【部位別状況】
悪性血液と脳脊髄の件数が増えており、大腸は少しずつではあるが年々増加傾向である。
乳房は前年と比較して減少しているが、依然として当院で最も多い部位である。
【治療】
当院では、手術、化学療法、放射線治療が選択することが出来来、また、様々ながんに対する治療を行っている。
但し、高齢者が多いこともあり、治療困難な症例も多く、緩和ケア対応も行っている。
切除術は治療の38%を占めており、次いで化学療法が21%である。

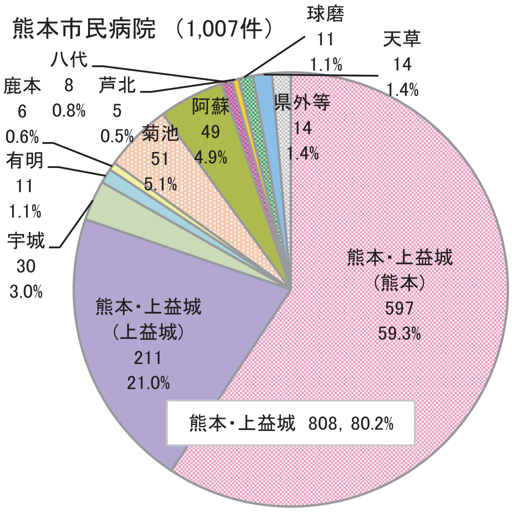
診断年別登録件数（参考）

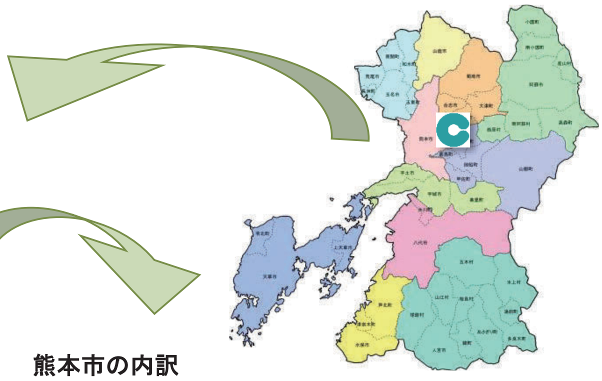


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





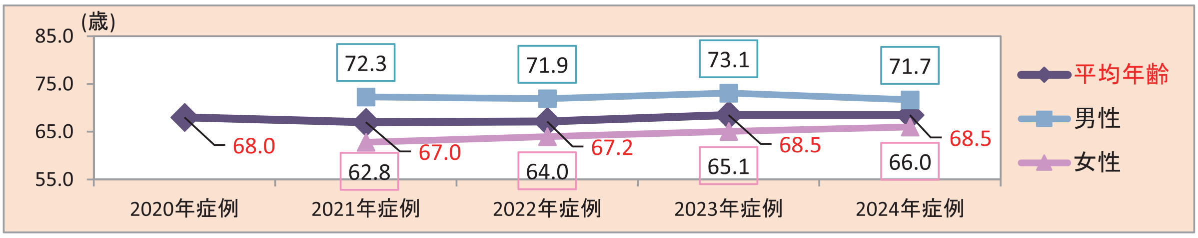
熊本市の内訳

◇　医療圏別上位5部位

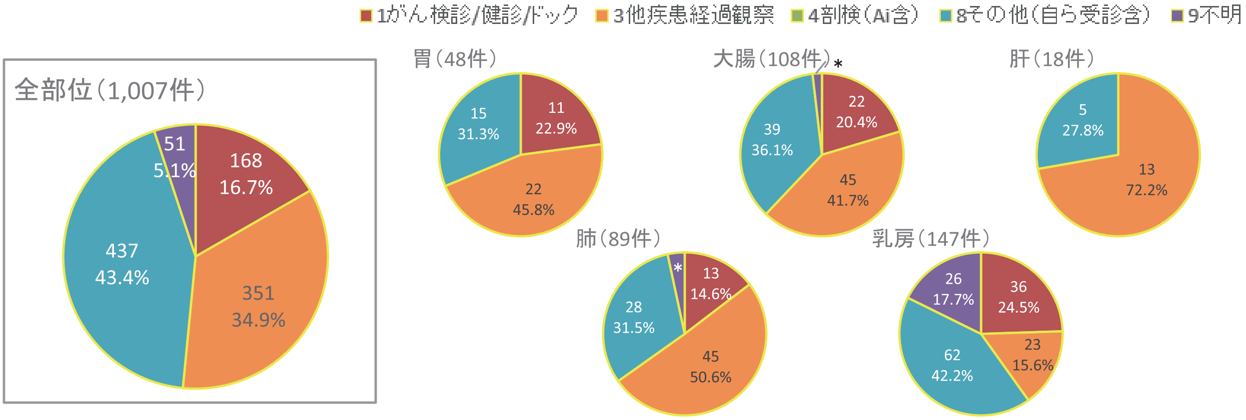
医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊・上（熊本）	乳房	75	有明	該当部位	各*	阿蘇	乳房	16	球磨	子宮頸部	5
	大腸	68					その他	7		子宮体部	4
	前立腺	59					肺	4		該当部位	各*
	悪性血液	54					前立腺	4			
	該当部位	各53					悪性血液	4			
熊・上（上益城）	乳房	27	鹿本	該当部位	各*	八代	該当部位	各*	天草	該当部位	各*
	大腸	24									
	悪性血液	24									
	その他	22									
	子宮頸部	21									
宇城	乳房	10	菊池	乳房	10	芦北	該当部位	各*	県外等	乳房	5
	大腸	4		肺	7					該当部位	各*
	子宮頸部	4		その他	7						
	該当部位	各*		大腸	6						
				該当部位	各4						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

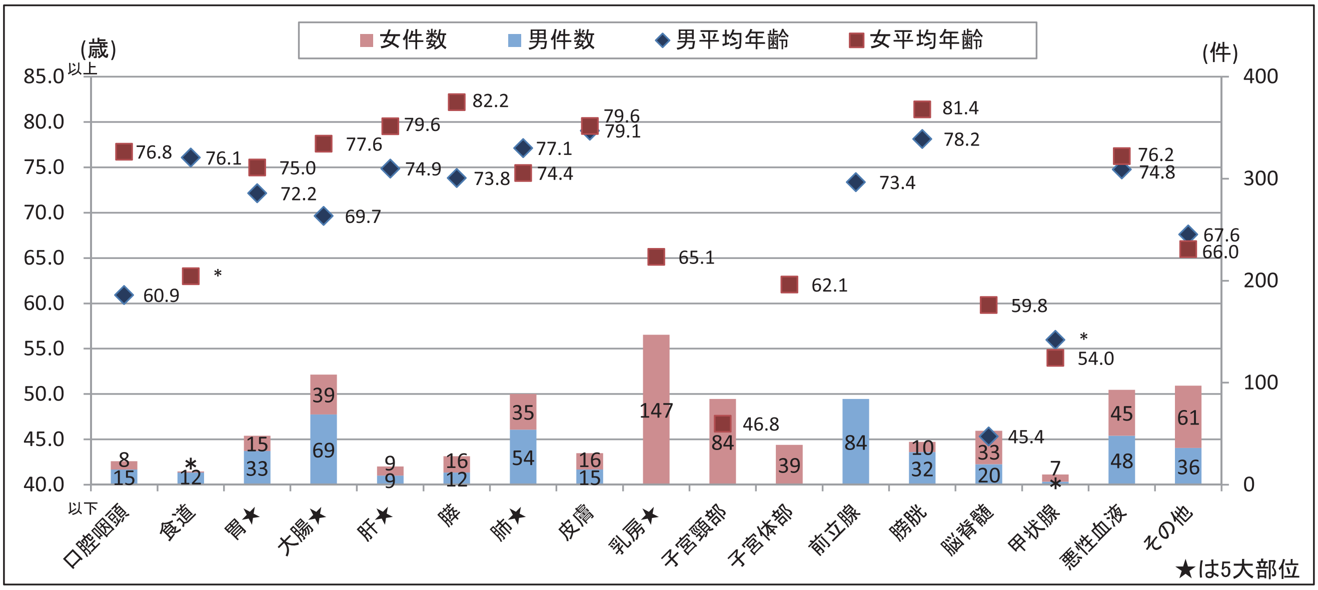
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
前立腺	84
大腸	69
肺	54
悪性血液	48
その他	36
胃	33
膀胱	32
脳脊髄	20
口腔咽頭	15
皮膚	15
食道	12
膵	12
肝	9
甲状腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	442

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
脳脊髄	6	脳脊髄	4	大腸	4	大腸	10
該当部位	*	該当部位	各*	該当部位	各*	前立腺	7
						悪性血液	5
						その他	5
						該当部位	各*
計	7	計	10	計	15	計	36

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	20	前立腺	37	肺	21	膀胱	5
大腸	14	大腸	24	前立腺	16	肺	4
肺	7	肺	20	悪性血液	14	前立腺	4
胃	6	悪性血液	17	大腸	13	悪性血液	4
悪性血液	6	胃	16	その他	12	該当部位	各*
など		など		など			
計	78	計	156	計	111	計	29

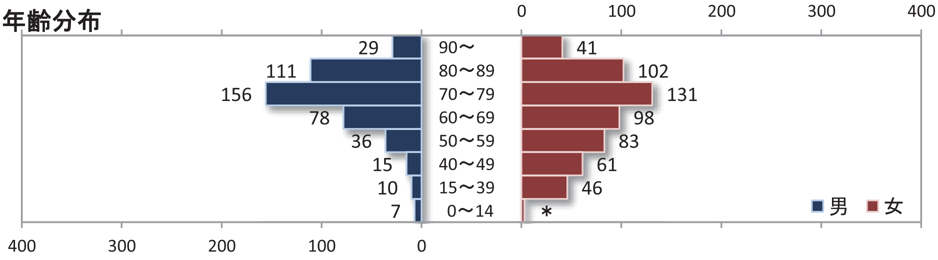
女性

女性全体	
乳房	147
子宮頸部	84
その他	61
悪性血液	45
大腸	39
子宮体部	39
肺	35
脳脊髄	33
膵	16
皮膚	16
胃	15
膀胱	10
肝	9
口腔咽頭	8
甲状腺	7
食道	*
前立腺	
計	565

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
該当部位	*	子宮頸部	26	子宮頸部	28	乳房	32
		その他	7	乳房	14	子宮頸部	19
		乳房	5	その他	8	子宮体部	12
		該当部位	各*	子宮体部	6	その他	5
				該当部位	各*	悪性血液	4
						該当部位	各*
計	*	計	46	計	61	計	83

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	35	乳房	41	乳房	17	大腸	9
その他	13	肺	16	悪性血液	17	膵	5
子宮体部	9	悪性血液	11	その他	13	悪性血液	5
大腸	8	その他	11	大腸	10	その他	4
肺	8	大腸	10	肺	8	該当部位	各*
など		など		など			
計	98	計	131	計	102	計	41

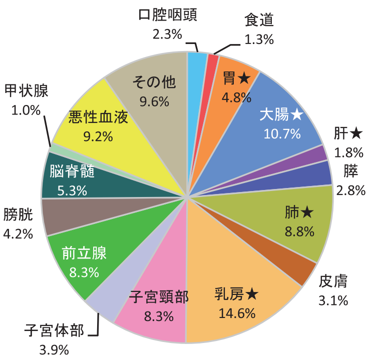
年齢分布



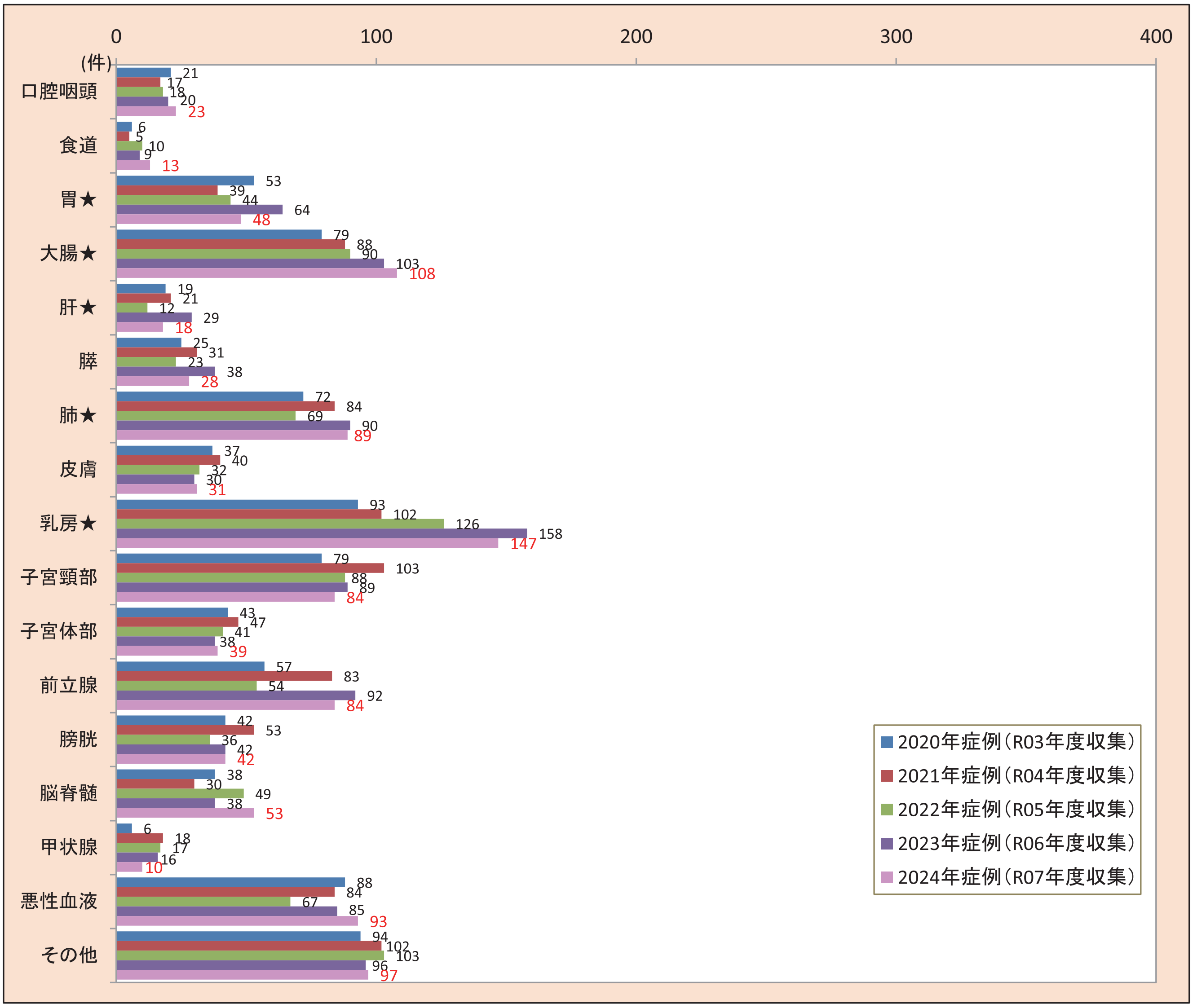
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	21	17	18	20	23
食道	6	5	10	9	13
胃★	53	39	44	64	48
大腸★	79	88	90	103	108
肝★	19	21	12	29	18
膵	25	31	23	38	28
肺★	72	84	69	90	89
皮膚	37	40	32	30	31
乳房★	93	102	126	158	147
子宮頸部	79	103	88	89	84
子宮体部	43	47	41	38	39
前立腺	57	83	54	92	84
膀胱	42	53	36	42	42
脳脊髄	38	30	49	38	53
甲状腺	6	18	17	16	10
悪性血液疾患	88	84	67	85	93
その他	94	102	103	96	97
計	852	947	879	1,037	1,007

2024年診断症例　主要部位別割合

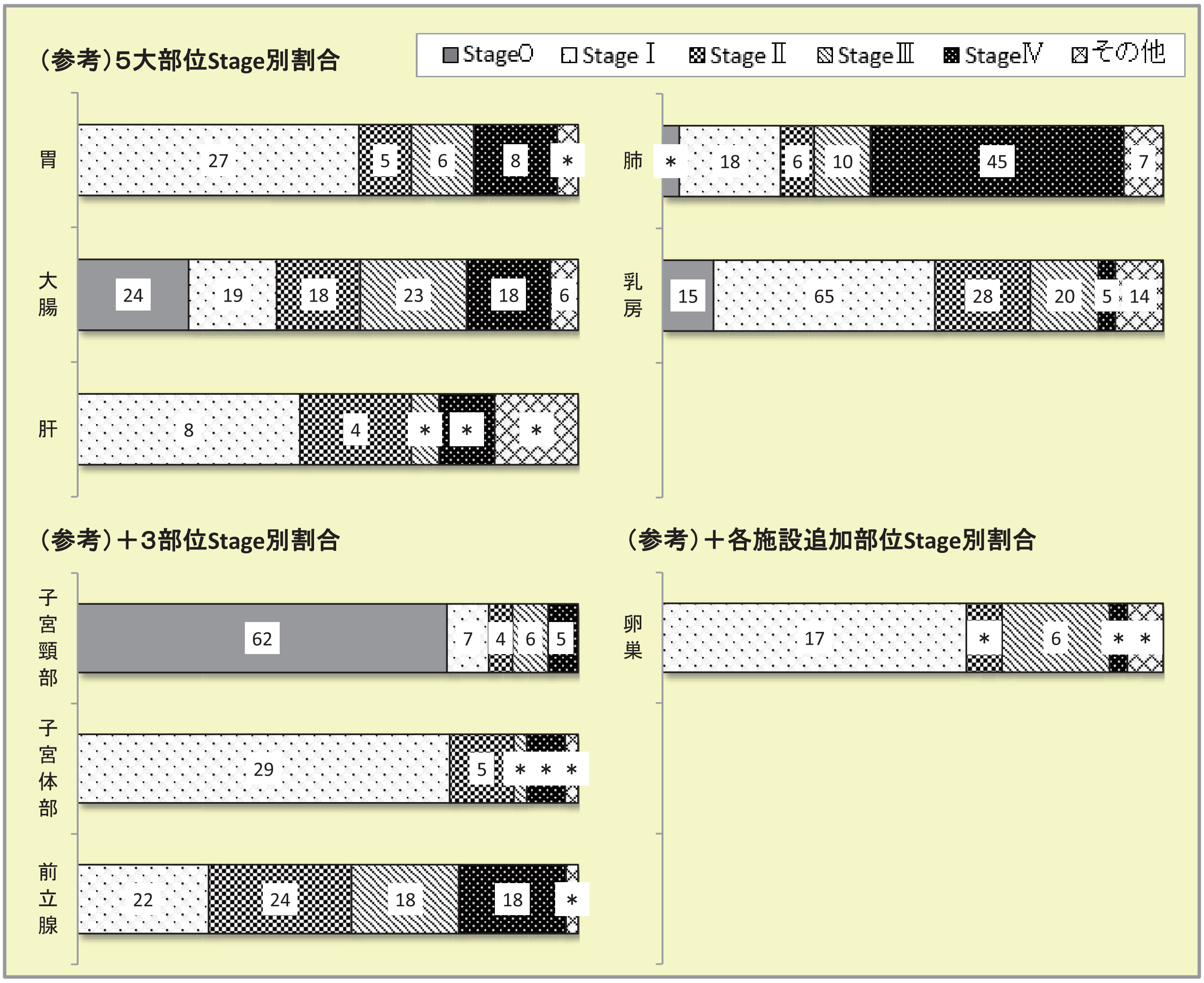


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

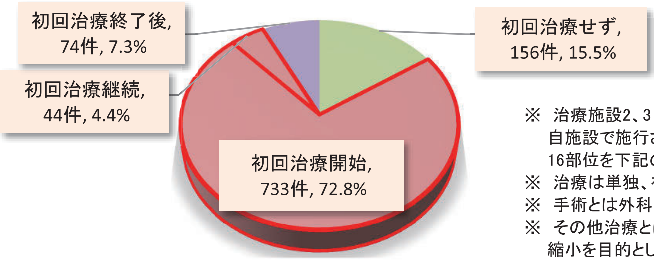
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	23		4	4	＊	＊	9
食道	13	＊	4	＊	＊	5	＊
胃★	48		27	5	6	8	＊
大腸★	108	24	19	18	23	18	6
肝★	18		8	4	＊	＊	＊
膵	28		6	5	4	11	＊
肺★	89	＊	18	6	10	45	7
皮膚	31	7	19	＊	＊		＊
乳房★	147	15	65	28	20	5	14
子宮頸部	84	62	7	4	6	5	
子宮体部	39		29	5	＊	＊	＊
前立腺	84		22	24	18	18	＊
膀胱	42	23	7	6	4	＊	＊
脳脊髄	53						53
甲状腺	10		7	＊	＊		＊
悪性血液疾患	93		9	11	5	19	49
その他	97	4	43	9	18	11	12
計	1,007	139	294	134	122	154	164



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

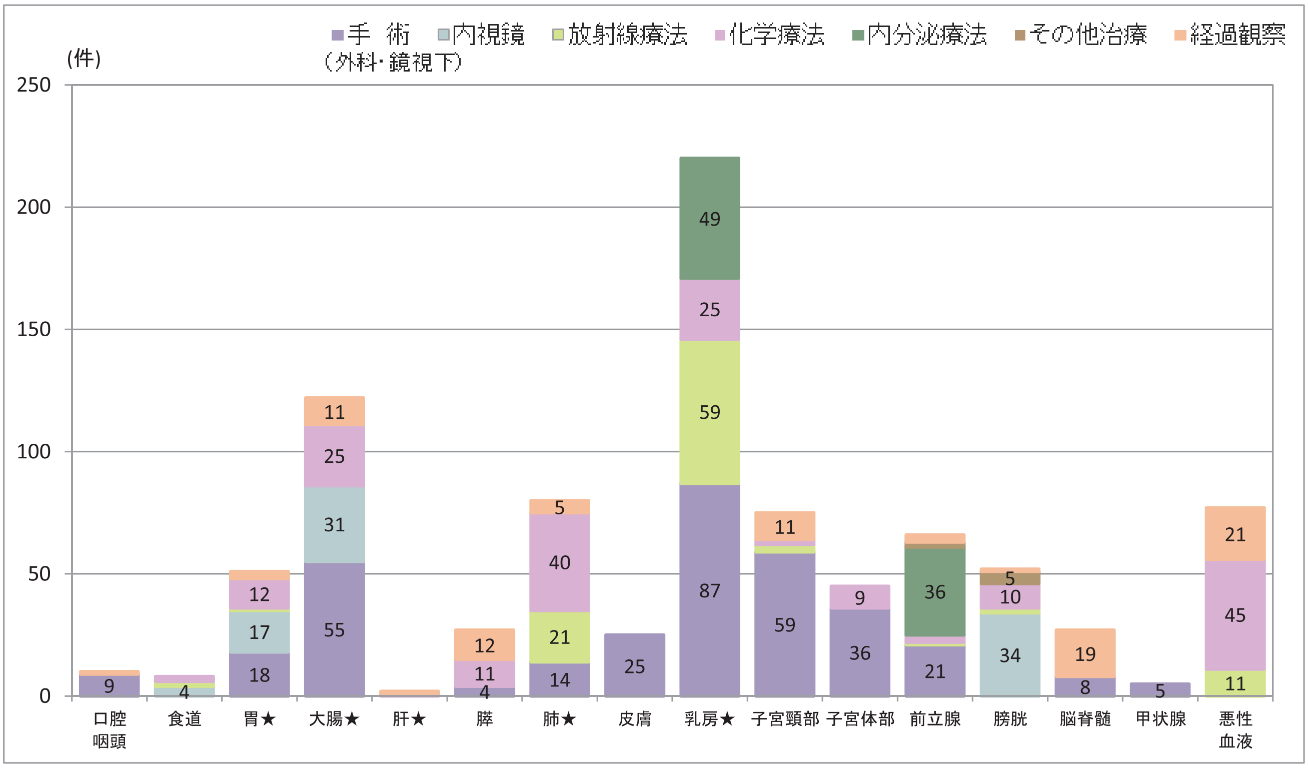
治療施設	件数
1初回治療せず	156
2初回治療開始	733
3初回治療継続	44
4初回治療終了後	74
8その他	
計	1,007



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

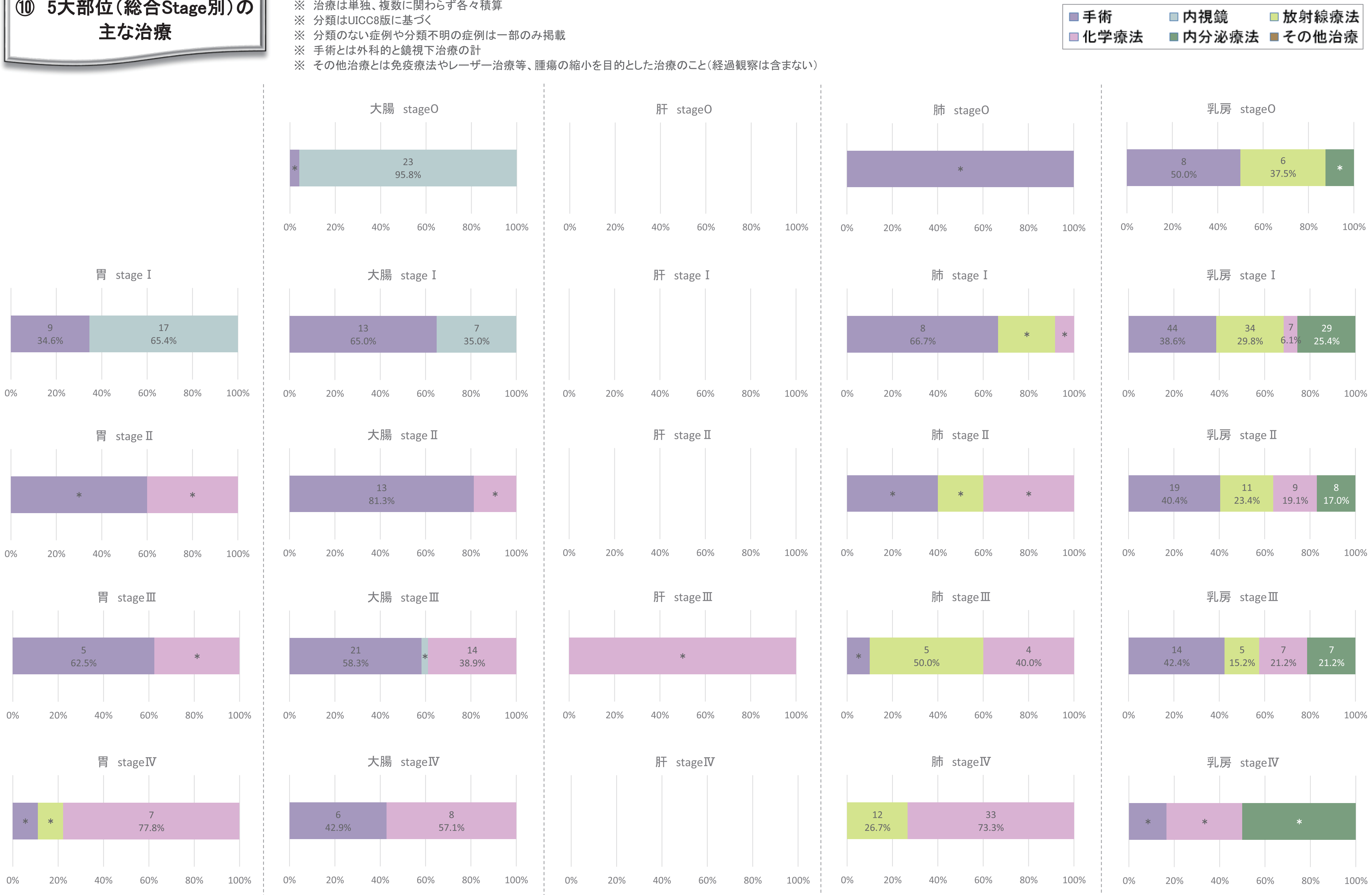
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	9						*	10	100.0%	0.0%	0.0%
食道		4	*	*				8	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	18	17	*	12			*	51	93.8%	3.1%	3.1%
大腸★	55	31		25			11	122	91.5%	6.1%	2.4%
肝★				*			*	*			
膵	4			11			12	27	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	14		21	40			5	80	92.9%	7.1%	0.0%
皮膚	25							25	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	87		59	25	49			220	85.1%	9.2%	5.7%
子宮頸部	59		*	*			11	75	89.5%	7.0%	3.5%
子宮体部	36			9				45	88.9%	5.6%	5.6%
前立腺	21		*	*	36	*	*	66	71.4%	28.6%	0.0%
膀胱		34	*	10		5	*	52	47.1%	20.6%	32.4%
脳脊髄	8						19	27	50.0%	37.5%	12.5%
甲状腺	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			11	45			21	77			
計	341	86	100	185	85	7	88	892			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	地方独立行政法人　くまもと県北病院

○基本情報　　【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	玉名市玉名550番地		
病　床　数	402床（一般402床）		
追加情報	回復期リハビリ病床45床；地域包括ケア病床45床		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2021.12.03	がん登録開始基準日	2021.01.01
平均在院日数	13.0（日）		
入院患者数	6,986（人）		
外来患者延数	97,015（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　4,500（件/概算）		
院内がん登録件数	772（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　3　／他　4（名）		

○医療機関からのコメント

2024年の院内がん登録件数は772件（男性510件、女性262件）で、前年より42件減少した。
【症例数の多い部位】（「その他」を除く上位5部位）
男性は「前立腺」が最も多く142件（前年130件）、次いで「肺」73件（前年77件）、「膀胱」62件（前年48件）、「大腸」42件（前年45件）、「悪性血液疾患」37件（前年34件）。女性は「乳房」が最も多く49件（前年59件）、次いで「大腸」34件（前年34件）、「肺」29件（前年50件）、「悪性血液疾患」29件（前年28件）、「皮膚」23件（前年22件）であった。
【住所医療圏別人数】
荒尾・玉名地区在住：全体の86.9％（671件）
（玉名市：441件（57.1％）、荒尾市：66件（8.5％）、長洲町：52件（6.7％）、和水町：45件（5.8％）玉東町：44件（5.7％）、南関町：23件（3％））
県外からの受診は、隣接する福岡県大牟田市からの割合が約半分を占めている。
【がん病巣の広がり】
診断時に上皮内や限局にとどまっている割合は、多くのがんで5割を超えるが、「肺」や「膵臓」については、診断時に遠隔転移が多く見られる。

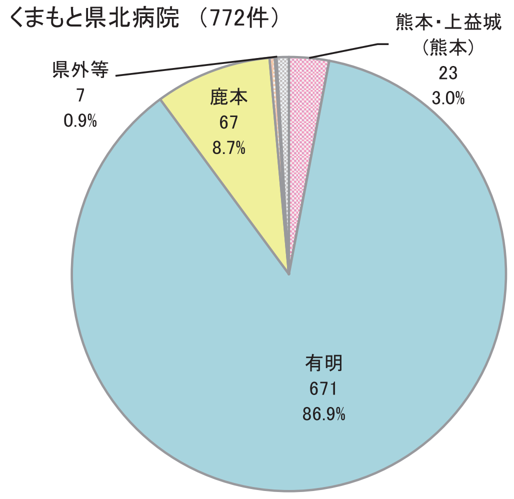
○取り組み
【私のカルテ】「肺」「胃」「大腸」で導入しており、2024年の実績は35件。また、2025年10月より前立腺癌のロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の患者に導入し、11月時点で2件の導入が決定している。
【医科歯科連携】2024年は手術前連携104件、化学療法前連携31件を実施した。
【たまな在宅ネットワーク】玉名で在宅医療を支える医師、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等が連携している。月1回、定例会で在宅医療を受ける患者のカンファレンスを実施している。玉名地域には緩和ケア病棟はないが、連携により終末期患者を支援している。自施設では在宅医療のバックベッドとして、訪問診療や地域医師とのダブル主治医として活動している。

診断年別登録件数（参考）

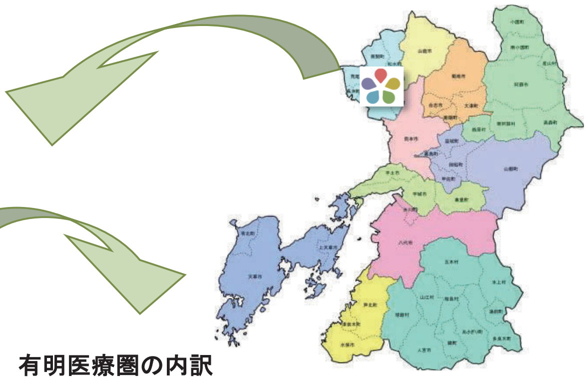
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※ 菊池、阿蘇は1～3件

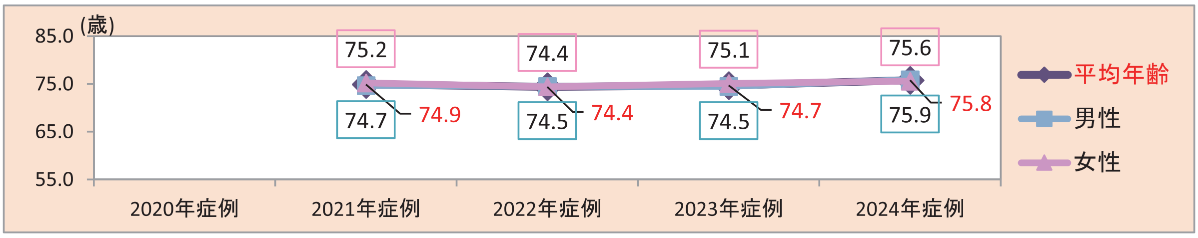


◇　医療圏別上位5部位

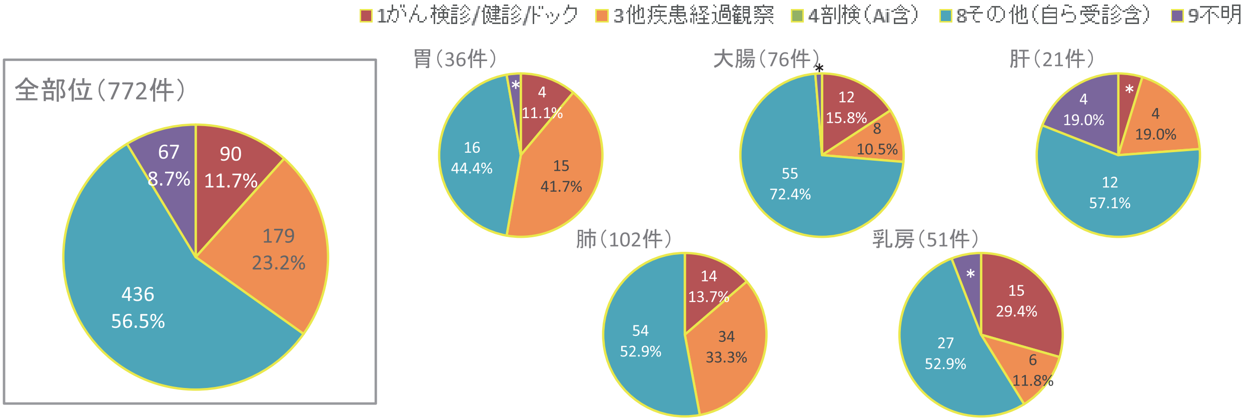
医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊・上（熊本）	その他	5	有明	前立腺	119	阿蘇	該当部位	*	球磨		
	前立腺	4		肺	88						
	悪性血液	4		大腸	72						
	該当部位	各*		その他	72						
				膀胱	64						
熊・上（上益城）			鹿本	前立腺	16	八代			天草		
				悪性血液	13						
				肺	12						
				膀胱	10						
				その他	5						
宇城			菊池	該当部位	各*	芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

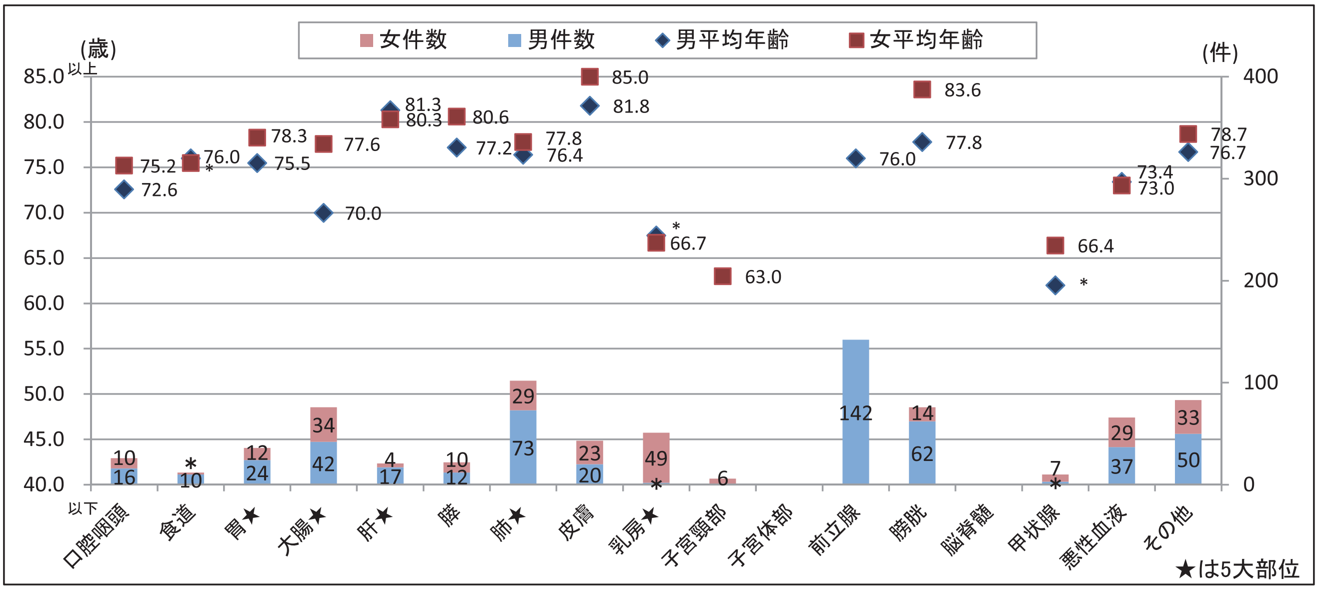
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	142
肺	73
膀胱	62
その他	50
大腸	42
悪性血液	37
胃	24
皮膚	20
肝	17
口腔咽頭	16
膵	12
食道	10
甲状腺	*
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	510

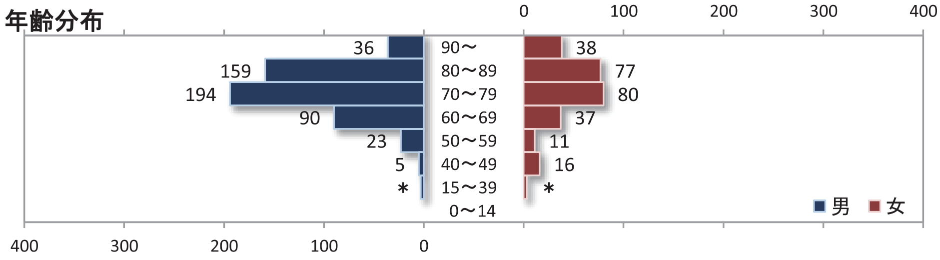
0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	該当部位	各*	大腸	7
						肺	4
						前立腺	4
						該当部位	各*
		計	*	計	5	計	23

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	30	前立腺	60	前立腺	39	前立腺	9
膀胱	11	肺	35	膀胱	25	その他	6
該当部位	各9	膀胱	18	肺	21	膀胱	5
胃	5	その他	18	その他	16	肺	4
該当部位	各*	大腸	12	悪性血液	15	該当部位	各*
		など		など			
計	90	計	194	計	159	計	36

女性全体	
乳房	49
大腸	34
その他	33
肺	29
悪性血液	29
皮膚	23
膀胱	14
胃	12
口腔咽頭	10
膵	10
甲状腺	7
子宮頸部	6
肝	4
食道	*
子宮体部	
前立腺	
脳脊髄	
計	262

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	各*	乳房	8	乳房	5
				該当部位	各*	該当部位	各*
		計	*	計	16	計	11

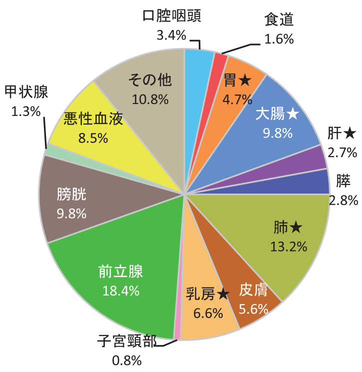
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	13	大腸	14	肺	13	皮膚	11
大腸	5	乳房	12	その他	11	大腸	6
肺	4	肺	11	乳房	9	膀胱	5
その他	4	その他	11	悪性血液	9	その他	5
該当部位	各*	悪性血液	8	大腸	8	悪性血液	4
		など		など		該当部位	各*
計	37	計	80	計	77	計	38



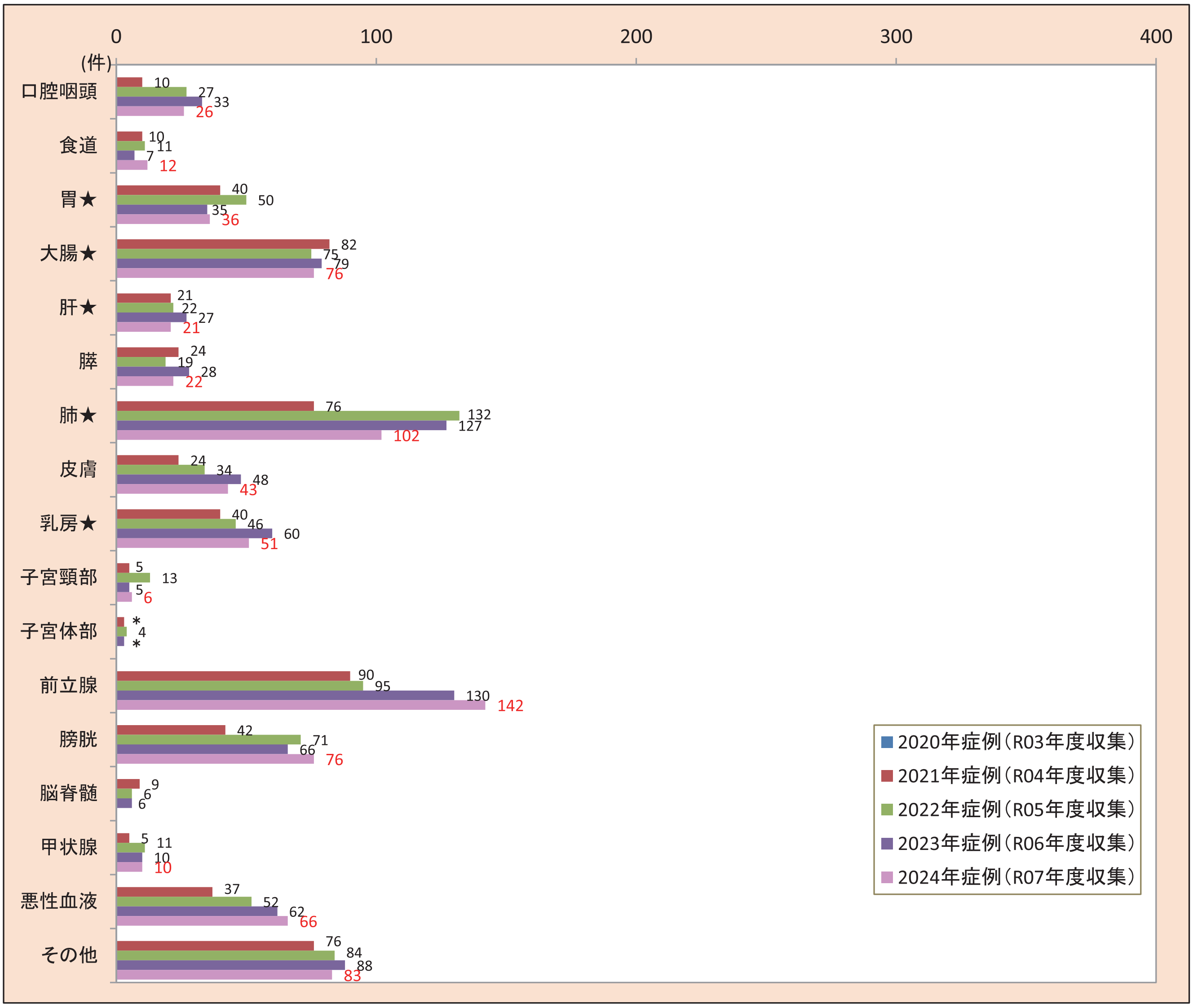
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭		10	27	33	26
食道		10	11	7	12
胃★		40	50	35	36
大腸★		82	75	79	76
肝★		21	22	27	21
膵		24	19	28	22
肺★		76	132	127	102
皮膚		24	34	48	43
乳房★		40	46	60	51
子宮頸部		5	13	5	6
子宮体部		*	4	*	
前立腺		90	95	130	142
膀胱		42	71	66	76
脳脊髄		9	6	6	
甲状腺		5	11	10	10
悪性血液疾患		37	52	62	66
その他		76	84	88	83
計		594	752	814	772

2024年診断症例　主要部位別割合

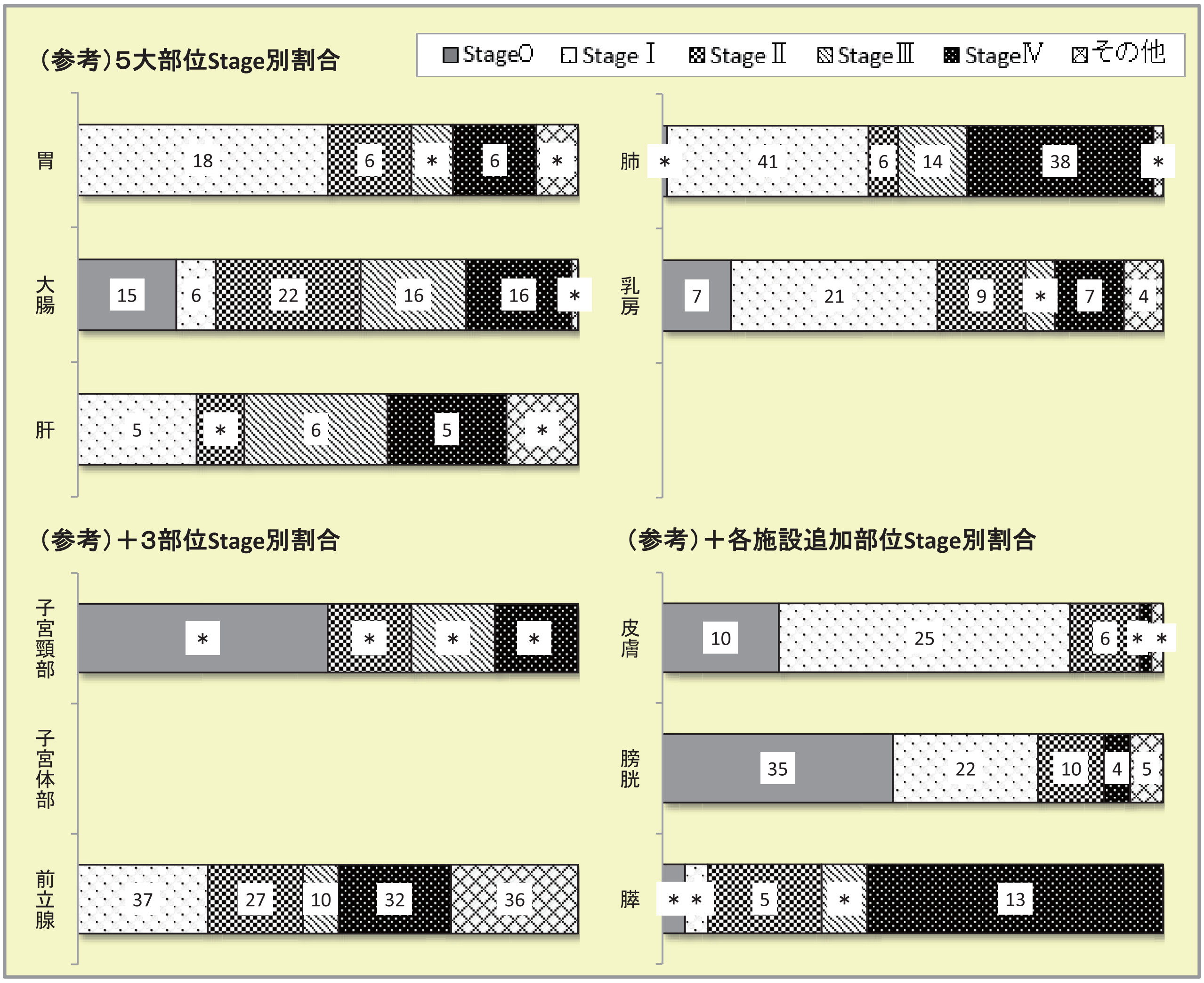


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

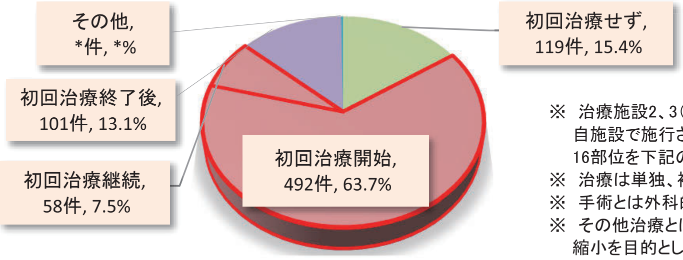
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	26		6	＊	4	9	4
食道	12	＊	＊		＊	＊	＊
胃★	36		18	6	＊	6	＊
大腸★	76	15	6	22	16	16	＊
肝★	21		5	＊	6	5	＊
膵	22	＊	＊	5	＊	13	
肺★	102	＊	41	6	14	38	＊
皮膚	43	10	25	6		＊	＊
乳房★	51	7	21	9	＊	7	4
子宮頸部	6	＊		＊	＊	＊	
子宮体部	0						
前立腺	142		37	27	10	32	36
膀胱	76	35	22	10		4	5
脳脊髄	0						
甲状腺	10		6	＊			＊
悪性血液疾患	66		＊	4	＊	12	46
その他	83	＊	23	9	15	16	19
計	772	74	215	111	79	163	130



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧　治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

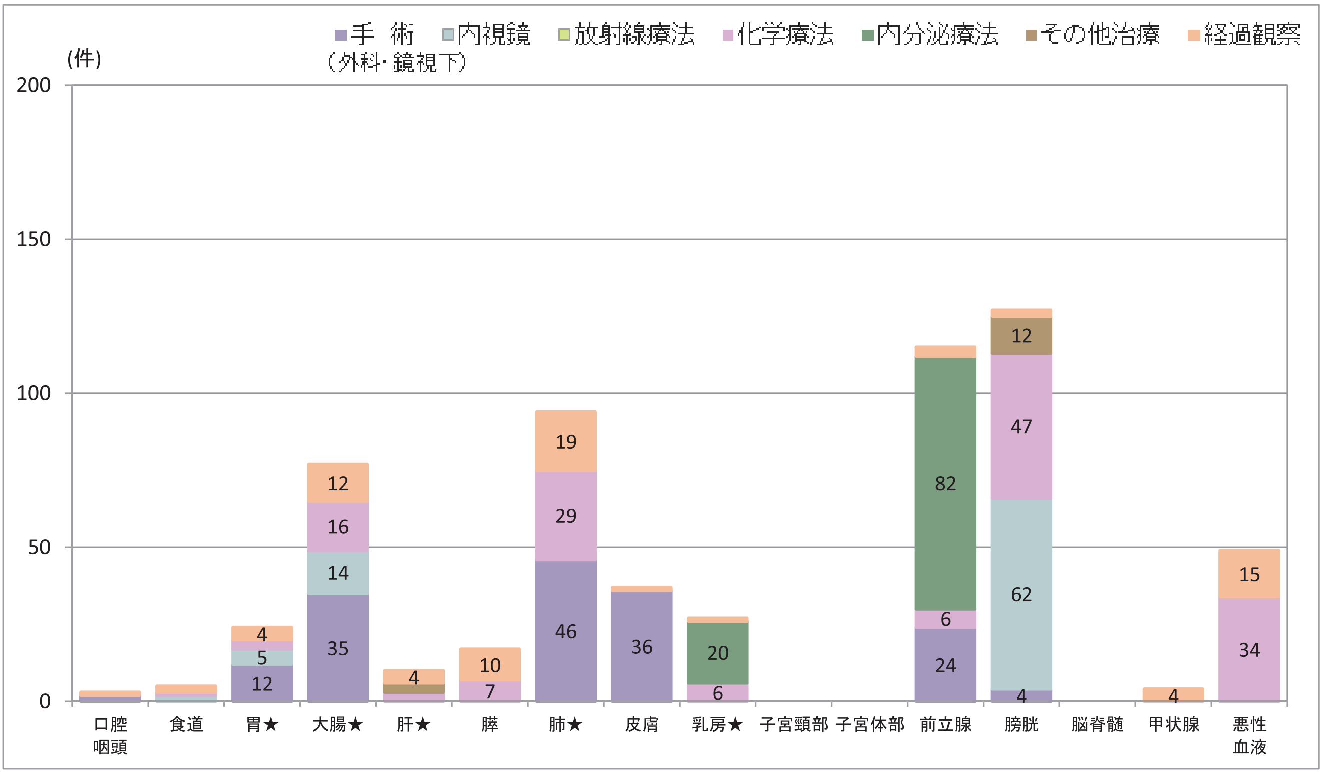
治療施設	件数
1初回治療せず	119
2初回治療開始	492
3初回治療継続	58
4初回治療終了後	101
8その他	*
計	772



※　治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※　表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

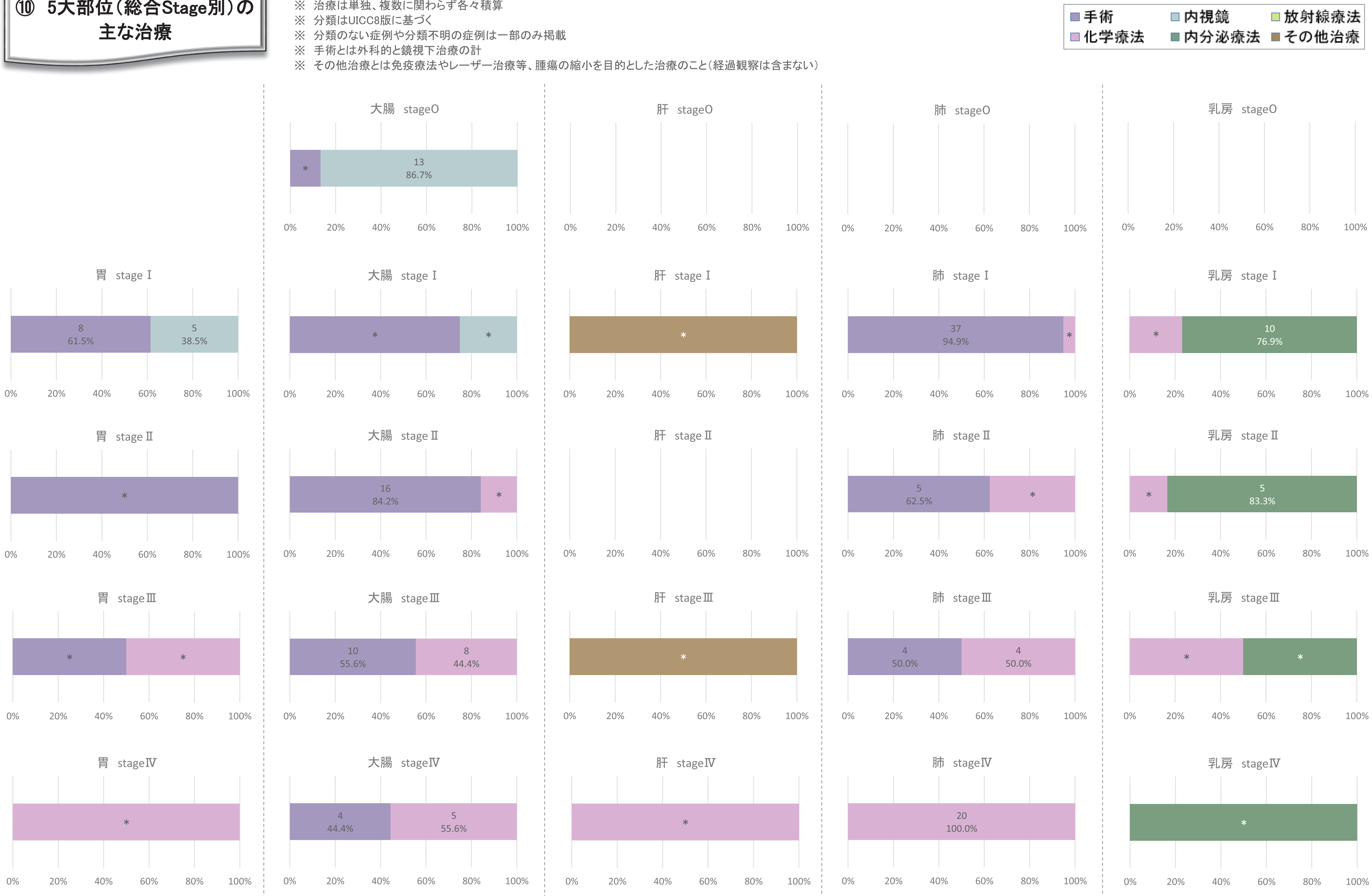
⑨　主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
食道		*		*			*	5	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	12	5		*			4	24	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	35	14		16			12	77	93.9%	6.1%	0.0%
肝★				*		*	4	10			
膵				7			10	17			
肺★	46			29			19	94	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	36						*	37	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★				6	20		*	27			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	24			6	82		*	115	75.0%	25.0%	0.0%
膀胱	4	62		47		12	*	127	69.7%	30.3%	0.0%
脳脊髄								0			
甲状腺							4	4			
悪性血液疾患				34			15	49			
計	159	83	0	152	102	15	78	589			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	社会医療法人黎明会　宇城総合病院		

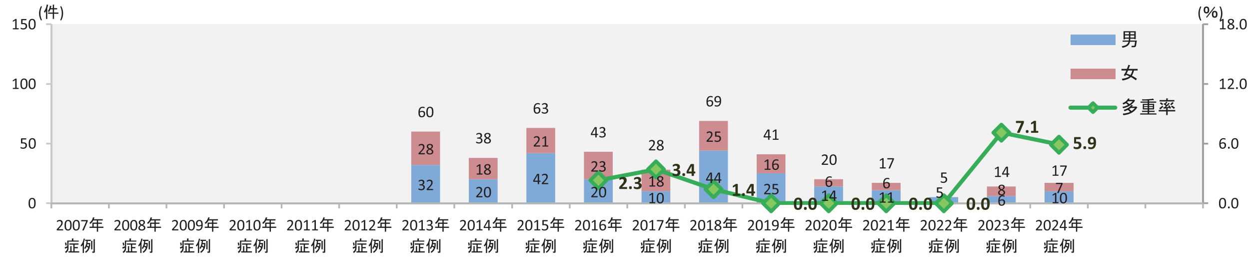
○基本情報　　【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	宇城市松橋町久具691		
病　床　数 追加情報	204床（一般200床；感染症4床）		
診療科数	18科		
がん診療連携拠点病院指定日	ー	がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	27.2（日）		
入院患者数	1,944（人）		
外来患者延数	43,286（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	×
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 （ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること		265（件）
院内がん登録件数	17（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　0　／他　2（名）		

○医療機関からのコメント

1. 症例件数
　当院における2024年の症例件数は17件(前年症例：13件)となった。
2. 医療圏
　宇城地区 94.1%　熊本市　5.9%
　　○宇城地区の内訳：宇城市 62.5%　宇土市 25.0%　美里町 12.5%
3. 平均年齢・男女比
　平均年齢：73.2歳　〈男性平均：67.5歳　　女性：81.4歳〉
　　○男性　1位：60歳代・70歳代（同率）　2位：80歳代
　　○女性　1位：70歳代・80歳代（同率）　2位：90歳代
4. 主要部位別割合
　大腸：64.7%(前年: 38.5%)、胃：23.5%(前年:30.8%)、乳房：5.9%（前年:15.4）
5. 特徴
　2024年の登録症例件数は17件となり、前年比で約3割増加しました。この増加とともに、登録傾向に重要な変化が見られます。
　まず、主要部位構成が大きく変化し、大腸がんが64.7%と全体の約3分の2を占めています。
　次に、医療圏については、宇城地区外の熊本市からの症例が増え、宇城地区内でも地域分布が多様化しています。
　また、患者の年齢構成は、性別によって大きく異なります。全体の平均は73.2歳ですが、男性の平均が67.5歳であるのに対し、女性の平均は81.4歳と男女間で差が見られます。
　来院経路としてはがん検診・健診等　11.8%（前年:21.4%）、他疾患経過観察中 64.7%（前年:28.6%）、その他　23.5%（前年:42.9%）となっています。

診断年別登録件数（参考）

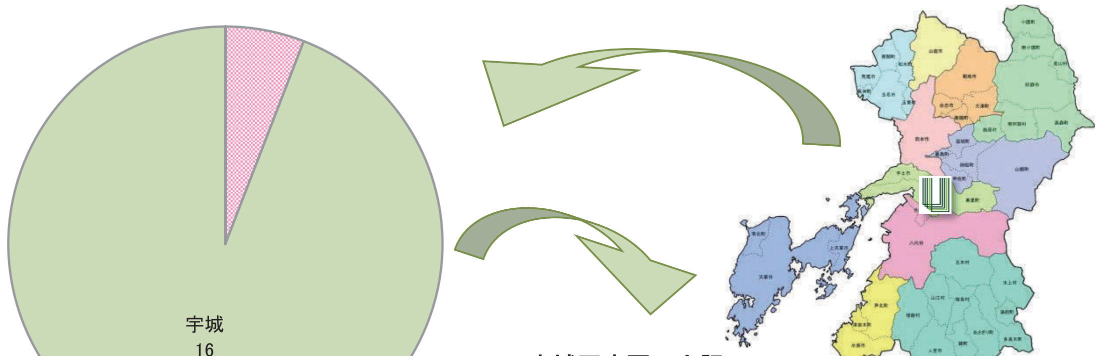


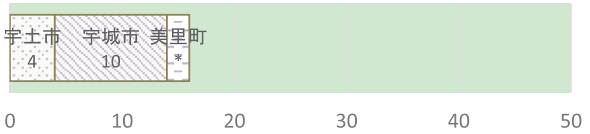
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

宇城総合病院　（17件）

※　全般において3件以下は*又は非表示





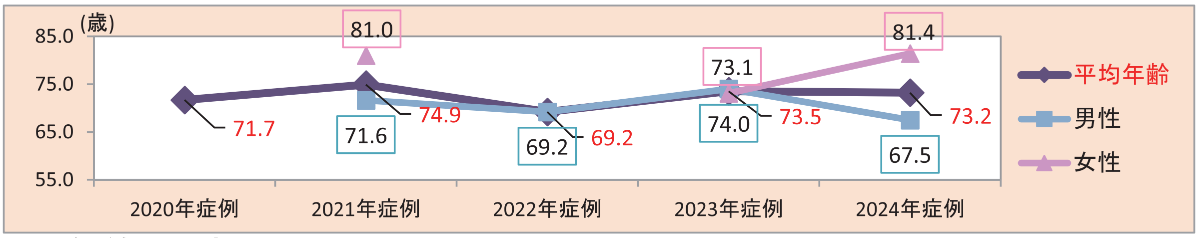
※（熊本）は1～3件

◇　医療圏別上位5部位

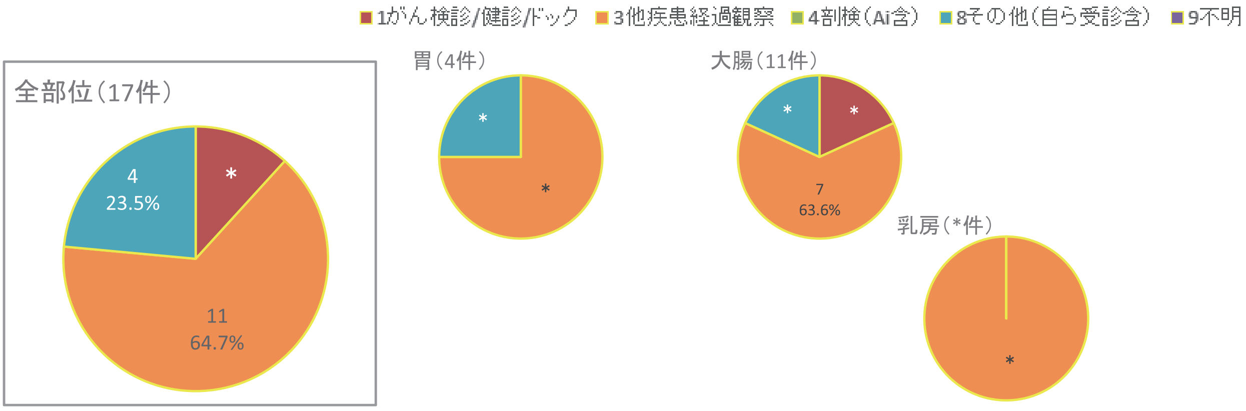
熊・上（熊本）	該当部位	*	有明			阿蘇			球磨		
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草		
宇城	大腸	11	菊池			芦北			県外等		
	該当部位	各*									

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

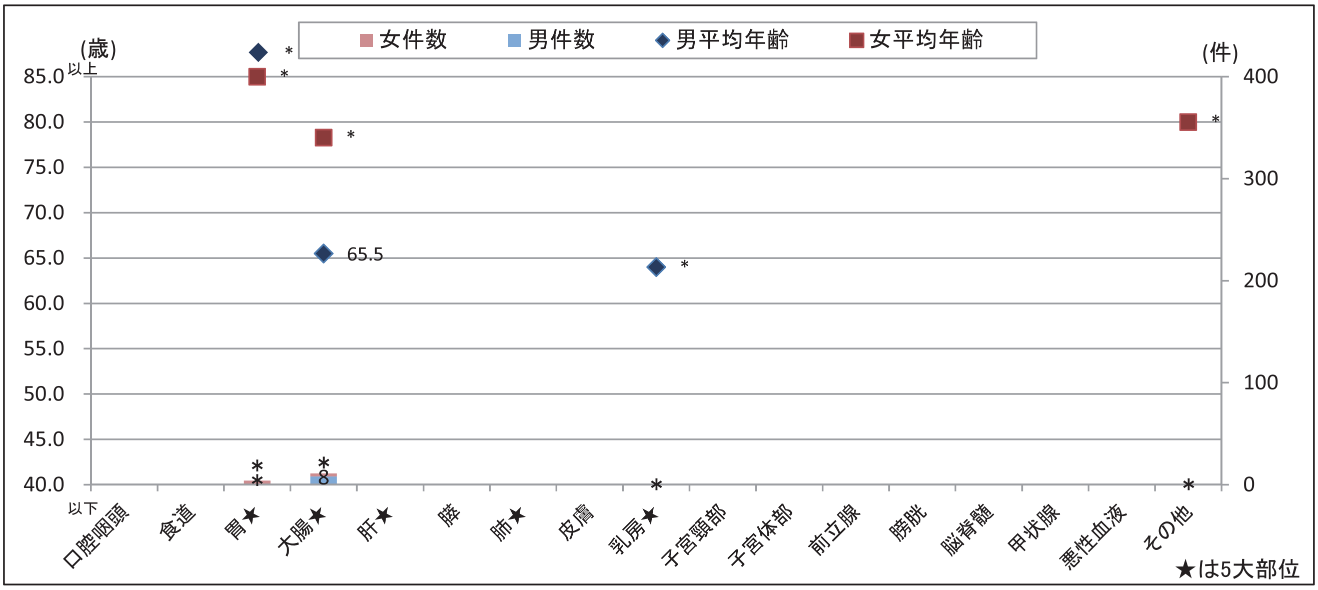
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	8
胃	*
乳房	*
口腔咽頭	
食道	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
その他	
計	10

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		該当部位	*			該当部位	*
		計	*			計	*

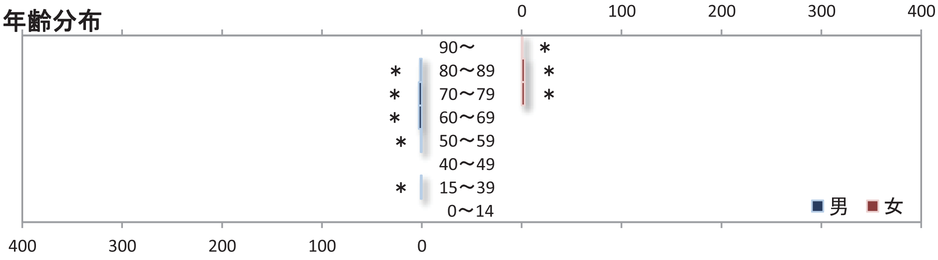
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
該当部位	各*	該当部位	*	該当部位	各*		
計	*	計	*	計	*		

女性全体	
胃	*
大腸	*
その他	*
口腔咽頭	
食道	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	7

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	

60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
		該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	*
		計	*	計	*	計	*

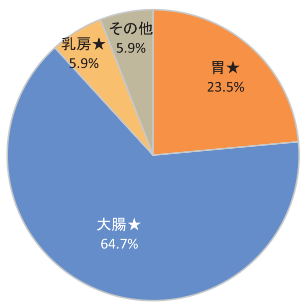
年齢分布



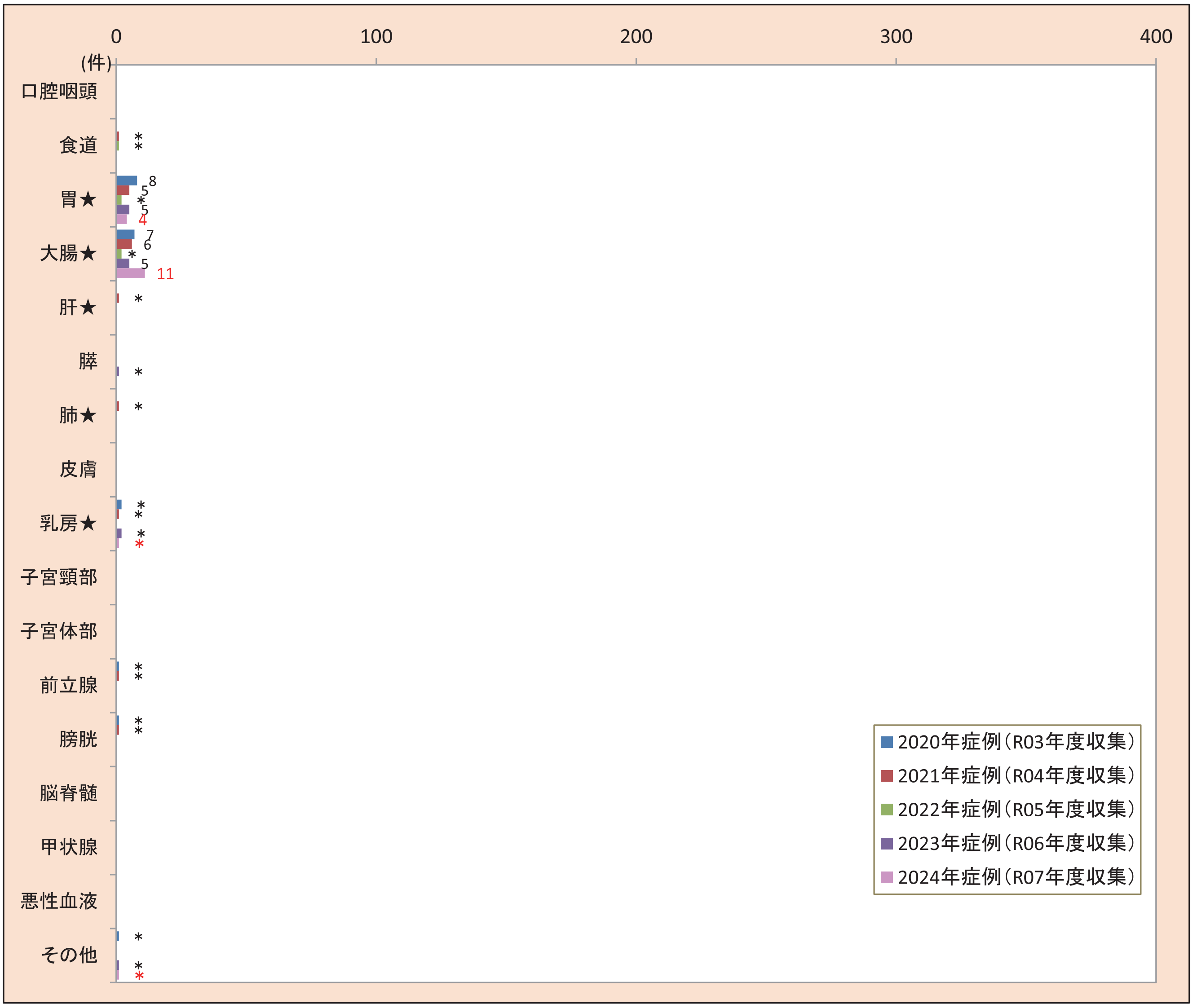
⑥　診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭					
食道		＊	＊		
胃★	8	5	＊	5	4
大腸★	7	6	＊	5	11
肝★		＊			
膵				＊	
肺★		＊			
皮膚					
乳房★	＊	＊		＊	＊
子宮頸部					
子宮体部					
前立腺	＊	＊			
膀胱	＊	＊			
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他	＊			＊	＊
計	20	17	5	14	17

2024年診断症例　主要部位別割合

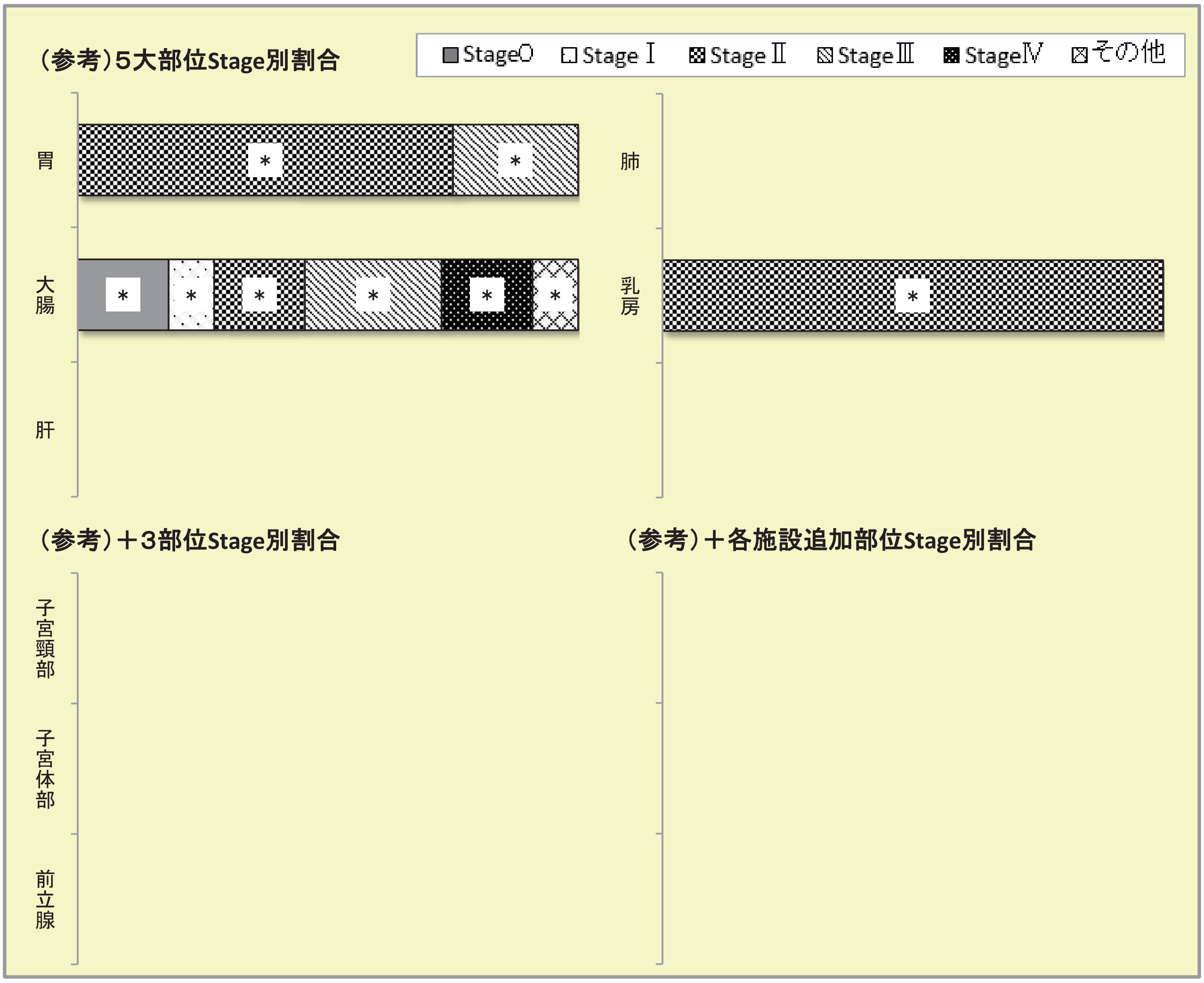


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

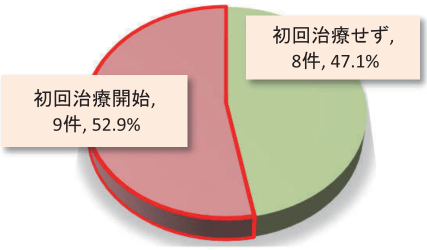
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	0						
胃★	4			*	*		
大腸★	11	*	*	*	*	*	*
肝★	0						
膵	0						
肺★	0						
皮膚	0						
乳房★	*			*			
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	*					*	
計	17	*	*	6	4	*	*



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

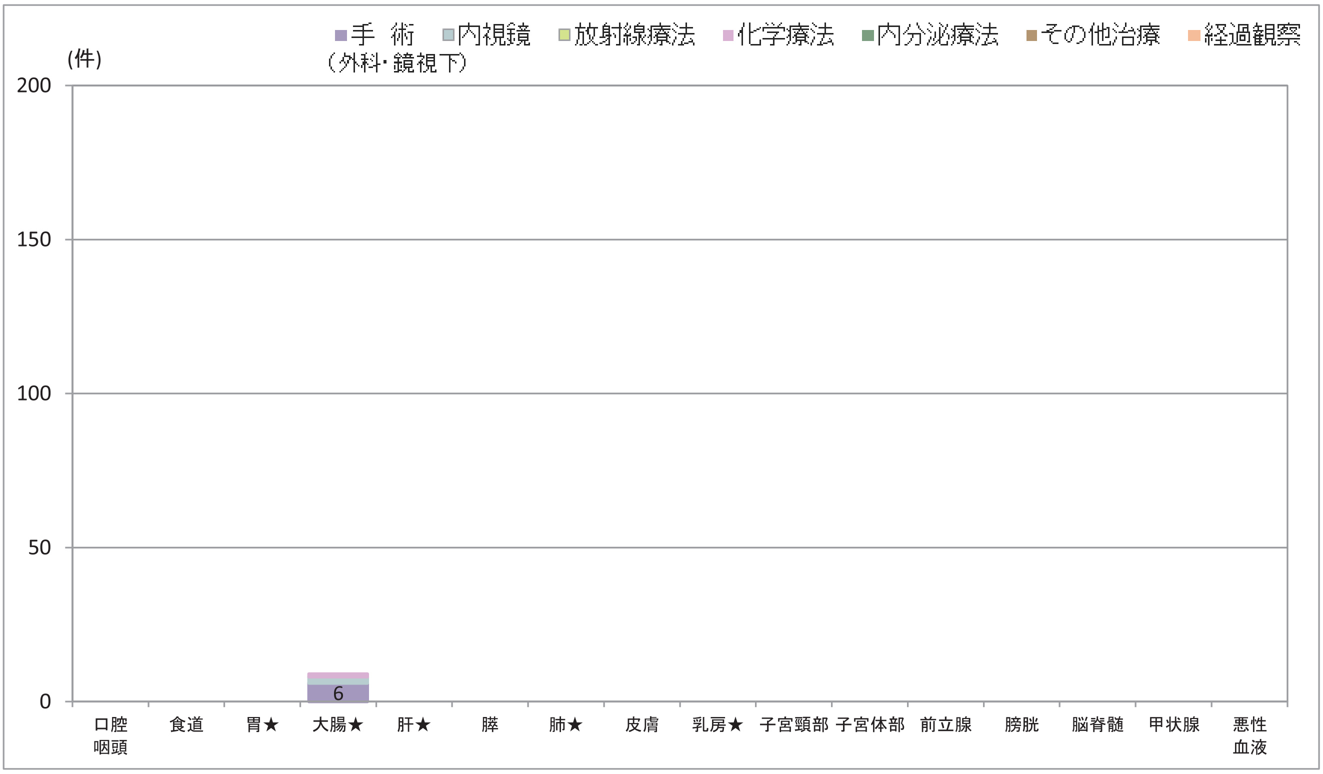
治療施設	件数
1初回治療せず	8
2初回治療開始	9
3初回治療継続	
4初回治療終了後	
8その他	
計	17



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

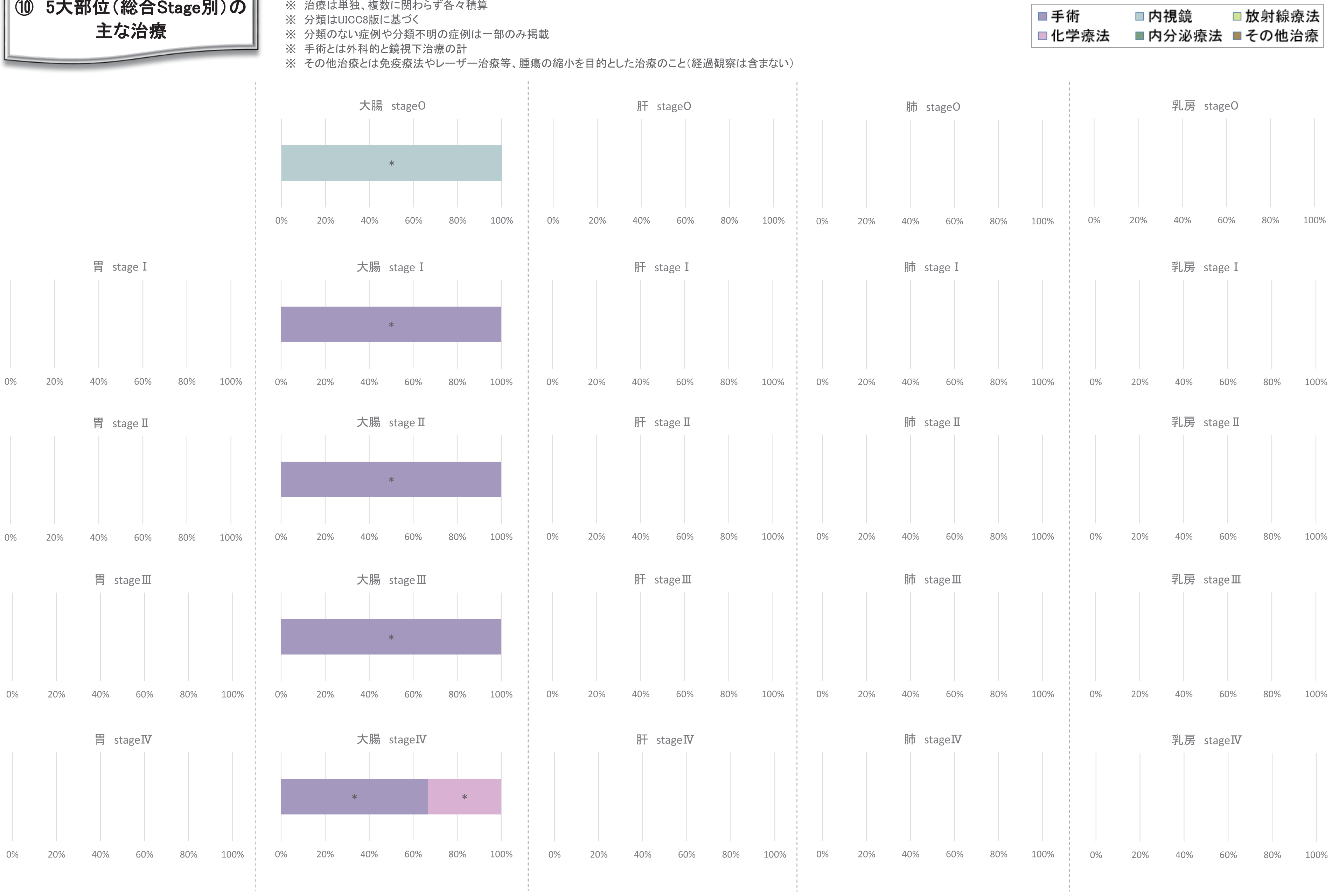
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★								0			
大腸★	6	＊		＊				9	71.4%	28.6%	0.0%
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	6	＊	0	＊	0	0	0	9			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2024年診断症例－

医療機関名	球磨郡公立多良木病院		

○基本情報

【令和6(2024)年12月現在】

所　在　地	球磨郡多良木町大字多良木4210		
病　床　数	183床（一般183床、うち33休床中）		
追加情報	地域包括ケア病棟51床		
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	ー	がん登録開始基準日	2014.04.01
平均在院日数	15.0（日）		
入院患者数	2,482（人）		
外来患者延数	100,716（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	×
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド）	※ 調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること　3,017（件）		
院内がん登録件数	196（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

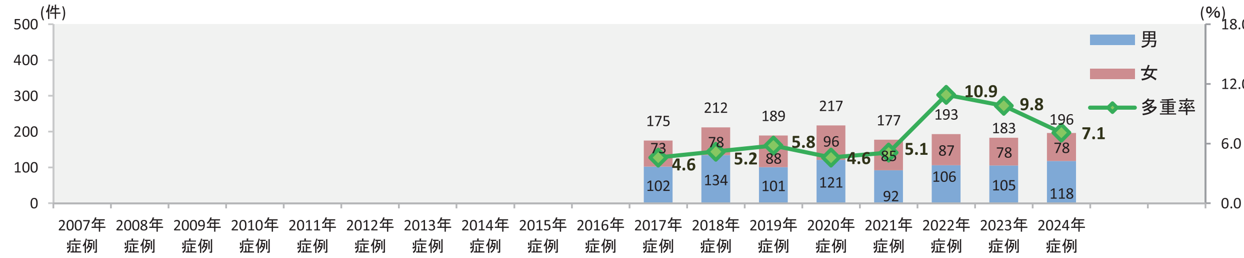
○医療機関からのコメント

2024年診断症例として196件登録し、2023年診断症例より13件増でした。

【登録件数】　2024年登録件数　196件
【性別・年齢】　196件の内訳　男性118件、女性78件　　男性の平均年齢は76.5歳、女性の平均年齢は77.1歳でした。
【発見経路】　自主的に受診されたもの83.1%、がん検診・人間ドックで発見されたもの11.2%。昨年は健診後が13.7%でしたので少し減少しています。
【部位】　男性1位-大腸、2位-前立腺、3位-胃　　女性1位-大腸、2位-肺、3位-胃　　昨年男性は前立腺・大腸・胃、女性では大腸・乳房・皮膚でした。手術件数が昨年34件でしたが、2024年は41件（鏡視下手術16件）と7件増となっています。、当院で初回治療を行われる割合が52%でした。受診された半数以上の患者さまの初回治療を開始しています。他院からの継続治療、治療後のフォローなども行っています。

当院には総合健診センターも併設していますので、総合健診センターと連携し早期発見・早期治療に努めます。さらに、がんの一次予防・二次予防に関する啓蒙活動も推進します。
当地域は高齢者率が高いため、多職種によるチーム医療を行い、行政や地域とも連携を取りながら医療・介護連携にも力を入れていきます。
また、遠隔地に居住する家族との連携も大切にして、患者さまに最善で最適ながん医療を実践します。

診断年別登録件数（参考）



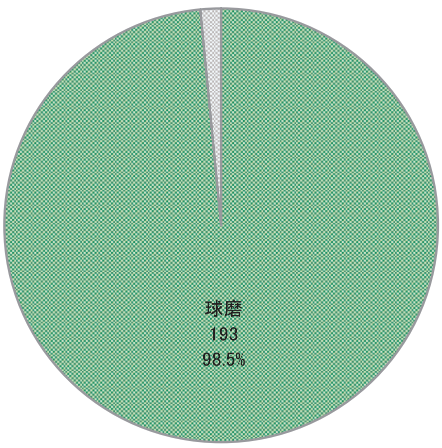
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

多良木病院

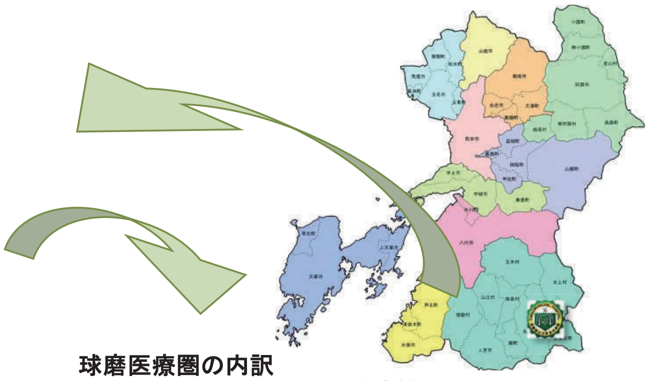
①　患者住所医療圏別登録の状況（2024年診断症例）

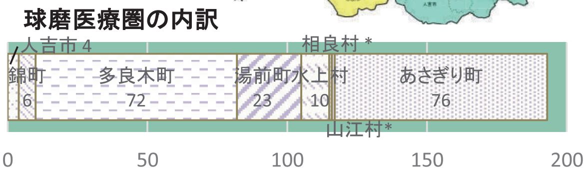
※　全般において3件以下は*又は非表示

多良木病院　（196件）



※ 県外等は1～3件



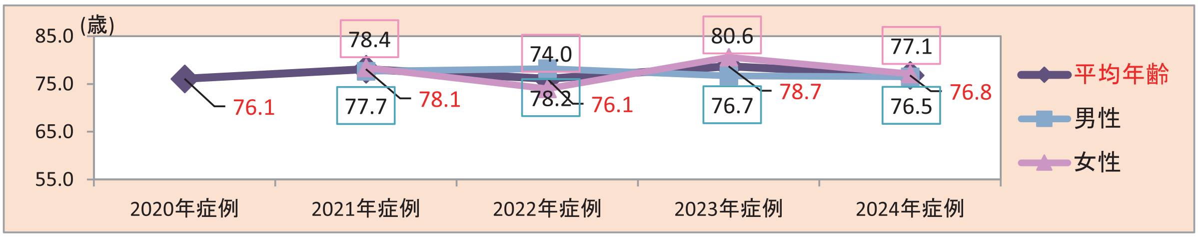


◇　医療圏別上位5部位

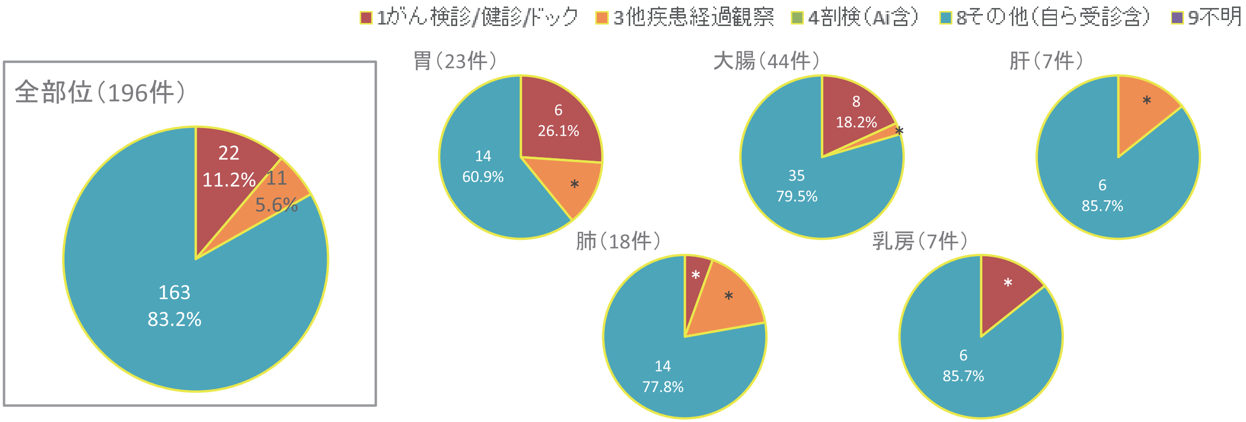
熊・上（熊本）			有明			阿蘇			球磨	大腸	44
										その他	25
										胃	23
										皮膚	20
										前立腺	18
熊・上（上益城）			鹿本			八代			天草		
宇城			菊池			芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

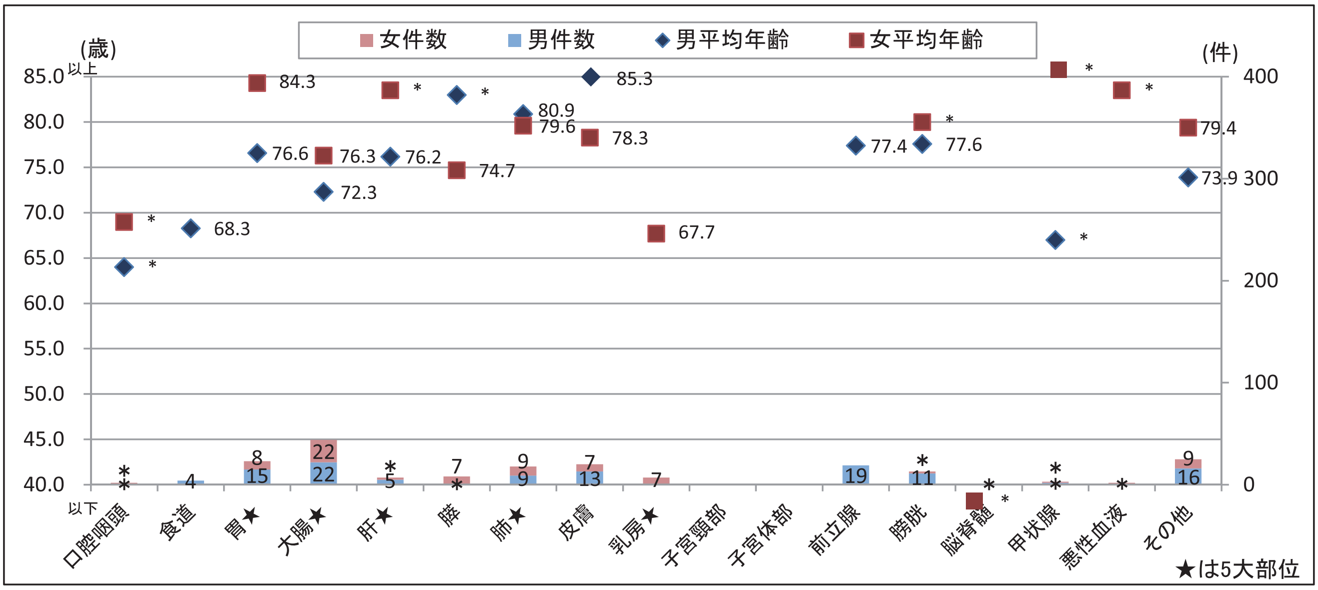
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④　性別主要部位別件数と平均年齢



⑤　性別年代別登録内訳と年齢分布

男性

男性全体	
大腸	22
前立腺	19
その他	16
胃	15
皮膚	13
膀胱	11
肺	9
肝	5
食道	4
甲状腺	*
口腔咽頭	*
膵	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
悪性血液	
計	118

0～14歳	
計	

15～39歳	
計	

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	8

60～69歳	
該当部位	各*
計	14

70～79歳	
前立腺	9
胃	8
その他	8
大腸	7
該当部位	各4
など	
計	46

80～89歳	
前立腺	8
皮膚	7
大腸	6
胃	5
その他	4
該当部位	各*
計	36

90歳～	
皮膚	4
該当部位	各*
計	12

女性

女性全体	
大腸	22
肺	9
その他	9
胃	8
膵	7
皮膚	7
乳房	7
肝	*
膀胱	*
悪性血液	*
口腔咽頭	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
食道	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
計	78

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	*
計	*

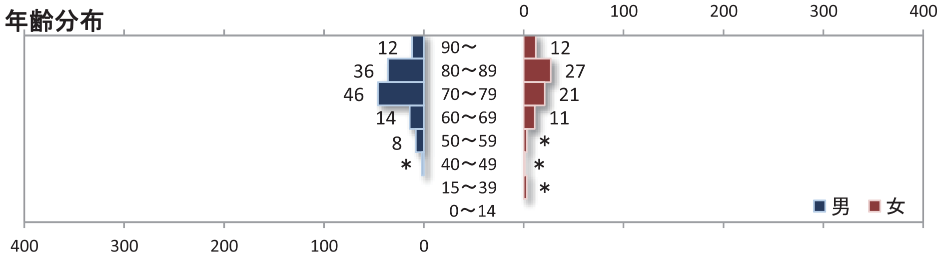
50～59歳	
該当部位	各*
計	*

60～69歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	11

70～79歳	
大腸	6
該当部位	各*
計	21

80～89歳	
大腸	7
皮膚	6
肺	5
該当部位	各*
計	27

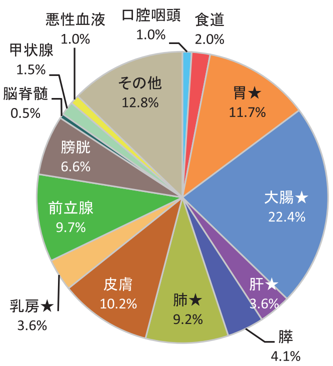
90歳～	
該当部位	各*
計	12



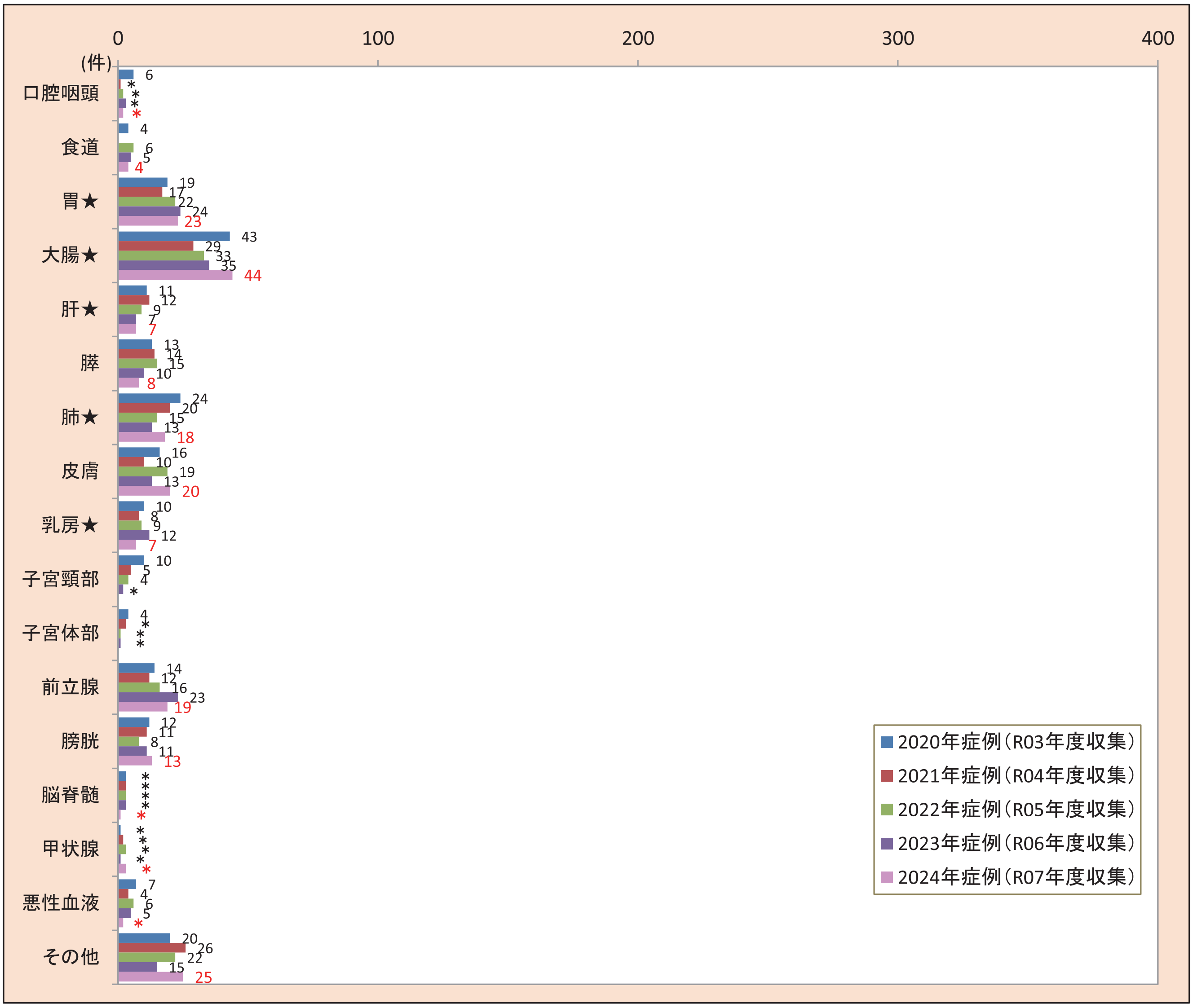
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2020年症例（R03年度収集）	2021年症例（R04年度収集）	2022年症例（R05年度収集）	2023年症例（R06年度収集）	2024年症例（R07年度収集）
口腔咽頭	6	＊	＊	＊	＊
食道	4		6	5	4
胃★	19	17	22	24	23
大腸★	43	29	33	35	44
肝★	11	12	9	7	7
膵	13	14	15	10	8
肺★	24	20	15	13	18
皮膚	16	10	19	13	20
乳房★	10	8	9	12	7
子宮頸部	10	5	4	＊	
子宮体部	4	＊	＊	＊	
前立腺	14	12	16	23	19
膀胱	12	11	8	11	13
脳脊髄	＊	＊	＊	＊	＊
甲状腺	＊	＊	＊	＊	＊
悪性血液疾患	7	4	6	5	＊
その他	20	26	22	15	25
計	217	177	193	183	196

2024年診断症例　主要部位別割合

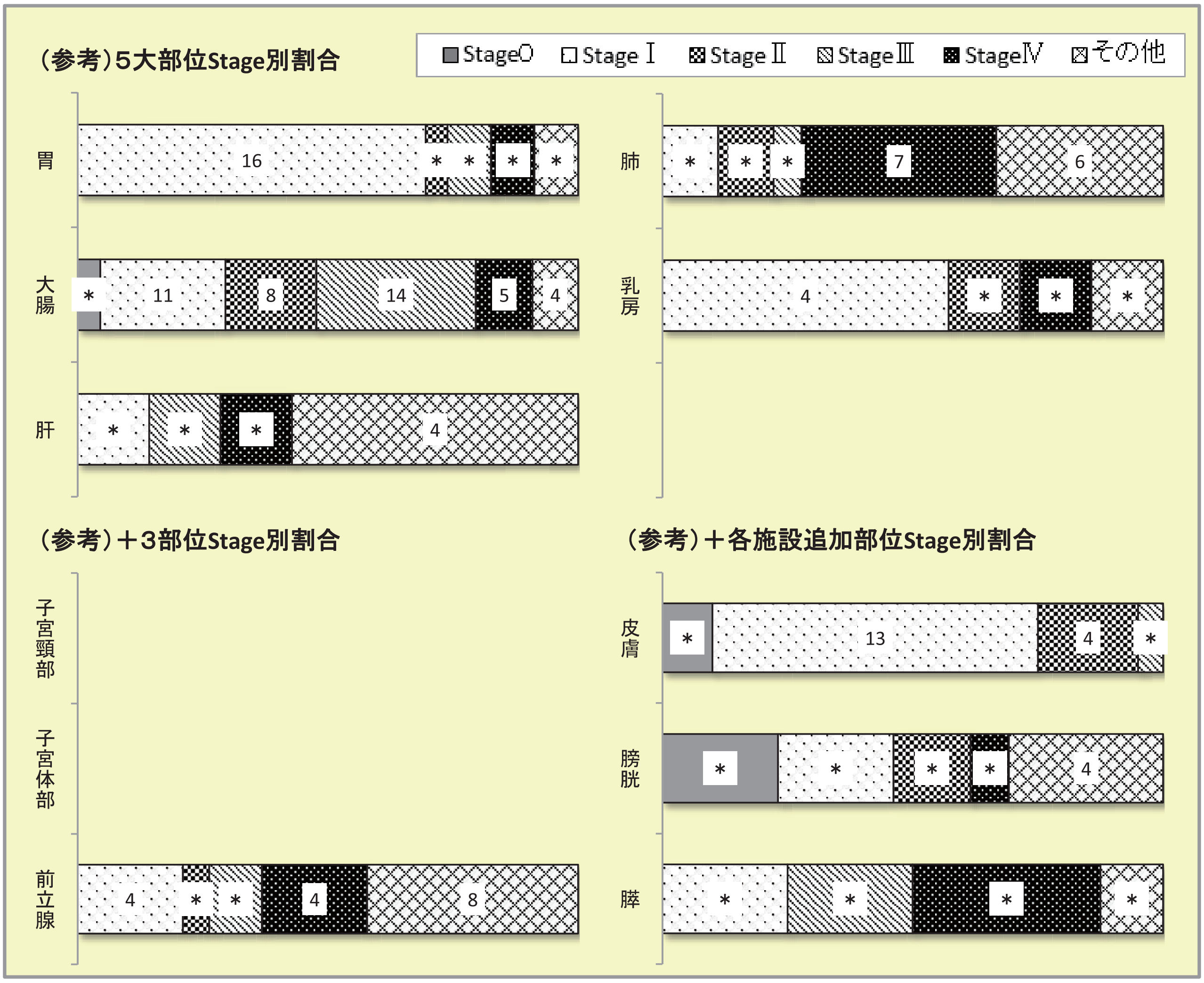


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

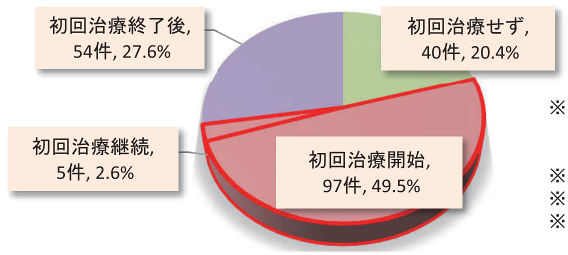
全体	件数	Stage0	StageⅠ	StageⅡ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	＊			＊	＊		
食道	4		＊		＊		＊
胃★	23		16	＊	＊	＊	＊
大腸★	44	＊	11	8	14	5	4
肝★	7		＊		＊	＊	4
膵	8		＊		＊	＊	＊
肺★	18		＊	＊	＊	7	6
皮膚	20	＊	13	4	＊		
乳房★	7		4	＊		＊	＊
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	19		4	＊	＊	4	8
膀胱	13	＊	＊	＊		＊	4
脳脊髄	＊						＊
甲状腺	＊		＊			＊	＊
悪性血液疾患	＊						＊
その他	25		5	＊	＊	6	9
計	196	7	63	23	28	31	44



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

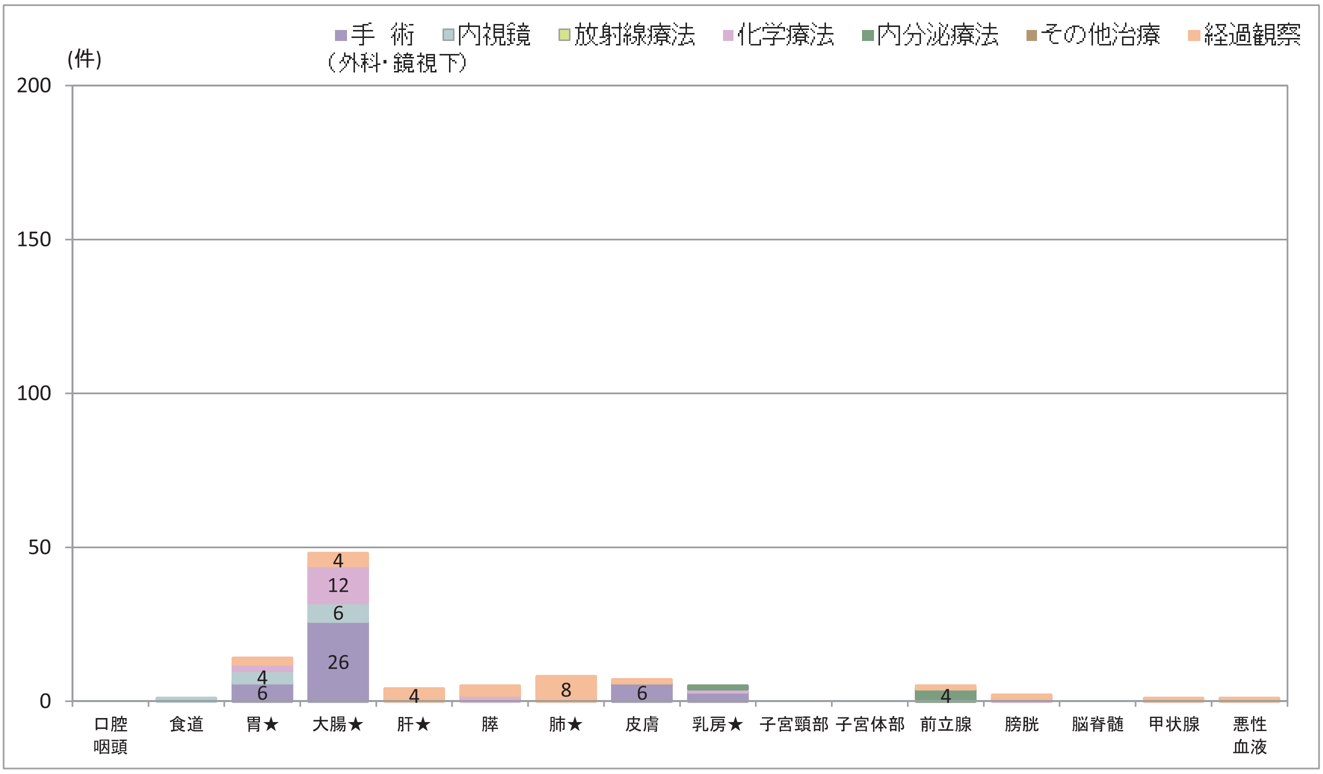
治療施設	件数
1初回治療せず	40
2初回治療開始	97
3初回治療継続	5
4初回治療終了後	54
8その他	
計	196



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

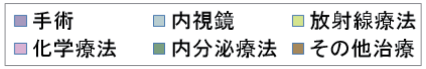
	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		*						*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	6	4		*			*	14	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	26	6		12			4	48	100.0%	0.0%	0.0%
肝★							4	4			
膵				*			*	5			
肺★							8	8			
皮膚	6						*	7	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	*			*	*			5	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺					4		*	5			
膀胱				*			*	*			
脳脊髄								0			
甲状腺							*	*			
悪性血液疾患							*	*			
計	41	11	0	18	5	0	26	101			



多良木病院

⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計
※　その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



熊本県院内がん登録データに係る統計

－2024 年診断症例－

編集・発行　熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会
〒860-8556 熊本市中央区本荘１丁目１番１号
電話：096-344-2111（代表）

令和８年３月